

巻 頭 言

働き方改革元年の臨床研究活動実績を振り返る

病 院 長 岩 崎 浩 己

2024年度の臨床研究活動実績をご報告します。勤務医の時間外・休日労働時間（以下、時間外という）に上限規制が適用された初年度ということで、研究活動への影響が気になるところです。学会発表演題数は524題、対前年度マイナス104題と大きく後退しました。一方、発表論文数は対前年度プラス49編の221編となり、特に英文論部数が48編プラスの147編と大きく回復しました。論文キャンペーンを通しての啓発が効を奏したものと考えています。獲得研究費は前年並みでしたが、新規治験はNHO140病院中3位の実績と健闘しました。結果、2024年度総合ポイント評価では、NHO内7位と前年の9位から順位を上げることができました。働き方改革の逆風を乗り越えて、臨床研究活動実績を伸ばしていただいた職員の皆さまの努力に敬意を表します。

働き方改革については、全診療科でA水準（年960時間／月100時間未満）を選択することを決断し、2年近くかけて準備を進めました。（1）システム導入による医師の勤怠管理の見える化、（2）業務時間と学習／成長（自己研鑽）のための時間の区別に関するコンセンサス形成、（3）診療科ヒアリングの実施と実態に合った勤務線表への見直し、（4）時間外が月75時間を超える医師を対象とした産業医面接の実施（睡眠負債と疲労蓄積度の評価）、（5）大学病院からの派遣医師で夜間・休日診療を回している診療科（麻酔科、小児科、産婦人科）の宿日直許可取得、（6）診療看護師、特定行為看護師、医師事務作業補助者等によるタスクシェア・シフト等について丁寧に整備した結果、2024年度の最多時間外は年958時間となりA水準をクリアすることができました。常勤医師の月平均時間外は48.9時間、専攻医／レジデントは45.9時間、初期臨床研修医は26.5時間、年900時間超の医師22名については、循環器内科6名、脳神経外科・脳血管内治療科6名、呼吸器内科3名、消化管外科2名、心臓外科1名と、やはり急患対応の多い診療科医師の負担が大きい現実が見て取れました。

向こう25年の医療ニーズ増大が見込まれる福岡・糸島医療圏の中心に位置し、救命救急センターを有する急性期拠点である当院には、良質な医療の提供だけでなく質の高い臨床研究を発信していくことも求められています。貴重な一症例一症例の積み重ねが当院の臨床研究の原動力になっていることは言うまでもありません。日頃より病病連携・病診連携を介して多くの患者さんをご紹介いただいておりますことに深謝申し上げます。

当院は若き医療人が切磋琢磨し、そして巣立っていく、人材育成のための病院でもあります。研究マインドをもった若き医療人を養成する教育研修施設として、診療以外にも資源を投入する必要があります。地域の医療ニーズに応えるためのDX・効率化を進めつつ、臨床研究と人材育成のための時間を確保できるよう努めて参ります。これからも九州医療センターにご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

目 次

巻頭言	岩崎 浩己
-----------	-------

目次

I. 臨床研究センターの概要	1
II. 臨床研究センター沿革・歳時記	2
III. 臨床研究センター実績年次推移	11
論文、学会発表等	
獲得研究費	
契約金額、治験実施率	
大学教授就任者一覧	
院外表彰者等一覧	
IV. 臨床研究センター実績	15
研究室長年次報告	
臨床研究報告	
臨床研究発表審査過程、表彰者一覧	
発表会演題一覧	
研究報告（優秀演題）	
競争的研究費一覧	
NHOネットワーク共同臨床研究/EBM推進研究	
受託研究の概要	
受託研究契約状況（治験および治験以外の受託研究）	
受託請求金額（当院及びNHO本部で受託した治験・製造販売後臨床試験・受託研究の金額）	
治験等実施率	
モニタリング等実施件数	
治験・受託研究一覧	
臨床研究セミナー・臨床研究発表会開催一覧	
C P C開催一覧	
研究課題一覧	
委員会一覧	
V. 診療科別研究業績一覧	81
令和6年度業績一覧、診療科別業績一覧（2024年4月～2025年3月）	
編集後記	甲斐 哲也 169

I. 臨床研究センターの概要

名 称：独立行政法人国立病院機構九州医療センター臨床研究センター

所 在 地：福岡県福岡市中央区地行浜1-8-1

郵便番号：810-8563

電話番号：092-852-0700

FAX番号：092-846-8485

ホームページ：<https://kyushu-mc.hosp.go.jp/>

設 置：平成20年4月1日（平成6年7月1日開院時に設置された臨床研究部から昇格）

機 能 付 与：NHO臨床研究ネットワーク施設【がん（呼吸器）、がん（一般）、心脳大血管、精神疾患、脳神経疾患、感染症、小児・周産期、重症心身障害児（者）、エイズ、内分泌・腎疾患、感覚器、骨・運動器疾患、免疫・アレルギー疾患、血液疾患、呼吸器疾患、消化器疾患、経営管理】

エイズ九州ブロック拠点病院

広域災害九州ブロック拠点病院（福岡県基幹災害拠点病院）

病院機能評価認定病院

DPC施行病院

単独型臨床研修指定病院

地域医療支援病院

地域がん診療連携拠点病院

救命救急センター

第二種感染症指定医療機関

地域周産期母子医療センター

BFH（Baby Friendly Hospital）認定病院

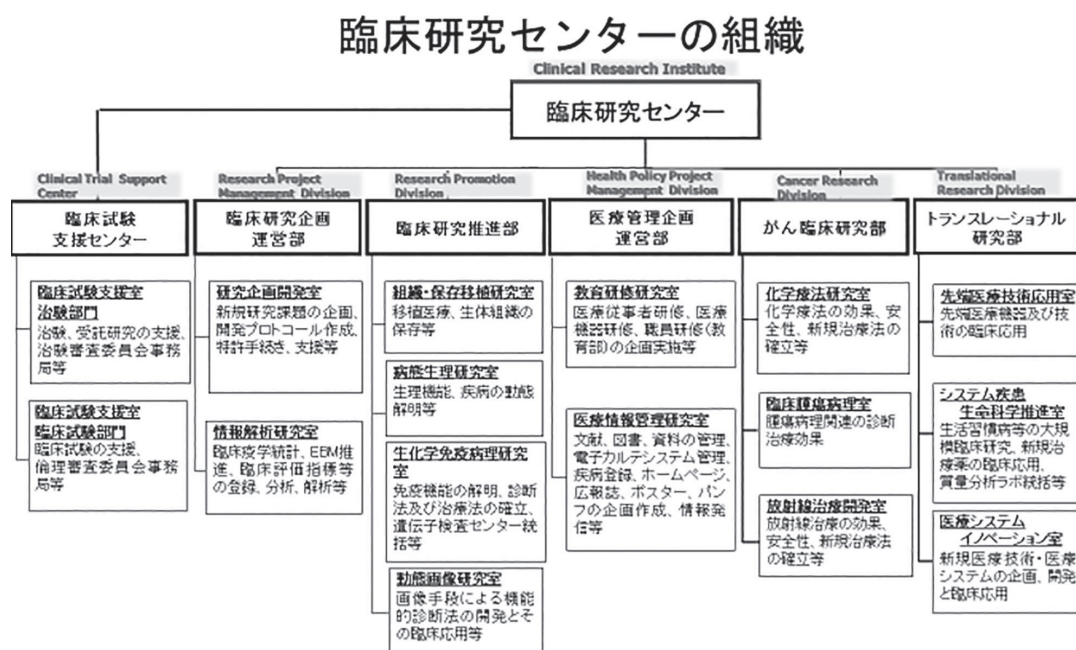
卒後臨床研修評価機構認定病院

臨床修練指定病院

科学研究費助成事業指定研究機関（機関番号：87105）

設置委員会：臨床研究センター運営会議、倫理審査委員会、治験審査委員会、図書委員会、広報委員会

臨床研究センター組織図（院内体制）



臨床研究センター関連設備一覧

質量分析装置（Target分析）Shimadzu8050	質量分析装置（Target分析）Waters Xevo TQ-XS
手術用顕微鏡	エコー装置 GE LOGIQ7
内視鏡シミュレータAccu Touch	内視鏡手術トレーニングシミュレータ
標本撮影装置（病理検査）	顕微鏡・顕微鏡用デジタルカメラ（病理検査）
超低温フリーザー	

II. 臨床研究センター 沿革

平成6年	開院と同時に臨床研究部設置（1部5室）
平成7年	臨床研究業績集発刊開始
平成9年	エイズ医療九州ブロック拠点施設（厚生労働省）
平成10年	季刊誌KMC Research発刊開始
平成11年	治験管理室設置、臨床研究表彰開始
平成14年	冬休み・夏休み論文キャンペーン開始
平成16年	独法化、業績集：国際標準逐次刊行物番号取得（ISSN 1349-6328）
平成17年	文科省研究補助金取り扱い機関認定 新臨床活動評価システム開始
平成18年	文献検索・電子ジャーナル閲覧システム構築 内視鏡教育センター開設、職務発明支援開始
平成19年	治験中核・拠点施設認定
平成20年	臨床研究センターへ昇格（3部11室） （臨床研究推進部、臨床研究企画運営部、医療管理企画運営部）
平成21年	患者図書館開設、スキルアップラボ開設 政策医療ネットワーク見直し
平成23年	臨床研究センター 拡大新組織へ（5部15室） （がん臨床研究部、トランスレーショナル研究部を増設）
平成24年	脳血管内治療科設置、医療機器臨床試験整備 治験管理室を臨床試験支援室へ改称整備 高度医療評価制度認可（呼吸器外科、産婦人科） 文科省科研費（基盤C）取得（高血圧内科）
平成25年	臨床試験支援室を臨床試験支援センターへ改称 早期認知（MCI）外来設置、診療科横断的研究開始 国立病院機構 臨床研究事業部中央支援部門に参画
平成26年	国際webカンファレンス室設置 がん臨床研究部研究室整備 冬休み・夏休み論文キャンペーンに英文原著論文奨励制度を新設 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の公布に伴いCITI Japan 教育プログラム研修開始
平成27年	文科省科研費（若手B）取得（整形外科） 国際webカンファレンス室（TV会議室）を利用した臨床研修教育セミナー開催（月1回）
平成28年	文科省科研費（基盤C）取得（脳神経外科、歯科口腔外科） 質量分析装置の臨床研究センター内設置に関する「基本協定書調印式」

平成29年	臨床研究センター質量分析ラボ開室 文科省科研費（基盤C）取得（免疫感染症内科） 当院倫理審査委員会が人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に基づく質の高い倫理審査制度が整備されているとして厚生労働省医政局より認定される AMED「中央治験審査委員会・中央倫理審査委員会基盤整備事業」採択
平成30年	文科省科研費（基盤C）取得（眼科）
令和元年	文科省科研費（基盤C）取得（歯科口腔外科、脳神経外科、高血圧内科）、 （若手）取得（脳神経外科）
令和2年	文科省科研費（基盤C）取得（呼吸器外科、整形外科・リウマチ科、眼科） （若手）取得（呼吸器外科、整形外科・リウマチ科） （研究活動スタート支援）取得（整形外科・リウマチ科）
令和3年	文科省科研費（基盤C）取得（放射線科） （若手）取得（整形外科・リウマチ科、耳鼻咽喉科） （スタート支援）取得（血液内科）
令和4年	文科省科研費（基盤C）取得（呼吸器内科、血液内科、病理、放射線科） （若手）取得（整形外科・リウマチ科） SMO（治験施設支援機関）導入
令和5年	治験資料電磁化システム（Agatha）導入
令和6年	文科省科研費（基盤C）取得（呼吸器外科） （若手）取得（整形外科・リウマチ科） 臨床試験支援センターを外来1階から3階の臨床研究センター内に移動
令和7年	文科省科研費（基盤C）取得（血管外科、脳神経外科、整形外科・リウマチ科） （若手）取得（血液内科）

歳時記（令和6年度）

2024年（令和6年）	6月25日 令和5年度臨床研究発表会（43題） 7月3日 令和5年度臨床研究発表会 優秀研究表彰 7月1日 臨床研究センター夏休み論文執筆推進キャンペーン開催（19篇応募） 12月1日 臨床研究センター冬休み論文執筆推進キャンペーン開催（8篇応募） 12月18日 臨床研究センター運営会議
2025年（令和7年）	3月26日 九州医療センターフォーラム（研修医修了式 講堂）

人事の変遷

臨床研究部長	吉田 晃治（平成6年7月1日～平成9年3月31日）
	小柳 左門（平成9年4月1日～平成13年3月31日）
	岡田 靖（平成13年4月1日～平成15年3月31日）
	村中 光（平成15年4月1日～平成20年3月31日）
臨床研究センター長	村中 光（平成20年4月1日～平成22年6月30日）
	岡田 靖（平成22年7月1日～平成30年3月31日）
	岩崎 浩己（平成30年5月1日～令和4年3月31日）
	高見 裕子（令和4年6月1日～令和6年12月31日）
	甲斐 哲也（令和7年3月1日～）

平成23年4月1日より

研究室			
臨床研究企画運営部長	岡田 靖	H23. 4. 1～H28. 3.31	臨床研究センター長
	詠田 眞治	H28. 4. 1～H28. 8.31	臨床研究センター副センター長
	岡田 靖	H28. 9. 1～H30. 3.31	臨床研究センター長
	岩崎 浩己	H30. 5. 1～R 4. 3.31	臨床研究センター長
	高見 裕子	R 4. 6. 1～R 6.12.31	臨床研究センター長
	甲斐 哲也	R 7. 3. 1～	臨床研究センター長
研究企画開発室長	中牟田 誠	H23. 4. 1～H29. 3.31	肝臓センター部長
	中島 寅彦	H29. 4. 1～	耳鼻咽喉科科長
副室長	久富 智朗	H23. 4. 1～H28. 3.31	眼科科長
	武田 篤信	H28. 4. 1～R 2. 3.31	〃
	中尾新太郎	R 2. 4. 1～R 4.11.30	〃
	長谷川英一	R 4.12. 1～	〃
情報解析研究室長	吉住 秀之	H23. 4. 1～H30. 3.31	医療情報センター総務部長
	福泉公仁隆	H30. 4. 1～	〃
副室長	吉弘 和明	H23. 4. 1～H25. 3.31	経営企画室長
	中村 守	H25. 4. 1～H27. 3.31	〃
	大城 英作	H27. 4. 1～H29. 3.31	〃
	横尾 大輔	H29. 4. 1～H31. 3.31	〃
	一ノ瀬真由美	H31. 4. 1～R 4. 3.31	〃
	橋本 裕二	R 4. 4. 1～R 6. 3.31	〃
	松尾 俊宏	R 6. 4. 1～R 7. 3.31	〃
	平田 剛	H30. 4. 1～R 3. 3.31	医療情報管理センターシステム管理・分析室長
	若田 好史	R 5. 4. 1～R 6. 6.30	〃
臨床試験支援室長	岡田 靖	H23. 4. 1～H30. 3.31	臨床研究センター長
	岩崎 浩己	H30. 5. 1～R 4. 3.31	〃
	高見 裕子	R 4. 6. 1～R 6.12.31	〃
	甲斐 哲也	R 7. 3. 1～	〃
副室長	矢川 裕子	H23. 4. 1～H24. 3.31	治験主任薬剤師
	山脇 一浩	H24. 4. 1～H25. 3.31	副薬剤科長
	佐藤 栄梨	H25. 4. 1～R 3. 3.31	治験主任薬剤師
	大丸 資子	R 3. 4. 1～	〃
事務局長	西野 隆	H25. 4. 1～H31. 3.31	薬剤部長
	高島 伸也	R 1. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	橋本 雅司	R 3. 4. 1～	〃
副事務局長	山脇 一浩	H25. 4. 1～H29. 3.31	副薬剤部長
	福石 和久	H29. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	花田 聖典	R 3. 4. 1～R 5. 3.31	〃
	藤瀬 陽子	R 5. 4. 1～	〃
医療管理企画運営部長	才津 秀樹	H23. 4. 1～H29. 3.31	臨床研修部長
	福泉公仁隆	H30. 4. 1～	〃
教育研修研究室長	土橋 卓也	H23. 4. 1～H25.12.31	臨床教育部長
	末松 栄一	H26. 1. 1～R 2. 3.31	〃
	山崎 宏司	R 2. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	富永 光裕	R 3. 4. 1～R 7. 3.31	〃
副室長	石原 尚美	H23. 4. 1～H24. 3.31	教育看護師長
	山崎 弘子	H24. 4. 1～H27. 3.31	〃
	山田 展代	H28. 4. 1～H29. 3.31	〃
	長田 祐子	H29. 4. 1～H31. 3.31	〃

	松木 未応	H31. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	中村千夏子	R 3. 4. 1～R 7. 3.31	〃
医療情報管理研究室長	原田 直彦	H23. 4. 1～R 6. 3.31	光学診療部長
	若田 好史	R 6. 4. 1～R 6. 6.30	医療情報システム管理部長
	福泉公仁隆	R 6. 7. 1～	医療管理企画運営部長
副室長	占部 和敬	H23. 4. 1～R 7. 3.31	皮膚科科長
臨床研究推進部長	矢坂 正弘	H23. 4. 1～R 5. 3.31	脳血管・神経内科科長
	杉森 宏	R 5. 4. 1～	〃
組織保存移植研究室長	岡村 精一	H23. 4. 1～H28. 3.31	血液内科科長
	岩崎 浩己	H28. 4. 1～H30. 4.30	〃
	山崎 聡	H30. 5. 1～R 3. 3.31	血液内科医長
	福士 純一	R 3. 4. 1～	整形外科・リウマチ科科長
副室長	宮原 寿明	H23. 4. 1～H26. 3.31	リウマチ膠原病センター部長
	江崎 幸雄	H26. 4. 1～H29.10.30	整形外科医長
	嘉村 聡志	H30. 4. 1～H31. 3.31	整形外科医師
	福士 純一	H31. 4. 1～R 3. 3.31	整形外科・リウマチ科科長
	高瀬 謙	R 3. 4. 1～	血液内科科長
病態生理研究室長	中村 俊博	H23. 4. 1～H30. 3.31	循環器センター部長
	村里 嘉信	H30. 4. 1～	循環器センター副部長
副室長	一木 昌郎	H23. 4. 1～R 1. 7.31	呼吸器内科科長
	岡元 昌樹	R 1. 8. 1～	呼吸器内科科長
生化学免疫病理研究室長	末松 栄一	H23. 4. 1～H25.12.31	膠原病内科科長
	山本 政弘	H26. 1. 1～H27. 7.31	HIV総合治療センター部長
	河内 茂人	H27. 8. 1～R 4. 6. 3	遺伝子検査センター長
	宮村 知也	R 6. 4. 1～R 7. 3.31	膠原病内科科長
副室長	山本 政弘	H23. 4. 1～H25.12.31	HIV総合治療センター部長
	富永 光裕	H26. 1. 1～R 7. 3.31	高血圧内科科長
	宮村 知也	H28.12. 1～R 6. 3.31	膠原病内科科長
動態画像研究室室長	矢坂 正弘	H23. 4. 1～H25. 3.31	脳血管・神経内科科長
	黒岩 俊郎	H25. 4. 1～H29. 3.31	放射線科医長
	古谷 清美	H29. 4. 1～H31. 3.31	〃
	野口 智幸	H31. 4. 1～	放射線部長
副室長	安森弘太郎	H23. 4. 1～H25. 3.31	放射線部長
	桑城 貴弘	H25. 4. 1～	脳血管・神経内科医長
がん臨床研究部長	竹尾 貞徳	H23. 4. 1～H25. 5.15	呼吸器センター部長
	楠本 哲也	H25. 5.16～R 7. 3.31	消化管外科医長
化学療法研究室長	蓮尾 泰之	H23. 4. 1～R 3. 3.31	産婦人科医長
	田村 真吾	R 3. 4. 1～	腫瘍内科科長
副室長	内野 慶太	H23. 4. 1～H30. 3.31	外来総合治療センター部長
	下川 穂積	H30. 4. 1～R 3. 3.31	外来化学療法センター長
	田村 真吾	R 3. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	和田 幸之	R 4. 4. 1～R 6. 3.31	肝胆膵外科医長
	武岡 宏明	R 6. 4. 1～	呼吸器内科医長
臨床腫瘍病理室長	藤井 輝彦	H23. 4. 1～H24. 3.31	乳腺センター部長
	桃崎 征也	H24. 4. 1～	病理部長
副室長	桃崎 征也	H23. 4. 1～H24. 3.31	〃
	中川 志乃	H24. 4. 1～H29.12.31	乳腺センター長
	岩熊 伸高	H30. 1. 1～	乳腺センター長
	名本 路花	H30. 1. 1～	乳腺センター副部長
	藤原美奈子	H31. 4. 1～	病理部医長

放射線治療開発室長	松村 泰成	H23. 4. 1～H31. 3.31	放射線科医長
	大賀 才路	H30. 4. 1～	放射線科医長
副室長	坂本 直孝	H23. 4. 1～R 5. 3.31	泌尿器科科長
	小川 伸二	R 5. 4. 1～	婦人科科長
トランスレーショナル研究部長	富田 幸裕	H23. 4. 1～H30. 6. 4	循環器センター副部長
先端医療技術応用室長	小野原俊博	H23. 4. 1～R 7. 3.31	血管外科科長
副室長	高見 裕子	H23. 4. 1～R 4. 4. 1	肝胆膵外科科長
	瓜生 英興	R 4. 4. 1～	耳鼻咽喉科・気管食道科長
システム疾患生命科学推進室長	佐藤 真司	H23. 4. 1～H27. 7.31	循環器内科医長
	中牟田 誠	H27. 8. 1～R 6. 3.31	消化器センター部長
	國府島庸之	R 6. 4. 1～	〃
副室長	小河 淳	H23. 4. 1～R 2. 3.31	代謝内分泌センター部長
	渡邊 哲博	R 2. 4. 1～	代謝内科科長
医療システムイノベーション室長	詠田 眞治	H23. 4. 1～H28. 3.31	脳血管センター部長
	甲斐 哲也	H28. 4. 1～R 6. 3.31	麻酔部長
	溝口 昌弘	R 6. 4. 1～	脳神経外科科長
副室長	瀬戸口秀一	H23. 4. 1～H26. 3.31	〃
	甲斐 哲也	H26. 4. 1～H28. 3.31	〃
	津本 智幸	H26. 4. 1～R 1. 9.30	脳血管内治療科科長
	中溝 玲	H28. 4. 1～R 4. 3.31	脳神経外科科長
	溝口 昌弘	R 4. 4. 1～R 6. 3.31	〃
	徳永 聡	R 1.10. 1～	脳血管内治療科科長
臨床研究センター事務局 担当	村上 知子	H22.10. 1～H27. 3.31	
	延命吉世子	H27. 4. 1～R 3.10.30	
	山下 リエ	R 4. 4. 1～R 4. 6.23	
	中島 美子	R 5. 8. 1～	

臨床試験支援センター			
臨床試験支援センター長	岡田 靖	H25. 4. 1～H30. 3.31	臨床研究センター長
	岩崎 浩己	H30. 5. 1～R 4. 3.31	〃
	高見 裕子	R 4. 6. 1～R 6.12.31	〃
	甲斐 哲也	R 7. 3. 1～	〃
副センター長	佐藤 栄梨	H25. 4. 1～R 3. 3.31	CRC,治験主任薬剤師
	大丸 資子	R 3. 4. 1～	〃
副センター長	麻生嶋和子	H25. 4. 1～	CRC,副看護師長
事務局長	西野 隆	H25. 4. 1～H31. 3.31	薬剤部長
	高島 伸也	H31. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	橋本 雅司	R 3. 4. 1～	〃
副事務局長	山脇 一浩	H25. 4. 1～H29. 3.31	副薬剤部長
	福石 和久	H29. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	花田 聖典	R 3. 4. 1～R 5. 3.31	〃
	藤瀬 陽子	R 5. 4. 1～	〃
事務局長補佐	江崎 章子	H25. 4. 1～H27. 3.31	副看護部長
	赤星 誠美	H27. 4. 1～H28. 3.31	〃
	中村 京子	H28. 4. 1～H29. 3.31	〃
	白石 早苗	H29. 4. 1～H30. 3.31	〃
	石山いずみ	H30. 4. 1～H31. 3.31	〃
	有馬 京子	H31. 4. 1～R 2. 3.31	〃
	中元めぐみ	R 2. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	西 美穂子	R 3. 4. 1～R 6. 3.31	〃

	筒井三記子	R 6. 4. 1～	〃
治験関連検査窓口	西浦 明彦	H25. 4. 1～H31. 3.31	臨床検査技師長
	松下 義照	H31. 4. 1～R 6. 3.31	〃
	染矢 賢俊	R 6. 4. 1～	〃
	折田 信一	H26. 4. 1～H31. 3.31	放射線技師長
	田畑 信幸	H31. 4. 1～R 4. 3.31	〃
	大浦 弘樹	R 4. 4. 1～R 7. 3.31	〃
治験事務	松澤 圭祐	H25. 4. 1～H26.12.31	業務班長
	坂口 勝樹	H27. 1. 1～H28. 9.30	〃
	田中 昭人	H28.10. 1～H30. 3.31	〃
	松下 賢	H30. 4. 1～R 3. 3.31	〃
	向井 優	R 3. 4. 1～R 6. 3.31	〃
	福崎 勇治	R 6. 4. 1～	〃

平成23年3月31日まで

研究室			
臨床研究企画運営部長	村中 光	H20. 4. 1～H22. 6.30	臨床研究センター
	岡田 靖	H22. 7. 1～	
研究企画開発研究室長	中牟田 誠	H20. 4. 1～	消化器内科医長
副室長	江内田 寛	H20. 4. 1～H23. 3.31	眼科医長
情報解析研究室長	宮原 寿明	H20. 4. 1～H23. 3.31	整形・リウマチ科医長
副室長	田中 広美	H20. 4. 1～H22. 3.31	企画運営室長
	吉弘 和明	H22. 4. 1～	経営企画室長
治験管理室長	村中 光	H15. 4. 1～H22. 6.30	臨床研究センター
	岡田 靖	H22. 7. 1～	
副室長	白木 善孝	H19. 4. 1～H21. 3.31	薬剤科長
	石橋 誠	H21. 4. 1～H24. 3.31	
医療管理企画運営部長	井口 厚司	H20. 4. 1～H22. 6.30	泌尿器科医長
	才津 秀樹	H22. 7. 1～H23. 3.31	肝臓外科医長
肝臓外科医長	土橋 卓也	H20. 4. 1～	高血圧内科医長
副室長	石原 尚美	H20. 4. 1～H24. 3.31	臨床教育師長
医療情報管理研究室長	矢加部 茂	H20. 4. 1～H23. 3.31	小児外科医長
副室長	蓮尾 泰之	H20. 4. 1～H23. 3.31	産婦人科医長
広報企画運営研究室長	原田 直彦	H20. 4. 1～H23. 3.31	消化器内科医長
副室長	前田 宏樹	H20. 4. 1～H23. 3.31	放射線部技師
臨床研究推進部長	森田 茂樹	H20. 4. 1～H20. 9.14	心臓血管外科医長
	矢坂 正弘	H20. 9.15～	脳血管・神経内科科長
組織保存・移植研究室 室長	隅田 幸男	H 6. 7. 1～H10. 3.31	心臓血管外科医長
	岡村 精一	H10. 4. 1～	血液内科医長
副室長	竹下 盛重	H13. 4. 1～H16. 3.31	臨床検査科科長（病理）
	中島 収	H16. 4. 1～H18. 3.31	臨床検査科科長（病理）
	上杉 憲子	H18. 4. 1～H21. 1.15	臨床検査科科長（病理）
	桃崎 征也	H21. 1.16～H23. 3.31	病理
病態生理研究室 室長	酒井喜久雄	H 6. 7. 1～H14. 3.31	循環器科医長
	竹尾 貞徳	H14. 4. 1～H20. 3.31	呼吸器外科医長
	中村 俊博	H20. 4. 1～	循環器科医長
副室長	竹尾 貞徳	H13. 4. 1～H16. 3.31	呼吸器外科医長
	中村 俊博	H14. 4. 1～H20. 3.31	循環器センター部長
	一木 昌郎	H20. 4. 1～	呼吸器科医長
生化学免疫病理 室長	酒井 好古	H 6. 7. 1～H11. 3.31	内科医長
	末松 栄一	H11. 4. 1～	膠原病内科医長
副室長	江崎 幸雄	H13. 4. 1～H18. 3.31	リウマチ・整形外科医師
	佐藤 真司	H18. 4. 1～H23. 3.31	循環器科医長
動態画像研究室 室長	村中 光	H 6. 7. 1～H14. 3.31	放射線科医長
	才津 秀樹	H14. 4. 1～H18. 3.31	外科（肝臓外科）医長
	矢坂 正弘	H18. 4. 1～	脳血管・神経内科科長
副室長	中島 淳博	H13. 4. 1～H15. 3.31	心臓血管外科医師
	豊田 一則	H15. 4. 1～H17. 3.31	脳血管内科医長
	矢坂 正弘	H17. 4. 1～H18. 3.31	脳血管内科医長
	安森弘太郎	H18. 4. 1～	放射線科医長
医用工学研究室 室長	川内 義人	H 6. 7. 1～H16. 3.31	心臓血管外科医長
	富永 隆治	H16. 4. 1～H17. 5.31	心臓血管外科医長
	井上 亨	H17. 6. 1～H20. 3.31	脳外科医長

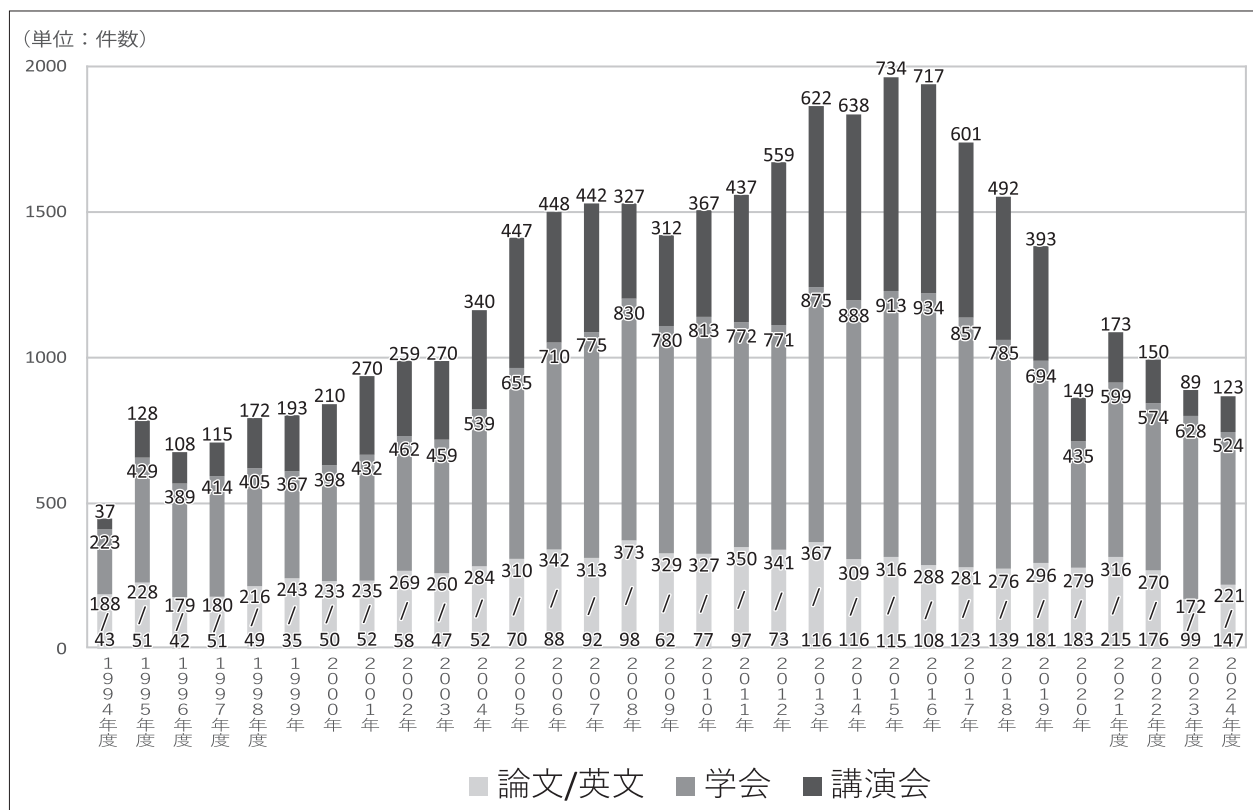
	詠田 眞治	H20. 4. 1～H23. 3.31	脳外科医長
副室長	井上 亨	H13. 4. 1～H17. 5.31	脳外科医長
	森田 茂樹	H17. 6. 1～H18. 3.31	心臓外科医長
	徳永 滋彦	H18. 4. 1～H18.10.31	心臓外科医師
	川良 武美	H18.11. 1～H20. 3.31	心臓外科医長
	田中 宏幸	H20. 4. 1～H22. 3.31	麻酔科医長
	瀬戸口秀一	H22. 4. 1～H23. 3.31	麻酔部長
副部長	今山 修平	H15. 4. 1～H18. 3.31	皮膚科医長
	森田 茂樹	H18. 4. 1～H20. 9.15	心臓外科医長
臨床研究部事務局 担当	原 てるみ	H 7. 7.18～H22. 9.30	

治験管理室			
治験管理室 室長	小柳 左門	H11. 4. 1～H13. 3.31	臨床研究部長
	岡田 靖	H13. 4. 1～H15. 3.31	
	村中 光	H15. 4. 1～H22. 6.30	
	岡田 靖	H22. 7. 1～H23. 3.31	臨床研究センター長
臨床試験支援室 室長	岡田 靖	H24. 4. 1～	
治験事務局長	西山 禮祐	H11. 4. 1～H13. 3.31	薬剤科長
	村上 克幸	H13. 4. 1～H15. 3.31	
	松永 憲治	H15. 4. 1～H19. 3.31	
	白木 善孝	H19. 4. 1～H21. 3.31	
	石橋 誠	H21. 4. 1～H23. 3.31	
	西野 隆	H24. 4. 1～	
治験事務局補佐	西山 博幸	H11. 4. 1～H12. 3.31	副薬剤科長
	石橋 誠	H12. 4. 1～H15. 3.31	
	岩松 俊紀	H15. 4. 1～H18. 3.31	
	上村 宅司	H18. 4. 1～H20. 3.31	
	山道 研	H20. 4. 1～H23. 3.31	
	三角 紳博	H23. 4. 1～	
臨床試験支援室副室長	山脇 一浩	H24. 4. 1～	
治験事務局補佐	山口美穂子	H12. 4. 1～H14. 3.31	副看護部長
	酒匂 晴美	H14. 4. 1～H17. 3.31	
	梶原 佳枝	H17. 4. 1～H18. 3.31	
	佐伯 悦子	H18. 4. 1～H21. 3.31	
	川口 眞理	H21. 4. 1～H22. 3.31	
	児玉由美子	H22. 4. 1～H24. 3.31	
	木佐貫涼子	H24. 4. 1～H25. 3.31	
治験コーディネーター	山道 研	H13.10. ～H14. 8.31	治験主任薬剤師
	鬼山 幸生	H14. 9. 1～H16. 3.31	
	平木 洋一	H16. 4. 1～H19. 3.31	
	井上 泰子	H17. 4. 1～H18. 3.31	
	田中 星吾	H18. 4. 1～H19. 3.31	
	豊留真理子	H19. 4. 1～H21. 3.31	
	寺山 恵子	H19. 4. 1～H22. 3.31	
	糸永 智美	H21. 4. 1～H23. 3.31	
	矢川 裕子	H22. 4. 1～H24. 3.31	
	佐藤 栄梨	H24. 4. 1～	
	田島 実弥	H23. 4. 1～	
治験コーディネーター	早川 香織	H11. 4. 1～H21. 5.31	治験薬剤師

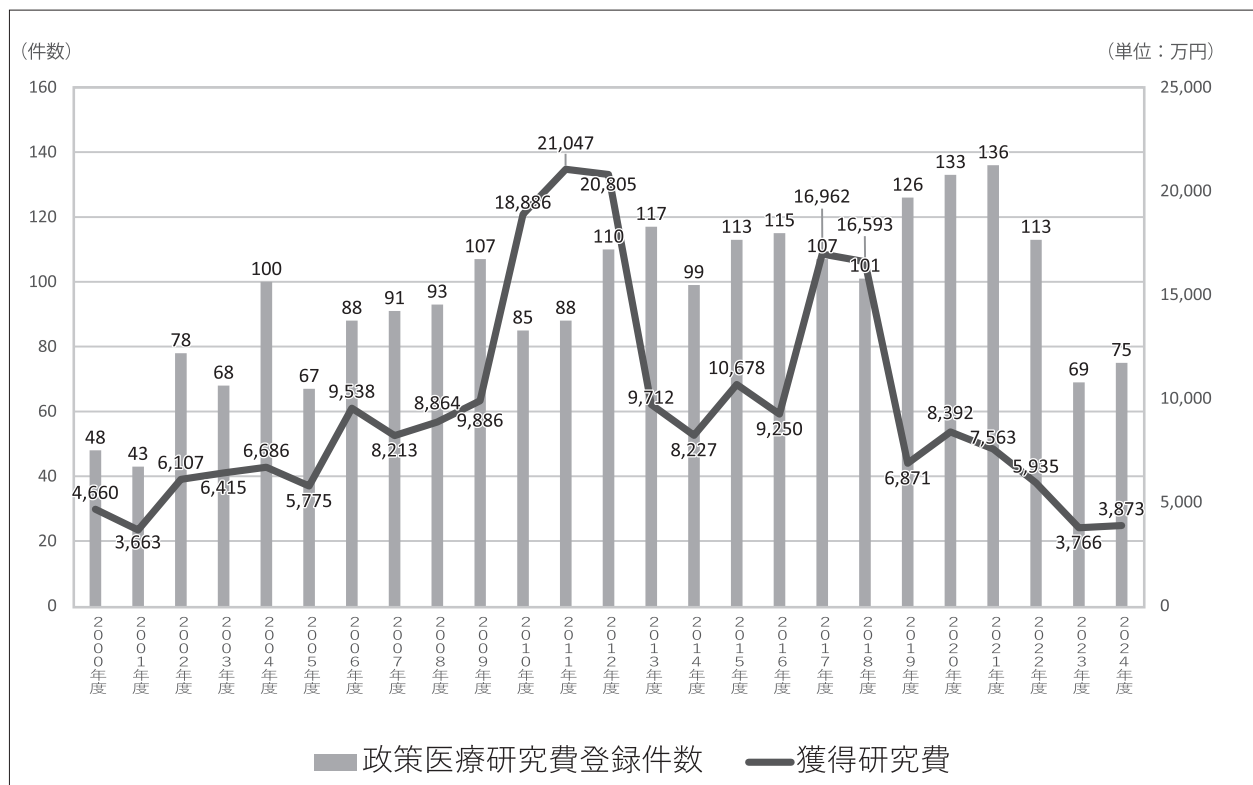
	永山 智子	H11. 4. 1～H21. 5.31	
	濱ノ井直美	H21. 9. 1～	臨床検査技師
	谷岡 徹	H11. 4. 1～H13. 6.15	治験看護師
	溝田 忍	H13. 6. 1～H18. 3.31	
	河野 和子	H15. 5. 1～H18. 3.31	
	麻生嶋和子	H17. 4. 1～	
	永翁 尚美	H17. 4. 1～H21. 2.28 H23. 4. 1～	治験看護師
	岩川ひとみ	H17. 3. 1～H20. 6.30 H22. 4. 1～	
	萩田 麻代	H20. 7. 1～H22. 3.31	
	中元麻衣子	H21. 3. 1～	

III. 臨床研究センター実績年次推移

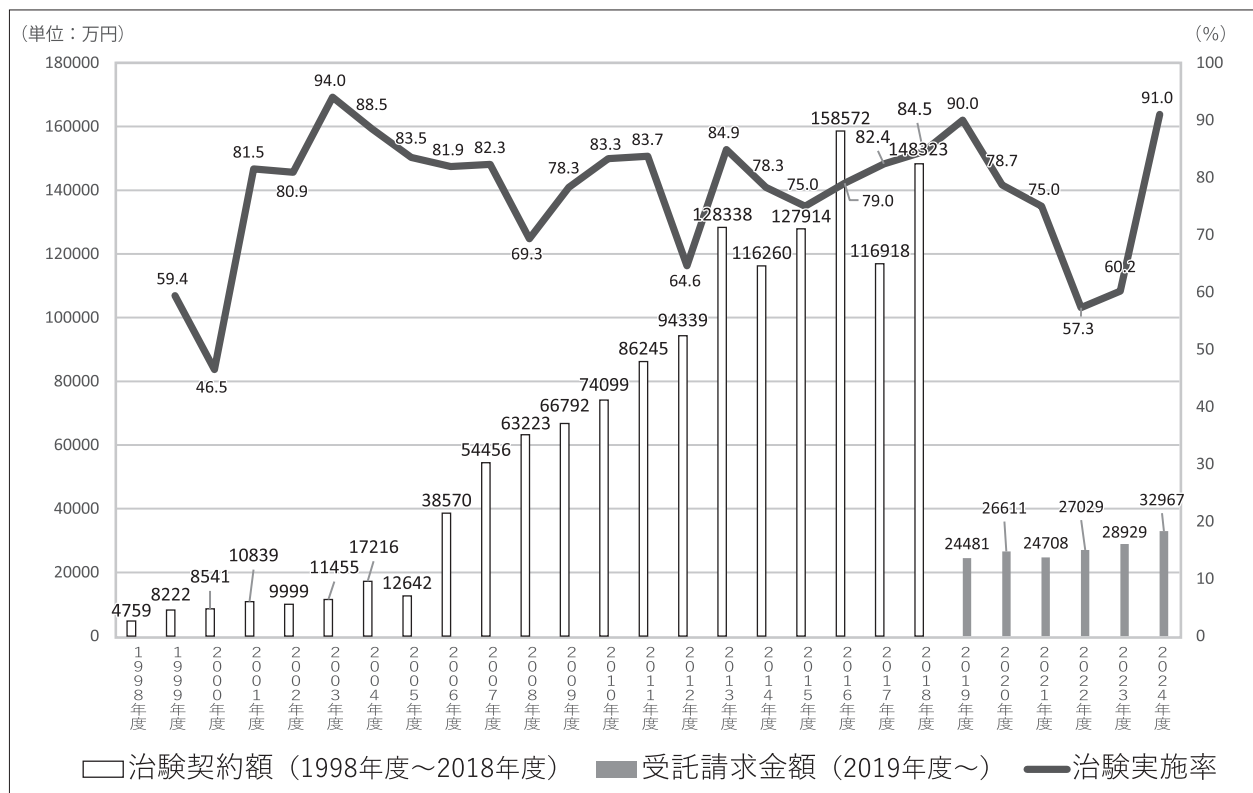
論文、学会発表等



獲得研究費

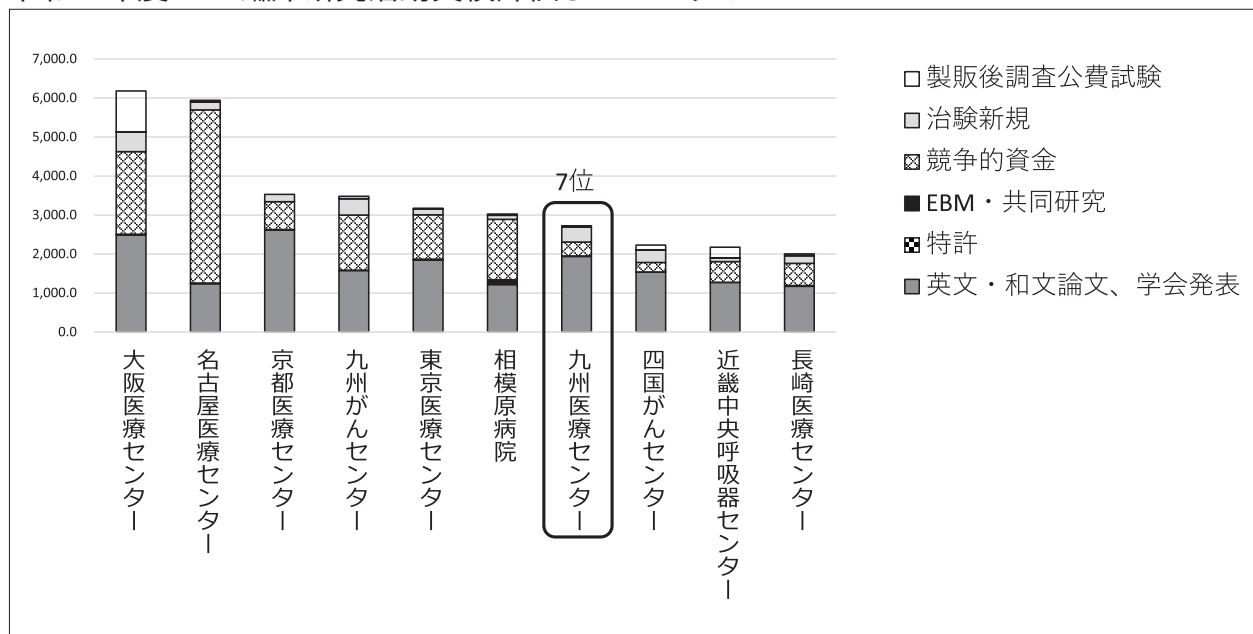


契約金額、治験実施率



令和6年度NHO臨床研究活動実績評価ポイントグラフ

(上位10施設)



大学教授就任者一覧

(直接異動者のみ掲載)

氏 名	所 属	大 学	年 月
藤井 清孝	脳神経外科	北里大学脳神経外科学教授	平成7年6月就任
樋口 勝規	歯科口腔外科	九州大学歯学部附属病院口腔総合診療科教授	平成14年5月就任
竹下 盛重	臨床検査科病理	福岡大学医学部病理学教授	平成16年4月就任
富永 隆治	心臓血管外科	九州大学大学院循環器外科学教授	平成17年6月就任
井上 亨	脳神経外科	福岡大学脳神経外科学教授	平成20年4月就任
森田 茂樹	心臓血管外科	佐賀大学心臓血管外科学教授	平成20年10月就任
田山 栄基	心臓血管外科	久留米大学外科学心臓血管外科教授	令和2年6月就任
古川浩二郎	心臓血管外科	琉球大学医学部胸部心臓血管外科教授	令和2年9月就任
中尾新太郎	眼科	順天堂大学眼科教授	令和4年12月就任
今坂 堅一	心臓血管外科	福島県立医大心臓血管外科教授	令和6年7月就任
若田 好史	小児科	徳島大学病院 病院情報センター教授	令和6年7月就任

院外表彰者等一覧

(原著・論文表彰・国際学会表彰・最高賞・学位取得・特許申請等掲載)

年月	表彰者名	所 属	表 彰 名	受 賞 内 容
2024年5月	津田 桂、 大野 彰久、 脇岡 真之、 加来 豊馬 (消化器内科)、 桃崎 征也 (病理診断科)、 龍 知記、 高見 裕子 (肝胆脾外科)、 原田 直彦、 中牟田 誠、 河邊 顕 (消化器内科)		日本消化器病学会雑誌特別賞	主膵管狭窄を呈し膵尾部癌との鑑別が困難であったクリプトコッカスによる肉芽腫性病変の一例
2024年8月	久原 洋平	脳血管・神経内科	日本内科学会九州支部 初期研修医奨励賞	アミロイドPET検査によりアルツハイマー型認知機能低下の併存を疑った1例
	溝口 忠孝		日本内科学会九州支部 指導医賞	
2024年8月	甲斐 愛美	血液内科	日本内科学会九州支部 初期研修医奨励賞	TP53欠失を伴う未治療慢性リンパ性白血病に対して、Acalabrutinib+Obinutuzumabで加療した1例
	高瀬 謙		日本内科学会九州支部 指導医賞	
2024年10月	原田 卓哉	血液内科	第85回日本血液学会学術集会 奨励賞	Blockade of CXCL13 is promising treatment of tocilizumab-refractory iMCD
2024年10月	古賀 翔 (言語聴覚士)	リハビリテーション部	第57回塩田賞	急性期脳卒中患者の自宅退院支援に向けたFIM評価の活用
2024年10月	松田 寛子	臨床検査部	第78回国立病院総合医学会 ベスト口演賞	僧帽弁-大動脈弁間線維性組織 (Mitral-Aortic Intervalvular fibrosa;MAIVF) に仮性瘤を認めた感染性心内膜炎の一症例
2024年10月	利光 彩加	臨床検査部	第78回国立病院総合医学会 ベストポスター賞	夜間サブカルチャーの検討
2024年10月	山重 佳	リハビリテーション部	第78回国立病院総合医学会 ベストポスター賞	当院における急性期脳損傷患者自動車運転評価の現状と課題
2024年10月	折尾 帆波	事務部	第78回国立病院総合医学会 ベストポスター賞	進化する病院と共に創る未来～進化を遂げたコンプライートガイド～
2024年10月	島本 惟	放射線部	第78回国立病院総合医学会 ベストポスター賞	リング型放射線治療装置「Halcyon」の導入と臨床使用について
2024年11月	甲斐 愛美	消化器内科 (消化管)	第124回日本消化器病学会九州支部例会 研修医奨励賞	セフェムアレルギー歴のある患者にヘリコバクター・ピロリ除菌治療を行い病変の消失を認めた胃DLBCLの一例
	吉村 大輔		第124回日本消化器病学会九州支部例会 指導医賞	
2024年10月	瀧川 彩	腫瘍内科	第62回日本癌治療学会学術集会 Young oncologist award	高齢者切除不能膵癌に対するNAL-IRI/FU/LV療法の効果と安全性の最終解析
2024年11月	中嶋恵理子	免疫感染症内科	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 優秀演題賞	血友病Aの周術期管理にエファネソクトコグアルファを用いた4症例

2024年11月	大里 文誉	免疫感染症内科 MSW	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 優秀演題賞	HIV陽性者を初めて受け入れた施設で対応 苦慮された事例 一患者さんを支える施設を拠点病院がどう 支えるか、地域支援者と拠点病院の関係性 を再確認する
2025年 1 月	河東 美菜	呼吸器内科	第17回福岡県医学会総会 優秀演題賞	軽症の間質性肺疾患のプライマリーケアに おける患者質問票の重要性
2025年 2 月	衣笠 哲矢	乳腺外科	第61回九州外科学会・第61回九州小児 外科学会・第60回九州内分泌外科学会 研修医セッション 優秀演題賞	術前化学療法中にPegfilgrastim投与後大 動脈炎を発症した浸潤性乳管癌の1例
2025年 3 月	筒井 佑紀	薬剤部	第14回 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 優秀演題賞	化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステ ロイドが免疫関連有害事象に与える影響
2025年 3 月	古賀 翔	リハビリテー ション部 (言語聴覚士)	国際医療福祉大学大学院医療福祉学研 究科言語聴覚分野 修士 学位取得	急性期病院入院患者における入院期間中の 舌とオトガイ舌骨筋の経時的形態変化の検 証

IV. 臨床研究センター実績

研究室長年次報告

臨床研究推進部（臨床研究推進部長：杉森 宏）

1) 臨床研究推進部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

臨床研究推進部は「組織・保存移植研究室」、「病態生理研究室」、「生化学免疫病理研究室」、および「動態画像研究室」の4室で構成され、九州医療センターを特徴付ける多部門の協力によるチーム医療を反映してそれぞれの研究室に各診療科やメディカルスタッフ部門が属し、組織横断的な研究が行われている。「組織・保存移植研究室」では、造血器疾患根治のための造血幹細胞移植に関する研究を行っている。「病態生理研究室」では生理機能の解析と研究が執り行われ、疾病の病態解明をテーマとしている。「生化学免疫病理研究室」では、免疫機能を解明するとともに、膠原病の新たな診断法の確立や新しい治療法の開発を行っている。「動態画像研究室」では、画像手段による機能的診断法の開発とその臨床応用に取り組むとともに、多くの診療科やメディカルスタッフ部門が研究成果をオンサイトやオンライン会議システムで発表する際のパーソナルコンピュータを用いた発表ファイルやポスター作成が行われている。

2) 代表的な臨床研究について（臨床研究部の特徴）

「組織・保存移植研究室」では、日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会、日本細胞移植研究会、福岡血液骨髄移植グループの疾患登録事業、プロトコル治療に参加し、積極的な症例登録が行われている。とくに日本細胞移植研究会の多施設共同研究として、「急性前骨髄球性白血病に対しATRAとATOを併用した寛解導入および地固め療法」に関する研究が引き続き進んでいる。リウマチ性疾患に関する研究として、手術検体を用いた関節破壊に関わる分子病理学的検討や、リウマチ関節外科手術の成績向上に向けた包括的な予後調査や、関節外科手術および脊椎外科手術における成績不良因子の解析と機能的寛解を目指した手術手技の改良や、九州大学を中心とした関節リウマチの大規模コホート研究（FRANKレジストリー）も引き続き進行中である。

「病態生理研究室」では心血管・呼吸器関連の各種疾患および心肺循環動態の臨床研究を行っている。心血管領域からは複雑冠動脈分岐病変に対する治療介入の際にスワンネック上に整形したガイドワイヤーを用いるリバースワイヤーテクニックについてその不成功に関わる予測因子を検討した研究が発表された。呼吸器領域ではクリティカルパスのデータを用いて早期繊維化性間質性肺炎の予後因子や治療成績を解析した報告が目を惹いた。「動態画像研究室」からはNHO研究課題として4年にわたる軽症虚血性脳卒中に対するrt-PA静注療法の実態調査と有効性および安全性に関する研究の症例登録が終わり、軽症であっても安全に施行しうることが示された。論文化が待たれる。また昨年採択された脳卒中に対する瞳孔反応と神経学的予後を検討する研究も着実に症例を蓄積させている。これらとは別に非心原性脳梗塞に対する新規抗凝固薬（第11因子阻害薬）AsundexianとMilvexianの二つの治験に参加して症例登録に貢献している。前者については次年度（令和7年度）中に登録終了予定であり、結果が待たれる。

3) 今後の方向性と活動目標など

毎年のことではあるが、九州医療センターは多くの初期研修医や後期研修医（レジデント）が勤務を始める場であり、そして施設の性格上、多くの救急患者への診療に積極的に携わる施設である。ともすれば日々の臨牀に忙殺されてしまい、最新の成績を検索したり、データを客観的に見たりといった科学的な姿勢は失われて受け身になりがちである。そんななかでも当院では経験が浅い

医師を対象に倫理規定や適切な研究方法や統計手法を理解してもらう機会として、eAPRIN受講、臨床研究デザイン研修会への参加を促す。また国立病院機構内の分野ごとに行われている共同研究へ積極的に参加することと、前向き研究や介入研究など質の高い共同研究への取り組みを積極的に支援する。従来通り、コメディカルからの研究活動を一層活発化させるため、チーム医療実践ユニットごとの議論を促し、それにより研究を促し、成果を国内外の学会で発表し、論文化することを奨励する。加えて英語論文の書き方の支援や、英語論文の添削依頼への支援を図ることで質の高い情報を、世界へ向けて発信できる拠点作りをさらに進めたい。

組織保存移植研究室（室長：福士 純一、副室長：高瀬 謙）

1）臨床研究部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

リウマチ性疾患に対しては、リウマチ科・膠原病内科との協力体制のもと、その病因・病態に関する研究を行っている。スタッフはそれぞれのテーマで科研費を取得し、リウマチ性疾患の病因・病態・診断・治療効果の判定など、臨床に直結した研究を目指している。

造血器悪性疾患に対しては、治癒を目指した治療として造血幹細胞移植を積極的に行っている。診断・治療の面で感染症内科、臨床検査部、病理部、薬剤部に幅広く協力いただいております。血液・病理検査部、薬剤部とは定期カンファレンスを行っている。新規の移植方法及び薬剤、細胞治療を積極的に取り入れており、令和6年度は24件の造血幹細胞移植を実施した。新たに、CAR-T療法を開始し、8症例に対して当院で輸注を行った。臨床研究を推進するべく他施設と協力した取り組みを継続している。

2）代表的な臨床研究について

リウマチ患者における、関節外科手術および脊椎外科手術の成績不良因子の解析を行っている。リウマチ頸椎手術においては、進行した変形に加えて術前の低アルブミン値が低いことが生命予後不良と関連することを報告した（Kuramoto, Sakurabaら、Arthritis Research and Therapy, 2025）。また、九州大学を中心とした関節リウマチの大規模コホート研究（FRANKレジストリー）に参加し、4000名規模のデータ解析を行っている。

日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会、日本細胞移植研究会、福岡血液骨髓移植グループの疾患登録事業、プロトコール治療に参加し、積極的に症例登録を行っている。当研究室主催の臨床研究としては、日本細胞移植研究会の多施設共同研究として、「急性前骨髄球性白血病に対しATRAとATOを併用した寛解導入および地固め療法」が進行中で、順調に症例登録が進んでいる。

3）今後の方向性と令和7年度の活動目標など

リウマチ性疾患については、関節リウマチの手術症例の臨床成績を解析し、さらなる成績の向上を目指していく。同時に、科研費に採択されている5課題（コラーゲン代謝と骨・関節破壊の関連（福士）、自己抗体と関節破壊の関連（櫻庭）、ペリオスチンと関節リウマチの関連（原）、DKK1と難治性関節リウマチ（木村）、IRF8と関節リウマチ（田丸）について、それぞれ研究を推進していく。

造血器悪性疾患については、令和6年度は疾患データベースを拡充し、現状にマッチしたデータを迅速に抽出できる体制強化を継続する。新たに遺伝子パネル検査が保険適応となり、ゲノムデータの管理も拡充を目指す。日本血液学会、日本造血・免疫細胞療法学会、NHOネットワーク、福岡血液骨髓グループとの多施設共同研究に積極的に参加し、造血器悪性腫瘍に対する適切な治療を発信できるよう、研究を進めていく。

■虚血性心疾患

経皮的冠動脈形成術（PCI）に関連した臨床研究は、冠動脈分岐部病変、左冠動脈主幹部病変に対する最適な治療法を確立すべく、国内、海外との共同研究を積極的に展開している。最適な冠動脈分岐部治療法としてのProximal optimization technique（POT）、側枝拡張法、光干渉断層撮影（OCT）の3-Dガイドによる冠動脈分岐部治療、Computer simulationによる血流予備能が主な研究テーマである。冠動脈疾患の危険因子である糖尿病、高脂血症での冠動脈病変の解析、早期発見・最適治療の確立についても、力を注いでいる。

● 医師主導臨床試験

1. 3D OCTシステムを用いた冠動脈分岐部病変に対するPCIの前向き観察研究（Japanese 3D-OCT Bifurcation Registry、研究運営委員）：全国多施設研究で、2021年、621例登録完了（当院52例）し、長期予後観察データ（3年）を収集終了し、解析中。

2. OCTシステムを用いた冠動脈分岐部病変PCIの前向き観察研究（3DOCT registry）の側枝形態観察、側枝閉塞リスクサブ解析を行い、論文発表。

Akase H, Okamura T, **Murasato Y** et al. Risk Assessment of Side Branch Compromise After Coronary Bifurcation Stenting - A Substudy of the 3D-OCT Bifurcation Registry. Circ J. 2024 May 24 ; 88 (6) :959-969.

3. 分岐部病変に対するステント留置後再狭窄に対するずり応力の関与に関する研究（FLOW-ISR study、主任研究責任者）：国際研究にて、症例登録、追跡調査が終了し、解析。人工知能に基づく冠動脈分岐部に対する治療シュミレーションモデルに関する論文発表。

Wu W, **Murasato Y**, Chatzizisis Y et al. Experimental validation and clinical feasibility of 3D reconstruction of coronary artery bifurcation stents using intravascular ultrasound. PLoS One. 2024 Apr 16 ; 19 (4) :e0300098.

4. 本邦におけるPCI症例登録研究（J-PCIレジストリー）とその予後研究（日本心血管カテーテル治療学会主導試験）：2018年度より、登録開始し、継続。

5. 虚血性心臓病の血行再建戦略-左主幹部病変（RELIANCE-LMT）：左冠動脈主幹部病変に対して血行再建治療を施行した冠動脈インターベンションとバイパス手術を全国16施設から後ろ向きにレジストリー登録（計3,714例）し、その成績を解析、2023年開始。当院より、224例登録。日本での左冠動脈主幹部病変の治療は、ガイドラインに準拠してPCI、CABGの選択がされており、両者の間に10年間全死亡率に差はなかった。

第89回日本循環器学会学術集会 Late breaking trialに選出され発表。

Yamawaki M, Fujino Y, **Murasato Y** et al.

Long term outcome of bypass grafting versus percutaneous coronary intervention for left main coronary artery disease : First report from the RELIANCE-LMT registry.

6. 冠動脈疾患に対する薬剤塗布バルーン（DCB）の安全性及び有効性を確認するリアルワールド レジストリー（ALLIANCE）：新規冠動脈病変でのDCBの安全性及び有効性を確認する全国60施設での前向きレジストリー、2023年開始。当院より、33例登録。

7. 複雑冠動脈分岐部病変におけるReverse wire technique不成功の要因に関する研究：当院での側枝へのガイドワイヤー挿入に複雑手技を要した27例をretrospectIVeに検討し、Reverse wire technique不成功の要因を高度石灰化、屈曲、高度分岐角と明らかにした。

Muraasto Y, Meno Y, Omura S et al. Predictors of failure in the reverse wire

technique for complex coronary bifurcation lesions. AsiaIntervention. 2025 Jul 30 ; 11 (2) :e110-e118.

8. 冠動脈分岐部病変における血管分岐法則に合致した血行再建の評価：血管造影と血管内超音波での検討

当院が参加した4つの多施設冠動脈分岐部研究を統合解析し、血管内超音波で評価した血管分岐法則への合致が晚期血管内腔損失を少なくすることを報告。

Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M et al. Assessment of fractal ratio of vessel diameters in coronary bifurcation lesions by angiography and intravascular ultrasound. Cardiovasc Interv Ther. 2025 Jan ; 40 (1) :79-88.

● 臨床治験

1. 発症後間もない急性冠症候群患者を対象に経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、event-driven試験

■不整脈疾患：

ーデバイス治療ー

心臓ペースメーカ治療において、刺激伝導系ペーシングが注目されている。特に、従来の右室リードを、心室中隔のより深くに留置することで左室心内膜に存在する左脚領域を捕捉するという、「左脚領域ペーシング」がその主な方法の一つであり、心室同期不全を解消し心機能を改善させるとして数多くの研究がなされ、世界的に広く行われるようになった。2025年時点で本邦ではoff-labelの手技であり、当科では高難度新規医療技術等審査委員会に申請した上で手技を行ってきたが、これまで合併症なく、かつ高い成功率で留置できている。今後、学会発表・臨床研究に繋げていけるよう計画を進めている。

ーカテーテルアブレーションー

心房細動に対するカテーテルアブレーションは、薬物治療に比べ患者の自覚症状改善をもたらすQOLを向上させる効果がある。さらには脳梗塞や心不全などのハードエンドポイントも改善させることが証明され、心不全を合併する心房細動に対しては、日本循環器学会ガイドラインでもクラスIIaで推奨されている。一方で持続性心房細動に対する治療方針として、肺静脈隔離以外の治療法はエビデンスが確立されておらず、現在継続的に研究中である。

難治性の症例に対してカテーテルアブレーションを複数回行うことがあるが、過去3回のアブレーションを行った症例において、左房が石灰化し、Stiff LA syndromeによる心不全をきたした症例を2022年に世界で初めて報告した（Yakabe D, Fukuyama Y, Araki M, Nakamura T. Left atrium calcification after multiple catheter ablation procedures for atrial fibrillation. Circ J. 2021 ; 86:167.）。これを皮切りに症例を収集し、左房石灰化自体が術後遠隔期の心不全発症および心血管死亡と関連することを報告した（Yakabe D, Ohtani K, Fukuyama Y, Araki M, Higo T, Nakamura T, Tsutsui H. Prognostic Value of Left Atrial Calcification After Catheter Ablation for Atrial Fibrillation. JACC Clin Electrophysiol. 2023 ; 9:1108-17.）。この論文は、2023年の当院の臨床研究報告会でも高く評価され、最優秀論文賞を受賞した。しかし一方で左房石灰化やStiff LA syndromeの治療法や予防法は不明である。現時点では、複数回の治療を必要としない、低侵襲かつ確実な心房細動治療が必要と考えられ、今後も心房細動治療の最適化に関する研究を計画している。

不整脈は心不全と密接に関係しており、心不全チームとの共同研究が今後重要になってくる。心房機能は未だ未知の部分が多いが、心房瘢痕を基質に有する特殊な心房粗動の症例が、心房心筋症

および将来の心不全発症と関連するという研究を2024年に報告した (Long-term outcomes after catheter ablation for idiopathic atypical atrial flutter. Yakabe D, Ohtani K, Araki M, Inoue S, Nakamura T.)

- 医師主導臨床試験

1. 心房細動のカテーテル・アブレーションに関する登録調査 (J-AB Registry 2022)
2. 脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究 (STABLED study)
3. ICD、CRT-D、CRT-P植込症例の登録研究 (New J-CDTR Registry)
4. 洞不全症候群・心房細動の関連遺伝子単離と機能解析 (J-PRES3)
5. 我が国における着用型自動除細動器による治療実態の登録調査- Japan Wearable Cardioverter Defibrillator Registry (J-WCDR)
6. レセプトおよびDPCデータを用いた循環器疾患における医療の質の向上に資する研究 (J-ROAD)
7. リード抜去症例の実態調査 Japan Lead extraction registry (J-LEX)
8. 徐脈頻脈症候群に対するペースメーカーおよびカテーテルアブレーション治療に関する多施設前向きコホート研究 (EPIC-TBS)

- 臨床治験

心房細動を有する被験者を対象とした経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性をアピキサバンを対照に評価する第3相、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間、実薬対照試験

■2023年度 NHO研究

- NHOネットワーク研究

1. 慢性心不全患者の新しい再入院リスク評価法の確立—新規バイオマーカーと心不全再入院イベントの関連— (PREHOSPITAL-CHF)
2. 簡便な新規心血管イベント予知マーカーによる効率的なハイリスク患者抽出方法の確立 (EXCEED-J)
3. 心血管イベントを規定するバイオマーカー開発—血管新生関連因子と新規酸化LDL— (ANOX study)
4. 真の心房細動発症リスク同定のための新規バイオマーカー CA-125の検討 (CA125-AF)
5. がん化学療法関連心筋症の予測、早期発見、早期治療 ～心臓超音波検査speckle tracking法、タイチンtruncating変異の検出、尿中タイチンNフラグメント測定、血中心筋トロポニンI高感度測定の比較検討～ (R2-NHO (心脳) -04)
6. 冠動脈疾患疑い・既往患者を対象とした既存の2つのNHO多施設共同前向きコホート研究の臨床およびバイオマーカーデータを利活用して、人工知能 (AI) により、全死亡、原因別死亡、心脳血管腎アウトカム、大出血イベントを包括的に精密予測するモデルを確立する研究 (R6-EBM (心脳) -02)

- NHO EBM観察研究

1. 我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究 (主任研究責任者：村里嘉信)：国立病院機構19病院が参加し、810例の症例登録が終了。現在、3年後ま

でのフォローアップデータを収集中。1年後のフォローアップデータをまとめ、中間解析として論文化。

Murasato Y, Nakashima H, Sugino H et al.

Routine intracoronary imaging-guided left main coronary intervention. Sci Rep. 2025 Mar 19 ; 15 (1) : 9504.

2024 EuroPCR

2025 第3回日本心血管インターベンション治療学会総会 Late breaking trialとして発表

■ 呼吸器内科

当院では、肺癌領域、間質性肺疾患領域の診療体制が潤沢であり、診療患者数が多いことを反映し、同領域にて多くの企業治験、医師主導研究に参加、主導している。

今後の目標は、さらに臨床試験に参加し、エビデンスの構築に貢献すること、未解決のClinical evidenceを解決するための研究の発案、実施である。特に日本の研究の課題である介入研究の実施を目指す。

1) 肺癌関連研究

<多施設医師主導研究>

1. 高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する低用量カルボプラチンを用いた化学放射線療法とカルボプラチン＋アルブミン結合パクリタキセルを用いた化学放射線療法を比較するランダム化第Ⅲ相試験：JCOG1914, 依頼者：JCOG
2. 非小細胞肺癌に対するPD-1経路阻害薬の継続と休止に関するランダム化比較第Ⅲ相試験：JCOG1701, 依頼者：JCOG
3. 進展型小細胞肺癌に対する胸部放射線治療の追加を検討するランダム化第Ⅲ相試験：JCOG2002, 依頼者：JCOG
4. 画像上診断困難な胸膜播種を有する臨床病期ⅣA期非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験：JCOG2103, 依頼者：JCOG
5. 高齢者進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン＋エトポシド＋デュルバルマブ併用療法の第Ⅱ相試験：LOGIK2003, 依頼者 LOGIK
6. 未治療脳転移を有する進展型小細胞肺癌を対象としたプラチナ製剤＋エトポシド＋デュルバルマブ併用療法の第Ⅱ相試験：LOGIK2001, 依頼者 LOGIK←登録0で施設削除。
7. 中枢神経系への転移を有するEGFR遺伝子変異陽性の患者でオシメルチニブが無効となった患者に対して、白金製剤＋ペメトレキセドと白金製剤＋ペメトレキセド＋オシメルチニブの比較試験：TORIG1938, 依頼者：TORIG
8. 非小細胞肺癌の薬物治療体制後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究：LC-SCRUM-TRY
9. 肺癌における周術期個別化医療の確立を目指した遺伝子スクリーニングと微小残存病変モニタリングのための多施設共同前向き観察研究：LC-SCRUM-Adv./MRD
10. 未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化、及び癌免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究, 依頼者：九州がんセンター
11. アジアにおける肺癌個別化医療の確立を目指したゲノムスクリーニング研究：Lung Cancer Genomic Screening Project for Individualized Medicine in Asia
第5期LC-SCRUM-Asia

12. 間質性肺炎を合併する非小細胞肺癌の二次治療におけるニボルマブ療法とS-1療法を比較するランダム化Ⅲ相試験：JCOG2302
13. 未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブの至適投与量に関する試験：PRICE研究：依頼者CSPOR
14. 70歳以上のEpidermal Growth Factor Receptor activating ムタチオンpositive
未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの至適投与量に関する多施設共同研究：MONEY研究：依頼者CSPOR
15. 脳転移を有するALK陽性進行非小細胞肺癌に対するブリグチニブの第Ⅱ相試験, LOGIK2201
依頼者；LOGIK
16. 画像上診断困難な胸膜播種を有する臨床病期IVA（cT1-2bN0-1M1a）非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験, JCOG2130, 依頼者JCOG
17. ドライバー遺伝子陰性・不明の未治療進行非小細胞肺癌の対するプラチナ製剤併用化学療法＋ペムブロリズマブとプラチナ製剤併用化学療法＋ニボルマブ＋イピリムマブのランダム化比較第Ⅲ相試験JCOG2007, 依頼者JCOG
18. 未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化及びがん免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究（二重盲検ランダム化比較試験）, SYNCOPATION study, 依頼者九州がんセンター
19. 肺癌を対象としたDeep learningによる腸内細菌叢に着目した革新的癌免疫療法効果予測システムの確立（R5-NHO（癌呼）-01 NHOMACROBI研究, 依頼者NHO
20. PD-L1発現50%以上の非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ単剤とペンブロリズマブ＋カルボプラチン＋ペメトレキセド併用療法のランダム化第三相試験EBM推進NHO-Pembro-NSCLC, 依頼者NHO
21. 根治不能な進行非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子としての栄養/免疫学的指標の臨床的意義に関する前向き観察研究（NHOネットワーク研究 ICI-PREDICT, 依頼者NHO

<企業治験>

1. 転移性非扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたペムブロリズマブ＋ペメトレキセド＋プラチナ製剤（カルボプラチン又はシスプラチン）併用投与後のペムブロリズマブ＋オラパリブ維持療法とペムブロリズマブ＋ペメトレキセド維持療法を比較する第Ⅲ相試験, 依頼者：MSD
2. 転移性扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたペムブロリズマブ＋カルボプラチン/タキサン（パクリタキセル又はnab-パクリタキセル）併用投与後のペムブロリズマブ＋オラパリブ維持療法併用投与とペムブロリズマブ単独投与を比較する第Ⅲ相試験, 依頼者：MSD
3. GENENTECH 社及び/又はF. HOFFMANN-LA ROCHE LTD が依頼したアテゾリズマブ試験に過去に登録された患者における非盲検, 多施設共同, 継続投与試験（IMBRELLA B）, 依頼者：Roche
4. 未治療の転移性扁平上皮又は非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象としたプラチナ製剤併用療法において、ペムブロリズマブの皮下投与と静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験, 依頼者：MSD
5. MK-3475の治験で治療中又はフォローアップ中の進行悪性腫瘍患者を対象に、長期の安全性及び有効性を評価する多施設共同非盲検第Ⅲ相継続試験, 依頼者：MSD
6. 治療歴を有するc-Met過剰発現、EGFR野生型、局所進行性/転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患

者を対象として、Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) とドセタキセルを比較する第Ⅲ相、非盲検、無作為化、比較対照、国際共同試験, 依頼者: Abbvie

7. 転移性非小細胞肺癌患者を対象に、MK-7684とMK-3475の配合剤 (MK-7684A) と化学療法との併用療法をMK-3475+化学療法と比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験 (MK-7684A-007/KEYVIBE-007), 依頼者: MSD
8. 未治療の転移性非小細胞肺癌患者を対象に化学療法との併用療法においてペムブロリズマブとヒアルロニダーゼの配合剤 (MK-3475A) の皮下投与とペムブロリズマブの静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験 (MK-3475A-D77), 依頼者: MSD
9. PD-L1陽性 [Tumor Proportion Score (TPS) \geq 50%] の転移性非小細胞肺癌患者を対象に、1次治療としてペムブロリズマブ (MK-3475) +sacituzumab govitecan の併用療法を MK-3475単独療法と比較する非盲検多施設共同無作為化実薬対照第Ⅲ相試験 (KEYNOTE-D46/EVOKE-03), 依頼者: MSD
10. 前治療歴のあるEGFR遺伝子変異陽性又はその他の遺伝子異常陽性の進行又は転移性非小細胞肺癌 (非扁平上皮癌) を対象にMK-2870と化学療法 (ドセタキセル又はペメトレキセド) を比較する無作為化、非盲検、第Ⅲ相試験、依頼者: MSD
11. HER2活性化変異を有する局所進行又は転移性の非小細胞肺癌 (NSCLC) 患者を対象に、一次治療としてBAY 2927088を経口投与したときの有効性及び安全性を標準治療と比較する、非盲検、無作為化、実薬対照、多施設共同第3相試験, 依頼者: バイエル
12. PD-L1 TPSが50%以上の転移性非小細胞肺癌患者の一次治療としてMK-2870+ペムブロリズマブ併用療法をペムブロリズマブ単独療法と比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験: 依頼者: MSD
13. 転移性扁平上皮非小細胞肺癌の一次治療における IVonescimab+化学療法とペムブロリズマブ+化学療法を比較する無作為化国際共同第Ⅲ相試験 (HARMONi-3 試験), 依頼者: Summit Therapeutics Sub 社
14. 転移性扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象に、一次治療としてペムブロリズマブ、カルボプラチン及びタキサン系薬剤 (パクリタキセル又は nab-パクリタキセル) の併用投与後に維持療法としてMK-2870の併用又は非併用下でペムブロリズマブを投与する第Ⅲ相試験, 依頼者: MSD

2) 間質性肺炎

<多施設医師主導研究>

1. 早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ (商品名オフェブ®) 投与の安全性と忍容性に関する解析, 研究代表施設 長崎大学
2. 特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出—AI診断システムと新規バイオマーカーの開発— (IBiS study), 研究代表施設: 浜松医科大学
3. 多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究 (PROMISE study), 研究代表施設: 名古屋大学
4. 間質性肺疾患合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究, 研究代表施設: 長崎大学
5. 未治療Progressive pulmonary fibrosisを対象としたニンテダニブ・抗炎症治療同時導入療法の第Ⅱ相試験, 研究代表施設: 九州大学

6. 線維化性間質性肺疾患におけるdata independent acquisition法によるノンターゲットプロテオーム解析, 研究代表施設：九州医療センター

<一施設研究>

1. 間質性肺疾患における進行性肺線維化の予測因子の解析
2. 間質性肺疾患における自己抗体の臨床的意義の解析

<企業治験>

1. 進行性線維化を伴う間質性肺疾患（PF-ILD）患者を対象に、BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験, 治験依頼者：Boehringer Ingelheim
2. 特発性肺線維症（IPF）患者を対象に、BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照試験, 治験依頼者：Boehringer Ingelheim
3. 特発性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第3相試験, 治験依頼者:Bristol-Myers Squibb
4. 進行性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第3相試験, 治験依頼者:Bristol-Myers Squibb
5. 特発性肺線維症（IPF）及び進行性肺線維症（PPF）患者を対象に、BI 1015550を経口投与したときの長期安全性及び有効性を検討する非盲検継続投与試験（FIBRONEER™-ON）
6. 特発性肺線維症（IPF）患者を対象に、各用量のBI 1819479を24週間以上経口投与したときの有効性、安全性及び忍容性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、用量設定試験
7. 臨床的に意味のある咳嗽を伴う特発性肺線維症又は進行性肺線維症患者を対象に、BI 1839100を12週間にわたり経口投与したときの有効性及び安全性を検討する、第IIa/IIb相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、用量設定試験
8. 特発性肺線維症の治療におけるPLN-74809（bexotegrast）の有効性及び安全性を評価する無作為化、二重盲検、用量設定、プラセボ対照試験（BEACON-IPF）

3) 慢性閉塞性肺疾患

<多施設医師主導研究>

1. 日本人の軽症および中等症COPDに対する1日1回吸入型トリプル療法の有用性及び安全性の研究（TRACK study), 研究代表施設：鹿児島大学

<企業治験>

1. 慢性閉塞性肺疾患患者を対象に astegolimab の有効性及び安全性を評価する第III相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験

4) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連臨床試験

<多施設医師主導研究>

1. 新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID-19ワクチンの開発と評価系の構築, 研究代表施設：慶応大学

2. 新型コロナウイルス感染症（COVID -19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究, 研究代表施設：慶応大学

■呼吸器外科

呼吸器外科では主に肺がんを含め胸部悪性疾患の診断、外科治療、化学療法、周術期管理、予後に関する研究を行っている。現在は下記のことを自主研究中、または他施設研究に参加中である。その大部分において呼吸器内科、放射線科、病理部などの関連診療科や、看護部、臨床試験支援センター、医師事務作業補助員などの協力を得て遂行しており、今後も日々積極的に研究活動を継続していく方針である。

◎多施設参加型医師主導・ネットワーク試験

- 1) 悪性胸膜中皮腫の前方視的データベース研究（肺癌登録合同委員会第9事業）
- 2) 根治不能な進行非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子としての栄養/免疫学的指標の臨床的意義に関する前向き観察研究（NHOネットワーク研究 ICI-PREDICT）
- 3) PD-L1発現50%以上の非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ単剤とペムブロリズマブ＋カルボプラチン＋ペメトレキセド併用療法のランダム化第三相試験（EBM推進NHO-Pembro-NSCLC）
- 4) 非小細胞肺癌における薬物耐性後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き研究（LC-SCRUM-TRY）
- 5) 治療前腸内細菌叢による肺癌免疫療法効果予測システム確立のための前向き研究（AI腸内細菌研究）
- 6) 肺癌における周術期個別化医療の確立を目指した遺伝子スクリーニングと微小残存病変のモニタリングのための多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-Advantage/MRD）
- 7) 切除後の非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法の多機関共同前向き観察研究（J-CURE研究）
- 8) 『未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化及びがん免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究（二重盲検ランダム化比較試験）』（SYNCOPATION study九がん＋九医療センター 2 施設研究）
- 9) 肺癌を対象としたDeep learningによる腸内細菌叢に着目した革新的癌免疫療法効果予測 システムの確立（R5-NHO（癌呼）-01 NHO MACROBI研究）
- 10) 画像上診断困難な胸膜播種を有する臨床病期IVA期（cT1-2bN0-1M1a）非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験（JCOG2103 呼内外 肺がん胸膜播種試験DEBULK-LUNG）
- 11) アジアにおける肺癌個別化医療の確立を目指したゲノムスクリーニング研究：Lung Cancer Genomic Screening Project for Individualized Medicine in Asia（第5期LC-SCRUM-Asia）
- 12) 2017年に外科治療を施行された肺癌症例のデータベース（肺癌登録合同委員会第10事業）

動態画像研究室（室長：野口 智幸、副室長：桑城 貴弘）

- 1) 臨床研究部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

昨年度より、臨床研究センターの再編に伴い動態画像研究室の配置が変更され、従来のように研究に必要な機器や設備を一室に集約することが困難となりました。現在では、電子カルテ閲覧端末やインターネット接続可能なPC、プリンター、スキャナー、FAXなどの機器は他の部屋に分散配置されていますが、研究活動に必要な機能自体は引き続き利用可能です。従来行っていた診療科・メディカルスタッフとの小規模なカンファレンスなども現在は制限がありますが、各部門との連携は今後も継続してまいります。環境が変化する中でも、研究室としての基本的な機能を維持し、円滑な臨床研究活動の支援に努めております。

2) 代表的な臨床研究について（研究室の特徴）

当院脳血管・神経内科では、福岡県内の7施設による「Fukuoka Stroke Registry」、国立循環器病研究センター主導の「BAT2研究」、NHOネットワークによる「NOBLESSE研究」など、多施設共同研究を通じて脳卒中治療の質向上に寄与しています。また、「CS-747Sとクロピドグレルの比較試験（第Ⅲ相）」などの臨床治験も継続して実施しており、新規治療薬の安全性と有効性の検証に取り組んでいます。加えて、放射線科においては、「価値ある放射線診断」を目指したレギュラトリーサイエンスの視点からの研究を展開しており、診断精度向上への貢献が期待されています。

3) 研究室内の活動状況について

動態画像研究室では、これまでと同様に各診療科や部門の職員による研究支援を継続し、データ解析、論文執筆、学会発表資料の作成など、多岐にわたる業務を行っています。設備の分散により一部の作業環境は変化しましたが、それぞれの部門での作業を尊重しつつ、効率的な研究活動を可能にする体制づくりを進めています。今後は、研究支援機能のさらなる強化とともに、診療部門とのより密接な連携を図り、質の高い臨床研究の推進に寄与してまいります。限られた環境の中でも、柔軟かつ実践的な研究支援を目指していきます。

医療情報管理研究室（室長：福泉公仁隆、副室長：占部 和敬）

1) KMC Researchほか、研究室内の活動状況、目標

「KMC Research」は、九州医療センター臨床研究センターの広報誌として発行されており、内容はPDF化され臨床研究センターホームページから閲覧可能となっています。その内容は、お知らせ、国際学会報告、TOPICS、臨床研究報告、優秀学術賞、CPC、学会開催報告、臨床試験支援センター、院外表彰者のお知らせ、等により構成されています。

2024年には、院内の臨床研究報告として、令和4年度学術賞の「がん疼痛に対するトラマドールの臨床効果予測因子」（薬剤部 高武 嘉道）、「抗核抗体、抗ARS抗体は、特発性間質性肺炎における悪性腫瘍合併のリスク因子である」（呼吸器内科 岡元 昌樹）、令和5年度の最優秀学術賞の「間質性肺炎の予後と治療反応性を予測するバイオマーカー；ペリオスチンの研究」（呼吸器内科 岡元 昌樹）、優秀学術賞の「関節リウマチ患者の周術期におけるJAK阻害剤薬休薬期間の提案」（整形外科・リウマチ科 戸次 大史）を掲載しました。

TOPICSは、消化管外科 太田 光彦「遠隔手術の未来～次世代の外科教育～」、血液内科 原田 卓哉「希少疾患キャスルマン病の新規治療開発への挑戦」、心臓血管外科 神尾 明君「新任科長のあいさつ」、播本 憲史「転任の挨拶とこれまでの臨床研究内容の紹介」、呼吸器外科 田川 哲三「令和6年度科研費採択課題について」掲載しました。

また、国立病院総合医学会 第57回塩田賞を受賞された言語聴覚士 古賀 翔より「急性期

脳卒中患者の自宅退院支援に向けたFIM評価の活用」の報告を掲載しました。

2) NHO消化器グループ活動について

NHO消化器グループは、吉村 大輔（九州医療センター）をグループリーダーとして国立病院機構51施設により構成されています。採択が厳しくなり残念ながら2024年度は採択されませんでした。

がん臨床研究部（がん臨床研究部長：播本 憲史）

1. がん臨床研究部と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

がん臨床研究部では、これまで次の2つを主な目標として掲げてきました。

1. 新たに計画された治療法や医療機器、個別化医療ツールの有用性を検証するため、積極的に臨床試験を企画し、国際・全国規模の試験への参加を推進・実施すること。
2. 新規治療の開発に向けた基礎研究および橋渡し研究を担うこと。

日常的に、がん研究に関する情報収集や全国の大学・研究施設との連携を行っております。

がん治療に携わる各診療科やメディカルスタッフの皆様には、研究の企画や相談の窓口として、ぜひ当研究部をご活用いただきたいと思いますと考えています。

また、薬物療法、放射線治療、病理診断など、がん診療に不可欠な各部門をつなぐ「橋渡し役」としての機能も担っております。

今後も、より良いがん診療・研究の発展に向け、皆様との協力関係を深めてまいります。

2. 代表的ながん臨床研究について（研究室の特徴）

当院のがん臨床研究部が、院内はもとより全国、さらには国際的な臨床研究グループや研究者から信頼され、適正な症例登録が継続的に見込める研究施設として認知されることは、今後の発展において極めて重要です。

近年、がんに関する治験も徐々に増加していますが、現状ではまだ十分とは言えません。当研究部の方針を職員の皆様にご理解いただき、日常診療の中で積極的な症例登録に取り組んでいただく姿勢が不可欠です。

特に、NHOグループ内の基礎研究を含む「NHOがんグループ」では、多施設共同ならではの強みを活かし、臨床に直結する研究を推進しています。当院もその活動に積極的に参画しており、現在は以下のような研究が進行中です。

1. 膵癌における腹腔洗浄細胞診を補完する新規バイオマーカーの確立に関する研究
2. 未治療の進行・再発HER2陽性胃癌・食道胃接合部腺癌に対する導入療法後の、トラスツズマブ・ペムブロリズマブ・ラムシルマブによる維持療法の第2相試験

いずれも今後のがん診療の質向上に直結する成果が期待される重要な研究です。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

3. 今後の方向性と活動目標

近年、がん治療においてはがん遺伝子パネル検査が必須となりつつあります。さらに当院では、2025年1月に新放射線治療棟（放射線治療センター）を開設し、最新鋭の放射線治療装置であるリニアック（直線加速器）を導入しました。

こうした時代とともに進化するがん医療に迅速かつ的確に対応するため、がん臨床研究部で

は今後、次の方向性と活動目標を掲げます。

1. 多様な臨床試験への参画強化

全国規模・国際規模の大規模臨床試験、NHOネットワーク研究、医師主導型治験・臨床試験の企画・参加を推進します。特に、第Ⅰ相試験や治験の受託が可能な施設として認められることを目指し、第Ⅱ相（特に後期）および第Ⅲ相試験への積極的な参画を行います。

2. 研究基盤の強化と資金確保

臨床試験の企画力向上のため、基礎研究にも積極的に参画し、科研費などの外部研究資金の獲得を推進します。

3. 院内研究文化の醸成

院内でのがん研究の活性化を目的に、魅力的かつ実りある研究会を定期的に開催します（例：現在継続中の「がん臨床研究部フォーラム」）。

これらの取り組みを通じ、当院ががん医療の最前線で信頼される研究拠点となることを目指します。

システム疾患生命科学研究室（室長：國府島庸之）

1) 臨床研究室と各診療科、メディカルスタッフ部門との協力関係について

システム疾患生命科学研究室の主な業務としては、生活習慣病等の大規模臨床研究、新規治療薬の臨床応用、質量分析ラボ統括等があり、それらをシステム疾患生命科学研究室として総合的に把握することが基本の業務となります。さらに、システム疾患生命科学研究室として独自の診療科横断的な研究の企画や開発を行い、それをさらに国立病院機構等を含めた多施設研究へと発展させることを目標としています。現在システム疾患生命化学研究室は共同利用施設となり、設置された実験器具も臨床研究センターに申請の上で利用可能となっています。

2) 代表的な臨床研究について

2016年9月よりLSIメディエンスとの産学協同研究として、当院に質量分析計が設置されました。当院に設置されているのは、液体クロマトグラフィー-質量分析器（Liquid Chromatography-Mass spectrometry：LC/MS）であり、液体クロマトグラフ（LC）で分離した種々の成分を、質量分析（MS）部でイオン化させ、さらに質量電荷比毎に分離して検出する装置です。LC/MSは非常に精密な秤として、特に小分子量の化学物質を測定することを得意としています。実際の解析方法としては、メタボロミクスに代表される数百の代謝産物を網羅的に解析比較する方法と、解析したい対象を設定して詳細に定量解析する方法の2つがあります。当院でオリジナルに測定系を確立したものに、①NAD代謝関連物質、②短鎖脂肪酸、③胆汁酸分画、④トリプトファン代謝関連物質などがあります。これらの測定については、当院のみならず幅広く利用されています。その他、肝細胞癌治療に用いられる抗体製剤を酵素処理し、それぞれの抗体に特異的な可変領域由来のペプチドを抽出し、LC/MSを用いて測定することで薬物血中濃度を測定する手法を確立しました。

3) 今後の方向性と活動目標

現在、基礎実験は臨床研究センターの免疫病理研究室と質量分析ラボにて行われています。前者については、臨床研究センターの再編に伴い、病院全体で研究室の共同利用・共同研究が可能となっています。基礎実験経験が少ない部門でも使用できるように、消化器内科研究補助員の安藤さんにも補助してもらう予定です。LC/MSを用いた肝細胞癌治療に用いられる抗体製剤の血中濃度測定手法が確立され、実際の症例における当該薬剤の血中濃度測定を行い、それぞれの薬

剤の有効血中濃度の確立と治療奏効との関連について検討予定です。この手法は現在多くの疾患で広く利用されている他の抗体製剤についても適応可能であり、各部門での研究推進にも役立てると考えております。当院では遺伝子検査センター（南先生）を含めて、動物実験以外の基礎実験が可能であり、主に臨床サンプルの解析（遺伝子発現や蛋白質解析）を主に行ってきましたが、LC/MSが使用可能という当院の特性を生かして、さらに進んだ解析を行い、臨床診断、予後診断、薬剤選択などに応用していきたいと思っております。

情報解析研究室（室長：福泉 公仁隆、副室長：松尾 俊宏）

1) 医療情報、DPCに関する研究活動

国立病院機構共同臨床研究平成30年度ネットワーク共同研究 医療マネジメント（旧 経営管理）分野の研究課題として19施設の参加の下「薬剤耐性菌が病院経営に与える追加的医療資源算出と感染管理、抗菌薬の適正使用に関する多施設共同サーベイランス研究」が採択、平成31年3月にNHO中央倫理審査委員会で承認され、令和元年5月より本研究を開始、令和3年3月で本研究期間は終了。

国立病院機構（NHO）では感染制御対策や抗菌薬適正 使用支援プログラムAntimicrobial Stewardship Program（ASP）の評価を行う際に 必要な施設の実態を把握するため、NHO19施設について2018年度診療報酬改定前の2016年度と 改訂後の2018年度で感染管理等に関する16項目（全364小項目）のアンケート調査を行い、両者間での比較検討を行い、国立医療学会誌「医療」に「ICT/AST活動に関する国立病院機構19施設におけるアンケート調査報告」（IRYO Vol.78 No. 1（49－53）2024）が掲載された。

2) 情報解析研究室内の今後の方向性と令和7年の活動目標

各診療分野の学会において検査や処方、診療内容などの電子カルテデータ情報をSSMIX形式により収集し解析する研究事業の中で、当院も診療録直結全国糖尿病データベース事業（J-DREAMS）に参加している。個別の研究内容に応じた診療テンプレートの作成やデータの提出作業を当部門で支援している。

令和6年度NHOネットワーク研究 医療マネジメント領域（経営管理）より課題を申請はなかった。令和5年に九州大学メディカルインフォメーションセンターと当院医療情報管理センター、腎臓内科と「慢性腎臓病患者における新しい腎不全予測モデル:血清ビリルビンレベルの影響」について共同研究を行い、「A Novel Kidney Failure Prediction Model in Individuals with CKD : Impact of Serum Bilirubin Levels」の論文は、2025 Apr 22 ; 110 (5) : 1375-1378 J Clin Endocrinol Metab The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism に掲載された。令和7年度も当院の電子カルテデータ情報を利用した診療部との共同研究を計画している。

質量分析装置を使った検査・研究応用（臨床研究センター長：甲斐 哲也）

1 質量分析ラボの活動状況について

1.1 抗体薬血中濃度測定（消化器内科（肝胆脾）：國府島庸之先生）

抗体医薬品は高い治療効果を示す一方で個人差が大きく、患者ごとに最適な投与量を決定することが臨床上極めて重要である。質量分析ラボでは、アテゾリズマブおよびベバシズマブを対象に、治療介入の適切なタイミングや有効性評価を目的として、nSMOLを用いた簡便かつ高感度な血中濃度測定法の構築を進めてきた。両薬剤の分析法はバリデーションがほぼ完了しており、

臨床応用が可能な段階にある。しかし、アテゾリズマブに関しては血中濃度と治療効果の関連を示す報告は存在せず、ベバシズマブについても有効性との相関は明確に示されていない。そこで当院では入院患者を対象とした小規模な臨床研究を開始し、今後は共同研究機関を拡充して症例数を増加させ、抗体医薬品血中濃度測定 of 臨床的意義を体系的に検証する予定である。

1.2 静脈グラフトの開存率に関する因子の探索（血管外科：松原裕先生）

自家静脈グラフトは下肢のバイパス術における第一選択の代用血管であるが、その開存率は100%ではない。グラフト閉塞の主な原因は血管壁細胞の増殖による内膜肥厚であるが、そのメカニズムは複雑で不明な点が多い。内膜肥厚のメカニズムを明らかにするため、九州プロサーチ伊都ラボの質量分析装置を用いたiMPAQ法による網羅的なプロテオミクス解析を行っている。

1.3 動脈瘤内のt-PA、u-PA濃度の測定（血管外科：松原裕先生）

腹部大動脈瘤に対する主要な手術はステントグラフトである。しかし、動脈瘤内に血流が残る続けるエンドリークが遠隔期に問題となり、動脈瘤の再増大や破裂の原因となる。エンドリークが生じるメカニズムを明らかにするため、瘤内の線溶系因子に着目し、ELISA法を用いてt-PAとu-PAを測定し、中長期的なエンドリーク発生との関連を前向き観察中である。

1.4 高感度アミノ酸分析法の開発

質量分析ラボでは高感度アミノ酸分析法の開発にも取り組んでいる。誘導体化処理と多重反応モニタリング（MRM）を組み合わせた質量分析法（LC-MS/MS）を導入し、血液および尿の微量試料から45種類のアミノ酸および関連代謝物を高精度かつ同時に定量可能な測定系を構築した。本法は、新生児スクリーニングや先天性代謝異常症の診断における早期発見・早期介入を可能にするとともに、治療効果や栄養状態のモニタリングに有用である。さらに、がんや神経疾患に関連する代謝バイオマーカー探索にも応用が期待される。質量分析法の高い選択性により同定誤りのリスクを低減でき、迅速な臨床判断と個別化医療の質的向上に寄与することが見込まれる。

1.5 短鎖脂肪酸分析の項目追加

短鎖脂肪酸（SCFA）分析では、イソ酪酸・イソ吉草酸・吉草酸・カプロン酸・ピルビン酸の追加を検討している。分岐鎖SCFAは腸内における蛋白質分解の指標とされ、既存の測定項目である糖発酵由来のSCFAと併せて解析することで、腸内代謝のバランス（糖利用優位か蛋白利用優位か）を精密に評価することが可能となる。さらに、吉草酸やカプロン酸は腸内細菌叢の構成や炎症状態との関連が示唆されており、ピルビン酸は宿主のエネルギー代謝や好氣的／嫌氣的代謝シフトを把握する上で有用な指標である。これらを同時に測定・評価することで、小腸内細菌異常増殖症（SIBO）や消化管炎症の鑑別診断、栄養介入やプロバイオティクス、さらには糞便微生物移植（FMT）の治療効果判定に活用できる。

2 質量分析ラボの今後の方向性と次年度の活動目標

2.1 マルチオミクスアプローチによる臨床研究推進

質量分析ラボを有効活用し、マルチオミクスアプローチを主体とした臨床研究の推進を図っていく。ゲノミクス、トランスクリプトミクス、プロテオミクス、メタボロミクスなど、各オミクス技術に対応した測定ラインナップの拡充に加え、臨床研究における「網羅的なデータの統合的解釈技術」にさらに磨きをかけ、最新の技術の研鑽とノウハウの蓄積を進めていく方針である。

2.2 臨床研究の活性化

臨床研究（論文執筆や学会発表）の促進。

質量分析ラボの研究費獲得サポート等の活用により、研究実績の向上に努める。

臨床研究報告

臨床研究発表審査過程、表彰者一覧

部門別研究報告一覧

内科・放射線科	7	外科	12	中央部門	9
膠原病内科	1	消化管外科	4	薬剤部	3
免疫感染症内科	1	肝胆膵外科	1	放射線部	1
臨床検査科、高血圧内科	1	乳腺外科	1	臨床検査部	3
脳血管・神経内科	1	脳神経外科	3	MEセンター	2
呼吸器内科	1	血管外科	1		
循環器内科	1	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2		
放射線科	1				

一次審査（審査員：26名）	
研究の新規性	（5点）
方法の妥当性	（5点）
結果の充実性・信頼性	（5点）
臨床的意義	（5点）
論文や学会発表の実績	（10点）
計	30点

一次審査結果（上位6名）

所 属	演 者	演 題
臨床検査科、 高血圧内科	荒川 仁香	降圧薬内服下高血圧患者における実測尿中ナトリウム/カリウム比（Na/K比） ～午前中の随時尿 対 前日24時間家庭蓄尿の比較～
呼吸器内科	岡元 昌樹	クリティカルパス入院データに基づく早期線維化性 間質性肺疾患の予後因子、治療成績の研究
血管外科	松原 裕	重症虚血肢患者における坐骨神経萎縮は潰瘍治癒に関連する
耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	宮城 慎平	当院での甲状腺未分化癌症例の検討
薬剤部	高武 嘉道	メロペネム供給制限の影響：多施設共同後ろ向き研究
薬剤部	筒井 佑紀	化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステロイドが免疫関連有害事象に与える影響

- 1 開催日時・会場：2025年7月1日（火） 外来棟3F 講堂 16時30分開始
- 2 表彰式 ・会場：2025年7月25日（金） 外来棟3F 講堂 16時30分開始

最優秀学術賞

松原 裕先生（血管外科）

重症虚血肢患者における坐骨神経萎縮は潰瘍治癒に関連する

優秀学術賞

岡元 昌樹先生（呼吸器内科）

クリティカルパス入院データに基づく早期線維化性間質性肺疾患の予後因子、治療成績の研究

高武 嘉道先生（薬剤部）

メロペネム供給制限の影響：多施設共同後ろ向き研究

学術賞

荒川 仁香先生（臨床検査科、高血圧内科）

降圧薬内服下高血圧患者における実測尿中ナトリウム/カリウム比（Na/K比）
～午前中の随時尿 対 前日24時間家庭蓄尿の比較～

宮城 慎平先生（耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

当院での甲状腺未分化癌症例の検討

筒井 佑紀先生（薬剤部）

化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステロイドが免疫関連有害事象に与える影響

臨床研究報告（発表会演題）一覧

No.	所属	研究者	演 題
1	膠原病内科	中村 真隆	肺非結核性抗酸菌症を合併した関節リウマチ治療の現状と予後
2	免疫感染症内科	首藤美奈子	HIV陽性者の地域支援ネットワーク体制構築を目指した取り組み
3	臨床検査科、 高血圧内科	荒川 仁香	降圧薬内服下高血圧患者における実測尿中ナトリウム/カリウム比（Na/K比） ～午前中の随時尿 対 前日24時間家庭蓄尿の比較～
4	脳血管・ 神経内科	桑城 貴弘	頭頸部血管解離脳梗塞における頭痛の有無についての検討
5	呼吸器内科	岡元 昌樹	クリティカルパス入院データに基づく早期線維化性間質性肺疾患の 予後因子、治療成績の研究
6	循環器内科	村里 嘉信	複雑冠動脈分岐病変におけるリバースワイヤーテクニック不成功の 予測因子
7	放射線科	野口 智幸	診療放射線技師による静脈確保：当センターの取り組み
8	消化管外科	楠元 英次	ハルトマンリバーサルを腹腔鏡補助下に行うことの有用性について
9	消化管外科	吉田倫太郎	左側大腸癌穿孔症例の当院での現状と治療戦略
10	消化管外科	田尻 裕匡	左側閉塞性大腸癌に対する大腸ステント留置後手術の臨床的有用性
11	消化管外科	蓮田 博文	RaRb直腸癌に対するロボット支援手術と腹腔鏡手術の治療成績の 検討
12	肝胆脾外科	武石 一樹	腹腔鏡下肝切除における肝細胞癌に対する系統的切除と 非系統的切除の比較
13	乳腺外科	岩熊 伸高	BRCA遺伝子変異患者・家族のサーベイランスにおける 当院での取り組み
14	脳神経外科	雨宮 健生	髄膜腫に対する術前塞栓術に関する検討
15	脳神経外科	山上敬太郎	不安定プラークに対する外科的治療戦略 － CEA vs CASの治療成績比較
16	脳神経外科	福田 峻一	高齢者のくも膜下出血に対するクラゾセンタン投与例についての 後方視的検討
17	血管外科	松原 裕	重症虚血肢患者における坐骨神経萎縮は潰瘍治癒に関連する
18	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	澄川あゆみ	菌性副鼻腔炎における画像診断と治療に関する検討
19	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	宮城 慎平	当院での甲状腺未分化癌症例の検討
20	薬剤部	高武 嘉道	メロベネム供給制限の影響：多施設共同後ろ向き研究
21	薬剤部	筒井 佑紀	化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステロイドが免疫関連有害事象に与える影響
22	薬剤部	大橋 邦央	アベマシクリブ投与後の血清クレアチニン値と治療効果および 副作用に関する後方視的検討
23	放射線部	是枝 大地	血管撮影装置における放射線防護用固定式バリアを用いた 患者被ばく低減の検討
24	臨床検査部	利光 彩加	夜間サブカルチャーの検討
25	臨床検査部	岩本 翔希	当院における臨床へのアドバイスサービスの有効性 ～糸球体型赤血球について～
26	臨床検査部	角田 京也	COVID-19感染症における抗原定量検査と核酸増幅検査（PCR）の 乖離についての検討
27	MEセンター	重田 佳樹	VTエピソードに対して、2h40minの間治療が保留されていた ICDの一例
28	MEセンター	久田由希子	薬剤切替えに伴うフサンの塩析出による抗凝固ライン閉塞に対する 新たな対策

九州医療センター最優秀学術賞

重症虚血肢患者における坐骨神経萎縮は潰瘍治癒に関連する

所 属 血管外科

研究者名 松原 裕、古山 正、小野原 俊博

【背景・目的】

重症虚血肢は、下肢動脈の閉塞による虚血で、皮膚潰瘍や壊疽を生じる疾患である。治療の第一選択はバイパス術やカテーテル治療等の血行再建であるが、血行再建を行ったにもかかわらず潰瘍治癒が得られず壊疽が進行し、大切断に至る患者が存在する。潰瘍治癒が期待できない血行再建は、入院期間の延長や下肢疼痛の遷延により、患者 ADL を著しく低下させる。また、バイパス術の一般的な周術期死亡率は約 5% と高く、手術適応を慎重に判断しないとイケない。このような背景から、血行再建を回避して早期に大切断を行う判断が重要となる。早期に大切断を行うことで、ADL 低下前に義足歩行リハビリを開始することができ、早期社会復帰や入院期間の短縮、医療費削減にもつながる。一方で肢の大切断は患者の肉体的・精神的負担にもなるため、適応判断には明確なエビデンスが求められる。血行再建を回避すべき患者についてのエビデンスは少なく、本研究では血行再建を行ったにもかかわらず潰瘍治癒が期待できない因子を解析することを目的した。当科ではこれまで frail に着目し、筋肉や骨が血行再建後の生命予後規定因子であることを明らかにしてきたが、潰瘍治癒との関連はなかった。今回、筋肉や骨に並ぶ下肢機能の重要な因子として神経に着目し、血行再建後に潰瘍治癒が得られなかった患者との関連を検討した。

【方 法】

2015 年から 2020 年まで当科で血行再建を行った重症虚血肢患者 191 名・226 肢を対象とし、後ろ向きに検討した。神経萎縮の指標として、術前 CT 画像で大腿下部の脛骨・腓骨神経分岐部直上における坐骨神経の断面積を計測した。坐骨神経断面積の cut-off 値は潰瘍治癒を目的変数とした ROC 曲線で決定した。評価項目として、潰瘍治癒率、術後生存率、術後切断回避生存率を検討した。

【結 果】

重症虚血肢患者全体での坐骨神経断面積の平均は $27.5 \pm 0.6 \text{ mm}^2$ であり、潰瘍治癒が期待できない坐骨神経断面積の cut-off 値は 23.6 mm^2 であった ($\text{AUC}=0.81$)。この cut-off 値をもとに、坐骨神経正常群 ($n=147$) と萎縮群 ($n=79$) に分けて比較検討した。患者背景として坐骨神経萎縮群は、低アルブミン血症 (3.6 ± 0.05 vs 3.3 ± 0.06 , $P=0.001$)、虚血性心疾患 (28% vs 47%, $P=0.008$)、脳血管疾患 (35% vs 50%, $P=0.045$)、末期腎不全 (37% vs 55%, $P=0.024$)、歩行不能 (23% vs 38%, $P=0.029$) 患者が有意に多かった。血行再建後 6 ヶ月での潰瘍治癒率は正常群 87.3% に対し萎縮群 27.3% であり、萎縮群は潰瘍治癒が遅延していた ($P<0.001$, 図 1)。術後 3 年生存率は、正常群 71.3% に対し萎縮群 57.8% であり、萎縮群は生命予後不良で

あった($P=0.022$, 図 2)。術後 3 年切断回避生存率は、正常群 59.3%に対し萎縮群 20.0%であり、萎縮群は肢予後不良であった($P<0.001$, 図 3)。潰瘍治癒が期待できない因子として、単変量解析で高齢($HR1.01$, $P=0.045$)、低アルブミン血症($HR1.80$, $P=0.001$)、虚血性心疾患($HR1.75$, $P=0.002$)、末期腎不全($HR1.71$, $P=0.002$)、坐骨神経萎縮($HR5.2$, $P<0.001$)が明らかとなった。これらを多変量解析すると、高齢($HR1.02$, $P=0.012$)、坐骨神経萎縮($HR5.08$, $P<0.001$)が独立したリスク因子として明らかとなった。

【考 察】

本検討で坐骨神経萎縮が潰瘍治癒遅延因子、生命・肢予後不良因子であることが明らかとなった。神経と皮膚は共通の幹細胞を有しており、神経萎縮と皮膚潰瘍治癒遅延が関連するメカニズムのひとつと考えられた。坐骨神経萎縮患者に対する血行再建術の適応判断は、より慎重にすべきである。

【結 論】

重症虚血肢患者の坐骨神経萎縮の評価は、治療選択の一助になる。

図 1. 坐骨神経萎縮と潰瘍治癒率

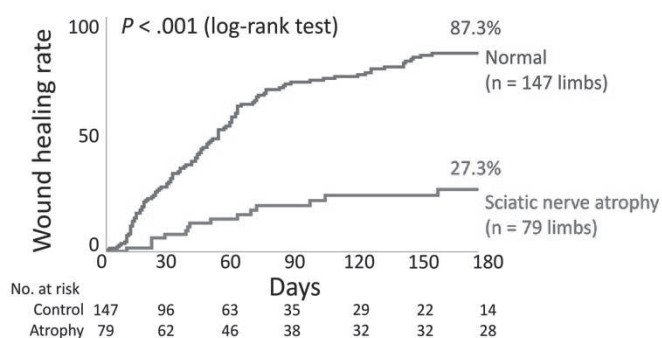


図 2. 坐骨神経萎縮と生存率

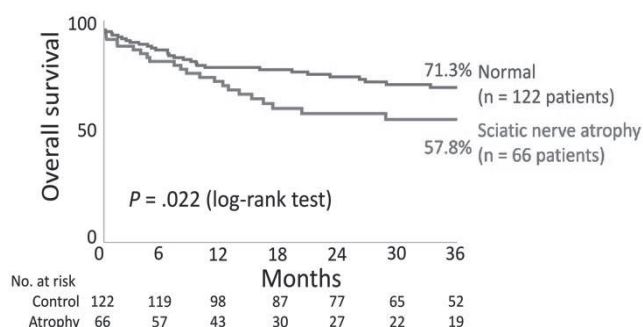
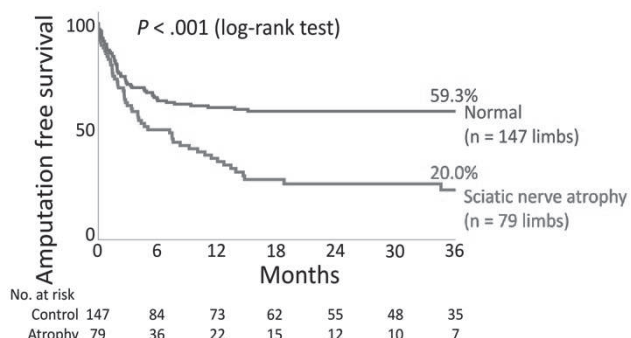


図 3. 坐骨神経萎縮と切断回避生存率



【発表論文および学会】

- (1) 第 52 回日本血管外科学会 別府市 2024 年 5 月 29-31 日 最優秀演題賞
- (2) 第 38 回ヨーロッパ血管外科学会 ポーランド 2024 年 9 月 24-27 日 Best abstract
- (3) Journal of Vascular Surgery 誌 in press 2025

九州医療センター優秀学術賞

クリティカルパス入院データに基づく 早期線維化性間質性肺疾患の予後因子、治療成績の研究

所 属 呼吸器内科
研究者名 岡元 昌樹

【背景・目的】

難病である線維化性間質性肺疾患（FILD）において、抗線維化薬の登場による予後改善、早期治療介入の有効性が報告されるなどのパラダイムシフトが見受けられる。そのため、早期発見から治療介入までの円滑な診療の実現は、現在の臨床学的課題である。我々は、2020年より、本疾患のクリティカルパス入院を導入し、早期症例の包括的評価と早期治療介入の実現を目指している。今回、クリティカルパス入院症例を対象として、早期症例の予後因子、無症状例における抗線維化薬治療成績を解析した。

【方 法】

- ① 呼吸困難がない FILD に対する抗線維化薬治療成績：ニンテダニブ投与した FILD の呼吸困難欠如例 18 例と有症状例 58 例との間で、FILD 年間進行、呼吸機能低下を共変量で調整した重回帰分析による 2 群間比較などで解析。
- ② 軽症 FILD の予後因子解析： GAP ステージ I の FILD 84 例を対象として、FILD 年間進行の関連因子を共変量で調整したロジスティック回帰で解析。
- ③ クリティカルパス入院後に抗線維化薬治療開始された IPF 症例の調査： 当院にクリティカルパス入院後にニンテダニブを投与した特発性肺線維症（IPF）63 例の臨床データをニンテダニブ市販後調査（IPF 5,578 例、Adv Ther. 2023; 40: 1474.）と比較。

【結 果】

- ① 呼吸困難がない FILD に対する抗線維化薬治療成績： 呼吸困難欠如は、独立して FILD 年間進行のリスク低下に独立規定因子であった（オッズ比 0.17、 $P=0.011$ ）。呼吸困難欠如例では出現例よりも、進行性肺線維化出現頻度（17% vs 53%、adjusted $P=0.026$ ）、6 か月間の FVC（adjusted $P=0.030$ ）、 D_{LCO} （adjusted $P=0.016$ ）絶対値低下速度が緩やかであった（図 1、図 2）。ニンテダニブ中止率、中断率、減量率、投与期間は、2 群間で差がなかった。
- ② 軽症 FILD の予後因子解析： 単変量解析では、膠原病 FILD の診断、CT-UIP パターン、composite physiologic index (CPI)、FVC、 D_{LCO} 、6 分間歩行試験での最低 SpO_2 、 SpO_2 低下量、歩行距離、自覚症状や HRQOL の patient-reported outcome (PRO) である CAT、SF-36 が FILD 年間進行と関連。多変量解析では、線維化性過敏性肺炎、IPF の診断、CT-UIP パターン、6 分間歩行試験での最低 SpO_2 、 SpO_2 低下量、CAT が独立リスク因子であった。
- ③ クリティカルパス入院後に抗線維化薬治療開始された IPF 症例の調査： 統計学的比較は行っていないが、クリティカルパス入院症例は市販後調査症例と比較して、診断から治療開始までの期間中央値が短く（435 日間 vs 741 日間）、1 年以内のニンテダニブ中止率が低い（13% vs 50.1%）傾向があった。

【考察、結語】

①の研究により、FILD では無症状例であっても抗線維化薬開始を除外すべきでないことを示した。さらに②の研究により、無症状例や軽症例における抗線維化薬治療開始の decision-making marker が運動負荷試験における労作誘発性低酸素血症、CAT、FILD のサブタイプである可能性を示した。特に CAT は短時間で聴取できる PRO であり、地域医療における専門施設への早期紹介症例の決定に応用できる可能性がある。③の研究では、クリティカルパス入院の運用による FILD に対する早期治療介入が実現できている可能性が示された。

図 1. FILD の呼吸困難欠如例は、有症状例よりも年間進行率が低い

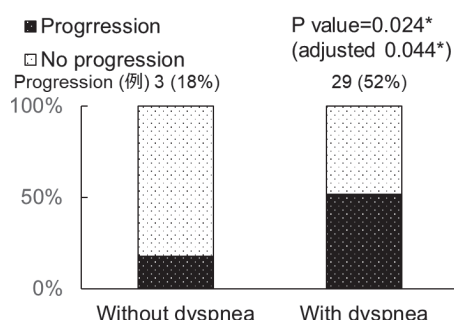
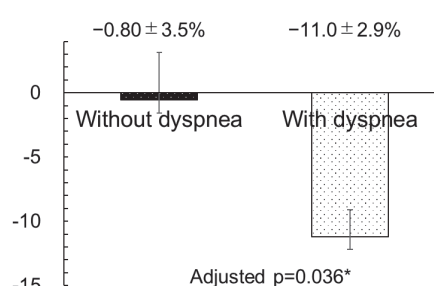


図 2. FILD の呼吸困難欠如例は、有症状例よりも 6 か月間 D_{LCO} 低下が軽度



【発表論文および学会】

- (1) Okamoto M, Fujimoto K, Chikasue T, Yanagihara T, Tabata K, Zaizen Y, Tominaga M, Sumi A, Takeoka H, Matsuo N, Nouno T, Kawaguchi A, Hoshino T. Predictive factors of progression in mild fibrosing interstitial lung disease patients with gender-age-physiology score of 3 or less. *Respir Investig*. 2024; 63: 109-117.
- (2) Okamoto M, Yanagihara T, Fujimoto K, Chikasue T, Tabata K, Zaizen Y, Tominaga M, Sumi A, Nishii Y, Matsuo N, Nouno T, Matsuura S, Kawaguchi A, Hoshino T. Exercise-Induced Oxygen Desaturation and Outcomes After Nintedanib Therapy for Fibrosing Interstitial Lung Disease in Patients Without Dyspnea. *J Clin Med*. 2024; 13: 7865.
- (3) 西井 裕哉、岡元 昌樹、財前 圭晃、松尾 規和、南野 高志、星野 友昭 線維化性間質性肺疾患の呼吸困難欠如例に対する抗線維化薬治療の有効性と忍容性の解析 第 64 回日本呼吸器学会学術講演会ミニシンポジウム 神奈川 2024 年 4 月 7 日
- (4) 岡元 昌樹 ILD 診療最適化のポイント-治療早期介入を目指したクリティカルパス入院 第 90 回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会九州支部 春季学術講演会シンポジウム 宮崎 2023 年 10 月 27 日
- (5) 西井 裕哉、岡元 昌樹、財前 圭晃、松尾 規和、南野 高志、星野 友昭 無症候性線維化性間質性肺疾患に対するニンテダニブ治療の有効性と忍容性の解析 第 3 回日本びまん性肺疾患研究会 東京 2023 年 10 月 1 日
- (6) 岡元 昌樹、財前 圭晃、松尾 規和、空閑 亮太、星野 友昭 6 分間歩行試験における SpO_2 低下は、線維化性間質性肺疾患の重症度、進行性肺線維化の独立リスク因子である 第 3 回日本びまん性肺疾患研究会 東京 2023 年 9 月 30 日

九州医療センター優秀学術賞

メロペネム供給制限の影響：多施設共同後ろ向き研究

所 属 薬剤部

研究者名 高武 嘉道¹⁾、長崎 洋司²⁾、平田 亮介¹⁾、副島 啓司³⁾、西 裕美⁴⁾、塚田 寛子⁵⁾、
濱崎 翔平⁶⁾、橋本 雅司¹⁾

国立病院機構 九州医療センター 薬剤部¹⁾、感染症内科²⁾

国立病院機構 長崎医療センター 薬剤部³⁾

国立病院機構 福岡東医療センター 薬剤部⁴⁾

国立病院機構 別府医療センター 薬剤部⁵⁾

国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部⁶⁾

【背景・目的】

カルバペネム系抗菌薬の一つであるメロペネム (MEPM) が、2022 年 8 月に原薬由来と考えられる異物混入が認められたため、6 か月以上の間出荷制限が実施された。今回 MEPM 供給制限の影響について後方視的に調査した。

【方 法】

NHO 九州グループ 5 施設にて、MEPM 供給制限前 (2021 年 9 月－2022 年 2 月) と供給制限後 (2022 年 9 月－2023 年 2 月) の抗菌薬使用量、菌血症死亡率、耐性菌発現率を比較した。

【結 果】

対象施設の総病床数中央値 (範囲) は 549 床 (405－702) であり、全施設で院内感染対策チームと抗菌薬適正使用支援チームが組織されていた。カルバペネム系抗菌薬の Days of therapy (DOT) 中央値 (範囲) は、供給制限前 3.46 (2.11－4.16) から供給制限後 1.02 (0.75－2.54) に減少していた。一方でタゾバクタム/ピペラシリンの DOT は 1.84 (0.47－6.45) から 2.38 (0.73－5.69) に増加し、第 4 世代セフェム系抗菌薬の DOT は 1.18 (1.00－2.87) から 1.91 (1.69－3.28) に増加していた。菌血症患者は、供給制限前は 637 例、供給制限後は 638 例を解析対象とした。30 日死亡率は、供給制限前 81/546 (14.8%)、供給制限後 103/525 (19.6%) であった。90 日死亡率は、供給制限前 125/503 (24.9%)、供給制限後 149/455 (32.8%) であった。菌血症診断後 90 日間の生存期間は、供給制限前に比べて供給制限後は有意に短縮していた。(図) 30 日死亡の独立したリスク因子として、MEPM の供給制限、80 歳以上、Pitt bacteremia score 4 以上、血小板数 10 万未満、アルブミン値 2.5g/dL 未満、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌菌血症が抽出された。(表) カルバペネム耐性緑膿菌の発現率は、供給制限前 40/391 (10.2%)、供給制限後 33/476 (7.4%) であった。カルバペネム耐性腸内細菌科細菌の発現率は、供給制限前 10/3503 (0.003%)、供給制限後 12/3207 (0.004%) であった。

【考 察】

MEPM の供給制限により、カルバペネム系抗菌薬の使用量は大きく減少し、他の広域抗菌薬の使用量が増加したが、菌血症発症後の予後は悪化していた。カルバペネム系抗菌薬は感染症治療において重要な薬剤であり、供給制限などの不測な事態においては、代替が困難な薬剤である事が示唆された。

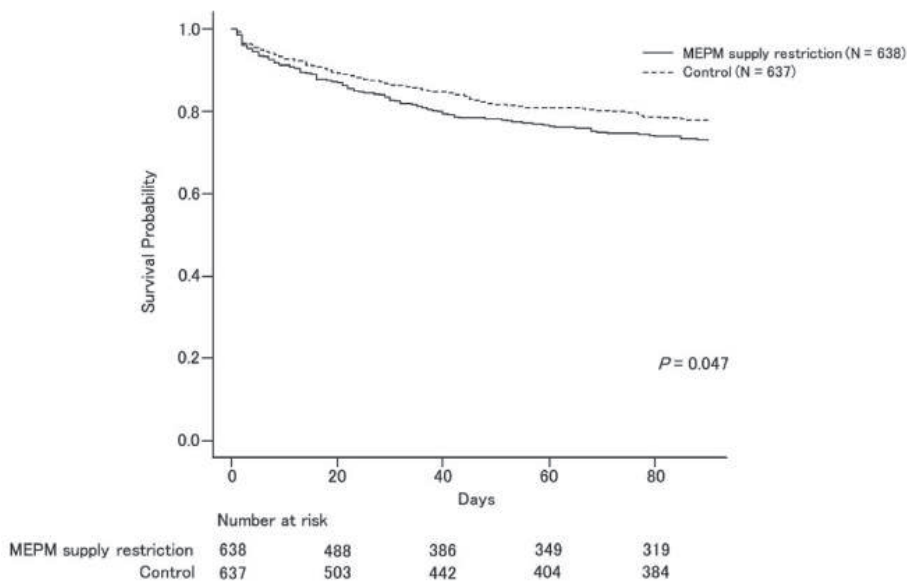


図 菌血症診断後 90 日間の Kaplan-Meier 生存曲線

表 菌血症 30 日死亡のリスク因子

	Unadjusted analysis		Multivariable analysis	
	OR (95 % CI)	P	OR (95 % CI)	P
Age >80 years	1.75 (1.26–2.45)	<0.001	1.94 (1.31–2.86)	<0.001
CCI ≥4	2.46 (1.25–5.39)	0.005	1.44 (0.69–3.02)	0.335
Pitt Bacteremia Score ≥4	4.34 (2.89–6.49)	<0.001	4.29 (2.78–6.62)	<0.001
Platelet count <10 × 10 ⁴ /μL	2.11 (1.49–2.97)	<0.001	1.70 (1.15–2.50)	0.007
Serum albumin <2.5 g/dL	4.42 (3.09–6.35)	<0.001	3.99 (2.74–5.79)	<0.001
MRSA BSI	2.82 (1.64–4.74)	<0.001	2.31 (1.27–4.19)	0.006
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> BSI	1.42 (0.58–3.12)	0.391	1.93 (0.82–4.53)	0.131
ESBL-producing bacterial BSI	0.99 (0.52–1.76)	>0.999	0.97 (0.51–1.83)	0.924
Polymicrobial BSI	1.56 (0.89–2.64)	0.086	1.37 (0.76–2.45)	0.294
MEPM supply restriction	1.40 (1.01–1.96)	0.043	1.54 (1.06–2.24)	0.023

BSI, bloodstream infection; CCI, Charlson Comorbidity Index; CI, confidence interval; ESBL, extended-spectrum β-lactamase; MEPM, meropenem; MRSA, methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*; OR, odds ratio.

【発表論文および学会】

- (1) 第 72 回日本化学療法学会総会 兵庫 2024 年 6 月 27 日～6 月 29 日
- (2) Journal of Infection and Chemotherapy 2025;31(1):102475.

九州医療センター学術賞

降圧薬内服下高血圧患者における 実測尿中ナトリウム / カリウム比 (Na/K 比) ～午前中の随時尿 対 前日 24 時間家庭蓄尿の比較～

所 属 臨床検査科、高血圧内科

研究者名 荒川 仁香¹⁾²⁾、富永 光裕²⁾、坂田 智子³⁾、土橋 卓也²⁾

国立病院機構 九州医療センター 臨床検査科¹⁾、高血圧内科²⁾、
九州大学大学院医学研究院 衛生・公衆衛生学³⁾

【背景、目的】

尿中 Na/K 比は血圧や脳心血管病と関連するとの報告が多数あるが、それらの多くは 24 時間蓄尿を用いており、健常者対象のものが主である。しかし、この値を高血圧の実臨床に活かすには、1 回の随時尿での評価が現実的で降圧薬内服下高血圧患者を対象とした検討が必要である。

【方 法】

2009 年 4 月から 2011 年 4 月間に午前中絶食下の随時尿と前日の 24 時間家庭蓄尿両方の Na と K 濃度が測定された高血圧患者 187 名（平均年齢 66.1 歳、女性 52.4%）の保存データを用いて、両者の実測 Na/K 比を比較した。

【結 果】

蓄尿中 Na/K 比 (24NaK) は平均 3.54 ± 1.5 、随時尿中 Na/K 比 (CNaK) は平均 2.63 ± 1.9 であった。両者は有意に正相関し ($r=0.49$ 、 $p<0.0001$ 、図 1)、CNaK と 24NaK の差 (bias) を 24NaK で割った値は -23.5% (平均) であった。Bland-Altman (BA) plot では bias の平均は -0.91 で両者の平均値が高い程大きくなっていた (図 2)。年齢 (65 歳以上未満)、性別、腎機能 (eGFR60 以上未満)、随時尿採取時間の 3 群間 (8-9 時、9-10 時、10-12 時) で bias を比較するも有意差はなかった。両者の相関係数は 9-10 時が最も高く、bias はアンジオテンシン II 受容体拮抗薬内服者を除いた群が最も小さく、95% of difference (bias の上限値と下限値間の幅) は 10-12 時に採尿された群が大きかった。また、CNaK を < 2 (低域 46%)、2 以上 4 未満 (中間域 37%)、4 以上 (高域 17%) に分けて 24NaK との一致率をみると、全体の一致率は 46% (86/187 名)、過小評価 (随時尿 < 蓄尿) 46% (86/187 名)、過大評価 (随時尿 > 蓄尿) 8.0% (15/187 名) であった。低域では一致率 24.4%、過小評価 75.6%、中間域で一致率 60.8%、過小評価 30.5%、過大評価 8.7%、高域群で一致率 71.8%、過小評価 28.2% であった。

【考 察】

今後 1 度の実測随時尿 Na/K 比を健診や高血圧診療に活かすには、1. 今回のようなデータを基に 24 時間尿に近似した値が得られる係数や換算式の検討、2. 採取時間を 8-10 時頃に定めて、随時尿 Na/K 比を幅広く用いて指導をしながら、エビデンスを構築すること (全国的なレジストリ

一など) が必要である。

【結 論】

降圧薬内服下高血圧患者において、午前中絶食下のCNa/Kは前日の24Na/Kと有意に相関したが、全体で23.5%、0.9程度低く、蓄尿に比し過少評価となる。特にCNa/K<2領域での過少評価が課題であり、この点を念頭におき換算式設定などの工夫が必要と考えられる。

図 1

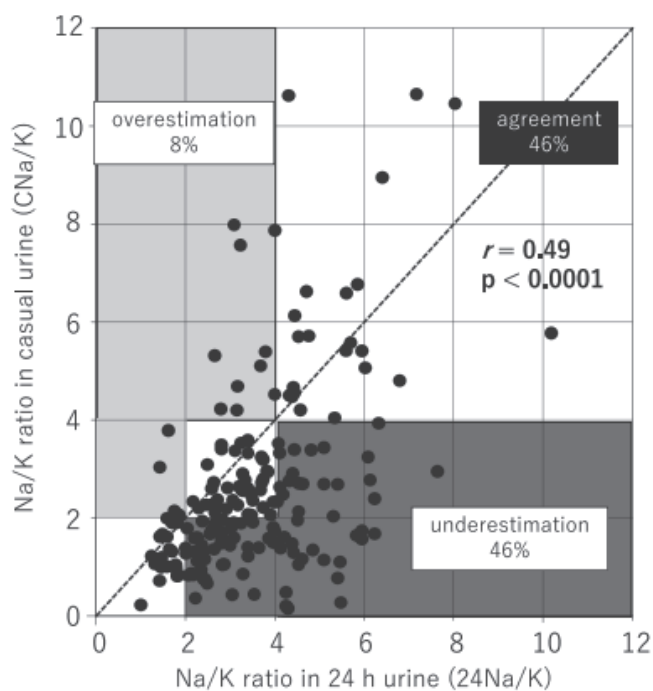
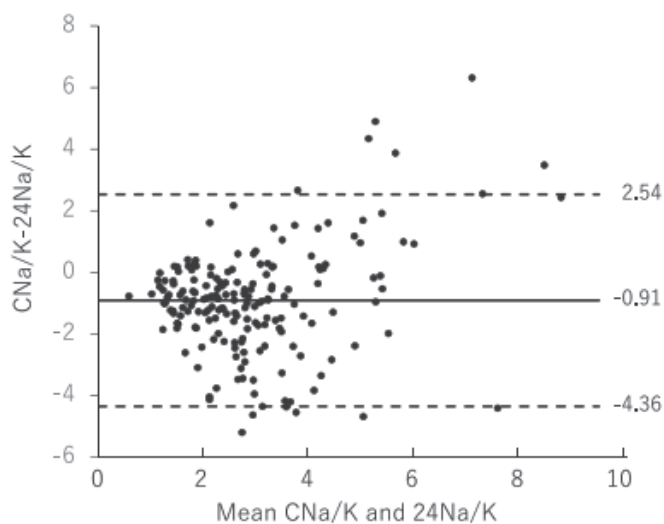


図 2



【発表論文および学会】

- (1) 第46回日本高血圧学会総会 福岡 2024年10月12日
- (2) Hypertension Research (2025) 48:772-779

九州医療センター学術賞

当院での甲状腺未分化癌症例の検討

所 属 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

研究者名 宮城 慎平¹⁾、瓜生 英興¹⁾、青谷 亜由美¹⁾、澄川 あゆみ¹⁾、藤原 義宜¹⁾、
内 龍太郎¹⁾、田村 真吾²⁾、大賀 才路³⁾、中島 寅彦¹⁾
国立病院機構 九州医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科¹⁾、
腫瘍内科²⁾、放射線科³⁾

【背景・目的】

甲状腺未分化癌は全甲状腺癌の中で 1-2%と非常にまれで、極めて予後不良な疾患である。過去にさまざまな予後因子や、外科的切除による生命予後改善の報告がなされているが、現時点で治療戦略として確立されているものはない。

今回、当院で経験した甲状腺未分化癌症例をもとに、その治療について考察し報告する。

【対象と方法】

2016 年 9 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの 7 年間で組織診あるいは細胞診で甲状腺未分化癌と診断され当院で治療を行った 24 例を対象とした。

治療は腫瘍内科、放射線科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科および関連施設との連携のもとに実施された。生存率の算出にはカプランマイヤー法、有意差の検定にはログランク検定を使用し、 $p < 0.05$ を統計学的に有意とした。

【結 果】

観察期間中央値は 8.9 カ月（1.3-63.4 カ月）であり、1 年生存率は 41%であった。手術群の生存期間中央値は 12.8 カ月、非手術群は 4.7 カ月であり、手術群において有意に生存期間の延長を認めた。

NLR(好中球リンパ球比)低値群（4.3 未満）の生存期間中央値は 13.7 カ月、高値群（4.3 以上）は 4.9 カ月であり、低値群で有意に予後が良好であった。

さらに、Hb・CRP が正常値の症例では異常値の症例より有意に予後が良好であった。

【考 察】

甲状腺未分化癌は診断時に約 70%が原発巣から隣接臓器に浸潤し、約半数に遠隔転移があるため、根治的治療が困難なことが多い。本研究では、手術を施行した群において有意に生存期間の延長を認めた。

また、NLR 低値群や Hb・CRP 正常群で有意に生存期間が良好だったことから、これらの因子が予後予測に有用である可能性が示唆された。

今後、手術適応の拡大や、新規薬物療法の適用に関するさらなる研究が求められる。

【結 論】

甲状腺未分化癌の治療において、手術を施行することで生存期間の延長が期待できる可能性がある。また、NLR、Hb、CRP などの炎症性マーカーを考慮することで、より適切な治療方針を検討することが重要である。

表 2 症例の臨床像

治療：甲状腺半切以上の手術、化学療法（PTX1 回以上）、放射線療法（50Gy 以上）、薬物療法（レンパチニブ）のいずれかを施行したものを治療ありとした（緩和照射や気管切開のみは治療なしとした）。

観察期間	中央値 8.9 カ月（1.3-63.4 カ月）
性別	男性/女性：7/17
年齢	中央値 72 歳（53-89 歳）
cStage	IV A/IV B/IV C：0/13/11
WBC	正常/異常：12/12
CRP	正常/異常：3/15
PI	1 以下/2 以上：8/16
Alb	正常/異常：6/18
Hb	正常/異常：5/19
NLR	4.3 未満/4.3 以上：12/12
治療	あり/なし：18/6

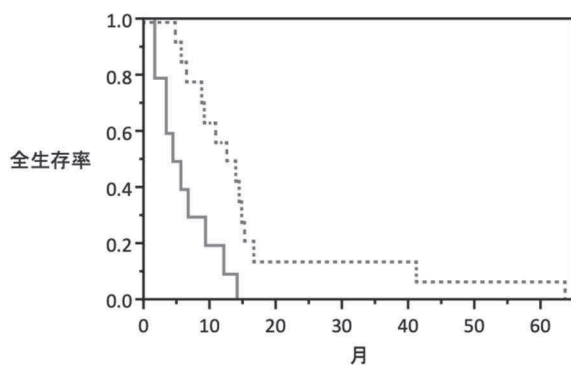


図 2 全症例
 ----- 手術施行群
 ——— 手術非施行群
 $p=0.0028$

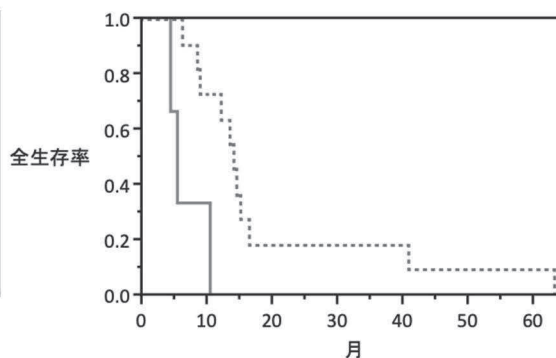


図 7 手術症例のみ
 ----- NLR 4.3 未満
 ——— NLR 4.3 以上
 $p=0.0052$

【発表論文および学会】

- (1) 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会 福岡県地方部会 久留米 2023 年 7 月 15 日
- (2) 耳鼻と臨床 70 巻 6 号 335-342 頁
 ※耳鼻と臨床 2024 年 年間最優秀論文賞受賞

九州医療センター学術賞

化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステロイドが 免疫関連有害事象に与える影響

所 属 薬剤部

研究者名 筒井 佑紀¹⁾³⁾、藤本 愛理²⁾、高武 嘉道¹⁾、中原 萌子¹⁾、藪内 由里香⁴⁾、
松尾 圭祐⁵⁾、上村 豪⁶⁾、上原 智博⁷⁾、川俣 洋生⁸⁾、五十里 彰⁹⁾、
遠藤 智史¹⁰⁾、小山田 純治²⁾

国立病院機構 九州医療センター 薬剤部¹⁾

国立病院機構 別府医療センター 薬剤部²⁾

国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部³⁾

国立病院機構 福岡東医療センター 薬剤部⁴⁾

国立病院機構 都城医療センター 薬剤部⁵⁾

国立病院機構 南九州病院 薬剤部⁶⁾

国立病院機構 沖縄病院 薬剤部⁷⁾

国立病院機構 宮崎東病院 薬剤科⁸⁾

岐阜薬科大学 生命薬学大講座 生化学研究室⁹⁾

岐阜大学大学院 連合創薬医療情報研究科 ・One Medicine トランスレーショ
ナルリサーチセンター (COMIT)¹⁰⁾

【背景・目的】

免疫チェックポイント阻害剤 (immune checkpoint inhibitor: ICI) とプラチナ製剤併用では殺細胞性抗癌剤で確認されている有害事象に加え、免疫関連有害事象 (immune-related Adverse Events: irAE) のリスクを孕んでおり、irAE 治療の第一選択はステロイドである。化学療法誘発性悪心・嘔吐 (chemotherapy-induced nausea and vomiting: CINV) 対策のステロイドが irAE 発現に影響を及ぼすかについての検討は我々の知る限り未だないため、その影響について後方視的に検討した。

【方 法】

2018 年 12 月～2021 年 3 月に NHO 九州グループ 8 施設で非小細胞肺癌に対して ICI+プラチナ製剤併用療法を開始した患者を対象とした。有害事象が irAE かその他か判断できない患者、複数の ICI を併用している患者、CINV 対策及び irAE 治療以外でステロイド投与を行った患者、アプレピタント非使用患者は除外した。ステロイドはデキサメタゾン (dexamethasone: DEX) 静脈投与量に換算の上 Receiver Operating Characteristic (ROC) 解析でカットオフ値を算出し、ロジスティック回帰分析を用いて irAE リスク因子を多変量解析した。

【結 果】

対象症例 175 例中、irAE は 27 例 (15.4%) で認められ、DEX のカットオフ値は 15.9mg で

あった。(図) 多変量解析では扁平上皮癌 ($P = 0.01$)、1 コースの平均 DEX 量 15.9mg 未満 ($P = 0.04$) が irAE 発現の有意なリスク因子として同定された。(表 1) さらに、1 コースの平均 DEX 量 15.9mg 未満では皮膚障害の発現頻度が有意に高かった。(表 2)

表 1 irAE リスク因子の単変量および多変量解析

Factor	Univariate analysis			Multivariate analysis		
	OR	95% CI	P value	OR	95% CI	P value
Histology						
Squamous vs. non-squamous	2.61	1.12–6.21	0.03	3.11	1.27–7.60	0.01
NLR						
<3 vs. ≥ 3	2.05	0.90–4.69	0.09	1.92	0.80–4.59	0.14
DEX use						
<15.9 mg vs. ≥ 15.9 mg	2.56	1.10–5.99	0.03	2.51	1.03–6.09	0.04

CI confidence interval, DEX dexamethasone, NLR neutrophil-to-lymphocyte ratio, OR odds ratio

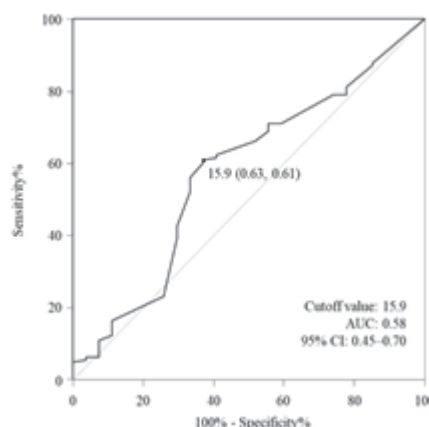


図 DEX 静脈投与量の ROC 曲線

表 2 irAE の種類と発現頻度

Incidence of irAEs	All Grade			Grade ≥ 3		
	DEX < 15.9 mg (n = 76)	DEX ≥ 15.9 mg (n = 99)	P value	DEX < 15.9 mg (n = 76)	DEX ≥ 15.9 mg (n = 99)	P value
All irAEs	17 ^a (22.4%)	10 (10.1%)	0.03	5 (6.6%)	3 (3.0%)	0.30
Skin-related events	5 (6.6%)	-	0.01	1 (1.3%)	-	0.43
Thyroiditis/hypothyroidism	7 (9.2%)	4 (4.0%)	0.21	1 (1.3%)	-	0.43
Interstitial lung disease	3 (3.9%)	3 (3.0%)	1	2 (2.6%)	1 (1.0%)	0.58
Colitis	2 (2.6%)	1 (1.0%)	0.58	1 (1.3%)	-	0.43
Hepatopathy	-	2 (2.0%)	0.51	-	2 (2.0%)	0.51
Hypoadrenocorticism	1 (1.3%)	-	0.43	-	-	-
Myositis	1 (1.3%)	-	0.43	-	-	-
Polymyalgia rheumatica	1 (1.3%)	-	0.43	-	-	-
Days to first irAE occurrence	22 (0–208)	34 (0–85)	0.96	25 (13–62)	5 (2–65)	0.57

DEX dexamethasone, irAEs immune-related adverse events

^aThree patients experienced multiple irAEs

【考 察】

CINV 対策のステロイド投与は irAE 発現率を低下させる可能性があり、1 コースの平均 DEX 量 15.9mg 未満では特に皮膚障害発現に注意が必要であることが示唆された。irAE 発現頻度を下げることが抗免疫作用に起因する可能性を考慮すると、CINV 対策のステロイド投与が ICI 治療効果に及ぼす影響についても今後検討していく必要がある。

【発表論文および学会】

- (1) 日本臨床腫瘍薬学会 学術大会 2025 神奈川 2025 年 3 月 15～3 月 16 日
- (2) Supportive Care in Cancer (2025) 33:204

令和6年度競争的研究費一覧

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
尿酸降下薬による治療強化が歯周病に与える影響	土橋 卓也 (研究代表者： 大田 祐子)	日本学術振興会	分担	13,000
行動指標に着目したVR版HIV関連神経認知障害（HAND）スクリーニング検査の開発	南 留美 (研究代表者： 坂本 麻衣子)	日本学術振興会	分担	91,000
心房細動における脳心血管病予防のための降圧目標を解明する国際共同大規模臨床試験	富永 光裕 (研究代表者： 有馬 久富)	日本学術振興会	分担	130,000
次世代プロテオミクスとグルタミン代謝に着目した胸膜中皮腫に対する新規免疫代謝療法	山崎 宏司 (研究代表者： 田川 哲三)	日本学術振興会	分担	130,000
質量分析法による末梢性小型肺腺癌の診断に関する研究	河内 茂人	日本学術振興会	主任	130,000
皮膚筋炎における急速進行性間質性肺炎患の発症を予測するMDA5遺伝子変異の解析	岡元 昌樹	日本学術振興会	主任	2,210,000
炎症性サイトカインによる腸管上皮細胞の再生誘導の解析	高嶋秀一郎	日本学術振興会	主任	1,430,000
線維芽細胞活性化因子ペリオスチンに着目した治療抵抗性関節リウマチの病態解明	原 正光	日本学術振興会	主任	910,000
FoxO3の発現低下が高齢発症関節リウマチに及ぼす影響の解析	戸次 大史	日本学術振興会	主任	260,000
関節リウマチ疾患関連自己抗体による、関節破壊の分子機序の解明	櫻庭 康司	日本学術振興会	主任	650,000
次世代プロテオミクスとグルタミン代謝に着目した胸膜中皮腫に対する新規免疫代謝療法	田川 哲三	日本学術振興会	主任	1,690,000
転写因子IRF8が高齢発症関節リウマチに及ぼす影響の解析	田丸 哲也	日本学術振興会	主任	1,430,000
滑膜線維芽細胞におけるDKK1に着目した、治療抵抗性関節リウマチの病態解明	木村 敦	日本学術振興会	主任	1,560,000
メタボロゲノミクス解析による胃癌術後腸内細菌叢の解明と術後栄養障害の革新的治療法の開発	太田 光彦	日本学術振興会	主任	1,443,000
関節リウマチ疾患関連自己抗体による、関節破壊の分子機序の解明	櫻庭 康司	日本学術振興会	主任	650,000
若年高血圧に関連する口腔内・腸内細菌を探索し予防と治療につなげる研究	荒川 仁香	日本学術振興会	主任	0
コラーゲン代謝障害による骨・関節破壊の分子機序の解明	福士 純一	日本学術振興会	主任	0
肺癌の免疫療法耐性獲得におけるIDO1の意義の解明と治療への展開	上妻 由佳	日本学術振興会	主任	0
微量元素が関節リウマチ患者の単球・好中球の機能・活性と術後創部感染症に及ぼす影響	原口 明久	日本学術振興会	主任	0
プロテオミクス、メタボロミクス解析による中咽頭癌のバイオマーカー探索	内 龍太郎	日本学術振興会	主任	0

厚生労働科学研究費

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
エイズ対策政策研究事業 (HIV感染症の医療体制の整備に関する研究) 23HB2001	南 留美	厚生労働省	分担	5,000,000
エイズ対策政策研究事業 (非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染者に合併する悪性腫瘍の制御を目指した研究) 24HB2005	南 留美	厚生労働省	分担	300,000
エイズ対策政策研究事業 (非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究) 24HB2004	南 留美	厚生労働省	分担	5,000,000

エイズ対策政策研究事業 (血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する外科治療の標準化に関する研究) 24HB2002	南 留美	厚生労働省	分担	100,000
エイズ対策政策研究事業 (血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する外科治療の標準化に関する研究) 24HB2002	播本 憲史	厚生労働省	分担	100,000

日本医療研究開発機構研究費

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
臨床研究・治験推進研究事業 (新規脳梗塞血栓溶解薬の国内導入を目指した研究開発) 24lk0221186s1501	桑城 貴弘	AMED	分担	208,000
エイズ対策実用化研究事業 (国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究) 24fk0410050h2503	南 留美	AMED	分担	780,000
エイズ対策実用化研究事業 (ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究) 24fk0410038 s 0403	高濱宗一郎	AMED	分担	2,340,000
難治性疾患実用化研究事業 (急性網膜壊死の診療ガイドライン作成に向けたレジストリの構築とエビデンスの創出) 24ek0109738 s 0301	長谷川英一	AMED	分担	169,000
肝炎等克服実用化研究事業(肝硬変患者の重症度のQOLと長期経過、予後及びその改善に関する研究) 24fk0210153s0201	國府島庸之	AMED	分担	260,000

その他財団等からの研究費

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	楠本 哲也	公益財団法人 がん集学的治療研究財団	主任	55,000
再発危険因子を有するハイリスクStageⅡ結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	楠本 哲也	公益財団法人 がん集学的治療研究財団	主任	22,000
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究 (J-DREAMS)	渡邊 哲博	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター (J-DREAMS)	主任	300,000
HER2陽性進行・再発胃癌に対するトラスツズマブBS「NK」とS-1+オキサリプラチン併用療法もしくはカペシタビン+オキサリプラチン併用療法に関する第Ⅱ相臨床試験	楠本 哲也	一般社団法人 九州消化器癌化学療法研究会	主任	55,000
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	岡元 昌樹	国立大学法人長崎大学	主任	132,000
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	岡元 昌樹	国立大学法人長崎大学	主任	33,000
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	岡元 昌樹	国立大学法人長崎大学	主任	33,000
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	岡元 昌樹	国立大学法人長崎大学	主任	33,000
早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の有効性と安全性に関する解析	岡元 昌樹	国立大学法人長崎大学	主任	33,000
・根治的外科治療可能の結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究 (GALAXY trial) ・血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStageⅡ及び低リスクStageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX療法と手術単独を比較するランダム化第Ⅲ相比較試験 (VEGA trial) ・血中循環腫瘍DNA陽性の治癒切除後結腸・直腸がん患者を対象としたFTD/TPI療法とプラセボとを比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験 (ALTAIR試験)	楠本 哲也 工藤 健介	イーピーエス (株)	主任	830,000

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
アンドロゲン受容体陽性唾液腺癌に対するアンドロゲン受容体阻害薬Darolutamide（ODM-201）の第Ⅱ相試験	瓜生 英興	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 公立大学法人横浜市立大学	主任	300,000
多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究 PROMISE study	岡元 昌樹	名古屋大学	主任	28,000
乾癬患者のスクリーニングにおけるHTLV-1感染症の陽性率とHTLV-1抗体陽性が治療選択に与える影響を明らかにするための多施設共同観察ケンキュウ	村田 真帆	西日本炎症性皮膚疾患研究会	主任	156,750
切除不能肝細胞癌患者に対するAtezolizumab＋Bevacizumab併用療法の多施設共同前向き観察研究＜ELIXIR＞	國府島庸之	株式会社エスアールエル・メディサーチ	主任	33,000
高度肥満症に対するスリーブ状胃切除術後のシンバイオティクス摂取が腸内フローラに及ぼす影響：二重盲検無作為化比較研究	楠本 哲也	(株)ヤクルト本社 (株)総合医科学研究所	主任	275,000
日本人の軽症および中等症COPDに対する1日1回吸入型トリプル療法の有用性および安全性の研究（TRACK study）	岡元 昌樹	EPクルーズ株式会社	主任	500,000
日本人の軽症および中等症COPDに対する1日1回吸入型トリプル療法の有用性および安全性の研究（TRACK study）	岡元 昌樹	EPクルーズ株式会社	主任	340,000
間質性肺炎合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究	岡元 昌樹	長崎大学	主任	110,000
間質性肺炎合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究	岡元 昌樹	長崎大学	主任	110,000
脳梗塞再発のリスク因子を有する急性期アテローム血栓性脳梗塞及びハイリスクTIA患者を対象としたプラスグレルのクロピドグレルとの血小板凝集能の比較臨床研究	矢坂 正弘	シミック（株）	主任	240,000
CLECSTRO研究（LM22-01臨床性能研究）	杉森 宏	LSIメディエンス	主任	420,000
局所進行直腸癌に対する術前治療としての短期放射線療法とCAPOX及び短期放射線療法とCAPOXIRIの多施設共同ランダム化第Ⅲ相試験	楠本 哲也	横浜市立大学	主任	66,000
「エンハーツ点滴静注用100mg特定使用成績調査（乳癌）」患者を登録対象としたトラスツズマブ デルクステカン中止後の後治療に関するコホート研究	田村 真吾	イーピーエス株式会社	主任	50,000
pStageⅡ大腸癌に対するOSNA法によるリンパ節微小転移診断意義の検討	楠本 哲也	特定非営利活動法人臨床試験支援センター	主任	80,300
ALLIANCE Registry（DCB Real World Registry）	村里 嘉信	メディトリックス株式会社	主任	1,375,000
根治切除不能な甲状腺未分化がんに対するニボルマブとレンバチニブ併用療法の第Ⅱ相試験（NAVIGATION試験）	田村 真吾	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 公立大学法人横浜市立大学	主任	600,000
70歳以上のEpidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの至適投与量に関する多施設共同研究（研究略名：MONEY、研究番号：CSPOR-LC09）	武岡 宏明	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	主任	44,000
70歳以上のEpidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの至適投与量に関する多施設共同研究（研究略名：MONEY、研究番号：CSPOR-LC09）	武岡 宏明	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	主任	44,000
未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するベムプロリズマブの至適投与量に関する試験	武岡 宏明	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	主任	55,000
手術中の構造物を自動認識する手術支援AIシステムの研究開発にかかる研究	瓦林 靖広	アナウト株式会社	主任	550,000
国内の血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者におけるエファネソクトコグアルファの多施設前向き観察研究	高瀬 謙	依頼：サノフィ（株） 受託：シミック（株）	主任	33,000

研究課題名	研究者名	研究事業名	主任／ 分担の別	研究費 獲得額
造血細胞移植および細胞治療の全国調査 細胞治療レジストリ/Cellular Therapy Registry	高瀬 謙	日本造血細胞移植 データセンター	主任	7,700

令和6年度NHOネットワーク共同臨床研究/EBM推進研究

NHOネットワーク共同臨床研究
グループリーダー

領域	グルー プ リー ダー	役職
心脳大血管	杉森 宏	臨床研究推進部長
消化器疾患	吉村 大輔	光学診療部長
消化器疾患	高見 裕子	臨床研究センター長
経営管理	福泉公仁隆	医療情報管理センター部長

研究代表者

研究代表者	採択番号	研究課題
吉川 博政	R3-NHO（他研）-01	DOAC服用患者における抜歯の安先性の確立に関する研究：ガイ ドライン確立のための多施設共同前向き研究

ネットワーク研究

研究責任者	採択番号	研究課題
井上修二郎	H27-NHO（循環）-02	心血管イベントを規定するバイオマーカー開発 ー血管新生関連因子と新規酸化LDLー
岩崎 浩己	H28-NHO（血液）-02	成人初発未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫におけるR-CHOP単独治療と放射線併 用療法の治療成績、QOL、費用、費用対効果の多施設共同前向きコホート研究
佐藤 和夫	H28-NHO（成育）-03	胎児のホルモン異常と停留精巣発生リスクに関する研究
中村 俊博	H29-NHO（循環）-02	慢性心不全患者の新しい再入院リスク評価法の確立ー新規バイオマーカーと心不全再入 院イベントの関連ー
中村 俊博	H29-NHO（循環）-03	冠動脈軽度から中等度狭窄の高リスクプラークを有する患者に対する適正な脂質管理目 標値の有効性および安全性を検討する多施設共同非盲検ランダム化比較試験
渡邊 哲博	H29-NHO（糖尿）-01	大規模糖尿病・肥満症コホートを生かした認知機能低下・認知症発症の予知因子の解明 (JOMS/J-DOS2) ー長期追跡調査ー
渡邊 哲博	H30-NHO（糖尿）-03	2型糖尿病患者における全死亡および脳心血管病発症リスクとしてのサルコペニアの意 義に関する研究
井上修二郎	H30-NHO（循環）-03	簡便な新規心血管イベント予知マーカーによる効率的なハイリスク患者抽出方法の確立
楠本 哲也	H30-NHO（外科）-01	本邦における成人鼠径ヘルニア術後慢性疼痛の実態調査とリスク因子解析ー多施設共同 前向きコホート研究ー
岡元 昌樹	H31-NHO（癌呼）-02	根治照射不能な進行非小細胞肺癌患者における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測 因子としての栄養/免疫学的指標の臨床的意義に関する前向き観察研究
高瀬 謙	H31-NHO（血液）-01	未治療濾胞性リンパ腫におけるObinutuzumabの治療成績、QOL、費用対効果、予後 に関する多施設前向きコホート研究（採択課題：H31-NHO（血液）-01）
國府島庸之	H31-NHO（消化）-03	B型慢性肝炎に対する核酸アナログ長期投与例の課題克服および電子的臨床検査情報 収集（EDC）システムを用いた多施設大規模データベースの構築
徳永 聡	H31-NHO（心脳）-03	脳主幹動脈急性閉塞症例の搬送から急性期血栓回収療法開始までの時間短縮を目的とす る研究
吉川 博政	1H31-NHO（他研）-01	薬剤関連顎骨壊死の発生率と転帰：原発性肺癌骨転移患者における多施設共同前向き観 察研究」（RING-MLO）
宮村 知也	H31-NHO（多共）-02	メトトレキサート（MTX）関連リンパ増殖性疾患の遺伝子変異プロファイルの解析
藤原ありさ	H31-NHO（小産）-02	人工知能を用いた分娩時大量出血症例における凝固障害の病態解明と新しい産科DICス コアの開発

研究責任者	採択番号	研究課題
宮村 知也	H31-NHO（免アレ）-03	関節リウマチに対する分子標的薬治療における免疫学的寛解のマーカーの探索
國府島庸之	R2-NHO（消化）-01	原発性胆汁性胆管炎の新しい病型分類と創薬のための長期観察研究
小村聡一郎	R2-NHO（心脳）-04	がん化学療法関連心筋症の予測、早期発見、早期治療 ～心臓超音波検査speckle tracking法、タイチン truncating変異の検出、尿中タイチンNフラグメント測定、血中心筋トロポニンI高感度測定の比較検討～
渡邊 哲博	R3-NHO（内腎）-01	2型糖尿病患者におけるサルコペニアと脳心血管病リスク重積の関連性およびその予知因子の解明（S ROAD2）
岩崎 浩己	R3-NHO（血液）-01	レジストリーデータを利用したAYA世代DLBCLの臨床的・生物学的特性を明らかにする後方視的研究（NHO-AYA-DLBCL研究）
播本 憲史	R3-NHO（消化）-01	膵癌における腹腔洗浄細胞診を補完する新規バイオマーカーの確立に関する研究
國府島庸之	R3-NHO（消化）-03	薬物性肝障害および急性発症型自己免疫性肝炎を含む急性肝炎の発生状況および重症化、劇症化に関する因子に関する研究
吉川 博政	R3-NHO（他研）-01	DOAC服用患者における抜歯の安全性の確立に関する研究：ガイドライン確立のための多施設共同前向き研究
徳永 聡	R4-NHO（心脳）-01	急性期BAD型脳梗塞に対する抗血栓療法の種類と神経学的予後に関する前向き探索研究
宮村 知也	R4-NHO（多共）-01	Liquid biopsyを用いたMTX-LPDの診断及び病態予測の検討
渡邊 哲博	R4-NHO（内腎）-01	糖尿病・肥満症における認知機能低下・コグニティブフレイルの実態とリスク因子解明ー効果的な早期検出・予後予測法の確立へー（JOMS/J-DOS3）
山崎 宏司	R5-NHO（癌呼）-01	肺癌を対象としたDeep learningによる腸内細菌叢に着目した革新的癌免疫療法効果予測システムの確立
國府島庸之	R5-NHO（消化）-01	脂肪性肝疾患患者の自然経過とイベント発生に関する前向き観察研究
國府島庸之	R6-EBM（消化）-01	急性肝炎の発生状況および重症化、劇症化に関する因子に関する研究

EBM推進のための大規模臨床研究

①研究代表者

	研究代表者	採択番号	研究課題
観察研究	村里 嘉信	H29-EBM（観察）-02	我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究

②研究責任者

	研究責任者	採択番号	研究課題
CPI	高濱宗一郎	H27-EBM（介入）-01	免疫抑制患者に対する13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較ー二重盲検作為化比較試験ー
Elucidator	山崎 宏司	H28-EBM（観察）-01	第三世代EGFR-TKIオシメルチニブ治療における血漿循環腫瘍DNAを用いた治療耐性関連遺伝子スクリーニングの前向き観察研究＜Elucidator研究＞
NHO-Pembro-NSCLC		H31-EBM（介入）-02	PD-L1発現50%以上の非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ単剤とペムブロリズマブ＋カルボプラチン＋ペメトレキセド併用療法のランダム化第3相試験

令和6年度治験概況

▼受託研究契約状況（治験および治験以外の受託研究）

医薬品	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
新規治験（製造販売後臨床試験を含む）						
新規治験第Ⅰ相（Ⅰ／Ⅱ相を含む）	0	1	0	1	1	0
新規治験第Ⅱ相（Ⅱ／Ⅲ相を含む）	5	8	16	5	1	4
新規治験第Ⅲ相	13	6	14	11	14	14
新規製造販売後臨床試験	0	0	0	0	1	0
拡大治験	0	0	0	0	1	0
再生医療	1	0	0	0	0	0
新規治験等の件数	19	15	30	17	18	18
継続治験						
継続治験第Ⅰ相	3	0	1	1	2	1
継続治験第Ⅱ相（Ⅱ／Ⅲ相を含む）	10	11	16	26	19	14
継続治験第Ⅲ相	51	51	40	46	34	42
継続製造販売後臨床試験	0	0	0	2	3	6
拡大治験	0	0	0	0	0	0
再生医療	1	2	2	1	0	0
継続治験等の件数	65	64	59	76	58	63
治験以外の受託研究（新規、継続含む）						
製造販売後調査件数	126	98	88	79	81	78
医療機器	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
新規治験（製造販売後臨床試験を含む）						
治験	1	0	0	0	2	0
製造販売後臨床試験	0	0	0	0	0	0
新規治験等の件数	1	0	0	0	2	0
継続治験						
治験（製造販売後臨床試験を含む）	0	1	1	1	0	2
製造販売後臨床試験	0	0	0	0	0	0
治験等の件数（医療機器）	1	1	1	0	0	2
治験以外の受託研究（新規、継続含む）						
製造販売後調査件数（医療機器）	9	7	5	2	3	0
合計件数	220	185	183	174	162	161

▼受託請求金額（当院及びNHO本部で受託した治験・製造販売後臨床試験・受託研究の金額）

受託請求金額	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
金額（千円）	244,805	266,114	247,082	270,285	289,286	329,665

▼治験等実施率

治験等実施率	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
実施率（％）	90.0	78.7	75.0	57.3	60.2	91.0

▼モニタリング等実施件数

モニタリング等実施件数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
治験モニタリング	547	169	202	346	381	334
治験監査	3	0	0	0	1	1
GCP実施調査	0	0	0	0	0	0

令和6年度 治験・受託研究

治験

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	責任医師	契約金額(円)
1	15C21	A PHASE III PROSPECTIVE DOUBLE BLIND PLACEBO CONTROLLED RANDOMIZED STUDY OF ADJUVANT MEDI4736 IN COMPLETELY RESECTED NON-SMALL CELL LUNG CANCER 非小細胞肺癌完全切除例に対するMEDI4736アジュバント療法のプロスペクティブ二重盲検プラセボ対照ランダム化第Ⅲ相比較試験	クリニベース(株)	山崎 宏司	8,514,979
2	18C01	関節リウマチ患者を対象にFilgotinibの安全性及び有効性を評価する、多施設共同、二重盲検、長期継続投与試験	ギリアド・サイエンシズ(株)	福士 純一	9,670,389
3	18C13	関節リウマチ患者を対象にFilgotinibの安全性及び有効性を評価する、多施設共同、二重盲検、長期継続投与試験	ギリアド・サイエンシズ(株)	宮村 知也	9,609,425
4	18C16	大脳半球梗塞後の重度脳浮腫に対する静注用BⅡ B093（グリベンクラミド）の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照並行群間比較第Ⅲ相試験	バイオジェン・ジャパン(株)	杉森 宏	21,509,349
5	19C04	赤血球輸血を必要とする、ESA による治療歴のない患者を対象に、IPSS-Rで VERY LOW、LOW 又はINTERMEDIATE リスクの骨髄異形成症候群（MDS）による貧血に対する治療として、LUSPATERCEPT（ACE-536）の有効性及び安全性をエポエチンアルファと比較する、第3相、オープンラベル、ランダム化試験	ブリストル・マイヤーズ スクイブ(株)	岩崎 浩己	5,967,199
6	19C07	外科的切除術又は局所焼灼療法後に画像評価により完全奏効を示した肝細胞癌患者を対象に術後補助療法としてのMK-3475の安全性及び有効性をプラセボと比較する二重盲検第Ⅲ相試験（KEYNOTE-937）	MSD(株)	中牟田 誠	28,152,956
7	19C08	局所肝細胞癌患者を対象として、デュルバルマブ単独療法又はデュルバルマブとベバシズマブの併用療法と、肝動脈化学塞栓療法（TACE）との併用を評価する第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同試験（EMERALD-1）	アストラゼネカ(株)	和田 幸之	7,180,669
8	19C09	根治的肝切除術又は焼灼療法後の再発リスクが高い肝細胞癌患者を対象に、アジュバント療法としてのデュルバルマブ単独療法又はデュルバルマブとベバシズマブの併用療法を評価する第Ⅲ相無作為化二重盲検プラセボ対照多施設共同試験（EMERALD-2）	アストラゼネカ(株)	和田 幸之	17,461,786
9	19C13	転移性非扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたペムブロリズマブ+ペメトレキセド+プラチナ製剤（カルボプラチン又はシスプラチン）併用投与後のペムブロリズマブ+オラパリブ維持療法とペムブロリズマブ+ペメトレキセド維持療法を比較する第Ⅲ相試験	MSD(株)	武岡 宏明	17,167,127
10	19C14	転移性扁平上皮非小細胞肺癌の未治療患者を対象としたペムブロリズマブ+カルボプラチン/タキサン（パクリタキセル又はnab-パクリタキセル）併用投与後のペムブロリズマブ+オラパリブ維持療法併用投与とペムブロリズマブ単独投与を比較する第Ⅲ相試験	MSD(株)	武岡 宏明	15,820,116
11	19C18	GENENTECH社及び/又はF. HOFFMANN LA ROCHE LTDが依頼した アテゾリズマブ 試験に過去に登録された患者における非盲検、多施設共同、継続投与試験（IMBRELLA B）	中外製薬(株)	岡元 昌樹	4,739,011
12	19C20	前治療歴がありCEACAM5陽性腫瘍を有する転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象にSAR408701をドセタキセルと比較する、ランダム化、非盲検、第Ⅲ相試験	サノフィ(株)	岡元 昌樹	12,826,598
13	20B06	活動期クローン病患者を対象としたE6011の早期第2相臨床試験	EAファーマ(株)	原田 直彦	8,727,936
14	20B12	ONO-7702/ONO-7703 第Ⅱ相試験 BRAF V600 遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺がんを対象としたONO-7702 とONO-7703 との併用療法の第Ⅱ相試験	小野薬品工業(株)	田村 真吾	10,905,888
15	20C14	PD-L1陽性の再発又は転移性頭頸部扁平上皮癌（R/M HNSCC）患者を対象に1次治療としてペムブロリズマブ（MK-3475）とレンパチニブ（E7080/MK-7902）併用療法の有効性及び安全性をペムブロリズマブ単独療法と比較する無作為化プラセボ対照二重盲検第Ⅲ相試験（LEAP-010試験）	MSD(株)	中島 寅彦	11,938,080

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	責任医師	契約金額 (円)
16	20R04	アンドロゲン受容体陽性唾液腺癌に対するアンドロゲン受容体阻害薬Darolutamide (ODM-201) の第Ⅱ相試験	【医師主導治験】	瓜生 英興	—
17	20R07	4型進行胃癌に対する術後または周術期補助化学療法としての全身・腹腔内併用化学療法と全身化学療法の無作為化比較第Ⅲ相試験	【医師主導治験】	楠本 哲也	—
18	21B09	進行性フェノタイプを示す慢性線維化性間質性肺疾患患者を対象としたTAS-115第2相用量反応臨床試験	大鵬薬品工業(株)	岡元 昌樹	24,802,176
19	21B14	活動性全身性エリテマトーデス成人患者を対象としたnipocalimabの多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間試験	ヤンセンファーマ(株)	宮村 知也	4,699,200
20	21B19	A 54-Week, Multicenter, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group Phase 2 Study to Assess the Efficacy and Safety of Brazikumab in Participants with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis (Expedition Lead-in) 中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象に、brazikumabの有効性及び安全性を評価する54週間多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較第2相試験 (Expedition Lead-in)	アストラゼネカ(株)	原田 直彦	7,329,200
21	21B21	閉塞性動脈硬化症に伴う間歇性跛行患者を対象としたNS-304のプラセボ対照二重盲検比較試験 (後期第Ⅱ相)	日本新薬(株)	小野原俊博	7,901,968
22	21B30	日本人急性骨髄性白血病患者を対象とした完全寛解達成後の維持療法としての経口用アザシチジンと最良支持療法との併用療法の有効性及び安全性を最良支持療法と比較する第2相ランダム化二重盲検プラセボ対照試験	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	岩崎 浩己	13,819,680
23	21C08	再発又は難治性の多発性骨髄腫 (RRMM) 患者を対象に iberdomide、ダラツマブ及びデキサメタゾン (IberDd) とダラツマブ、ボルテゾミブ、及びデキサメタゾン (DVd) を比較する第3相、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験 (EXCALIBER-RRMM)	ブリストル・マイヤーズスクイブ(株)	岩崎 浩己	14,406,336
24	21C17	未治療の転移性扁平上皮又は非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象としたプラチナ製剤併用療法において、ペムブロリズマブの皮下投与と静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第Ⅲ相試験	MSD(株)	武岡 宏明	20,183,688
25	21C20	非生物学的製剤によるループス標準治療を受けている活動性の全身性エリテマトーデス成人患者を対象としたBII B059の有効性及び安全性を評価する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、第Ⅲ相臨床試験	バイオジェン・ジャパン(株)	宮村 知也	5,270,400
26	21C22	MK-3475の治験で治療中又はフォローアップ中の進行悪性腫瘍患者を対象に、長期の安全性及び有効性を評価する多施設共同非盲検第Ⅲ相継続試験	MSD(株)	武岡 宏明	1,282,176
27	21C25	A Phase III, Multicenter, Open-Label, Randomized Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Belantamab Mafodotin in Combination with Pomalidomide and Dexamethasone (B-Pd) versus Pomalidomide plus Bortezomib and Dexamethasone (PVd) in Participants with Relapsed/Refractory Multiple Myeloma (DREAMM 8) 再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象としてbelantamab mafodotinとボマリドミド及びデキサメタゾンとの併用療法 (B-Pd) の有効性及び安全性を、ボマリドミドとボルテゾミブ及びデキサメタゾンとの併用療法 (PVd) と比較検討する多施設共同非盲検無作為化第Ⅲ相試験 (DREAMM 8)	IQVIAサービシーズジャパン(株) (治験国内管理人)	岩崎 浩己	20,516,832
28	21C27	A Phase 3 Open-Label, Randomized, Controlled, Global Study of Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) Versus Docetaxel in Subjects with Previously Treated c-Met Overexpressing, EGFR Wildtype, Locally Advanced/Metastatic Non-Squamous Non-Small Cell Lung Cancer 治療歴を有するc-Met 過剰発現, EGFR 野生型, 局所進行性/ 転移性非扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象として, Telisotuzumab Vedotin (ABBV-399) とドセタキセルを比較する第Ⅲ相, 非盲検, 無作為化, 比較対照, 国際共同試験	アッヴィ合同会社	武岡 宏明	13,251,168

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	責任医師	契約金額(円)
29	21C28	DREAMM7: A Multicenter, Open-Label, Randomized Phase III Study to Evaluate the Efficacy and Safety of the Combination of Belantamab Mafodotin, Bortezomib, and Dexamethasone (B-Vd) Compared with the Combination of Daratumumab, Bortezomib and Dexamethasone (D-Vd) in Participants with Relapsed/Refractory Multiple Myeloma DREAMM7: 再発・難治性多発性骨髄腫患者を対象として belantamab mafodotin、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン併用療法 (B-Vd) の有効性及び安全性をダラツムマブ、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン併用療法 (D-Vd) と比較検討する多施設共同非盲検無作為化第Ⅲ相試験	グラクソ・スミスクライン(株)	岩崎 浩己	10,632,384
30	21R29	切除不能進行・再発小腸癌患者に対するベバシズマブ併用 FOLFOX療法の第Ⅱ相多施設共同盲検ランダム化比較試験	【医師主導治験】	吉村 大輔	—
31	22C01	A Multicenter Randomized Double-Blind Placebo-Controlled Phase 3 Study to Evaluate the Efficacy and Safety of Anifrolumab in Adult Patients with Active Proliferative Lupus Nephritis 活動性を示す増殖性ループス腎炎を有する成人患者を対象にアニフロルマブ投与の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験	アストラゼネカ(株)	宮村 知也	8,217,888
32	22C02	動脈硬化性心血管系疾患、慢性腎臓病、および全身性炎症を有する患者を対象とした心血管系アウトカムに関する ziltivekimab とプラセボの比較試験	ノボノルディスクファーマ (株)	中山 勝	10,848,000
33	22C04	転移性非小細胞肺癌患者を対象に、MK-7684とMK-3475の配合剤 (MK-7684A) と化学療法との併用療法をMK-3475+化学療法と比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験	MSD(株)	武岡 宏明	27,767,040
34	22C05	進展型小細胞肺癌の未治療患者を対象に、MK-7684A とエトポシド及びプラチナ製剤併用投与後のMK-7684A 投与を、アテゾリズマブとエトポシド及びプラチナ製剤併用投与後のアテゾリズマブ投与と比較する無作為化二重盲検第Ⅲ相試験 (KEYVIBE-008)	MSD(株)	武岡 宏明	23,068,080
35	22C06	A PhaseⅢ, Randomized, Open-Label, Sponsor-Blinded, Multicenter Study of Durvalumab in Combination with Tremelimumab±Lenvatinib Given Concurrently with Transarterial Chemoembolization (TACE) Compared to TACE Alone in Patients with Locoregional Hepatocellular Carcinoma (EMERALD-3) 局所肝細胞癌患者を対象として、肝動脈化学塞栓療法 (TACE) 及びデュルバルマブとトレメリムマブ±レンバチニブの併用療法を、TACE 単独療法との比較により評価する第Ⅲ 相ランダム化非盲検治験依頼者盲検多施設共同試験 (EMERALD-3)	アストラゼネカ(株)	和田 幸之	11,341,008
36	22C07	A phase3, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial comparing the efficacy and safety of tafasitamab plus lenalidomide in addition to R-CHOP versus RCHOP in previously untreated, high-intermediate and high-risk patients with newly-diagnosed diffuse large B-cell lymphoma (DLBCL) [frontMIND]/ 高中間リスク及び高リスクの未治療びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫 (DLBCL) と新たに診断された患者を対象に、tafasitamab+レナリドミド+R-CHOP併用療法及びRCHOP療法の有効性及び安全性を比較する第3相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験 [frontMIND]	インサイト・バイオサイエンズ・ジャパン(株)	岩崎 浩己	28,534,464
37	22R08	副腎皮質ステロイドに抵抗性の成人発症スチル病 (AOSD) 患者に対する 5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム (5-ALA-HCl/SFC) の第Ⅱ相医師主導、ランダム化二重盲検並行群間比較試験	【医師主導治験】	宮村 知也	—
38	22C09	特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象としたPRM-151の長期投与時の安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相非盲検延長試験	ラボコープ・イペロップメント・ジャパン(株)	岡元 昌樹	6,799,968
39	22R11	成人発症スチル病 (AOSD) に対する 5-アミノレブリン酸塩酸塩/クエン酸第一鉄ナトリウム (5-ALA HCL/SFC) 投与の医師主導、継続投与試験	【医師主導治験】	宮村 知也	—

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	責任医師	契約金額 (円)
40	22C12	治験実施計画書の標題：活動性の全身性エリテマトーデス成人患者を対象としたBII B059の継続的な安全性及び有効性を評価する多施設共同、無作為化、用量盲検、第III相長期継続臨床試験	エイツヘルスケア (株)	宮村 知也	2,363,600
41	22C14	A double blind, randomized, placebo-controlled trial evaluating the efficacy and safety of BI 1015550 over at least 52 weeks in patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis (IPF) 特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に, BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検, ランダム化, プラセボ対照試験	ベーリンガーインゲルハイム(株)	岡元 昌樹	64,063,440
42	22C15	A double blind, randomized, placebo-controlled trial evaluating the efficacy and safety of BI 1015550 over at least 52 weeks in patients with Progressive Fibrosing Interstitial Lung Diseases (PF-ILDs) 進行性線維化を伴う間質性肺疾患 (PF-ILD) 患者を対象に, BI 1015550を52週間以上投与したときの有効性及び安全性を検討する二重盲検, ランダム化, プラセボ対照試験	ベーリンガーインゲルハイム(株)	岡元 昌樹	16,165,800
43	22B16	A Phase II b/III Randomized, Double-blind, Placebo-controlled Study to Evaluate the Safety and Efficacy of Cotadutide in Participants with Non-cirrhotic Non-alcoholic Steatohepatitis with Fibrosis 線維化を伴う非肝硬変非アルコール性脂肪肝炎の患者を対象にcotadutideの安全性及び有効性を評価する第II b/III相ランダム化二重盲検プラセボ対照試験	アストラゼネカ (株)	中牟田 誠	9,840,000
44	22B17	活動性を有する特発性炎症性筋疾患患者を対象としてnipocalimabの有効性及び安全性を評価する多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較第2相試験	ヤンセンファーマ(株)	宮村 知也	9,421,776
45	22B18	リスク対立遺伝子PNPLA3 rs738409 148M を保有する、線維化を伴う非肝硬変非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の患者を対象にAZD2693 の有効性、安全性、及び忍容性を評価するランダム化二重盲検プラセボ対照多施設共同第II b相試験	アストラゼネカ (株)	中牟田 誠	3,187,200
46	23C01	急性非心原塞栓性虚血性脳卒中又は高リスクTIA (一過性脳虚血発作) 発症後の18歳以上の男性又は女性を対象に経口FXIa阻害薬asundexian (BAY 2433334) の虚血性脳卒中発症抑制効果を検討する多施設共同、国際共同、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、並行群間比較、イベント主導型第III相試験	バイエル薬品 (株)	杉森 宏	39,461,856
47	23C04	急性期虚血性脳卒中又は高リスク一過性脳虚血発作後の脳卒中の再発抑制を目的とした経口第XIa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、並行群間、プラセボ対照試験	ヤンセンファーマ(株)	杉森 宏	9,772,800
48	23C05	未治療の転移性非小細胞肺癌患者を対象に化学療法との併用療法においてペムブロリズマブとヒアルロニダーゼの配合剤 (MK-3475A) の皮下投与とペムブロリズマブの静脈内投与の薬物動態及び安全性を比較する無作為化非盲検第III相試験	MSD(株)	武岡 宏明	12,276,432
49	23C06	PD-L1陽性 [Tumor Proportion Score (TPS) ≥50%] の転移性非小細胞肺癌患者を対象に、1次治療としてペムブロリズマブ (MK-3475) +sacituzumab govitecanの併用療法をMK-3475単独療法と比較する非盲検多施設共同無作為化実薬対照第III相試験 (KEYNOTE D46/EVOKE-03)	MSD(株)	武岡 宏明	10,462,032
50	23C07	中等度から重度の全身性エリテマトーデス (systemic lupus erythematosus : SLE) の成人被験者を対象としてバックグラウンド治療に追加投与したcenerimodの有効性、安全性及び忍容性を評価する第3相、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間試験 A Phase 3, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled, parallel-group study to evaluate the efficacy, safety, and tolerability of cenerimod in adult subjects with moderate-to-severe systemic lupus erythematosus (SLE) on top of background therapy	イドルシアファーマシューティカルズジャパン株式会社	宮村 知也	3,370,400
51	23C08	全身性エリテマトーデス患者を対象とした、オビヌツズマブの多施設共同、プラセボ対照、ランダム化、二重盲検第III相臨床試験	中外製薬(株)	宮村 知也	17,711,904

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	責任医師	契約金額(円)
52	23C09	中枢神経系（CNS）病変を有する又は疑われる成人患者を対象にMRI 検査におけるgadodiamide 0.04 mmol Gd/kg の有効性及び安全性について既承認の環状型ガドリニウム系造影剤（mGBCA）0.1 mmol Gd/kg を対照に検討する多施設共同、無作為化、前向き、クロスオーバー、第Ⅲ相、二重盲検試験	バイエル薬品（株）	野口 智幸	4,256,280
53	23R02	切除可能な遠隔転移を有する結腸・直腸癌患者を対象としたLUNAR-1の有用性を検討する医師主導治験	【医師主導治験】	楠本 哲也	—
54	23R03	根治切除不能な甲状腺未分化がんに対する ニボルマブとレンバチニブ併用療法の第Ⅱ相試験	【医師主導治験】	田村 真吾	—
55	23-10D	切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌患者を対象としたセツキシマブ サロタロカンナトリウム（遺伝子組換え）を用いた光免疫療法の5回以上治療における非対照、非盲検、多施設共同の安全性確認試験	楽天メディカル（株）	瓜生 英興	3,614,688
56	23-11C	発症後間もない急性冠症候群患者を対象に経口第Ⅺa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、event-driven試験	ヤンセンファーマ（株）	村里 嘉信	35,941,248
57	23-12C	A Multicenter, Parallel-group, Double-blind, 2-Arm, Phase III Study to Investigate the Efficacy and Safety of Anifrolumab Administered as Subcutaneous Injection and Added to Standard of Care Compared with Placebo Added to Standard of Care in Adult Participants with Idiopathic Inflammatory Myopathies (Polymyositis and Dermatomyositis) 特発性炎症性筋疾患（多発性筋炎及び皮膚筋炎）の成人被験者を対象に標準治療に上乗せしてアニ フロルマブを皮下投与したときの有効性及び安全性をプラセボと比較検討する第Ⅲ相、多施設共同、並行群間、二重盲検、2群試験	アストラゼネカ（株）	宮村 知也	3,187,200
58	23-13C	心房細動を有する参加者を対象とした経口第Ⅺa因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性をアピキサバンを対照に評価する第3相、ランダム化、二重盲検、ダブルダミー、並行群間、実薬対照試験	ヤンセンファーマ（株）	中村 俊博	53,548,320
59	23-14W	BRAF V600遺伝子変異を有する根治切除不能な甲状腺がんを対象としたONO-7702とONO-7703との併用療法の拡大治験	小野薬品工業（株）	田村 真吾	7,216,608
60	23-15C	特発性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第3相試験	ブリストル・マイヤーズ スクイブ（株）	岡元 昌樹	70,610,400
61	23-16C	進行性肺線維症患者を対象としたBMS-986278の有効性、安全性及び忍容性を検討する多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照第3相試験	ブリストル・マイヤーズ スクイブ（株）	岡元 昌樹	37,800,000
62	23-17C	再発又は難治性の多発性骨髄腫（RRMM）患者を対象にMezigdomide（CC-92480）、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン（MeziVd）とボマリドミド、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン（PVD）を比較する第3相、2ステージ、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験：SUCCESSOR-1	ブリストル・マイヤーズ スクイブ（株）	高瀬 謙	7,061,040
63	23-18C	非アルコール性脂肪肝炎（NASH）を対象とした治療アプリCA-NASHの有効性及び安全性を評価する無作為化非盲検並行群間比較試験（第Ⅲ相試験）	株式会社 CureApp	國府島庸之	3,598,560
64	23-19C	Expanded Access Study for the Treatment of Patients with Commercially Out-of-Specification Axicabtagene Ciloleucel 製品規格外Axicabtagene Ciloleucelを用いた患者治療のための拡大アクセス試験（EAP）	Kite Pharma, Inc. ICON臨床リサーチ合同会社	高瀬 謙	2,555,291
65	23-20A	再発又は難治性のT細胞リンパ腫患者を対象としたBMS-986369の安全性、忍容性、薬物動態及び有効性を検討する国内第1/2相試験	ブリストル・マイヤーズ スクイブ（株）	高瀬 謙	16,803,360
66	24-01C	A PhaseⅢ, Randomised, Multicentre, Double-blind Study to Evaluate the Efficacy, Safety, and Tolerability of Zibotentan/Dapagliflozin Compared to Dapagliflozin Alone in Participants with Chronic Kidney Disease and High Proteinuria 高蛋白尿を伴う慢性腎臓病患者を対象に、ジボテンタン/ダパグリフロジン配合剤の有効性、安全性、及び忍容性をダパグリフロジン単剤と比較する多施設共同ランダム化二重盲検第Ⅲ相試験	アストラゼネカ（株）	中山 勝	9,368,000

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	責任医師	契約金額 (円)
67	24-02C	再発又は難治性の多発性骨髄腫 (RRMM) 患者を対象に Mezigdomide (CC-92480/BMS-986348)、カルフィルゾミブ及びデキサメタゾン (MeziKd) とカルフィルゾミブ及びデキサメタゾン (Kd) を比較する第3相、2ステージ、ランダム化、多施設共同、オープンラベル試験: SUCCESSOR-2	ブリストル・マイヤーズ スクイブ(株)	高瀬 謙	7,862,400
68	24-03C	An open-label extension trial of the long-term safety and efficacy of BI 1015550 taken orally in patients with idiopathic pulmonary fibrosis (IPF) and progressive pulmonary fibrosis (PPF) (FIBRONEER™-ON) 特発性肺線維症 (IPF) 及び進行性肺線維症 (PPF) 患者を対象に、BI 1015550を経口投与したときの長期安全性及び有効性を検討する非盲検継続投与試験 (FIBRONEER™-ON)	ベーリンガーインゲルハイム(株)	岡元 昌樹	50,833,440
69	24-04C	前治療歴のあるEGFR遺伝子変異陽性又はその他の遺伝子異常陽性の進行又は転移性非小細胞肺癌 (非扁平上皮癌) を対象に MK-2870と化学療法 (ドセタキセル又はペメトレキセド) を比較する無作為化、非盲検、第III相試験	MSD(株)	武岡 宏明	11,075,400
70	24-05C	PD-L1 TPSが50%以上の転移性非小細胞肺癌患者の一次治療としてMK-2870+ペムブロリズマブ併用療法をペムブロリズマブ単独療法と比較する無作為化非盲検第III相試験	MSD(株)	武岡 宏明	14,075,208
71	24-06C	HER2活性化変異を有する局所進行又は転移性の非小細胞肺癌 (NSCLC) 患者を対象に、一次治療としてBAY 2927088を経口投与したときの有効性及び安全性を標準治療と比較する、非盲検、無作為化、実薬対照、多施設共同、第3相試験	バイエル薬品 (株)	武岡 宏明	5,446,980
72	24-07B	特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に、各用量のBI1819479を24週間以上経口投与したときの有効性、安全性及び忍容性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、用量設定試験	ベーリンガーインゲルハイム(株)	岡元 昌樹	39,805,920
73	24-08B	臨床的に意味のある咳嗽を伴う特発性肺線維症又は進行性肺線維症患者を対象に、BI1839100を12週間にわたり経口投与したときの有効性及び安全性を検討する、第IIa/IIb相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、用量設定試験	ベーリンガーインゲルハイム(株)	岡元 昌樹	24,252,480
74	24-09C	未治療の高リスク大細胞型B細胞リンパ腫患者を対象にした Golcadomide+R-CHOPの有効性及び安全性をプラセボ+R-CHOPと比較する第3相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験	ブリストル・マイヤーズ スクイブ(株)	高瀬 謙	13,567,680
75	24-10B	MIRO CKD : A Phase II b, Multicentre, Randomised, Double Blind, Dose finding Study to Evaluate the Efficacy, Safety and Tolerability of Balcinrenone in Combination with Dapagliflozin Compared with Dapagliflozin in Patients with Chronic Kidney Disease and Albuminuria MIRO CKD : アルブミン尿を伴う慢性腎臓病患者を対象に、balcinrenonebalcinrenone /ダパグリフロジン配合剤の有効性、安全性、及び忍容性をダパグリフロジン単剤と比較する多施設共同ランダム化二重盲検用量設定第II b 相試験	アストラゼネカ (株)	中山 勝	5,386,800
76	24-11C	転移性非小細胞肺癌の一次治療におけるivonescimab+化学療法とペムブロリズマブ+化学療法を比較する無作為化二重盲検国際共同第III相試験	シミック(株)	武岡 宏明	14,227,584
77	24-12C	転移性扁平上皮非小細胞肺癌患者を対象に、一次治療としてペムブロリズマブ、カルボプラチン 及びタキサン系薬剤 (パクリタキセル又はnab-パクリタキセル) の併用投与後に維持療法として MK-2870の併用又は非併用下でペムブロリズマブを投与する第III相試験	MSD(株)	武岡 宏明	17,422,272
78	24-14B	A randomized, double-blind, dose-ranging, placebo-controlled study to evaluate the efficacy and safety of PLN-74809 (bexotegast) for the treatment of idiopathic pulmonary fibrosis (BEACON-IPF) 特発性肺線維症の治療におけるPLN-74809 (bexotegast) の有効性及び安全性を評価する無作為化、二重盲検、用量設定、プラセボ対照試験 (BEACON-IPF)	(株)Ascent Development Services	岡元 昌樹	13,698,720
79	24-15C	慢性閉塞性肺疾患患者を対象にastegolimab の有効性及び安全性を評価する第III相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験	Fortrea Japan(株)	岡元 昌樹	5,014,800

No	整理番号	研究課題名	治験依頼者	責任医師	契約金額(円)
80	24-16C	中等症から重症の シェーグレン病 (SjD) 成人患者を対 象としてニボカリマ プの有効性及び安 全性を評価するラ ンダム化、プラセボ 対照、二重盲検、多施設共同、第 3 相 試験	ヤンセンファーマ(株)	宮村 知也	22,079,232
81	24-17C	A randomised, double-blind, placebo-controlled, multicentre, Phase III trial evaluating long-term efficacy and safety of survodutide weekly injections in adult participants with non-cirrhotic non-alcoholic steatohepatitis/metabolic dysfunction associated steatohepatitis (NASH/MASH) and (F2) - (F3) stage of liver fibrosis 肝線維化ステージF2 - F3を伴う非肝硬変性の非アルコール性脂肪肝炎／代謝機能障害関連脂肪肝炎 (NASH/MASH) 成人患者を対象としてsurvodutideを週 1 回投与したときの長期有効性及び安全性を評価する、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第III相試験	ベーリンガーインゲルハイム(株)	國府島庸之	8,450,568
82	24-19C	免疫療法及びプラチナ製剤を含む化学療法後に進行したドライバークロニカル炎症性肺病MET過剰発現を有する局所進行性又は転移性非小細胞肺癌患者を対象としたゲマロンチニブとドセタキセルの非盲検、ランダム化、多施設共同臨床第 3 相比較試験	海和製薬(株)	武岡 宏明	2,179,600
83	24-20C	PD-L1 が高発現 (PD-L1 発現腫瘍細胞が50%以上) している局所進行、切除不能又は転移性非小細胞肺癌の治験参加者を対象に、一次治療としてSigvatug Vedotin とペムプロリズマブの併用療法とペムプロリズマブ単剤療法を比較する第 3 相、非盲検、無作為化、比較対照試験 (Be6A Lung-02 試験)	ファイザー(株)	武岡 宏明	6,412,800 (5,136,000)

受託研究

No	整理番号	会社名	課題名	責任医師
1	15F31	サノフィ株式会社	カプレルサ錠100mg特定使用成績調査	田村 真吾
2	17E46	JCRファーマ株式会社	テムセルHS注 使用成績調査（全例調査）	岩崎 浩己
3	18F13	ヤンセンファーマ株式会社	トラクリア錠62.5mg 特定使用成績調査（全身性強皮症における手指潰瘍の発症抑制・長期使用）	宮村 知也
4	18F26	ヤンセンファーマ株式会社	トレムフィアの乾癬に対する長期使用に関する特定使用成績調査	占部 和敬
5	19F11	アレクシオン ファーマ合同会社	ストレンジック®皮下注 長期の特定使用成績調査	福士 純一
6	19F16	ファイザー株式会社	ローブレナ錠特定使用成績調査	岡元 昌樹
7	19F20	アステラス製薬株式会社	スマイラフ錠50mg, 100mg 特定使用成績調査（整形外科・リウマチ科）	福士 純一
8	19F21	アステラス製薬株式会社	スマイラフ錠50mg, 100mg 特定使用成績調査（膠原病内科）	宮村 知也
9	19F30	ヤンセンファーマ株式会社	トレムフィアの掌蹠膿疱症に対する長期使用に関する特定使用成績調査	占部 和敬
10	19F31	ファイザー株式会社	ローブレナ錠特定使用成績調査	山崎 宏司
11	19E32	千寿製薬株式会社	イブリーフ静注20mg 一般使用成績調査	神野 俊介
12	20M01	京セラ株式会社	銀含有HAコーティング脊椎ケージを使用した脊椎固定術の有効性及び安全性を評価する前向き多施設共同研究（Resitage study）	小原 伸夫
13	20F02	アッヴィ合同会社	リンヴォック®錠 特定使用成績調査（全例調査）	宮村 知也
14	20F08	アッヴィ合同会社	リンヴォック®錠 特定使用成績調査（全例調査）	福士 純一
15	20F12	ファイザー株式会社	ビンダケルカプセル特定使用成績調査ートランスサイレチン型心アミロイドーシス患者に対する調査ー	大谷 規彰
16	21F05	エーザイ株式会社	関節リウマチ患者を対象としたジセラカ錠特定使用成績調査（整形外科・リウマチ科）	福士 純一
17	21F09	日本イーライリリー株式会社	バリシチニブ（オルミエント®）特定使用成績調査 トピー性皮膚炎（AD）の日本人患者を対象としたバリシチニブの製造販売後調査	占部 和敬
18	21F10	小野薬品工業株式会社	エドルミズ®錠 特定使用成績調査（消化管外科）	楠本 哲也
19	21F11	小野薬品工業株式会社	エドルミズ®錠 特定使用成績調査（腫瘍内科）	田村 真吾
20	21F12	小野薬品工業株式会社	エドルミズ®錠 特定使用成績調査（呼吸器内科）	岡元 昌樹
21	21F15	小野薬品工業株式会社	エドルミズ®特定使用成績調査〔がん悪液質：非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌〕（消化器内科）	加来 豊馬
22	21F17	ヤンセンファーマ株式会社	「ダラキューロ配合皮下注」に関する特定使用成績調査	岩崎 浩己
23	21F19	小野薬品工業株式会社	ビラフトビ・メクトビ特定使用成績調査〔がん化学療法後に増悪したBRAF遺伝子変異を有する治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌〕	楠本 哲也
24	21E22	Meiji Seika ファルマ株式会社	ハイヤスタ錠10mg再発または難治性の成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）患者における一般使用成績調査（全例調査）	高瀬 謙
25	21E23	Meiji Seika ファルマ株式会社	ハイヤスタ錠10mg再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫（PTCL）患者における一般使用成績調査（全例調査）	高瀬 謙
26	21E24	アステラス製薬株式会社	パドセブ®一般使用成績調査	田村 真吾
27	21F25	アストラゼネカ株式会社	サフネロー点滴静注300mg特定使用成績調査 全身性エリテマトーデス患者を対象とした全例調査	宮村 知也
28	22F05	バイエル薬品株式会社	マスーレッド錠長期特定使用成績調査	大谷 規彰
29	22E06	楽天メディカル株式会社	アキラルックス点滴静注250mg一般使用成績調査（全例調査）一切切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌ー	中島 寅彦
30	22E07	小野薬品工業株式会社	オブジーボ 一般使用成績調査 原発不明癌	田村 真吾
31	22F08	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	オフエブ®カプセル特定使用成績調査（長期投与）（全身性強皮症に伴う間質性肺疾患）	岡元 昌樹
32	22E11	武田薬品工業株式会社	アルンブリグ錠一般使用成績調査 「非小細胞肺癌」	松尾 規和

No	整理番号	会社名	課題名	責任医師
33	22E12	中外製薬株式会社	ヘムライブラ®皮下注一般使用成績調査 ー後天性血友病A患者における出血傾向の抑制ー	高瀬 謙
34	22F13	ノバルティスファーマ株式会社	ベオビュ硝子体内注射用キット 120mg/mL 特定使用成績 調査 (DME, CRTH258B1401)	長谷川英一
35	22F14	イドルシアファーマシューティカル ズジャパン株式会社	ピヴラツ点滴静注液150mg特定使用成績調査 (長期観 察)	徳永 聡
36	22F15	イドルシアファーマシューティカル ズジャパン株式会社	ピヴラツ点滴静注液150mg特定使用成績調査 (長期観 察)	溝口 昌弘
37	22E16	アストラゼネカ株式会社	オンデキサ静注用200mg 一般使用成績調査	森 興太
38	22E18	第一三共株式会社	エザルミア錠一般使用成績調査	岩崎 浩己
39	22F19	日本イーライリリー株式会社	日本人RET融合遺伝子陽性甲状腺癌又はRET遺伝子変異 陽性MTC患者を対象としたセルペルカチニブ特定使用成 績調査 (全例調査)	田村 真吾
40	22E20	アストラゼネカ株式会社	リムパーザ錠100mg、150mg BRCA 遺伝子変異陽性かつ HER2 陰性で再発高リスクの乳癌患者における術後薬物 療法を対象とした一般使用成績調査	岩熊 伸高
41	23F01	武田薬品工業株式会社	カボメティクス錠 特定使用成績調査 「肝細胞癌」	高見 裕子
42	23F02	武田薬品工業株式会社	カボメティクス錠 特定使用成績調査 「肝細胞癌」	國府島庸之
43	23E05	バイエル薬品株式会社	バリキューボ錠使用成績比較調査 (慢性心不全)	大谷 規彰
44	23F07	エーザイ株式会社	潰瘍性大腸炎患者を対象としたジセラカ錠特定使用成績 調査	吉村 大輔
45	23F08	アストラゼネカ株式会社	イジュド点滴静注25mg・300mg イミフィンジ点滴静 注120mg・500mg 切除不能な肝細胞癌患者を対象とし た特定使用成績調査 (全例調査)	播本 憲史
46	23G10	第一三共株式会社	「ランマーク皮下注120mg」に関する副作用・感染症詳細 調査	永井 清志
47	23G11	小野薬品工業株式会社	オプジーボ/ヤーボイ 副作用・感染症詳細調査	田川 哲三
48	23F13	アストラゼネカ株式会社	イジュド点滴静注25mg・300mg イミフィンジ点滴静 注120mg・500mg 切除不能な肝細胞癌患者を対象とし た特定使用成績調査 (全例調査)	國府島庸之
49	23F14	大正製薬株式会社	ナノゾラ®皮下注30mgシリンジ特定使用成績調査	福士 純一
50	23E15	大塚製薬株式会社	サムタス一般使用成績調査 (心性浮腫)	大谷 規彰
51	23F16	レコルダティ・レア・ディーズ・ ジャパン株式会社	エジャイモ点滴静注1.1g 特定使用成績調査<寒冷凝集 素症患者>	高瀬 謙
52	23E18	ジェンマブ株式会社	エプキンリ®皮下注 再発又は難治性の大型細胞型B細胞性 リンパ腫及び再発又は難治性の濾胞性リンパ腫 一般使 用成績調査 (全例調査)	高瀬 謙
53	23F19	第一三共株式会社	エンハーツ点滴静注用 特定使用成績調査 ー肺癌患者を対象とした間質性肺疾患の検討ー (呼吸器 内科)	松尾 規和
54	23F20	キッセイ薬品工業株式会社	タバリス錠®100mg・150mg 長期使用に関する特定使 用成績調査	高瀬 謙
55	23F21	旭化成ファーマ株式会社	エムパバリ皮下注1080mg特定使用成績調査 (発作性夜間ヘモグロビン尿症患者を対象とした全例調 査)	高瀬 謙
56	23H22	株式会社CureApp	非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) を対象とした治療ア プリCA-NASHの有効性及び安全性を評価する無作為化 非盲検並行群間比較試験 (第III相試験)	國府島庸之
57	24H01	一般社団法人 日本血液製剤機構	医薬品 (アコアラン静注用) の妊娠中投与の安全性に関 する調査	高瀬 謙
58	24E02	サノフィ株式会社	カブリビ注射用10mg 一般使用成績調査 (発作性夜間ヘモグロビン尿症患者を対象とした全例調 査)	高瀬 謙
59	24F03	エーザイ株式会社	レケンビ 特定使用成績調査 ー早期アルツハイマー病患者に対するARIAに関する調査 (全例調査) ー	桑城 貴弘

No	整理番号	会社名	課題名	責任医師
60	24F04	ヤンセンファーマ株式会社	ダラキューロ配合皮下注 ベルケイド注射用 3mg 全身性ALアミロイドーシス患者を対象とした特定使用成績調査（プロトコールNo：DRQ2L）	高瀬 謙
61	24F05	エーザイ株式会社	タズベリク錠200mg 特定使用成績調査 －再発又は難治性のEZH2遺伝子変異陽性の濾胞性リンパ腫患者（標準的な治療が困難な場合に限る）における安全性に関する調査（全例調査）－	高瀬 謙
62	24F06	MSD株式会社	ノクサフィル®錠100mg及びノクサフィル®点滴静注300mg 特定使用成績調査：低体重かつ高齢の患者における安全性の確認	高瀬 謙
63	24F07	旭化成ファーマ株式会社	クレセンバカプセル100mgおよびクレセンバ点滴静注用200mg特定使用成績調査：アスペルギルス症に対する安全性の確認	高瀬 謙
64	24E08	第一三共株式会社	エザルミア錠一般使用成績調査 －再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫患者－	高瀬 謙
65	24G09	中外製薬株式会社	ヘムライブラ®皮下注 有害事象詳細調査	高瀬 謙
66	24H10	エムスリー株式会社	「未治療のdMMR/MSI-Hを有するT4N0又はStage IIIの切除可能な結腸癌患者を対象とした、周術期治療としてのdostarlimab単剤療法と標準治療を比較する第Ⅲ相、非盲検、無作為化試験」に関する治験実施施設への患者紹介	太田 光彦
67	24E11	中外製薬株式会社	ピアスカイ®注340mg 一般使用成績調査（全例調査） －発作性夜間ヘモグロビン尿症－	高瀬 謙
68	24E12	アステラス製薬株式会社	ピロイ®一般使用成績調査【消化管外科】	太田 光彦
69	24E13	アステラス製薬株式会社	ピロイ®一般使用成績調査【腫瘍内科】	田村 真吾
70	24F14	ネクセラファーマジャパン株式会社	ビヴラッツ点滴静注液150mg特定使用成績調査（長期観察）	徳永 聡
71	24E15	日本新薬株式会社	ビキセオス配合静注用一般使用成績調査	高瀬 謙
72	24F16	ファイザー株式会社	エルレフィオ皮下注特定使用成績調査－長期使用に関する調査－（C1071010）	高瀬 謙
73	24E17	塩野義製薬株式会社	フェトロージャ点滴静注用 1g一般使用成績調査	長崎 洋司
74	24H18	IQVIAサービシーズ ジャパン 合同会社	本邦におけるクロバリマブ投与発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）患者を対象とする実臨床観察研究（ANSHAR study）	高瀬 謙
75	24F19	日本イーライリリー株式会社	I5T-JE-B003：本邦におけるアルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症患者を対象としたドナネマブ（ケサンラ®）特定使用成績調査（全例調査）	桑城 貴弘
76	24H20	サノフィ株式会社	国内の血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者におけるエルアネソクトコグ アルファの多施設前向き観察研究	南 留美
77	24G21	中外製薬株式会社	カドサイラ点滴静注用 有害事象詳細調査	岩熊 伸高
78	24G22	小野薬品工業株式会社	オブジーボ点滴静注 副作用・感染症詳細調査	南野 高志

臨床研究セミナー・臨床研究発表会開催一覧

開催日	タイトル	所 属	発表者
令和6年 9月27日	臨床研究サポート勉強会 NHOで出来ること～ネットワーク研究～ NHOネットワーク研究「我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究」での実際	循環器内科	村里 嘉信
	質量分析で出来ること「質量分析とその活用」	九州プロサーチ	古川 克己
令和7年 7月1日	令和6年度臨床研究発表会 最優秀学術賞 重症虚血肢患者における坐骨神経萎縮は潰瘍治癒に関連する	血管外科	松原 裕
	優秀学術賞 クリティカルパス入院データに基づく早期線維化性間質性肺疾患の予後因子、治療成績の研究	呼吸器内科	岡元 昌樹
	メロペネム供給制限の影響：多施設共同後ろ向き研究	薬剤部	高武 嘉道
	学術賞 降圧薬内服下高血圧患者における実測尿中ナトリウム/カリウム比（Na/K比） ～午前中の随時尿 対 前日24時間家庭蓄尿の比較～ 当院での甲状腺未分化癌症例の検討	臨床検査科、 高血圧内科	荒川 仁香
	化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステロイドが免疫関連有害事象に与える影響	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	宮城 慎平
		薬剤部	筒井 佑紀

CPC開催一覧

回数	症 例	診療科	開催日
228	重症感染を疑うも診断がつかず多臓器不全にて死亡に至った一例	呼吸器内科	2024.6.3
229	重症敗血症のような経過をたどったものの診断できなかった一例	救急科	2024.12.4
230	COVID-19罹患後に急性肝不全のため死亡に至った症例	血液内科	2025.1.16
231	急性増悪が疑われる気腫合併肺繊維症肺癌合併例	呼吸器内科	2025.3.6
232	Edwardsiella菌血症により感染性大動脈瘤を発症したと考えられた一例	循環器内科	2025.3.26

研究課題一覧

倫理審査

診療科	氏 名	課 題 名
3階東病棟	江崎 智也	急性期脳卒中患者の脈圧と瞳孔反応の関連性の研究
9階東病棟	平野 智子	造血幹細胞移植患者の下肢筋力低下における認識の実態調査から効果的な指導内容の検討
AIDS/HIV総合治療センター	山本 政弘	HIV感染症の医療体制の整備に関する研究（H27-エイズ-指定-005） 九州ブロックにおけるHIV感染症の医療体制の整備に関する研究
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	MSM（ゲイ・バイセクシュアル男性）に対する有効なHIV 検査提供とハイリスク層への介入に関する研究～福岡県CBO主導のセクシュアルヘルス向上のための普及啓発の開発と効果評価
HIV/AIDS総合治療センター	南 留美	※2020年8月継続審議分 20C093 HIV感染に伴う認知機能障害（HAND）早期診断の為のスクリーニング検査の開発
眼科	武田 篤信	（適応外使用） ガンシクロビル（点眼・硝子体内注射）/サイトメガロウイルス（CMV）角膜内皮炎
眼科	中尾新太郎	硝子体手術において摘出した網膜増殖組織のシングルセル解析
眼科	武田 篤信	（適応外使用） 黄斑円孔、黄斑上膜、黄斑円孔網膜剥離、増殖糖尿病網膜症、増殖硝子体網膜症、糖尿病黄斑浮腫/プリリアントブル-G
眼科	武田 篤信	（適応外使用） 難治性血管新生眼疾患（加齢黄斑変性・糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症・血管新生緑内障・腫瘍）/血管新生阻害剤（アバスタチン）
眼科	武田 篤信	（医療倫理） 眼感染症網羅的PCR検査
がん診療統括部	池尻 公二	我が国のGIST治療におけるイマチニブ使用の実態に関する研究

診療科	氏 名	課 題 名
感染症内科	長崎 洋司	新型コロナウイルス感染症の遺伝学的知見に基づいたCOVID19ワクチンの開発と評価系の構築
肝胆膵外科	和田 幸之	切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ治療効果の検討（多施設共同研究）
肝胆膵外科	和田 幸之	※2018年4月継続審議分 18C005 切除不能肝細胞癌に対するレンパチニブ治療効果の検討（多施設共同研究）
肝胆膵外科	和田 幸之	進行肝細胞癌に対する全身化学療法例における画像増悪後生存の検討
肝胆膵外科	和田 幸之	実臨床における進行肝細胞癌に対する全身化学療法レンパチニブ治療例における効果と安全性の検討
肝胆膵外科	和田 幸之	大腸癌肝転移に対するマイクロ波凝固壊死療法の有効性の検討
がん登録センター	蓮尾 泰之	がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究
がん登録センター	高見 裕子	がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究
血液内科	岩崎 浩己	初発時よりダサチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の成人慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験（D-STOP216試験）
血液内科	岩崎 浩己	初発時よりニロチニブが投与され分子遺伝学的完全寛解を2年間以上維持した慢性期の成人慢性骨髄性白血病症例に対する薬剤中止試験（N-STOP216試験）
血液内科	岩崎 浩己	未治療多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験-JSCTMM16-
血液内科	岩崎 浩己	骨髄破壊の前処置による移植後シクロホスファミドを用いた血縁者間HLA半合致移植後における併用免疫抑制剤の減量および早期中止の多施設共同第Ⅱ相試験（JSCT Haplo17 MAC）
血液内科	岩崎 浩己	再発・難治性悪性リンパ腫に対するサルベージ療法の入院期間短縮に関する臨床研究（介入研究）
血液内科	岩崎 浩己	移植非適応初発多発性骨髄腫患者に対するレナリドミド・デキサメタゾン（Rd）療法に効果不十分の症例に対しボルテゾミブを追加するレスポンスガイドセラピーの有用性と安全性-WJHS MM01-
血液内科	岩崎 浩己	（適応外使用） ランゲルハンス細胞組織球症/シタラピン
血液内科	岩崎 浩己	再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象としたイクキサゾミブとレナリドミド及びデキサメタゾン併用療法の多施設共同前向き観察研究
血液内科	岡村 精一	未治療のCD20陽性びまん性大細胞型Bリンパ腫に対するR-CHOP療法におけるRituximabの投与スケジュールの検討を目的としたランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験（JCOG0601）
血液内科	岡村 精一	成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコール（FBMTG ALL/MRD2008）
血液内科	岡村 精一	成人T細胞白血病・リンパ腫に対する骨髄破壊の前処置法を用いた同種造血幹細胞移植療法を組み込んだ治療法に関する第Ⅱ相試験（JCOG0907）
血液内科	高瀬 謙	未治療多発性骨髄腫に対する治療強度を高めた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床研（JSCT MM14）
血液内科	高瀬 謙	抗ヒト胸腺細胞免疫グロブリンを用いたHLA適合ドナーからの同種末梢血幹細胞移植の多施設共同第Ⅱ相試験（JSCT ATG 15）
血液内科	高瀬 謙	非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞移植における検体保存事業
血液内科	高瀬 謙	（適応外使用） 多発性骨髄腫/ポマリスト、カイトロリス、レナデックス
血液内科	山崎 聡	「アグレッシブATL前向きコホート研究」多施設共同前方視的観察研究 「アグレッシブATL前向きコホート研究」多施設共同前方視的観察研究附随研究/検体バンキング
血液内科	山崎 聡	未治療進行期低悪性度B細胞リンパ腫に対する、「リツキシマブ（リツキサン）とCHOP療法を3週間隔で投与する治療法」と「リツキシマブとCHOP療法をG-CSFを用いて2週間隔に投与する治療法」のランダム化比較第Ⅱ/Ⅲ相試験 JCOG 0203-MF（課題番号40番2003年1月承認分）
血液内科	山崎 聡	未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫における予後を予測するバイオマーカーの探索的研究（JCOG1411A1）
血液内科	岡村 精一	JCOG1105プロトコール（高齢者または移植拒否若年者の未治療症候性骨髄腫患者に対するmelphalan+prednisolone+bortezomib（MPB）導入療法の至適レジメンを探索するランダム化第Ⅱ相試験）
血液内科	岡村 精一	（旧課題名）JCOGバイオバンクプロジェクト （新課題名）JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク実施計画書
血液内科	岩崎 浩己	急性前骨髄球性白血病に対する治療プロトコール FBMTG APL2017

診療科	氏 名	課 題 名
血液内科	岩崎 浩己	日本における骨髄増殖性腫瘍の予後に関する大規模多施設前向き観察研究（JSH MPN-15）
血液内科	岩崎 浩己	骨髄増殖性腫瘍の実態調査
血液内科	岩崎 浩己	造血幹細胞移植時に発症するシクロフォスファミド関連心臓合併症の後方視的研究
血液内科	岩崎 浩己	（適応外使用） 再発・難治性多発性骨髄腫/エトポシド＋シスプラチン
血液内科	高瀬 謙	本邦におけるクロバリマブ投与発作性夜間ヘモグロビン尿症（PNH）患者を対象とする実臨床観察研究（ANSHAR study）
血液内科	山崎 聡	JCOG1411：未治療低腫瘍量進行期濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ療法早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験
血管外科	小野原俊博	腹部大動脈瘤治療に対する国立病院機構ネットワーク研究（腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術導入前・後の患者リスク背景、低侵襲性の比較検討と術前リスク評価の構築）
血管外科	小野原俊博	包括的高度慢性下肢虚血（CLTI）患者における認知症の下肢切断予後への影響についての研究
血管外科	小野原俊博	包括的慢性下肢虚血患者における肝機能が予後に与える影響についての研究
血管外科	松原 裕	大腿膝窩動脈弁変を有する閉塞性動脈硬化症患者におけるパクリタキセル薬剤溶出型末梢ステントを用いた血管内治療に関する多施設・前向き研究
高血圧内科	富永 光裕	心血管病・認知症の発症予防を目指した家庭血圧測定に関する研究-福岡高血圧コホート研究：Fukuoka Hypertension Cohort (FHC) Study-
膠原病内科	末松 栄一	日本における関節リウマチ患者の現状と問題点を全国的に継続的に明らかにするための共同臨床研究
膠原病内科	宮村 知也	全身性強皮症患者由来のトポイソメラーゼⅠ特異的Ⅰ型制御性T細胞の誘導及び抑制性機能解析
呼吸器外科	庄司 文裕	進行・再発非小細胞肺癌症例を対象としたアテゾリズマブ投与による腸内細菌多様性・腸内細菌種と有効性・免疫関連有害事象との関連性に関する前向き観察研究
呼吸器外科	竹尾 貞徳	高齢者化学療法未施行ⅢB/Ⅳ期扁平上皮肺癌に対するnab-Paclitaxel＋ Carboplatin併用療法とDocetaxel単剤療法のランダム化第Ⅲ相試験
呼吸器外科	竹尾 貞徳	悪性胸膜中皮腫の前方視的デューアレス研究
呼吸器外科	竹尾 貞徳	アジア人の非小細胞肺癌における個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-Asia）
呼吸器外科	竹尾 貞徳	胸部腫瘍の臨床病理学的因子および予後の検討
呼吸器外科	山崎 宏司	ICI治療前腸内細菌叢による肺癌免疫療法効果予測システム確立のための前向き観察研究
呼吸器外科	山崎 宏司	希少肺癌におけるProgrammed Death of Ligand 1（PD-L1）発現の臨床病理学的検討
呼吸器外科	山崎 宏司	（医療倫理） 内視鏡手術支援機器を用いた胸腔鏡下縦隔良性・悪性腫瘍手術
呼吸器外科	竹尾 貞徳	RET融合遺伝子等の低頻度の遺伝子変化陽性肺癌の臨床病理学的、分子生物学的特徴を明らかにするための前向き観察研究
呼吸器内科	一木 昌郎	脳転移（放射線未治療）のあるT790M陽性非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの第Ⅱ相試験
呼吸器内科	一木 昌郎	前治療のEGFR-TKI後に進行した、T790M陽性の局所進行または転移性非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたオシメルチニブ単剤療法とオシメルチニブ/カルボプラチン/ペメトレキセド療法の無作為化非盲検第Ⅱ相試験（LOGIK1604/NEJ032A TAKUMI Trial）
呼吸器内科	一木 昌郎	特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン＋nab-パクリタキセル＋ニンテダニブ療法とカルボプラチン＋nab-パクリタキセル療法のランダム化第Ⅱ相試験（J-SONIC）
呼吸器内科	一木 昌郎	前治療のEGFR-TKI後に進行した、T790M陽性の局所進行または転移性非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたオシメルチニブ単剤療法とオシメルチニブ/カルボプラチン/ペメトレキセド療法の無作為化非盲検第Ⅱ相試験（LOGIK1604/NEJ032A TAKUMI Trial）
呼吸器内科	一木 昌郎	特発性肺線維症合併進行非小細胞肺癌に対するカルボプラチン＋nab-パクリタキセル＋ニンテダニブ療法とカルボプラチン＋nab-パクリタキセル療法のランダム化第Ⅱ相試験（J-SONIC）（課題番号17A070）
呼吸器内科	岡元 昌樹	早期特発性肺線維症患者に対するニンテダニブ投与の安全性と忍容性に関する解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺疾患における進行性肺線維化の予測因子の解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺疾患における自己抗体の臨床的意義の解析

診療科	氏 名	課 題 名
呼吸器内科	岡元 昌樹	IPFのニンテダニブ投与例の長期予後バイオマーカーの解析
山茶花在宅クリニック	松本 好晴	訪問診療を受ける高齢患者のGNRIに影響を与える因子に関する横断研究
産科・婦人科	小川 昌宣	(適応外使用) 妊娠20週以降の切迫流産・早産/ニフェジピン
産婦人科	蓮尾 泰之	日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究 【新規申請】
産婦人科	蓮尾 泰之	局所進行子宮頸癌根治放射線療法施行例に対するUFTによる補助化学療法のランダム化第III相比較試験
産婦人科	久保 紀夫	さい帯血採血
産婦人科	久保 紀夫	移植に使用できない“さい帯血”の研究使用について
歯科口腔外科	吉川 博政	JROSG 12-2 日本人の頭頸部癌患者（SCCHN）におけるCetuximabを含む治療の観察研究
歯科口腔外科	吉川 博政	(適応外使用) 口腔扁平苔癬/プロトピック軟膏
歯科口腔外科	吉川 博政	新型コロナウイルス（COVID-19）感染者におけるポビドンヨード含嗽による唾液中ウイルス排出抑制効果に関する検討
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	(適応外使用) 頸動脈小体腫瘍/頸動脈ステント
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	(医療倫理) 原発不明頭頸部転移癌、上咽頭癌に対するEBER-ISH法
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	「頭頸部がん患者の化学放射線療法に伴うQOLの変化 —治療前・治療後3ヶ月の経過を通じて—」
腫瘍内科	内野 慶太	(適応外使用) 原発不明がん/ドセタキセル+ゲムシタビン
腫瘍内科	内野 慶太	(適応外使用) 肺外神経内分泌がん、メルケル細胞がん/エトポシド+カルボプラチン
腫瘍内科	内野 慶太	悪性腫瘍の病態、治療抵抗性に関連する免疫担当細胞の解明
腫瘍内科	内野 慶太	(適応外使用・希少癌) 小腸癌/FOLFIRI
腫瘍内科	下川 穂積	(適応外使用・希少癌) 悪性腹膜中脾腫/ペメトレキセド+カルボプラチン
腫瘍内科	田村 真吾	切除不能進行・再発胃癌に対するカペシタビン、オキサリプラチン、イリノテカン併用療法（XELOXIRI療法）の第I相試験
腫瘍内科	田村 真吾	切除不能・再発胆道癌に対するゲムシタビン併用化学療法に関する多施設共同観察研究
循環器内科	中村 俊博	レセプトおよびDPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する研究
循環器内科	中村 俊博	カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト（J-ABレジストリ）
循環器内科	中村 俊博	脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究
循環器内科	村里 嘉信	九州医療センター Bifurcation – Advance -courseの開催承認について
循環器内科	村里 嘉信	九州医療センター Bifurcation 3D-OFDI guided PCI courseの開催承認について
循環器内科	村里 嘉信	(医療倫理) 九州医療センター Bifurcation OCT Seminarの開催承認について
循環器内科	村里 嘉信	(医療倫理) 九州医療センター Bifurcation – Advance -courseの開催承認について（2018年9月28日実施分）
循環器内科	村里 嘉信	日本心血管インターベンション治療学会内登録データを用いた統合的解析（2017-2019年度日本医療研究開発機構事業「冠動脈疾患に係る医療の適正化を目指した研究」の内容を包括）
循環器内科	森 超男	心血管インターベンション学会JSIC Resistry Database構築
循環器内科	村里 嘉信	出血リスクの高い経皮的冠動脈インターベンション施行患者を対象としたプラスグレル治療の研究 —PENDULUM mono—（課題番号17C297）

診療科	氏 名	課 題 名
消化管外科	楠本 哲也	70歳以上の切除不能進行・再発結腸・直腸癌患者を対象としたTFTD（TAS-102）とBevacizumabの同時併用療法第II相臨床試験（KSCC1602）
消化管外科	楠本 哲也	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab+Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第III相試験（RINDBERG試験）
消化管外科	楠本 哲也	腹膜播種を伴う胃癌に対するS-1/シスプラチン+パクリタキセル腹腔内投与併用療法の第II相試験
消化管外科	楠本 哲也	切除不能進行再発大腸癌の2次治療患者を対象としたfluoropyrimidine+irinotecan+bevacizumab療法とrifludine/tipiracil+bevacizumab療法のランダム化比較第2/3相試験
消化管外科	楠本 哲也	「StageIIIの治癒切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel併用療法とTS-1単独療法のランダム化比較第III相試験（JACCRO GC-07（START-2）」におけるバイオマーカー研究（JACCRO GC-07AR2）
消化管外科	楠本 哲也	腹膜播種を伴う胃癌に対するS-1/シスプラチン+パクリタキセル腹腔内投与併用療法の第II相試験（課題番号17A013）
消化管外科	吉永 敬士	食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制作用の検討 ―エレンタール®非投与群を対照群としたランダム化第III相比較臨床試験（EOPC2 study）
消化管外科	橋本 健吉	（適応外使用） 肛門癌/5-FU + CDDP
消化管外科	池尻 公二	StageIIIb大腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1/Oxaliplatin療法のランダム化比較第III相試験（ACTS-CC02）
消化器センター外科	太田 光彦	RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6+ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6+パニツムマブ併用療法の有効性および安全性を比較する第III相無作為化比較試験 （附随研究：上記研究課題における治療感受性、予後予測因子の探索的研究/2018年6月委員会終了報告）
消化器センター外科	楠本 哲也	局所進行胃癌・食道胃接合部癌に対する術前化学療法としてのS-1+オキサリプラチン併用療法の有効性・安全性について検討する第II相臨床試験（KSCC1601）
消化器センター外科	堤 敬文	RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率（DpR）を検討する無作為化第II相臨床試験 （附随研究：「RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI+セツキシマブとFOLFOXIRI+ベバシズマブの最大腫瘍縮小率（DpR）を検討する無作為化第II相臨床試験」におけるバイオマーカー研究）
消化器内科	原田 直彦	ヒト腸管炎症における免疫学的異常の解析
消化器内科	隅田 頼信	消化管粘膜下腫瘍に対する内視鏡的切除の有用性の検討
消化器内科	加来 豊馬	消化管再建術後の切除不能悪性胆道閉塞症例に対する超音波内視鏡下胆管ドレナージの有用性を評価する多施設共同前向き登録試験
消化器内科	加来 豊馬	慢性膵炎による難治性疼痛に対する内科的インターベンション治療と外科治療の比較解析-多施設共同前向き実態調査-
消化器内科	加来 豊馬	癌性疼痛に対する超音波内視鏡下神経ブロックの導入（保険適応外）
消化器内科	加来 豊馬	（適応外使用） 超音波造影剤を用いた超音波内視鏡検査（膵胆道系腫瘍）/ソナゾイド
消化器内科	河邊 顕	悪性十二指腸狭窄に対する内視鏡的十二指腸ステント留置術の有用性の検討
消化器内科	河邊 顕	次世代シークエンサーを用いた膵炎関連候補遺伝子の全国的調査
消化器内科	中牟田 誠	肝硬変患者に対する骨格筋電気刺激療法の効果に関する検討
消化器内科	中牟田 誠	切除不能な肝細胞癌に対する分子標的薬の使用実態調査
消化器内科	中牟田 誠	肝硬変患者における腹部CTで評価した筋肉量の変化に関する観察研究
消化器内科	中牟田 誠	C型非代償性肝硬変に対するSofosbuvir/Velpatasvir併用療法の有効性と安全性の検討
消化器内科	藤山 隆	内視鏡的胆管内自己拡張型金属ステント留置後の内視鏡的抜去試行例についての多施設共同後方視的症例集積研究 Endoscopic removal of self-expandable metallic stent after placement for the bile duct : a multicenter retrospective large-scale study (Salvage study)
消化器内科	加来 豊馬	（適応外使用・希少癌） 胆のう神経内分泌がん/シスプラチン+イリノテカン
消化器内科	隅田 頼信	※2018年9月継続審議18A204 大腸ステントのデリバリー能検討試験
心臓外科	田山 栄基	大量出血症例における乾燥ヒトフィブリノゲン濃縮製剤の保険適応外使用について

診療科	氏 名	課 題 名
腎臓内科	酒 匂 哲平	Calcific uremic arteriolopathy (CUA) に対するsodium thiosulfate IV療法についてのお伺い
腎臓内科	中山 勝	慢性腎臓病患者を対象とした心血管病と予後（腎予後・生命予後）についての検討
腎臓内科	中山 勝	多施設共同慢性腎臓病データベース研究
腎臓内科	中山 勝	わが国の腎臓病患者における腎生検データベース構築ならびに総合データベース構築に関する研究
腎臓内科	中山 勝	福岡腹膜透析データベース研究（課題番号12-96）
腎臓内科	中山 勝	福岡腹膜透析データベース研究
整形外科	寺田 和正	患者レジストリによる脊椎インストゥルメンテーション手術患者の前向き登録調査の参加
整形外科	寺田 和正	患者レジストリによる脊椎インストゥルメンテーション手術患者の前向き登録調査の参加
整形外科・ リウマチ科	福士 純一	日本整形外科学会症例レジストリー（JOANR）構築に関する研究
代謝内分泌内科	小河 淳	2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験介入終了後の追跡研究（J-DOIT3）
脳血管・ 神経内科	岡田 靖	脳卒中急性期医療における臨床情報と医療機関情報の連結および解析に関する研究
脳血管・ 神経内科	岡田 靖	脳卒中研究者新ネットワークを活用した脳・心血管疾患における抗血栓療法の実態と安全性の解明
脳血管・ 神経内科	岡田 靖	非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験（ATIS-NVAF）
脳血管・ 神経内科	岡田 靖	脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究
脳血管・ 神経内科	矢坂 正弘	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に脳卒中を発症した患者の臨床的特徴を明らかにする研究-今後拡大が予測されるCOVID-19への対策の模索-
脳神経外科	中溝 玲	一般社団法人日本脳神経外科学会データベース研究事業（Japan Neurosurgical Database：JND）
脳神経外科	中溝 玲	次世代プロテオミクスによる神経膠芽腫浸潤・増殖関連タンパクとバイオマーカーの探索
脳神経外科	中溝 玲	血管壁弾性を考慮した脳動脈瘤内の動的血行動態解析
脳神経外科	中溝 玲	数値流体力学（CFD）解析に基づく脳血管障害の病態解析
脳神経外科	中溝 玲	慢性硬膜下血腫の動向調査
脳神経外科	中溝 玲	当科における脳神経外科手術の現状と工夫
泌尿器科	坂本 直孝	（医療倫理） 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
泌尿器科	坂本 直孝	前立腺癌におけるindex tumorに関する検討
泌尿器科	吉川 正博	前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査研究
皮膚科	原田 佳代	乾癬患者を対象とした予後、合併症、治療に関する観察研究
婦人科	蓮尾 泰之	（医療倫理） 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がん）
婦人科	蓮尾 泰之	※2018年6月継続審議分 18C141 リンチ症候群の拾い上げ及び遺伝子診断に関する多施設共同研究
婦人科	藤原ありさ	リンチ症候群の拾い上げ及び遺伝子診断に関する多施設共同研究
婦人科	瓦林 靖広	※2024年1月継続審議 23C121 手術中の構造物を自動認識する手術支援AIシステムの研究開発
放射線科	安森弘太郎	（適応外使用） 胃静脈瘤など門脈圧亢進症に伴う遠肝性側副血行路発達状態 /無水エタノール
放射線科	安森弘太郎	（適応外使用） 活動性出血、動静脈奇形、動静脈瘻/NBCA（ヒストアクリル）
放射線科	安森弘太郎	IVR症例のWeb登録
免疫感染症科	南 留美	（変更前）国内で流行するHIVとその薬剤耐性株の動向把握に関する研究 （変更後）国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究

診療科	氏 名	課 題 名
免疫感染症科	高濱宗一郎	国立研究開発法人日本医療研究開発機構研究費『ART早期化と長期化に伴う日和見感染症への対処に関する研究』研究班 分担研究：『軽微な感染症（STDなど）を端緒とするHIV感染者の早期発見』
免疫感染症内科	南 留美	日本人の成人HIV-1感染症患者にビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド（B/F/TAF）を投与した場合の有効性，安全性，アドヒアランス及び健康関連生活の質を検討する多施設共同，非介入，コホート研究
免疫感染症内科	南 留美	HIV陽性者の新型コロナウイルスワクチンに対する免疫応答の解析
薬剤部	柏木映理子	悪性リンパ腫に対するCHOPまたはPola-R-CHP療法に伴う悪心・嘔吐予防としてのグラニセトロン＋アプレピタントの制吐効果の検討
リウマチ・膠原病センター	宮原 寿明	抗CCP抗体価とアパタセプト（オレンシア）の関節リウマチ患者に対する臨床効果に関しての前向き観察研究（Pilot試験）
リウマチ科	福士 純一	成人型低ホスファターゼ症診断に有用なスクリーニング手順の確立
リハビリテーション部	古賀 翔	急性期脳梗塞患者における入院期間中の嚥下関連筋の経時的形態変化の検証
臨床検査科	荒川 仁香	高血圧患者に関連する腸内細菌叢を探索する研究
医療法人菊郷会 愛育病院 内科・血液内科	盛 暁生	急性前骨髄球性白血病に対する治療プロトコール FBMGTG APL2017 ※当院申請状況 16A192（H29.2承認）/血液内科/科長/岩崎浩己
医療法人菊郷会 愛育病院 内科・血液内科	盛 暁生	未治療多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験-JSCTMM16- ※当院申請状況 17A004（H29.4承認）/血液内科/科長/岩崎浩己
医療法人菊郷会 愛育病院 内科・血液内科	盛 暁生	未治療高齢者多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験- FBMGTG EMM17 - ※当院申請状況 17A243（H29.10承認）/血液内科/科長/岩崎浩己
感染症内科	長崎 洋司	SARS-CoV-2 PCR結果と臨床症状、検査所見に関する後方視的解析
感染症内科	長崎 洋司	新型コロナウイルス感染に対する感受性遺伝子に関する研究 （Study on Susceptibility Genes in Patients with New Coronavirus Infection）
感染症内科	長崎 洋司	Klebsiella oxytocaによる出血性大腸炎および本菌が産生するK1βラクタマーゼの後ろ向き検討
感染症内科	長崎 洋司	過去10年間の感染性心内膜炎に関する後ろ向き調査研究
肝胆膵移植外科	山本 玄	ロボット支援下肝切除術におけるテキストブックアウトカムに関する検討
肝胆膵外科	野村 頼子	膵臓癌に対する集学的治療の検討
肝胆膵外科	高見 裕子	肝細胞癌における肝中央二区域切除の術中出血および術後合併症リスク因子解析と短期予後に関する多施設共同研究
眼科	中尾新太郎	光干渉断層装置Angiographyを用いた網膜疾患における血管病変に関する研究
救急部	安田 光宏	熱中症患者の医学情報等の即日登録による疫学調査
血液内科	門脇 賢典	DLBCLに対するupfront自家末梢血幹細胞移植の成績 福岡BMTグループの後方視的検討
血液内科	高瀬 謙	HTLV-1キャリアにおけるホジキンリンパ腫様組織像を示す病変の統合的解析研究
血液内科	高瀬 謙	慢性骨髄性白血病患者に対するチロシンキナーゼ阻害薬中止後の無治療寛解維持を検討する日本国内多施設共同観察研究（J-SKI研究）
血液内科	高瀬 謙	慢性骨髄性白血病患者のチロシンキナーゼ阻害薬中止後における無治療寛解の維持機構解明を目指した変異BCR-ABLと宿主免疫応答の解析 [J-SKI付随研究1]
血液内科	岩崎 浩己	未治療高齢者多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験- FBMGTG EMM17 -
血液内科	岩崎 浩己	JALSG参加施設において新規に発症した全AML、全MDS、全CMML症例に対して施行された治療方法と患者側因子が5年生存率に及ぼす影響を検討する観察研究（前向き臨床観察研究） JALSG_CS17
血液内科	岩崎 浩己	福岡血液骨髄移植グループ移植患者データベース作成調査研究 FBMGTG_SCT_DB
血液内科	岩崎 浩己	慢性骨髄性白血病患者に対するチロシンキナーゼ阻害薬中止後の無治療寛解維持を検討する日本国内多施設共同観察研究（J-SKI研究）
血液内科	岩崎 浩己	慢性骨髄性白血病患者のチロシンキナーゼ阻害薬中止後における無治療寛解の維持機構解明を目指した変異BCR-ABLと宿主免疫応答の解析 [J-SKI付随研究1]
血液内科	岩崎 浩己	再発・難治性多発性骨髄腫における可溶性SLAMF7定量と網羅的遺伝子解析 多施設共同前向き観察研究-FBMGTG RRMM18-
血液内科	岩崎 浩己	環状鉄芽球および血小板増加症を伴う骨髄異形成/骨髄増殖性腫瘍の後方視的解析

診療科	氏 名	課 題 名
血液内科	吉田 周郎	当院におけるリンパ腫に対する同種造血幹細胞移植の後方視的解析
血液内科	吉田 周郎	FLU/BU2/MEL80 non-TBIレジメン後、移植後エンドキサンで施行したHLA半合致移植
血液内科	高瀬 謙	遺伝性血栓性素因による特発性血栓症の疫学研究（二次調査）
血液内科	高瀬 謙	成人T細胞白血病（ATL）に対する同種移植後の予後に移植前モガムリズマブ投与が与える影響に関する研究
血液内科	高瀬 謙	疫学調査「血液疾患登録」
血液内科	高瀬 謙	高齢がん患者の医療と介護の連携に関する研究 ～高齢悪性リンパ腫患者の治療と自立性喪失、介護度増悪に関する前向き観察研究～
血液内科	高瀬 謙	多発性骨髄腫患者における抗CD38抗体導入前後での治療成績に関する多施設後向き観察研究
血液内科	高瀬 謙	国内の血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者におけるエファネソクトコグアルファの多施設前向き観察研究
血液内科	山崎 聡	造血幹細胞移植後アデノウイルス感染症に対するシドフォビルの有効性と安全性に関する検討
血液内科	山崎 聡	Interim PETに基づく初発進行期ホジキンリンパ腫に対するABVD療法およびABVD/増量BEACOPP療法の非ランダム化検証的試験/INNOVATE-HL/JCOG1305
血液内科	山崎 聡	JCOG-バイオバンク・ジャパン連携バイオバンク実施計画書（課題番号13-57）
血液内科	山崎 聡	低リスク骨髄異形成症候群における疫学調査（多施設共同後方視的研究）
血管外科	松原 裕	大腿膝窩動脈病変に対する薬剤溶出性バルーンと薬剤溶出性ステントの治療成績比較
血管外科	松原 裕	下肢閉塞性動脈硬化症における坐骨神経萎縮が下肢動脈血行再建後予後に与える影響に関する前向き観察研究
血管外科	松原 裕	次世代プロテオミクス（iMPAQT）を用いた静脈グラフト内膜肥厚抑制因子の探索的研究
血管外科	松原 裕	腹部ステントグラフト内挿術後Type2エンドリーク危険因子の、次世代プロテオミクス（iMPAQT）を用いた探索的研究
血管外科	松原 裕	末梢動脈疾患に対する包括的治療の治療成績に関する後向き観察研究
呼吸器外科	山崎 宏司	ニコチン代謝産物を用いた周術期の喫煙関連呼吸器合併症の予測法の開発（課題番号 16C134）
呼吸器外科	山崎 宏司	肺癌における周術期個別化医療の確立を目指した 遺伝子スクリーニングと微小残存病変のモニタリングのための 多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-Advantage/MRD）
呼吸器外科	山崎 宏司	アジアにおける肺癌個別化医療の確立を目指したゲノムスクリーニング研究：Lung Cancer Genomic Screening Project for Individualized Medicine in Asia（第5期LC-SCRUM-Asia）
呼吸器外科	山崎 宏司	2017年に外科治療を施行された肺癌症例のデータベース研究：肺癌登録合同委員会 第10次事業
呼吸器外科	山崎 宏司	非小細胞肺癌における薬物治療耐性後の個別化医療の確立を目指した、遺伝子スクリーニングとモニタリングのための多施設共同前向き観察研究（LC-SCRUM-TRY）
呼吸器内科	岡元 昌樹	新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）感染後に出現する抗体が認識するウイルス抗原に関する研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	EGFRチロシンキナーゼ阻害剤への耐性獲得機構解析とLiquid biopsyの有用性を検討するバイオマーカー研究（JCOG1404/WJOG8214LA1）
呼吸器内科	岡元 昌樹	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の長期合併症の実態把握と病態生理解明に向けた基盤研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	特発性間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患に対する包括的呼吸リハビリテーションの有効性の解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	線維化性間質性肺疾患におけるdata independent acquisition法によるノンターゲットプロテオーム解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	ニンテダニブ投与後に進行性肺線維化を呈する早期特発性肺線維症を予測するバイオマーカーの探索的研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法およびデュルバルマブ地固め療法導入後の再発治療の多施設共同後方視的観察研究 TORG-TG2402（TOP-GUN研究）
呼吸器内科	松尾 規和	間質性肺疾患における気管支肺胞洗浄検査の意義

診療科	氏 名	課 題 名
呼吸器内科	武岡 宏明	70歳以上のEpidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの至適投与量に関する多施設共同研究（MONEY研究）
高血圧内科	富永 光裕	高血圧内科新患者の診療情報収集（将来的な研究を見据えて）
高血圧内科	富永 光裕	心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験（CRAFT）
産婦人科	久保 紀夫	日本産科婦人科学会周産期委員会 周産期登録事業および登録情報に基づく研究
歯科口腔外科	永井 清志	疫学調査「口腔がん登録」
歯科口腔外科	吉田 将律	疫学調査「口腔がん登録」
耳鼻咽喉科	瓜生 英興	頭頸部腫瘍における診断と治療の検討
耳鼻咽喉科	瓜生 英興	頭頸部腫瘍における診断と治療の検討
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	日本における頭頸部悪性腫瘍登録事業の実施
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	中島 寅彦	JCOG1601：Stage I/II 舌癌に対する予防的頸部郭清省略の意義を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験
耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍センター	中島 寅彦	中咽頭癌に対する根治治療後の生活の質の調査
腫瘍内科	田村 真吾	甲状腺未分化がんの早期診断とニボルマブとレンバチニブ併用療法の治療効果・有害事象と関連するバイオマーカー解析
腫瘍内科	内野 慶太	（適応外使用） 胸腺癌/アブラキサン＋カルボプラチン
循環器内科	村里 嘉信	Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement (ARIA) 2017のライブデモンストレーションの開催承認について
循環器内科	村里 嘉信	九州医療センター Bifurcation OCT Seminarの開催承認について（7/27開催分）
循環器内科	村里 嘉信	3D OCTシステムを用いた冠動脈分岐部病変に対するPCIの前向き観察研究 Japanese 3D-OCT Bifurcation Registry
循環器内科	村里 嘉信	虚血性心臓病の血行再建戦略-左主幹部病変 Revascularization strategy for coronary artery disease- left main trunk (RELANCE - LMT)
循環器内科	竹中 克彦	川崎病既往成人における急性冠症候群とカテーテル治療例の診療実態に関する全国調査研究
循環器内科	中村 俊博	我が国における着用型自動除細動器による治療実態の登録調査 － Japan Wearable Cardioverter Defibrillator Registry (J-WCDR) －
循環器内科	中村 俊博	カテーテルアブレーション全国症例登録研究[J-AB 2022]
循環器内科	中村 俊博	新規我が国における心臓植込み型デバイス治療の登録調査 －New Japan Cardiac Device Treatment Registry (New JCDTR) －
循環器内科	中村 俊博	リード抜去症例の実態調査 Japan Lead extraction registry (J-LEXレジストリ)
循環器内科	中村 俊博	経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究 －J-LAAO－
小児科	神野 俊介	大腸菌による上部尿路感染症に罹患した乳幼児に対する膀胱尿管逆流保有予測スコアの診断精度評価に関する前方視的検討
小児科	神野 俊介	小児急性脳症の全国疫学調査
小児科	藤吉 順子	小児におけるB群連鎖球菌感染症ナショナルサーベイランス
消化管外科	吉永 敬士	食道癌全国登録
消化管外科	工藤 健介	RAS遺伝子変異型腫瘍を有する切除不能進行・再発大腸癌患者における化学療法後の血中RAS遺伝子変異を評価する観察研究（JACCRO CC-17）
消化管外科	楠本 哲也	高齢者進行・再発胃癌に対する1次治療としてのS-1＋ラムシルマブ療法の多施設共同第Ⅱ 相試験（KSCC1701）
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	再発高リスク消化管間質腫瘍に対する完全切除後の治療に関する研究（STAR ReGISTry）の追跡調査
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	切除不能進行大腸癌1次化学療法における生存期間と画像評価法の検討（KSCC1403-A2）
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	進行再発大腸癌における全身化学療法の効果とサルコペニアについての検討（KSCC1605-A）

診療科	氏 名	課 題 名
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	pStage II 大腸癌に対するOSNA法によるリンパ節微小転移診断意義の検討
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	根治的外科治療可能な結腸・直腸癌を対象としたレジストリ研究（GALAXY trial）
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStage II 及び低リスクStage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX 療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験（VEGA trial）
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStage II 及び低リスクStage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX 療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験（VEGA trial）
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	血液循環腫瘍DNA陰性の高リスクStage II 及び低リスクStage III 結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのCAPOX 療法と手術単独を比較するランダム化第III相比較試験（VEGA trial）
消化管外科・がん臨床研究部	楠本 哲也	Stage III の治療切除胃癌に対する術後補助化学療法としてのTS-1+Docetaxel 併用療法とTS-1 単独療法のランダム化比較第III相試験（JACCRO GC-07（START-2））
消化器センター外科	橋本 健吉	高度肥満に対する外科治療「腹腔鏡下スリーブ状胃切除術」
消化管外科	池尻 公二	National Clinical Database（日本臨床データベース機構、NCD）への症例登録事業
消化管外科	橋本 健吉	（適応外使用・医療機器） 病的肥満/MID-Sleeve
消化器内科	大久保彰人	未分化型早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術後の内視鏡的根治度C2病変における転移・再発危険因子および長期予後に関する検討
消化器内科	國府島庸之	肝硬変患者の重症度別のQOLと長期経過、予後及びその改善に関する研究
消化器内科	原田 直彦	消化器内視鏡に関する疾患、治療手技データベース構築
消化器内科	加来 豊馬	超音波内視鏡下胆管ドレナージ術における拡張術の必要性についての検討
消化器内科	加来 豊馬	膵腫瘍に対する超音波内視鏡下穿刺吸引生検（EUS-FNA）後の穿刺経路腫瘍細胞播種（Needle tract seeding）の二次調査
消化器内科	河邊 顕	AIを用いた膵神経内分泌腫瘍の術後再発予測モデルの構築：多施設共同後方視的研究
消化器内科	吉村 大輔	ヘリコバクター・ピロリ未感染症例ないし除菌後症例に発生した粘膜下層以深浸潤胃癌に関する多施設共同観察研究
消化器内科	隅田 頼信	80歳以上の食道表在癌・早期胃癌患者に対する治療選択システムの確立
消化器内科	國府島庸之	肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法の治療効果および副作用発現に対する薬物血中濃度の影響
消化器内科	中牟田 誠	非アルコール性脂肪肝（NAFLD）合併の2型糖尿病患者に対するトホグリフロジンの有効性の検討
消化器内科	中牟田 誠	C型肝炎の新規診断法や新規治療法を開発するためのゲノムワイド関連解析の手法を用いた宿主因子の解析に関する研究
消化器内科	中牟田 誠	切除不能肝細胞癌患者に対するAtezolizumab+Bevacizumab併用療法の多施設共同前向き観察研究
心臓血管外科	今坂 堅一	補助循環用ポンプカテーテルに関するレジストリ事業
腎臓内科	中山 勝	日本膜性増殖性糸球体腎炎/C3腎症コホート研究 Japan Membranoproliferative Glomerulonephritis/C3 Glomerulopathy Cohort Study（J-MPGN/C3-CS）
整形外科	原 正光	治療抵抗性関節リウマチの臨床的特徴と病態の解明
整形外科	原 正光	日本における大腿骨近位部骨折の適正治療を目指したナショナルデータベースの作成
整形外科	戸次 大史	質量分析を用いた、脊椎筋骨格系の変性に関する網羅的解析
整形外科・リウマチ科	宮原 寿明	患者立脚型評価による関節リウマチ治療成績の検討 ―多施設共同前向き観察研究―
代謝内分泌内科	小林 宏正	高PTH性高Ca血症を伴う原発不明癌の腫瘍組織におけるPTH産生の検証
代謝内分泌内科	的場 ゆか	高齢2型糖尿病患者に対する骨格筋電気刺激療法の効果に関する検討
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	新規糖尿病薬チルゼパチドの多面的作用に関する前向き観察研究
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	腹部外科手術における周術期の血糖管理状況と術後合併症の検討
代謝内分泌内科	堀内由布子	当院整形外科の手術における糖尿病患者の周術期の血糖管理状況と術後合併症の検討

診療科	氏 名	課 題 名
乳腺外科	井上 有香	エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験 (POTENT)
乳腺外科	岩熊 伸高	HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を 比較検討する第Ⅲ相臨床研究 JBCRG-M06 (EMERALD)
乳腺外科	岩熊 伸高	フルベストラント使用中に病勢進行したホルモンレセプター陽性進行・再発 乳癌患者に対する、パルボシクリプ追加投与の有効性の検討JBCRG-M07 (FUTURE) trial
脳血管神経内科	岡田 靖	多施設共通データベースを用いた脳卒中急性期患者の病態解明に関する疫学調査
脳血管神経内科	岡田 靖	脳血管疾患の再発に対する 高脂血症治療薬HMG-CoA還元酵素阻害薬の予防効果の遺伝子背景に関する研究－J-STARs Genomics－
脳血管神経内科	溝口 忠孝	瞳孔反応と脳血管障害の関連性の調査
脳血管神経内科	溝口 忠孝	睡眠時間と脳血管障害の関連の調査
脳血管神経内科	今村 裕佑	脳卒中急性期の瞳孔反応と神経学的予後に関する単施設前向き観察研究
脳血管内治療科	津本 智幸	一般社団法人日本脳神経外科データベース (Japan Neurosurgical Database : JND)
脳血管内治療科	徳永 聡	脳動脈瘤に対する脳血管内治療の治療成績と予後に関する研究
脳血管内治療科	徳永 聡	脳主幹動脈閉塞に対する脳血管内治療の治療成績と予後に関する研究
脳血管内治療科	徳永 聡	動脈硬化性の急性頭蓋内主幹動脈閉塞に対する血管内治療に関する後ろ向き登録調査
脳神経外科	溝口 昌弘	脳腫瘍の統合的病理・遺伝子診断システムの開発
泌尿器科	吉川 正博	前立腺癌における精囊浸潤および精囊周囲被膜外浸潤に関する検討
放射線科	山下 孝二	脳血管障害診断のためのMRI IVIMイメージング法を用いた研究
放射線科	松村 泰成	JASTRO放射線治療症例全国登録事業
放射線科	大賀 才路	3次元画像誘導小線源治療を用いた子宮頸がん根治的放射線治療の成績
放射線科	野口 智幸	AI画像診断支援アプリケーション開発の優先順位決定のための放射線画像診断レポート診断精度分析
放射線診断科	前原 純樹	心肺停止後、超急性期に撮影されたCTの画像所見の検討
免疫感染症内科	高濱宗一郎	血液凝固異常症全国調査
免疫感染症内科	南 留美	薬害エイズ患者が内包する心的課題の抽出と心理職の介入手法の検討
免疫感染症内科	南 留美	HIV感染者におけるNon communicable diseasesの実態調査
免疫感染症内科	南 留美	非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者に合併する腫瘍への包括的対策に関する研究
薬剤部	三好 孝法	悪性リンパ腫に対するCHOPまたはPola-R-CHP療法に伴う悪心・嘔吐の前向き観察研究
薬剤部	三好 孝法	胃がん術後補助化学療法施行患者に対する薬剤師による継続的な薬学的管理の効果に関する研究
薬剤部	山口 泰弘	サポートベクター回帰を用いたTDMへの応用
薬剤部	山口 泰弘	ウイルス学的抑制が得られている患者のドラビリンへ切り替えた後の長期有効性および安全性の調査
薬剤部	大石 博史	低アルブミン血症患者におけるテイコプラニン総トラフ濃度と安全性に関する探索的検討
臨床検査科	荒川 仁香	末期慢性腎臓病患者 (eGFR30未満) における血清プレセプシンによる敗血症診断のカットオフ値を求める研究
臨床検査科	荒川 仁香	随時尿で評価したNa/K比および推定24時間食塩 (Na)、K排泄量の妥当性～ 24時間蓄尿による各指標との比較による検証～
臨床検査科	荒川 仁香	尿定性検査の精度向上 (ノーバスPro 12導入) に向けた検討
臨床検査部	伊藤 葉子	HCV抗体陽性者からの末診断C型肝炎患者拾い上げ状況の調査
膠原病内科	宮村 知也	再発性多発軟骨炎の診断と治療体系の確立に関する研究

一括審査

診療科	氏 名	課 題 名
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	HIV/HCV重複感染患者におけるHCV治療後の肝機能経過に関する全国調査
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	HIV陽性者のフレイル有病率とその関連要因を解明する横断研究
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	血友病患者の骨密度低下に関する研究
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	本邦のHBV感染患者におけるHDV感染の頻度に関する検討
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	高齢HIV感染者の生活習慣病に関するヘルスリテラシーの研究
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	HIV陽性者のリアルワールドデータ研究のためのデータベースの構築
AIDS/HIV総合治療センター	南 留美	HIV感染者のワクチン接種状況に関する多施設共同アンケート研究
AIDS/HIV総合治療センター	曾我真千恵	九州ブロックにおけるHIVカウンセラーの教育支援体制構築に向けた実態調査
呼吸器内科	岡元 昌樹	多分野合議による間質性肺炎診断に対する多施設共同前向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	特発性間質性肺炎の前向きレジストリの構築とインタラクティブMDD診断システムを用いた診断標準化に基づく疫学データの創出AI診断システムと新規バイオマーカーの開発ー
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺疾患合併多発性筋炎/皮膚筋炎患者を対象とした肺病変の進行を規定するバイオマーカー探索研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	日本人の軽症および中等症COPDに対する1日1回吸入型トリプル療法の有用性および安全性の研究（TRACK study）に参加した研究対象者の後追跡に関する多施設共同前向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	進行性の経過を示す間質性肺炎の定量的画像評価に関する研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎合併間質性肺疾患におけるMDA5遺伝子多型の解析
呼吸器内科	岡元 昌樹	PD-L1発現＜1％の進行期非小細胞肺癌に対する初回治療としての複合免疫療法の有効性および背景因子に関する多施設後ろ向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺炎の病態解明に向けた分子学的・臨床病理学的解析
産科	藤原ありさ	母体血胎児染色体検査（NIPT）での偽陽性・判定保留の成因に関する研究
循環器内科	井上修二郎	心房細動における経皮的カテーテル心筋焼灼術のエキスパート治療を提案する人工知能モデル開発のための探索的研究
循環器内科	井上修二郎	心房細動に対する経皮的カテーテル心筋焼灼術後の予後規定因子にする探索的研究
循環器内科	井上修二郎	心房細動を発生させる非肺静脈トリガーの起源同定に関する検討
消化器内科	加来 豊馬	超音波内視鏡下胆道ドレナージ術における手技成功因子についての検討
消化器内科	國府島庸之	アルコール性肝障害/依存症を有する患者に対するナルメフェンの飲酒量低減治療後の肝機能の推移
消化器内科	國府島庸之	B型およびC型慢性肝炎に対する抗ウイルス療法の治療成績および長期予後の解析ー多施設共同研究ー
消化器内科	加来 豊馬	患者レジストリを利用したIgG4 関連疾患の診断基準ならびに治療針の確立を目指す研究 RADDAR-J〔7〕
消化器内科（肝胆膵）	國府島庸之	肝癌薬物療法のリアルワールドデータを活用したオールジャパン研究
消化器内科（肝胆膵）	國府島庸之	全国原発性肝癌追跡調査
消化器内科（肝胆膵）	國府島庸之	難病のゲノム医療推進に向けた全ゲノム解析基盤に関する先行的研究開発
消化器内科（肝胆膵）	國府島庸之	九州地域における肝癌発生状況の実態調査
消化器内科（肝胆膵）	國府島庸之	C型非代償性肝硬変患者におけるウイルス排除後の長期予後の検討
腎臓内科	中山 勝	日本腎臓病総合レジストリー
整形外科・リウマチ科	福士 純一	未圧潰大腿骨頭壊死症例の前向き追跡調査

診療科	氏 名	課 題 名
整形外科・ リウマチ科	福士 純一	股関節疾患患者の活動性、疼痛およびスポーツ活動に関する研究
代謝内分泌内科	坂本 昌平	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築による多施設前向き研究 (Diabetes and Pregnancy Outcome for Mother and Baby Study) - 糖尿病および妊娠中の明らかな糖尿病 (Overt diabetes in pregnancy) 合併妊娠の妊娠転帰調査 (DREAMBee study[DM/OvertDM-PO])
代謝内分泌内科	坂本 昌平	妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠の妊娠転帰および母児の長期予後に関する登録データベース構築による多施設前向き研究 (Diabetes and Pregnancy Outcome for Mother and Baby Study) - 妊娠糖尿病・妊娠転帰 (DREAMBee study[GDM-PO])
乳腺外科	岩熊 伸高	JBCRG-C11 (CREA): トラスツズマブ デルクステカンにより完全奏効が達成されたHER2陽性の手術不能又は再発乳癌患者に対する多機関共同前向き観察研究
乳腺外科	岩熊 伸高	StageIV乳癌に対する外科的治療の意義についての観察研究
肝胆膵外科	高見 裕子	肝内胆管癌の末梢型と中枢型における解剖学的分類の妥当性に関する研究 (Validation of the anatomical classification in peripheral and proximal type of intrahepatic cholangiocarcinoma) 日本肝胆膵外科学会; 日韓合同多施設研究プロジェクト
肝胆膵外科	播本 憲史	高齢初発肝細胞癌に対する腹腔鏡手術の短期・長期成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究
肝胆膵外科	播本 憲史	九州地域における肝癌発生状況の実態調査
肝胆膵外科	播本 憲史	術前補助化学療法 (NAC-GS) を施行した解剖学的切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を検討する全国多機関後方視的検討
眼科	中尾新太郎	日本眼科学会が主導する多施設共同眼科疾患ゲノム解析研究
救急科	野田英一郎	日本外傷データバンクへの外傷患者登録と登録データを用いた臨床研究
九州医療セン ター看護部	長與由紀子	HIV感染者の高齢期に希望する医療や生活に関する実態調査
血液浄化センター	中山 勝	病院の診療情報を用いた慢性腎臓病 (CKD) における末期腎不全の予測モデルの作成
血液内科	岩崎 浩己	マントル細胞リンパ腫のアジア太平洋国際共同登録 (Asia-Pacific Multinational Registry of Mantle cell lymphoma)
血液内科	岩崎 浩己	日本における骨髄腫関連疾患の予後に関する 大規模多施設前向き観察研究 II
血液内科	岩崎 浩己	HBs抗原陽性およびHBV既往感染のT細胞リンパ腫に対するモガムリズマブ治療後のB型肝炎ウイルス再活性化に関する多機関共同後方視的観察研究
血液内科	高瀬 謙	造血細胞移植および細胞治療の全国調査
血液内科	高瀬 謙	悪性リンパ腫の遺伝子変異・遺伝子発現解析に基づく新規予後層別化と新規治療法開発
血液内科	高瀬 謙	アグレッシブATLにおける予後因子の検討と個別化医療の確立を目的とした全国一元化レジストリおよびバイオレポジトリの構築
血液内科	高瀬 謙	福岡血液骨髄移植グループ移植患者データベース作成調査研究
血液内科	高瀬 謙	血液疾患患者、血縁者間移植ドナーの検体保存、臨床データ登録システム (KCNET) の確立
血液内科	岩崎 浩己	同種造血幹細胞移植後におけるイノツズマブオゾガマイシンの安全性と有効性の検討
血液内科	高瀬 謙	本邦における原発性骨髄線維症の臨床像に関する研究
血液内科	高瀬 謙	未治療びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫患者に対するポラツズマブ ベドチン+R-CHP 療法の有効性と安全性を検討する多機関共同前向き観察研究-WJHS NHL03 (POLASTAR) -
血液内科	高瀬 謙	就労経験のない移植経験者を対象とした就労に関する実態調査
血液内科	高瀬 謙	二次性骨髄線維症の実態調査
血液内科	高瀬 謙	同種造血幹細胞移植後の類洞閉塞症候群に対するDefibrotideの有効性・安全性の検討
血液内科	高瀬 謙	T細胞リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植後のプレントキシマブベトチンの有効性と安全性の評価
血液内科	高瀬 謙	造血器腫瘍における予後因子および新規診断マーカー・治療標的の探索
血液内科	高瀬 謙	後天性の血友病を含む出血性疾患のゲノム解析を含まない調査研究
血液内科	高瀬 謙	HBV既往感染歴を有する造血器腫瘍におけるiTACT-HBcrAgモニタリングによるHBV再活性化対策の有用性: 多施設共同前方視的観察研究
血液内科	高瀬 謙	乳癌/卵巣癌既往がある AML・ALL・MDS 患者における同種移植成績及び移植後のHBOC関連 癌再発/発症リスクに関する検討
血液内科	高瀬 謙	成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対するバレメトスタットのバイオマーカー研究 (BIVA study)

診療科	氏 名	課 題 名
血液内科	高瀬 謙	出血性疾患の診断・病因解明のための遺伝子検査の有用性の検討
血液内科	高瀬 謙	真性多血症におけるロペグインターフェロン治療後のJAK2V617Fアレル量の推移に関する前向き観察研究（W-JHS_PV01試験）
血液内科	高瀬 謙	造血器疾患ゲノム情報データベースの構築
血液内科	高瀬 謙	同種造血幹細胞移植後の非感染性脳炎・脳症に関する研究
血液内科	高瀬 謙	劇症型再生不良性貧血に対する同種造血幹細胞移植
血液内科	高瀬 謙	組織球症の標準治療確立を目的とした レジストリおよびパイオレボジトリの構築
血管外科	松原 裕	腹部ステントグラフト内挿術後、遠隔期開腹手術症例に対する後ろ向き観察研究
呼吸器外科	山崎 宏司	切除後の非小細胞肺癌に対するアテゾリズマブ術後補助療法の多機関共同前向き観察研究<J-CURE>
呼吸器外科	山崎 宏司	胸部疾患の臨床病理学的因子および予後の多施設前向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	加湿器肺に関する全国実態調査（二次調査）
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	免疫チェックポイント阻害薬で加療された再発転移嗅神経芽細胞腫に対する診療の多施設共同適応的研究
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	瓜生 英興	咽喉頭がんに対するロボット支援下経口的切除術患者のレジストリ構築に関する研究
耳鼻咽喉科 頭頸部外科	瓜生 英興	上咽頭癌照射後再発への頭頸部アルミノックス治療に関する多機関共同観察研究
腫瘍内科	田村 真吾	WJOG13320GPS-TR：切除不能進行・再発胃癌を対象とするマイクロサテライト不安定性ステータス別の遺伝子プロファイリングおよび免疫関連有害事象に関連する遺伝子バリエーションを探索する研究
腫瘍内科	田村 真吾	パクリタキセルの治療反応性に対するバイオマーカー探索
腫瘍内科	田村 真吾	神経内分泌癌におけるクローディン18.2の発現パターンおよびその病態への関与を探索する後ろ向き観察研究
腫瘍内科	田村 真吾	FGFR2b陽性切除不能進行・再発の胃または食道胃接合部腺癌における臨床病理学的特徴を評価する前向き観察研究
循環器内科	村里 嘉信	JROAD-DPC（循環器疾患診療実態調査）による非動脈硬化性心筋梗塞の実態解明と二次調査研究
循環器内科	矢加部大輔	心アミロイドーシスに合併する心房性頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションの効果
循環器内科	村里 嘉信	冠動脈疾患に対する薬剤塗布バルーン（DCB）の安全性及び有効性を確認するリアルワールド レジストリ Real world registry of drug coated balloon for coronary artery disease（ALLIANCE）
循環器内科	中村 俊博	循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースとCRT患者の予後に関わる因子に関する研究
循環器内科	井上修二郎	肥大型心筋症に合併した心房細動に対するカテーテルアブレーション後のペプリジルの有効性の検討
循環器内科	中村 俊博	徐脈頻脈症候群に対するペースメーカーおよびカテーテルアブレーション治療に関する多施設前向きコホート研究
循環器内科	村里 嘉信	Perfusion BalloonとDrug Coated Balloon（DCB）を用いた左回旋枝入口部病変を伴う左冠動脈主幹部に対するPCIの有効性および安全性を評価する多施設前向きシングルアームオープンラベル試験：JDEPTH-LM Registry
循環器内科	井上修二郎	肥大型心筋症に合併した心房細動に対するカテーテルアブレーション後のペプリジルの有効性の検討
循環器内科	井上修二郎	心不全の予後予測因子・重症度との関連因子・基礎心疾患との関連因子の研究Kyushu Heart Failure（Q-HEART）stud
循環器内科	村里 嘉信	ALLIANCE II Registry（DCB Real World Registry）
小児科	神野 俊介	ハイリスク新生児の予後に関する観察研究
小児外科	甲斐 裕樹	九州地区小児外科疾患に関する臨床アンケート調査
消化管外科	吉田倫太郎	National Clinical Databaseによる食道癌全国登録を利用した食道癌術後補助療法としてのニボルマブの安全性と有効性に関する観察研究
消化管外科	太田 光彦	食道癌術後の ct DNA を探索する観察研究
消化管外科	吉田倫太郎	通過障害合併Stage IVB食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法と放射線（化学）療法後の免疫チェックポイント阻害薬併用化学療法の実用的ランダム化第Ⅱ相試験（IMPULSE）

診療科	氏 名	課 題 名
消化管外科	太田 光彦	「HER2陰性・CLDN18.2 陽性の切除不能進行再発胃または食道胃接合部癌に対するCapeOX+ゾルベツキシマブ療法を参照群とする SOX+ゾルベツキシマブ療法の有効性を検討するランダム化非比較第Ⅱ相臨床試験（JACCRO GC-12（C-SOLVE 試験）」におけるバイオマーカー研究（JACCRO GC-12AR）
消化管外科	太田 光彦	胃腫瘍性疾患及び消化管外科的疾患の術後合併症予測因子と予後予測因子の解明（多施設共同研究）
消化管外科	太田 光彦	遠隔転移R0切除後の結腸・直腸癌患者を対象としたレジストリ研究：COSMOS-CRC-04
消化管外科	楠本 哲也	RAS遺伝子（KRAS/NRAS遺伝子）野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6 + ベバシズマブ併用療法とmFOLFOX6 + パニツムマブ併用療法後の外科的切除における予後因子の解析
消化管外科・がん臨床研究部	坂口 善久	がん患者の臨床検体を用いた遺伝子プロファイリングと臨床的意義に関する研究（CONDUCTOR study）
消化管外科・がん臨床研究部	太田 光彦	結腸・直腸癌遠隔転移治療切除後のctDNA陽性患者を対象mFOLFOXIRI+Bevacizumab療法とmFOLFOX6療法の有効性を比較するランダム化第Ⅱ相試験 Adjuvant chemotherapy for ctDNA positive patients- Randomized phase II study of comparing FOLFOX6 with FOLFOXIRI + Bevacizumab（AURORA）
消化管外科・がん臨床研究部	久松 雄一	大腸がんのハイリスク症例選別および早期発見における包括的miRNA profileを用いたモニタリングシステムの構築と消化器癌における免疫チェックポイント阻害薬（ICI）抵抗性機構の解明
消化管外科・がん臨床研究部	太田 光彦	切除不能進行・再発大腸癌に対するフルキンチニブ単剤療法のバイオマーカー探索を含めた観察研究（FruBLOOM 試験）
消化器（肝胆膵）内科	加来 豊馬	1型自己免疫性膵炎再燃・非再燃例の予後予測ならびに再燃後のステロイド投薬量を検証する後ろ向き研究
消化器内科	加来 豊馬	膵腺房細胞癌の実態調査 多施設共同研究
消化器内科	原田 直彦	大腸ステント留置症例における全身化学療法の意義に関する後ろ向き研究
消化器内科	加来 豊馬	肝門部悪性胆道狭窄に対する超音波内視鏡下胆道ドレナージ術の有用性についての検討
消化器内科	加来 豊馬	悪性遠位胆管狭窄に対する新型逆流防止弁付き胆管金属ステントの安全性と有効性の検討
消化器内科	加来 豊馬	膵腫瘍に対する超音波内視鏡下組織採取（EUS-TA）の再穿刺の有用性について
消化器内科	加来 豊馬	超音波内視鏡ガイド下胆管胃吻合術（EUS-HGS）のplastic stent（PS）留置術の早期閉塞因子について
消化器内科	加来 豊馬	EUS-guided created routeを介した処置の安全性と危険因子
消化器内科	加来 豊馬	マルチモーダルAIを用いた膵神経内分泌腫瘍Grade予測システムの開発
腎臓内科	中山 勝	脂質異常症を有する慢性腎臓病（CKD）患者における選択的PPARα作動薬ペマフィブラートの尿蛋白抑制効果についての市販後非盲検無作為化比較試験
整形外科・リウマチ科	山手 智志	住民の健康改善に資するエビデンス創出を目指した多地域コホート研究：LIFE Study
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究（J-DREAMS）
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	糖尿病をきたす希少疾患のレジストリ研究の件
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	2型糖尿病合併肥満症におけるGIP/GLP受容体デュアルアゴニストが食嗜好・食行動に与える影響の検討
代謝内分泌内科	渡邊 哲博	統合オミクス解析を用いた内分泌性代謝疾患における分子病態の解明と個別化医療基盤の構築
乳腺外科	岩熊 伸高	再発高リスクHER2陰性早期乳癌におけるBRCA1/2遺伝学的検査に関する横断研究
脳血管・神経内科	杉森 宏	CLESTRO研究（LM22-01 臨床性能試験）
脳血管・神経内科	杉森 宏	HAM患者レジストリ「HAMねっと」を活用した病態解明および治療法・予防法の開発に関する研究
脳血管センター	杉森 宏	脳梗塞におけるバイオマーカーの探索、再解析に関する共同研究
脳血管センター	杉森 宏	急性期脳梗塞/一過性脳虚血発作における慢性期血液バイオマーカーの確立
脳血管センター、脳血管神経内科	杉森 宏	抗凝固療法下に発症した心房細動関連脳梗塞の多機関共同前向きコホート研究視的観察研究
脳血管センター、脳血管神経内科	杉森 宏	急性期脳梗塞患者における超急性期脳血管内治療の実態に関する研究
脳血管センター、脳血管神経内科	杉森 宏	プロテオミクスを用いた虚血性脳卒中の病態解明とバイオマーカー開発に関する研究（VREBIOS2）

診療科	氏 名	課 題 名
脳血管神経内科	杉森 宏	多施設脳卒中レジストリ「脳卒中データバンク（Japan Stroke Data Bank ;JSDB）を用いた我が国の脳卒中医療の研究
脳血管内治療科	徳永 聡	最終健常確認時刻から24-72時間経過した前方循環主幹動脈閉塞を有する脳梗塞例に対する血管内治療の有効性検証の為に多施設共同ランダム化比較研究
泌尿器科	坂本 直孝	骨転移を有する去勢抵抗性前立腺癌に対するラジウム-223治療の多施設共同前向き観察研究（KYUCOG-1901）
泌尿器科	坂本 直孝	九州沖縄における尿路変向の実態調査
病理診断科・病理	藤原美奈子	頭頸部領域（唾液腺含む）の癌における癌関連分子に関する研究
放射線診断科	野口 智幸	抗Aβ抗体投与患者におけるMRI画像レジストリ研究
麻酔科	甲斐 哲也	術後に発症した静脈血栓塞栓症とプロテインS比活性の関連についての検討
免疫感染症内科	高濱宗一郎	The ADVANCE in Japan : A longitudinal Study of age-related comorbidities in people with hemophilia 成人血友病患者の合併症に関する縦断的研究
免疫感染症内科	南 留美	HIV感染症ならびに関連疾患に対する新規バイオマーカーの網羅的探索
免疫感染症内科	南 留美	血液凝固異常症レジストリ研究
薬剤部	合原 嘉寿	HIV診療ブロック拠点病院におけるHIV感染症薬剤耐性調査研究
薬剤部	山口 泰弘	HIV感染症患者における院外保険薬局との連携強化ならびに患者支援の充実化を目的とした情報提供書の発行と情報共有の有用性を検証する研究
薬剤部	三好 孝法	SGLT2 阻害薬によるシスプラチン誘発腎障害の抑制効果を検討する多施設共同後方視的観察研究
薬剤部	三好 孝法	制吐薬としてのオランザピン2.5mgの有効性・安全性を検討する多施設共同前向き観察研究
臨床検査科・病理	藤原美奈子	骨軟部腫瘍における治療標的・予後因子の解明
臨床検査科・病理	藤原美奈子	消化管癌の臨床病理学的項目および分子生物学的異常の検討
膠原病内科	宮村 知也	患者立脚型評価による関節リウマチ治療成績の検討 ー多施設共同前向き観察研究ー
乳腺外科	岩熊 伸高	乳癌の原発部位から転移再発部位における HER2発現のダイナミクスを検討する多機関共同後向きコホート研究

認定倫理

診療科	氏 名	課 題 名
愛育病院	盛 暁生	急性前骨髄球性白血病に対する治療プロトコール FBMTG APL2017
愛育病院	盛 暁生	未治療多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験（JSCT MM16）
愛育病院	盛 暁生	未治療高齢者多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験ーFBMTG EMM17ー
肝胆膵外科	高見 裕子	切除不能Intermediate stage up-to-seven基準外肝細胞癌におけるアテゾリズマブ＋ベバシズマブ療法の有効性、安全性を検討する多施設共同第Ⅱ床研究
血液内科	岩崎 浩己	急性前骨髄球性白血病に対する治療プロトコール FBMTG APL2017
血液内科	高瀬 謙	未治療高齢者多発性骨髄腫に対する新規薬剤を用いた寛解導入療法、自家末梢血幹細胞移植、地固め・維持療法の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験ーFBMTG EMM17ー
血液内科	高瀬 謙	成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールーJSCT ALL/MRD2019ー
血液内科	高瀬 謙	急性前骨髄球性白血病に対しATRAとATOを併用した 寛解導入及び地固め療法ーSCT APL2021ー
血液内科	高瀬 謙	未治療多発性骨髄腫に対するダラツムマブ、レナリドミドおよびデキサメサゾン療法に治療奏効で層別化する地固め療法を用いた自家末梢血幹細胞移植の有効性と安全性を確認する第Ⅱ相臨床試験ーJSCT MM20ー
血液内科	高瀬 謙	未治療の高齢多発性骨髄腫に対する新規薬剤と自家移植を組み合わせたシークエンス治療を固定期間で行う有効性・安全性を検証する多施設共同第Ⅲ相試験ーJSCT EMM21ー
血液内科	高瀬 謙	成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールーALL/MRD2023ー
血液内科	高瀬 謙	80歳以上未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対するポラツズマブベドチン＋R-miniCHP療法の有効性と安全性を検証する多施設共同非盲検無対照試験（NHOH-Pola-R-miniCHP）
血液内科	高瀬 謙	成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールーALL/MRD2025ー
血液内科	山崎 聡	成人T細胞白血病・リンパ腫に対するインターフェロンα/ジドブジン併用療法とWatchful waiting療法の第Ⅲ相ランダム化比較試験 JCOG 1111C

診療科	氏 名	課 題 名
呼吸器外科	山崎 宏司	PD-L1発現50%以上の非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブ単剤とペムブロリズマブ＋カルボプラチン＋ペメトレキセド併用療法のランダム化第3相試験
呼吸器外科	山崎 宏司	未治療進行/再発非小細胞肺癌症例におけるシンバイオティクス飲用による腸内細菌叢変化、及びがん免疫複合療法の効果との関連に関する前向き介入研究（二重盲検ランダム化比較試験）
呼吸器内科	一木 昌郎	前治療のEGFR-TKI後に進行した、T790M陽性の局所進行または転移性非扁平上皮非小細胞肺癌を対象としたオシメルチニブ単剤療法とオシメルチニブ/カルボプラチン/ペメトレキセド療法の無作為化非盲検第II相試験（LOGIK1604/NEJ032A TAKUMI Trial）
呼吸器内科	岡元 昌樹	新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の無症状・軽症患者に対するシクレソニド吸入剤の有効性および安全性を検討する多施設共同非盲検ランダム化比較試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	高齢者局所進行非小細胞肺癌に対するWeeklyカルボプラチンと胸部放射線同時併用化学療法の第II相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	中枢神経系への転移を有するEGFR遺伝子変異陽性の患者でオシメルチニブが無効となった患者に対して、白金製剤＋ペメトレキセド白金製剤＋ペメトレキセド＋オシメルチニブの比較試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	JCOG2007：ドライバー遺伝子陰性・不明の未治療進行非小細胞肺癌に対するプラチナ製剤併用化学療法＋ペムブロリズマブとプラチナ製剤併用化学療法＋ニボルマブ＋イピリマブのランダム化比較第III相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する低用量カルボプラチンを用いた化学放射線療法とカルボプラチン＋アルブミン結合パクリタキセルを用いた化学放射線療法を比較するランダム化第III相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	高齢者進展型小細胞肺癌に対するカルボプラチン＋エトポシド＋デュルバルマブ併用療法の第II相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	進展型小細胞肺癌に対する胸部放射線治療の追加を検討するランダム化第III相試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	日本人の軽症および中等症COPD に対する 1 日 1 回吸入型トリプル療法の有用性および安全性の研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	画像上診断困難な胸膜播種を有する臨床病期IVA期（cT1-2bN0-1M1a）非小細胞肺癌に対する原発巣切除追加の治療的意義を検証するランダム化比較第III相試験
呼吸器内科	武岡 宏明	脳転移を有するALK陽性進行非小細胞肺癌に対するブリグチニブの第II相試験
呼吸器内科	武岡 宏明	未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するペムブロリズマブの至適投与量に関する試験
呼吸器内科	岡元 昌樹	既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルとnab-パクリタキセルのランダム化比較第III相試験（J-AXEL）
呼吸器内科	岡元 昌樹	脳転移（放射線未治療）のあるT790陽性非小細胞肺癌に対するオシメルチニブの第II相試験
産科婦人科	小川 伸二	子宮体癌／子宮内膜異型増殖症に対する妊孕性温存治療後の子宮内再発に対する反復高用量黄体ホルモン療法に関する第II相試験
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	局所進行切除可能HPV陽性中咽頭癌に対する導入化学療法後の低侵襲手術に関する第2相試験
耳鼻咽喉科	中島 寅彦	頭頸部癌化学放射線療法における予防領域照射の線量低減に関するランダム化比較試験（JCOG1912）
循環器内科	村里 嘉信	冠動脈分岐部病変におけるProximal optimization techniqueの有効性についての多施設前向き無作為化オープンラベル比較試験
消化管外科	楠本 哲也	高齢者局所進行胃癌に対する術前化学療法としてのS-1＋オキサリプラチン併用療法の安全性と有効性について検討する第II相臨床試験（KSCC1801）
消化管外科	楠本 哲也	腹膜播種を伴う胃癌に対するS-1／シスプラチン＋パクリタキセル腹腔内投与併用療法の第II相臨床試験
消化管外科	楠本 哲也	再発危険因子を有するハイリスクStageII結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験（JFMC48-1301-C4：ACHIEVE-2 Trial）
消化管外科	楠本 哲也	Ramucirumab抵抗性進行胃癌に対するramucirumab＋Irinotecan併用療法のインターグループランダム化第III相試験（RINDBeRG試験）
消化管外科	楠本 哲也	RAS野生型進行大腸癌患者におけるFOLFOXIRI＋セツキシマブとFOLFOXIRI＋ベバシズマブの最大腫瘍縮小率（DpR）を検討する無作為化第II相臨床試験（JACCRO CC-13）
消化管外科	楠本 哲也	重症肥満に対するスリーブ状胃切除術後のシンバイオティクス摂取が腸内フローラに及ぼす影響二重盲検無作為化比較研究 SYNERGISM study
消化管外科	坂口 善久	局所進行直腸癌に対する術前治療としての短期放射線療法とCAPOX及び短期放射線療法とCAPOXIRIの多施設共同ランダム化第III相試験（ENSEMBLE）
消化管外科	坂口 善久	切除不能大腸癌に対するトリフルリジン・チピラシル＋ベバシズマブの従来法と隔週法の実用的ランダム化第III相試験（PRABITAS）

診療科	氏 名	課 題 名
消化管外科	吉永 敬士	食道癌患者へのDCF療法時における成分栄養剤の口腔粘膜炎症抑制作用の検討 ―エレンタール®非投与群を対照群としたランダム化第Ⅲ相比較臨床試験（EOPC2 study）
消化管外科	太田 光彦	術後補助化学療法中または終了後早期に再発した胃癌に対するCapeOX＋ニボルマブ療法の第Ⅱ相試験（JACCRO GC-11（FirSTAR試験））
消化器内科	隅田 頼信	小腸内視鏡におけるミダゾラム持続静注と塩酸ベチジン併用の有用性と安全性を検討するランダム化比較試験
消化器内科	隅田 頼信	大型の非有茎性大腸腫瘍に対する多機能スネアを用いたハイブリッド大腸粘膜下層剥離術の有用性を検証する非盲検化ランダム化比較試験
乳腺外科	岩熊 伸高	エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験（POTENT）
乳腺外科	岩熊 伸高	HER2陽性進行・再発乳癌におけるトラスツズマブ、ペルツズマブ、タキサン併用療法とトラスツズマブ、ペルツズマブ、エリブリン併用療法を比較検討する第Ⅲ相臨床研究JBCRG-M06（EMERALD）
脳血管・神経内科	岡田 靖	非弁膜症性心房細動とアテローム血栓症を合併する脳梗塞例の二次予防における最適な抗血栓療法に関する多施設共同ランダム化比較試験
脳血管・神経内科	木村 俊介	脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究
脳血管・神経内科	木村 俊介	脳梗塞の既往を有する非弁膜症性心房細動患者に対し、エドキサバンによる抗凝固療法を基礎治療にカテーテルアブレーションの有用性を検証する多施設共同ランダム化比較研究
脳血管・神経内科	桑城 貴弘	新規血栓溶解薬テネクテプラゼの脳梗塞急性期再開通療法への臨床応用を目指した研究 Tenecteplase versus alteplase For Large Vessel Occlusion Recanalization (T-FLAVOR)
脳血管・神経内科	桑城 貴弘	脳出血超急性期患者への遺伝子組換え活性化型第ⅤⅡ因子投与の有効性と安全性を検証する研究者主導国際臨床試験
脳血管・神経内科	杉森 宏	脳梗塞再発のリスク因子を有する急性期アテローム血栓性脳梗塞及びハイリスクTIA患者を対象としたプラスグレルのクロピドグレルとの血小板凝集能の比較臨床研究 Dual Antiplatelet Therapy for Platelet Aggregation inhibition Effect in Acute Large Artery Atherothrombotic Stroke or High Risk TIA Patients : Prasugrel versus Clopidogrel
脳血管内治療科	徳永 聡	急性期破裂脳動脈瘤の塞栓術における術前アスピリン投与の効果と安全性に関する多施設共同二重盲検比較試験
脳血管内治療科	徳永 聡	頸動脈ステント留置術後遷延性低血圧に対する術前輸液療法の有効性の検討（PREPARE試験）
婦人科	蓮尾 泰之	上皮性卵巣癌・卵管癌・腹膜原発癌に対するPaclitaxel毎週点滴静注＋Carboplatin 3週毎点滴静注投与対Paclitaxel毎週点滴静注＋Carboplatin 3週毎腹腔内投与のランダム化第Ⅱ/Ⅲ相試験
放射線科	松村 泰成	前立腺がんに対する高線量率組織内照射単独放射線療法の安全性と有効性を評価する多施設共同検証試験
呼吸器外科	竹尾 貞徳	第三世代EGFR-TKIオシメルチニブ治療における血漿循環腫瘍DNAを用いた治療耐性関連遺伝子スクリーニングの前向き観察研究
呼吸器内科	岡元 昌樹	間質性肺炎を合併する非小細胞肺癌の二次治療におけるニボルマブ療法とS-1療法を比較するランダム化第Ⅲ相試験（JCOG2302）
消化管外科	坂口 善久	術前化学療法を施行する食道癌・胃癌における十全大補湯によるQOL改善を検討するオープンラベル比較第Ⅱ相試験
消化管外科	太田 光彦	HER2陰性・CLDN18.2陽性の切除不能進行再発胃または食道胃接合部癌に対するCapeOX＋ゾルベツキシマブ療法を参照群とするSOX＋ゾルベツキシマブ療法の有効性を検討するランダム化非比較第Ⅱ相臨床試験（JACCRO GC-12（C-SOLVE試験））
乳腺外科	岩熊 伸高	ステロイドマウスウォッシュによる乳癌化学療法誘因性の口腔粘膜炎症予防を検討する第Ⅲ相ランダム化比較試験（SMASH-BC）
免疫感染症内科	高濱宗一郎	免疫抑制患者に対する13価蛋白結合型肺炎球菌ワクチンと23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチンの連続接種と23価莢膜多糖体型肺炎球菌ワクチン単独接種の有効性の比較 ―二重盲検無作為化比較試験―

令和6年度委員会一覧

臨床研究センター運営委員会

オブザーバ	病院長	岩崎 浩己
オブザーバ	副院長	岡田 靖
オブザーバ	副院長/研究企画開発室長	中島 寅彦
委員長	臨床研究センター長	高見 裕子
副委員長	臨床研究推進部長	杉森 宏
副委員長	医療管理企画運営部長/情報解析研究室室長	福泉公仁隆
副委員長	がん臨床研究部長	楠本 哲也
委員	研究企画開発室長副室長	長谷川英一
委員	情報解析研究室副室長	松尾 俊宏
委員	情報解析研究室副室長	若田 好史
委員	組織保存移植研究室長	福士 純一
委員	組織保存移植研究室副室長	高瀬 謙
委員	病態生理研究室長	村里 嘉信
委員	病態生理研究室副室長	岡元 昌樹
委員	生化学免疫病理研究室長	宮村 知也
委員	生化学免疫病理研究室副室長	富永 光裕
委員	動態画像研究室長	野口 智幸
委員	動態画像研究室副室長	桑城 貴弘
委員	教育研修研究室長	富永 光裕
委員	教育研修研究室副室長	中村千夏子
委員	医療情報管理研究室長	若田 好史
委員	医療情報管理研究室副室長	占部 和敬
委員	化学療法研究室室長	田村 真吾
委員	化学療法研究室副室長	武岡 宏明
委員	臨床腫瘍病理室長	桃崎 征也
委員	臨床腫瘍病理室副室長	岩熊 信高
委員	臨床腫瘍病理室副室長	藤原美奈子
委員	臨床腫瘍病理室副室長	名本 路花
委員	放射線治療開発室長	大賀 才路
委員	放射線治療開発室副室長	小川 伸二
委員	先端医療技術応用室長	小野原俊博
委員	先端医療技術応用室副室長	瓜生 英興
委員	システム疾患生命科学推進室長	國府島庸之
委員	システム疾患生命科学推進室副室長	渡邊 哲博
委員	医療システムイノベーション室長	溝口 昌弘
委員	医療システムイノベーション室副室長	徳永 聡
委員	臨床試験支援センター治験	大丸 資子
委員	臨床試験支援センター臨床試験	藤瀬 陽子
委員	臨床研究センター事務	中島 美子

倫理審査委員会

委員長	副院長	岡田 靖
委員	統括診療部長	甲斐 哲也
委員	事務部長	吉弘 和明
委員	看護部長	西山ゆかり
委員	薬剤部長	橋本 雅司
委員	臨床検査部長	荒川 仁香
外部委員	北九州市立大学 特任教授	松尾太加志
外部委員	九州大学大学院法学研究院 教授	田中 教雄
外部委員	純真短期大学 特任教授	下村久美子
外部委員	九州大学 名誉教授	笹栗 俊之
外部委員	西日本新聞社 日田支局長	西山 忠宏
事務局	副薬剤部長	藤瀬 陽子
事務局	臨床試験支援センター 治験主任	大丸 資子
事務局	臨床試験支援センター 副看護師長	麻生嶋和子
事務局	臨床試験支援センター 事務	井上美美子
事務局	臨床試験支援センター 事務	齊藤 薫

治験審査委員会

委員長	臨床研究センター長	高見 裕子 (R6.12まで)
委員(副委員長)	副院長	岡田 靖 (R7.1.3まで委員長兼任)
委員	統括診療部長	甲斐 哲也
委員	事務部長	吉弘 和明
委員	看護部長	西山ゆかり
委員	薬剤部長	橋本 雅司
委員	臨床検査科長	荒川 仁香
外部委員	北九州市立大学 特任教授	松尾太加志
外部委員	九州大学大学院法学研究院 教授	田中 教雄
外部委員	純真短期大学 特任教授	下村久美子
外部委員	九州大学 名誉教授	笹栗 俊之
外部委員	西日本新聞社 日田支局長	西山 忠宏

倫理審査委員会アドバイザー

アドバイザー	臨床研究センター長	高見 裕子
アドバイザー	脳神経外科 科長	溝口 昌弘
アドバイザー	消化器内科 科長・肝胆膵センター 部長	中牟田 誠
アドバイザー	消化管外科 科長・がん臨床研究部 部長	楠本 哲也
アドバイザー	医療情報管理センター 部長	福泉公仁隆
アドバイザー	小児科 科長	神野 俊介
アドバイザー	呼吸器内科 科長	岡元 昌樹
アドバイザー	代謝内分泌内科 科長	渡邊 哲博
アドバイザー	病理診断科 病理医長	藤原美奈子

V. 診療科別研究業績一覧（2024年4月～2025年3月）

令和6年業績一覧

論文	英文論文（原著）	131
	英文論文（原著以外）	13
	和文論文（原著）	42
	和文論文（原著以外）	33
	小計	219
学会発表	国際学会及びそれに準ずるもの	52
	国内総会及びそれに準ずるもの	294
	地方会	143
	学会に準ずるもの	35
	小計	524
講演会	医師会・地域主催のもの	49
	当院主催で院外対象のもの	50
	学会のセミナー（モーニング、ランチョン、イブニング）	24
	小計	123
その他		222
総 計		1088

内 科 系（総合診療科、代謝内分泌内科、膠原病内科、血液内科、免疫感染症内科、腎臓内科、高血圧内科、腫瘍内科、脳血管・神経内科、消化器内科（消化管）、消化器内科（肝胆膵）、呼吸器内科、循環器内科、感染症内科、小児科、精神科、放射線科）

外 科 系（消化管外科、肝胆膵外科、乳腺外科・センター、呼吸器外科、小児外科、脳血管内治療科、脳神経外科、心臓血管外科、血管外科、整形外科・リウマチ科、泌尿器科、眼科、皮膚科・アレルギー科、産科・婦人科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、歯科・歯科口腔外科、麻酔科、救急科、集中治療科）

中央部門（臨床検査科・病理診断科、薬剤部、放射線部、臨床検査部、栄養管理室、リハビリテーション部、MEセンター、看護部、地域医療連携室、医療安全管理部、医療情報管理センター、MCセンター、緩和ケアセンター、超音波・生理検査センター、臨床試験支援センター、臨床研究センター、事務部）

A. 論文

- ①英文論文（原著）
- ②英文論文（原著以外）
- ③和文論文（原著）
- ④和文論文（原著以外）

B. 学会発表

- ①国際学会それに準ずるもの
- ②国内総会およびそれに準ずるもの
- ③地方会
- ④学会に準ずるもの

C. 講演会

- ①医師会・地域主催のもの
- ②当院主催で院外対象のもの
- ③学会のセミナー（モーニング、ランチョン、イブニング）

D. その他

令和 6 年度診療科別業績一覧

診療各科 内科系			診療各科 外科系			中央部門		
総合診療科	論文	0	消化管外科	論文	4	臨床検査科・ 病理診断科	論文	15
	学会発表	2		学会発表	24		学会発表	12
	講演会等	0		講演会等	3		講演会等	1
	その他	0		その他	0		その他	2
代謝内分泌内科	論文	1	肝胆膵外科	論文	5	薬剤部	論文	4
	学会発表	3		学会発表	23		学会発表	19
	講演会等	0		講演会等	0		講演会等	8
	その他	0		その他	0		その他	5
膠原病内科	論文	6	乳腺外科・ センター	論文	7	放射線部	論文	5
	学会発表	25		学会発表	21		学会発表	11
	講演会等	0		講演会等	2		講演会等	1
	その他	0		その他	7		その他	16
血液内科	論文	18	呼吸器外科	論文	9	臨床検査部	論文	3
	学会発表	7		学会発表	7		学会発表	11
	講演会等	2		講演会等	1		講演会等	1
	その他	9		その他	0		その他	1
免疫感染症内科	論文	5	小児外科	論文	0	栄養管理室	論文	0
	学会発表	15		学会発表	0		学会発表	4
	講演会等	10		講演会等	1		講演会等	3
	その他	25		その他	1		その他	17
腎臓内科	論文	3	脳血管内治療科	論文	3	リハビリテー ション部	論文	0
	学会発表	2		学会発表	14		学会発表	1
	講演会等	3		講演会等	6		講演会等	4
	その他	0		その他	29		その他	5
高血圧内科	論文	4	脳神経外科	論文	5	臨床検査部	論文	0
	学会発表	1		学会発表	29		学会発表	6
	講演会等	1		講演会等	2		講演会等	0
	その他	0		その他	9		その他	0
腫瘍内科	論文	5	心臓血管外科	論文	0	看護部	論文	0
	学会発表	9		学会発表	4		学会発表	20
	講演会等	1		講演会等	2		講演会等	1
	その他	6		その他	0		その他	3
脳血管・ 神経内科	論文	13	血管外科	論文	5	地域医療連携 室	論文	0
	学会発表	21		学会発表	8		学会発表	2
	講演会等	6		講演会等	1		講演会等	0
	その他	0		その他	2		その他	0
消化器内科 (消化管)	論文	10	整形外科・ リウマチ科	論文	6	医療安全管理 部	論文	0
	学会発表	12		学会発表	23		学会発表	1
	講演会等	4		講演会等	10		講演会等	0
	その他	1		その他	9		その他	0
消化器内科 (肝胆膵)	論文	13	泌尿器科	論文	0	医療情報管理 センター	論文	1
	学会発表	12		学会発表	5		学会発表	6
	講演会等	3		講演会等	1		講演会等	0
	その他	0		その他	0		その他	0
呼吸器内科	論文	16	眼科	論文	3	MCセンター	論文	0
	学会発表	14		学会発表	6		学会発表	1
	講演会等	4		講演会等	0		講演会等	0
	その他	21		その他	0		その他	0
循環器内科	論文	19	皮膚科・アレ ルギー科	論文	3	緩和ケアセン ター	論文	0
	学会発表	46		学会発表	6		学会発表	1
	講演会等	19		講演会等	0		講演会等	0
	その他	9		その他	0		その他	0
感染症内科	論文	4	産科・婦人科	論文	3	超音波・生理 検査センター	論文	0
	学会発表	1		学会発表	18		学会発表	0
	講演会等	1		講演会等	4		講演会等	1
	その他	2		その他	13		その他	1
小児科	論文	3	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	論文	10	臨床試験支援 センター	論文	0
	学会発表	8		学会発表	13		学会発表	2
	講演会等	5		講演会等	4		講演会等	0
	その他	12		その他	2		その他	1
精神科	論文	0	形成外科	論文	1	臨床研究セン ター	論文	0
	学会発表	6		学会発表	2		学会発表	0
	講演会等	2		講演会等	1		講演会等	0
	その他	6		その他	0		その他	0
放射線科	論文	4	歯科・ 歯科口腔外科	論文	2	事務部	論文	0
	学会発表	26		学会発表	8		学会発表	2
	講演会等	3		講演会等	0		講演会等	0
	その他	5		その他	1		その他	0
			麻酔科	論文	1	計		
				学会発表	2			
				講演会等	0			
				その他	0			
			救急科	論文	0			
				学会発表	2			
				講演会等	1			
				その他	2			
			集中治療科	論文	0			
				学会発表	0			
				講演会等	0			
				その他	0			

総合診療科

学会発表

B-② 1	慢性下痢と体重減少を認めたオルメサルタン関連腸炎の1例	第29回日本病院総合診療医学会総会 2024/9/7 東京	中林ヒカリ、西山 史帆、加藤 弘隆、酒井 大地、 山本 賢、前原 玄、松本 佑慈、岡部 綾、 大田 梓、山崎 奨、平峯 智、高山 耕治、 小川 栄一、村田 昌之、下野 信行
B-④ 2	肛門痛で来院した70代女性の一例	九州総合診療セミナー 2025/1/16 福岡市	酒井 大地

代謝内分泌内科

論文

A-③ 1	内分泌疾患（特集 浮腫性疾患を極める；全身性浮腫・左右対称性浮腫）	臨床と研究 101（10）：1216-1218, 2024	渡邊 哲博
-------	-----------------------------------	----------------------------------	-------

学会発表

B-③ 2	抗精神病薬投与中に診断・治療を要したプロラクチノーマの1例	第24回日本内分泌学会九州地方会 2024/9/7 福岡	藤城 隆志、高柳 宏樹、小林 宏正、戸高 悠、 松尾 玲奈、武田 七海、池田 純香、小笠原辰樹、 松田やよい、坂本 竜一、小川 佳宏
B-③ 3	胸腺神経内分泌腫瘍に伴う異所性ACTH症候群の術後再発に対して、放射線照射、エベロリムスによる集学的治療を行った一例	第24回日本内分泌学会九州地方会 2024/9/7 福岡	小林 宏正、堀内由布子、吉本 栞夏、日野 直人、 押領司虞子、坂本 昌平、渡邊 哲博
B-③ 4	「COVID19と糖尿病～この5年間で得られた知見～」	第62回日本糖尿病学会九州地方会 2024/10/25 福岡	渡邊 哲博

膠原病内科

論文

A-① 1	Recent advances in the treatment strategy for AAV improved outcomes with intensive GC tapering.	International journal of rheumatic diseases 27（1）：e15009, 2023	Ono N, Kai T, Takeyama Y, Inoue Y, Ueda N, Nagano S, Ohta S, Inoue H, Sawabe T, Chifu Y, Yoshizawa S, Oryoji K, Kimoto Y, Miyake K, Ayano M, Mitoma H, Arinobu Y, Miyamura T, Horiuchi T, Akashi K, Tada Y, N II ro H
-------	---	---	---

A-① 2	Effect of Recent Antirheumatic Drug on Features of Rheumatoid Arthritis-Associated Lymphoproliferative Disorders.	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.) 76 (6) : 869-881, 2024	Hoshida Y, Tsujii A, Ohshima S, Saeki Y, Yagita M, Miyamura T, Katayama M, Kawasaki T, Hiramatsu Y, Oshima H, Murayama T, Higa S, Kuraoka K, Hirano F, Ichikawa K, Kurosawa M, Suzuki H, Chiba N, Sugiyama T, Minami Y, Nii no H, Ihata A, Saito I, Mitsuo A, Maejima T, Kawashima A, Tsutani H, Takahi K, Kasai T, Shinno Y, Tachiyama Y, Teramoto N, Taguchi K, Naito S, Yoshizawa S, Ito M, Suenaga Y, Mori S, Nagakura S, Yoshikawa N, Nomoto M, Ueda A, Nagaoka S, Tsuura Y, Setoguchi K, Sugii S, Abe A, Sugaya T, Sugahara H, Fujita S, Kunugiza Y, Iizuka N, Yoshihara R, Yabe H, Fujisaki T, Morii E, Takeshita M, Sato M, Saito K, Matsui K, Tomita Y, Furukawa H, Tohma S
A-① 3	The long-term safety and tolerability of anifrolumab for patients with systemic lupus erythematosus in Japan : TULIP-LTE subgroup analysis.	Modern rheumatology 34 (4) : 720-731, 2024	Tanaka Y, Atsumi T, Okada M, Miyamura T, Ishii T, Nishiyama S, Matsumura R, Kawakami A, Hayashi N, Abreu G, Yavuz S, Lindholm C, Al-Mossawi H, Takeuchi T
A-① 4	Impact of combined pulmonary fibrosis and emphysema on lung cancer risk and mortality in rheumatoid arthritis : A multicenter retrospective cohort study.	PLoS One 19 (2) : e0298573, 2024	Mori S, Ueki Y, Hasegawa M, Nakamura K, Nakashima K, Hidaka T, Ishii K, Kobayashi H, Miyamura T
A-① 5	Effect of Recent Antirheumatic Drug on Features of Rheumatoid Arthritis-Associated Lymphoproliferative Disorders	Arthritis & Rheumatology 76 (6) : 869-881, 2024	Hoshida Y, Tsujii A, Ohshima S, Saeki Y, Yagita M, Miyamura T, Katayama M, Kawasaki T, Hiramatsu Y, Oshima H, Murayama T, Higa S, Kuraoka K, Hirano F, Ichikawa K, Kurosawa M, Suzuki H, Chiba N, Sugiyama T, Minami Y, Nii no H, Ihata A, Saito I, Mitsuo A, Maejima T, Kawashima A, Tsutani H, Takahi K, Kasai T, Shinno Y, Tachiyama Y, Teramoto N, Taguchi K, Naito S, Yoshizawa S, Ito M, Suenaga Y, Mori S, Nagakura S, Yoshikawa N, Nomoto M, Ueda A, Nagaoka S, Tsuura Y, Setoguchi K, Sugii S, Abe A, Sugaya T, Sugahara H, Fujita S, Kunugiza Y, Iizuka N, Yoshihara R, Yabe H, Fujisaki T, Morii E, Takeshita M, Sato M, Saito K, Matsui K, Tomita Y, Furukawa H, Tohma S
A-① 6	Impact of combined pulmonary fibrosis and emphysema on lung cancer risk and mortality in rheumatoid arthritis : A multicenter retrospective cohort study	PLoS ONE 19 (2), 2024	Mori S, Ueki Y, Hasegawa M, Nakamura K, Nakashima K, Hidaka T, Ishii K, Kobayashi H, Miyamura T

学会発表

B-② 7	当科の全身性エリテマトーデスに対するベリムマブの使用経験	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	石田 素子、中村 真隆、増田 徹、野中 貴史、田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、宮村 知也
B-② 8	FDG-PETが診断に有用であった巨細胞性動脈炎の2症例	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	田中 孝典、石田 素子、中村 真隆、増田 徹、野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、宮村 知也

B-② 9	当院における成人発症IgA血管炎の臨床的特徴	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	中村 真隆、石田 素子、増田 徹、田中 孝典、 野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-② 10	メボリズマブ併用により早期グルココ ルチコイド減量が可能であった盲腸癌 合併好酸球性多発血管炎性肉下腫症の 1例	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	野中 貴史、中村 真隆、石田 素子、増田 徹、 田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-② 11	当科におけるメトトレキサート皮下注 射による治療効果の検討	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	増田 徹、石田 素子、中村 真隆、野中 貴史、 田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-② 12	関節リウマチ関連間質性肺障害のバイ オマーカーとしてのペリオスチンの解 析	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	真玉 豪士、岡元 昌樹、藤本 公則、上甲 剛、 海江田信二郎、宮村 知也、迎 寛、井田 弘明、 星野 友昭
B-② 13	疾患コントロール不十分だが、b/ tsDMARDs非使用のRA患者の特徴： FRANKレジストリーの解析から	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	山田 久方、鶴居 亮輔、近藤 正一、福士 純一、 宮村 知也、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、 井上 靖、大石 正信、前山 彰、加茂 健太、 新納 宏昭、中島 康晴
B-② 14	FRANKレジストリーを用いた65歳以下 関節リウマチ患者の就労状況に影響す る因子・罹患関節の検討	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 兵庫県神戸市	安元慧大朗、藤原 稔史、近藤 正一、福士 純一、 宮村 知也、井上 靖、都留 智巳、首藤 敏秀、 吉澤 誠司、新納 宏昭、大石 正信、加茂 健太、 前山 彰、中島 康晴
B-③ 15	当科のANCA陰性好酸球性多発血管炎 性肉芽腫症に対するメボリズマブの使 用経験	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	石田 素子、中村 真隆、増田 徹、野中 貴史、 田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 16	皮膚筋炎の加療中に腹腔内にfree air を指摘された1例	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	田中 孝典、石田 素子、中村 真隆、増田 徹、 野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 17	肺非結核性抗酸菌症を合併した関節リ ウマチ治療の現状と予後	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	中村 真隆、石田 素子、増田 徹、田中 孝典、 野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 18	肺出血を契機に再燃、IVCY療法が 奏効した肺高血圧症合併混合結合組織 病の1例	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	野中 貴史、石田 素子、田中 孝典、増田 徹、 中村 真隆、中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美、 宮村 知也
B-③ 19	視神経乳頭炎および滲出性中耳炎を呈 した顕微鏡的多発血管炎の一例	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	増田 徹、石田 素子、中村 真隆、野中 貴史、 田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 20	関節リウマチ患者における並存疾患 とD2TRAとの関連の検討：FRANK registry	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	龍溪 智史、綾野 雅宏、安元慧大朗、赤崎 幸穂、 近藤 正一、福士 純一、宮村 知也、井上 靖、 都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、大石 正信、 加茂 健太、前山 彰、中島 康晴、新納 宏昭
B-③ 21	ANCA関連血管炎(AAV)の寛解導入 療法におけるシクロホスファミドとリ ツキシマブの比較(第2報)	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	甲斐 達也、小野 伸之、井上 靖、上田 尚靖、 内野 愛弓、澤部 琢哉、宮村 知也、吉澤 誠司、 三宅 勝久、西村 直矢、綾野 雅宏、木本 泰孝、 堀内 孝彦、多田 芳史、赤司 浩一、新納 宏昭

B-③ 22	1年後GCを中止できたAAV患者の臨床像についての検討	第68回 九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀県	小野 伸之、甲斐 達也、井上 靖、上田 尚靖、 宮村 知也、内野 愛弓、吉澤 誠司、澤部 琢哉、 大田俊一郎、千布 裕、三嶋 耕司、三宅 勝久、 木本 泰孝、堀内 孝彦、多田 芳史、新納 宏昭
B-③ 23	偽腔閉塞型急性大動脈解離との鑑別を要した巨細胞性動脈炎の一例	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	有吉 倫、増田 徹、野中 貴史、田中 孝典、 中村 真隆、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 石田 素子、宮村 知也
B-③ 24	メトトレキサート開始時に脂肪肝を有した関節リウマチの検討	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	石田 素子、中村 真隆、増田 徹、野中 貴史、 田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 25	経過中にリウマチ性髄膜炎を呈した関節リウマチの一例	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	久原 洋平、野中 貴史、石田 素子、田中 孝典、 増田 徹、中村 真隆、高濱宗一郎、中嶋恵理子、 南 留美、宮村 知也
B-③ 26	乳び胸を合併した全身性強皮症の1例	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	田中 孝典、石田 素子、野中 貴史、増田 徹、 中村 真隆、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 27	難治性結節性多発動脈炎に対するb/ts DMARDsの使用経験	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	中村 真隆、石田 素子、増田 徹、田中 孝典、 野中 貴史、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 28	G-CSF製剤起因性薬剤性血管炎の1例	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	野中 貴史、石田 素子、田中 孝典、増田 徹、 中村 真隆、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 29	多関節痛を主訴に膠原病専門外来に紹介された患者に対する検討	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	増田 徹、石田 素子、中村 真隆、野中 貴史、 田中 孝典、高濱宗一郎、中嶋恵理子、南 留美、 宮村 知也
B-③ 30	気腫合併型肺線維症が関節リウマチの肺癌発生へ与える影響：多施設後ろ向き観察研究	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	森 俊輔、植木 幸孝、日高 利彦、石井 宏治、 宮村 知也
B-③ 31	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症患者の臨床像についての検討	第69回 日本リウマチ学会 九州・ 沖縄支部学術集会 2025/3/15 沖縄	小野 伸之、甲斐 達也、井上 靖、上田 尚靖、 宮村 知也、内野 愛弓、吉澤 誠司、澤部 琢哉、 大田俊一郎、三嶋 耕司、三宅 勝久、木本 泰孝、 三苫 弘喜、多田 芳史、新納 宏昭、堀内 孝彦

血液内科 論文

A-① 1	Phase II Trial of Romidepsin as Consolidation Therapy after Gemcitabine, Dexamethasone, and Cisplatin in Elderly Transplant-Ineligible Patients with Relapsed/Refractory Peripheral T-Cell Lymphoma	Hematology Reports 16 (2) : 336-346, 2024	Yamasaki S, Iida H, Saito A, Matsumoto M, Kuroda Y, Izumi T, Saito AM, Miyoshi H, Ohshima K, Nagai H, Iwasaki H
A-① 2	A phase 2 clinical trial of luspaterecept in non-transfusion-dependent patients with myelodysplastic syndromes	International Journal of Hematology 121 (1) : 68-78, 2024	Kosugi H, Fujisaki T, Iwasaki H, Shinagawa A, Iida H, Jo T, Kubonishi S, Morita Y, Nakashima Y, Onodera K, Suzuki K, Suzuki T, Tamai Y, Usuki K, Yokota A, Yonaga H, Hayakawa J, Midorikawa S, Nishio M, Suda M, Matsue K.

A-① 3	Clinical significance of NOTCH1 and FBXW7 alterations in adult T-cell leukemia/lymphoma	International Journal of Hematology 2024	Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Murase T, Ohtsuka E, Takeshita M, Muto R, Choi I, Iwasaki H, Ito A, Kusumoto S, Nakano N, Tokunaga M, Yonekura K, Tashiro Y, Suehiro Y, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Inagaki H.
A-① 4	TIM-3 marks measurable residual leukemic stem cells responsible for relapse after allogeneic stem cell transplantation	Cancer science 2024	Sakoda T, Kikushige Y, Irifune H, Kawano G, Harada T, Semba Y, Hayashi M, Shima T, Mori Y, Eto T, Kamimura T, Iwasaki H, Ogawa R, Yoshimoto G, Kato K, Maeda T, Miyamoto T, Akashi K.
A-① 5	Impact of donor type on the outcomes of acute graft versus host disease to systemic corticosteroid therapy	bone marrow transplantation 59 (12) : 1763-1772, 2024	Shimomura Y, Kitamura T, Sugita J, Terao T, Satake A, Hirakawa T, Uchida N, Shimabukuro M, Tanaka M, Eto T, Hiramoto N, Kataoka K, Nakamae H, Takase K, Kawakita T, Arai Y, Takeda W, Ishimaru F, Fukuda T, Atsuta Y, Nakasone H, Kanda J
A-① 6	ctDNA improves prognostic prediction for patients with relapsed/refractory MM receiving ixazomib, lenalidomide, and dexamethasone	Blood 143 (23), 2024	Kogure Y, Ito Y, Handa H, Ri M, Iida S, Horigome Y, Iino M, Harazaki Y, Kobayashi T, Ishida T, Abe M, Ito S, Iwasaki H, Kuroda J, Shibayama H, Sunami K, Takamatsu H, Tamura H, Hayashi T, Akagi K, Shinozaki T, Yoshida T, Mori I, Maeda T, Kataoka K
A-① 7	Prognostic impact of HLA supertype mismatch in single-unit cord blood transplantation	Bone Marrow Transplantation 59 (4) : 466-472, 2024	Sugio T, Miyawaki K, Mori Y, Yoshimoto G, Kikushige Y, Kunisaki Y, Akashi K, Kato K, Sugio T, Uchida N, Taniguchi S, Ohno Y, Eto T, Mizuno S, Nagafuji K, Iwasaki H, Kamimura T, Ogawa R, Miyamoto T
A-① 8	Characteristics and prognosis of patients with COVID-19 and hematological diseases in Japan : a cross-sectional study	International Journal of Hematology 119 (2) : 183-195, 2024	Minakata D, Uchida T, Nakano A, Takase K, Tsukada N, Kosugi H, Kawata E, Nakane T, Takahashi H, Endo T, Nishiwaki S, Fujiwara H, Saito AM, Saito TI, Akashi K, Matsumura I, Mitani K
A-① 9	Peripheral blood stem cell transplantation using HLA-haploidentical donor with post-transplant cyclophosphamide versus HLA-matched sibling donor for lymphoma	Bone Marrow Transplantation 59 (5) : 630-636, 2024	Nakaya Y, Nakamae H, Nakaya Y, Nishikubo M, Hiramoto N, Kondo E, Fukuda T, Mori Y, Nagafuji K, Eto T, Onishi Y, Uchida N, Ishikawa J, Matsuoka K, Yui S, Takase K, Kawakita T, Kanda J, Ichinohe T, Atsuta Y, Kako S
A-① 10	Night-time hot spring bathing is associated with improved blood pressure control : A mobile application and paper questionnaire study	PLoS ONE 19 (11), 2024	Yamasaki S, Kashiwado Y, Maeda T, Horiuchi T
A-① 11	Feasibility of Quality of Life Assessment in Patients with Lymphoma Aged ≥80 Years Receiving Reduced-Intensity Chemotherapy : A Single-Institute Study	Hematology Reports 16 (1) : 1-10, 2024	Yamasaki S
A-① 12	Night-Time Hot Spring Bathing Is Associated with a Lower Systolic Blood Pressure among Japanese Older Adults : A Single-Institution Retrospective Cohort Study	Geriatrics 9 (1), 2024	Yamasaki S, Tokunou T, Maeda T, Horiuchi T, Tokunou T

A-①	13	Corticosteroids impair epithelial regeneration in immune-mediated intestinal damage	The Journal of Clinical Investigation 134 (7), 2024	Arnhold V, Chang WY, Calafiore M, Vinci P, Fu YY, Ito T, Takashima S, Egorova A, Kuttiyara J, Perlstein A, Hanash AM, Hanash AM, Jansen SA, van Hoesel M, Lindemans CA, Thangavelu G, Blazar BR, Liu C
A-②	14	Immunology and targeted therapy in Castleman disease	Expert Review of Clinical Immunology 20 (9) : 1101-1112, 2024	Tsunoda S, Harada T, Kikushige Y, Kishimoto T, Yoshizaki K.
A-②	15	Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Acute Myeloid Leukemia With a Germline DDX41 Mutation	Case Reports in Hematology 2024 () : 4611649, 2024	Yoshida S (corresponding author) , Semba Y, Takashima S, Kadowaki M, Takase K, Maeda T, Akashi K, Iwasaki H.
A-②	16	Primary analysis of a prospective cohort study of Japanese patients with plasma cell neoplasms in the novel drug era (2016-2021)	International Journal of Hematology 119 (6) : 707-721, 2024	Shibayama H, Shibayama H, Itagaki M, Handa H, Yokoyama A, Saito A, Kosugi S, Ota S, Yoshimitsu M, Tanaka Y, Kurahashi S, Fuchida SI, Iino M, Shimizu T, Moriuchi Y, Toyama K, Mitani K, Tsukune Y, Kada A, Saito T, Tamura H, Abe M, Iwasaki H, Kuroda J, Takamatsu H, Sunami K, Kizaki M, Ishida T, Matsumura I, Akashi K, Iida S
A-②	17	Appropriate Treatment Intensity for Diffuse Large B-Cell Lymphoma in the Older Population : A Review of the Literature	Hematology Reports 16 (2) : 317-330, 2024	Yamasaki S
A-③	18	特発性多中心性キャスルマン病の病因病態解明と最近の治療薬開発の動向	「血液内科」科学評論社 89 (6) : 649-654, 2024	原田 卓哉、菊繁 吉謙

学会発表

B-①	19	II trial of romidepsin after GDP in elderly transplantineligible patients with R/R PTCL	第86回日本血液学会学術集会 2024/10/11 京都府	Satoshi Yamasaki, Hiroatsu Iida, Akio Saito, Morio Matsumoto, Yoshiaki Kuroda, Tohru Izumi, Akiko Saito, Hiroaki Miyoshi, Koichi Ohshima, Hirokazu Nagai, Hiromi Iwasaki
B-①	20	Phase 2 study of ASCT combined with novel agents in elderly NDMM (FBMTG-EMM17)	第86回日本血液学会学術集会 2024/10/11 京都府	Kazuki Tanimoto, Tomohiko Kamimura, Yasuo Mori, Tetsuya Eto, Yuju Ono, Noriaki Kawano, Tomonori Nakazato, Yukio Kondo, Koji Nagafuji, Akio Mori, Tomoaki Fujisaki, Ilseung Choi, Hiromi Iwasaki, Ryosuke Ogawa, Toshihiro Miyamoto, Mine Harada, Koichi Akashi
B-①	21	Impact of haploidentical stem cell transplantation on post-transplant BK virus hemorrhagic cystitis	第86回日本血液学会学術集会 2024/10/11 京都府	Shuichiro Takashima (corresponding author) , Takuya Harada, Fumihiko Nakao, Masanori Kadowaki, Shuro Yoshida, Ken Takase, Hiromi Iwasaki

B-①	22	Clinical impact of continuous dasatinib for untreated Ph+ALL : FBMTG ALL MRD 2014 PhALL study	第86回日本血液学会学術集会 2024/10/11 京都府	Yoshikiyo Ito, Koji Nagafuji, Toshihiro Miyamoto, Koji Kato, Tetsuya Eto, Tomohiko Kamimura, Yasuhiko Miyazaki, Ken Takase, Atsushi Wake, Yutaka Imamura, Yukio Kondo, Kazuki Tanimoto, Tomoaki Fujisaki, Junichi Tsukada, Toshiro Kurokawa, Naoyuki Uchida, Kentaro Kohno, Noriaki Kawano, Koji Yonemoto, Toshinori Hori, Koichi Akashi
B-①	23	Augmented use of L-asparaginase improves the treatment result of AYA ALL patients : FBMTG MRD 2014	第86回日本血液学会学術集会 2024/10/11 京都府	Koji Nagafuji, Toshihiro Miyamoto, Tetsuya Eto, Tomohiko Kamimura, Koji Kato, Yasuhiko Miyazaki, Atsushi Wake, Kentaro Kohno, Ken Takase, Yutaka Imamura, Naoyuki Uchida, Kazuki Tanimoto, Noroaki Kono, Toshiro Kurokawa, Yukio Kondo, Yoshikiyo Ito, Tomoaki Fujisaki, Junichi Tsukada, Koji Yonemoto, Toshinori Hori, Koichi Akashi
B-①	24	Clinical characteristics and outcome of multiple myeloma patients with renal impairment	第86回日本血液学会学術集会 2024/10/11 京都府	Yasuo Mori, Daisuke Ishihara, Hiroshi Imanaga, Kensuke Sasaki, Teppei Sakoda, Takuya Harada, Fumiaki Jinnouchi, Kohta Miyawaki, Takuji Yamauchi, Takahiro Shima, Yoshikane Kikushige, Koji Kato, Koichi Akashi
B-③	25	TP53欠失を伴う未治療慢性リンパ性白血病に対して、Acalabrutinib＋Obinutuzumabで加療した1例	日本内科学会九州支部主催 第346回九州地方会 2024/8/31 久留米市	甲斐 愛美、原田 卓哉、中尾 文彦、高嶋秀一郎、門脇 賢典、吉田、周郎、高瀬 謙

講演会

C-②	26	悪性リンパ腫の診断と治療	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/10/26 福岡市	高嶋秀一郎
C-②	27	CAR-T療法	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/10/26 福岡市	高瀬 謙

その他

D	28	慢性リンパ性白血病に対する当院でのBTK阻害剤の使用経験	第33回西福岡臨床研究会 2024/6/18 福岡市	高嶋秀一郎
D	29	ミトコンドリア E3 ユビキチン複合体はBAX の平衡状態を修飾し Venetoclax の感受性を制御する	第19回 血液学若手研究者勉強会 2024/6/29 Web	中尾 文彦
D	30	当院での特発性血小板減少性紫斑病に対するタパリスの使用経験について	タパリス錠発売1周年記念Web講演会 in 九州 2024/9/9 Web	吉田 周郎
D	31	CAR T細胞療法の施設立ち上げと運用状況について	福岡CAR T細胞療法WEBセミナー 2024/11/6 Web	高瀬 謙
D	32	造血器腫瘍における研究	Molecular Diagnosis of hematological malignancies 2024/11/15 福岡市	中尾 文彦

D	33	多発性骨髄腫診療における骨病変～整形外科との連携の意義～	多発性骨髄腫 疾患啓発 Web seminar ～多発性骨髄腫の診断・治療のポイント～ 2024/11/18 福岡市	高瀬 謙
D	34	症例から考えるカiptoロリスの治療戦略	Multiple Myeloma Clinical Seminar 2024/11/20 福岡市	吉田 周郎
D	35	野球部で活動性の高い患者様の症例報告	血液内科医のための血友病診療 update in 福岡～オルツピーオによって血友病治療はどう変わるか～ 2024/12/3 福岡市	高瀬 謙
D	36	COVID-19罹患後に急性肝不全のため死亡に至った症例	第230回CPC 2025/1/16 当院	中尾 文彦、江島 俊、長崎 洋司

免疫感染症内科 論文

A-①	1	Induction of IGHV3-53 public antibodies with broadly neutralising activity against SARS-CoV-2 including Omicron subvariants in a Delta breakthrough infection case	eBioMedicine 110 : 105439, 2024	Takeo Kuwata, Yu Kaku, Shashwata Biswas, Kaho Matsumoto, Mikiko Shimizu, Yoko Kawanami, Ryuta Uraki, Kyo Okazaki, Rumi Minami, Yoji Nagasaki, Mami Nagashima, Isao Yoshida, Kenji Sadamasu, Kazuhisa Yoshimura, Mutsumi Ito, Maki Kiso, Seiya Yamayoshi, Masaki Imai, Terumasa Ikeda, Kei Sato, Mako Toyoda, Takamasa Ueno, Takako Inoue, Yasuhito Tanaka, Kanako Tarakado Kimura, Takao Hashiguchi, Yukihiko Sugita, Takeshi Noda, Hiroshi Morioka, Yoshihiro Kawaoka, Shuzo Matsushita,
A-①	2	Non-acquired immunodeficiency syndrome defining malignancies in people living with haemophilia and human immunodeficiency virus after direct-acting antiviral era	Global Health & Medicine 6 (5) : 316-323, 2024	Michiko Koga, Akari Fukuda, Masanori Nojima, Aya Ishizaka, Toshihiro Itoh, Susumu Eguchi, Tomoyuki Endo, Akiko Kakinuma, Ei Kinai, Tomomi Goto, Shunji Takahashi, Hiroki Takeda, Takahiro Tanaka, Katsuji Teruya, Jugo Hanai, Teruhisa Fuj II, Junko Fujitani, Takashi Hosaka, Eiji Mita, Rumi Minami, Hiroshi Moro, Yoshiyuki Yokomaku, Dai Watanabe, Tamayo Watanabe, Hiroshi Yotsuyanagi
A-①	3	Factors Associated with Neutralizing Antibody Responses following 2-Dose and 3rd Booster Monovalent COVID-19 Vaccination in Japanese People Living with HIV.	Viruses 16 (4) : 555, 2024	Isaac Ngare, Toong Seng Tan, Mako Toyoda, Takeo Kuwata, Soichiro Takahama, Eriko Nakashima, Naoya Yamasaki, Chihiro Motozono, Teruhisa Fuj II, Rumi Minami, Godfrey Barabona, Takamasa Ueno
A-③	4	国内 HIV-1 伝播クラスターの 2022 年の動向：薬剤耐性 HIV 調査ネットワークによる SPHNCS 年報 Trends in HIV-1 transmission clusters in 2022 : Annual report of SPHNCS by the Japanese Drug Resistance HIV-1 Surveillance Network.	日本エイズ学会誌 26 (3) : 139-149, 2024	椎野禎一郎、潟永 博之、今橋 真弓、渡邊 大、南 留美、蜂谷 敦子、西澤 雅子、林田 庸総、吉田 繁、豊嶋 崇徳、伊藤 俊広、古賀 道子、貞升 健、佐野 貴子、宇野 俊介、谷口 俊文、猪狩 英俊、寒川 整、中島 秀明、吉野 友祐、堀場 昌英、茂呂 寛、渡邊 珠代、阪野 文哉、川畑 拓也、藤井 輝久、高田 清式、中村 麻子、仲村 秀太、松下 修三、吉村 和久、杉浦 互、菊地 正

A-③	5	急性ウイルス性肝炎	内科	南 留美
			134 (1) : 72-76, 2024	

学会発表

B-①	6	Surveillance of HIV-1 transmitted drug resistance in Japan, 2020-2022.	APACC 2024 2024/6/27 香港	Tadashi Kikuchi ¹ , Hiroyuki Gatanaga, Mayumi Imahashi, Dai Watanabe, Rumi Minami, Shigeru Yoshida, Tsunefusa Hayashida, Te II chiro Sh II no, Masako Nishizawa, Atsuko Hachiya, Kazuhisa Yoshimura, Wataru Sugiura
B-②	7	血友病Aの周術期管理にエファネソクトコグアルファを用いた5症例	第86回日本血液学会学術集会 2024/10/12 国立京都国際会館	中嶋恵理子、高濱宗一郎、山地 由恵、犬丸 真司、長與由紀子、城崎 真弓、南 留美
B-②	8	HIV感染症の現状と感染対策	第48回 日本血液事業学会総会 2024/11/13 福岡	南 留美
B-②	9	ゲイバーおよびハッテン場への HIV 郵送検査キット設置における有効性と問題点	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/28 東京	高濱宗一郎、中嶋恵理子、山地 由恵、犬丸 真司、長與由紀子、城崎 真弓、南 留美
B-②	10	血友病 A の周術期管理にエファネソクトコグアルファを用いた4症例	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/28 東京	中嶋恵理子、高濱宗一郎、山地 由恵、犬丸 真司、長與由紀子、城崎 真弓、合原 嘉寿、南 留美
B-②	11	当院における HIV 感染症患者の健康診断受診の現状	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/28 東京	長與由紀子、城崎 真弓、犬丸 真司、中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美
B-②	12	久山町スコアを用いた People Living with HIV (PLWH) の動脈硬化性心血管疾患リスクの検討	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/28 東京	南 留美、高濱宗一郎、中嶋恵理子、小松真梨子、山地 由恵、犬丸 真司、長与由紀子、城崎 真弓
B-②	13	日本人 People with HIV (PWH) におけるフレイル有病率とその危険因子に関する臨床検討 (第2報)	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/28 東京	仲村 秀太、高江 洲壮、前田サオリ、上 薫、宮城 京子、白野 倫徳、高濱宗一郎、中嶋恵理子、城崎 真弓、長與由紀子、犬丸 真司、曾我真千恵、猪口 愛、古賀 英史、南 留美、山本 和子
B-②	14	2023 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/29 東京	菊地 正、西澤 雅子、椎野禎一郎、豊嶋 崇徳、伊藤 俊広、林田 庸総、渦永 博之、古賀 道子、長島 真美、貞升 健志、佐野 貴子、宇野 俊介、谷口 俊文、猪狩 英俊、寒川 整、中島 秀明、吉野 友祐、堀場 昌英、茂呂 寛、渡邊 珠代、今橋 真弓、蜂谷 敦子、松田 昌和、重見 麗、岡崎 玲子、岩谷 靖雅、横幕 能行、渡邊 大、阪野 文哉、川畑 拓也、藤井 輝久、高田 清式、中村 麻子、南 留美、松下 修三、仲村 秀太、小島 潮子、Lucky Runtuwene、吉村 和久、杉浦 互
B-②	15	HIV 陽性者の地域支援ネットワーク体制構築を目指した取り組み	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/29 東京	首藤美奈子、田邊 瑛美、大里 文誉、南 留美、田村 賢二
B-②	16	HIV 陽性者を初めて受け入れた施設で対応苦慮された事例—患者さんを支える施設を拠点病院がどう支えるか、地域支援者と拠点病院の関係性を再確認する—	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/29 東京	大里 文誉、首藤美奈子、南 留美、長與由紀子、曾我真千恵

B-②	17	国内HIV-1伝播クラスター動向 (SPHNCS 分析) 年報- 2023 年	第38回日本エイズ学会学術集会・総 会 2024/11/30 東京	椎野禎一郎、今橋 真弓、南 留美、中村 麻子、 林田 庸総、吉村 和久、菊地 正、杉浦 互
B-②	18	九州医療センターにおける ART 変更 時の意思決定支援の状況調査	第38回日本エイズ学会学術集会・総 会 2024/11/30 東京	合原 嘉寿、山口 泰弘、橋本 雅司、鈴木 浩考、 中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美
B-③	19	HIV感染者に対するこれからのワクチ ン接種のあり方	第94回日本感染症学会西日本地方会 学術集会 2024/11/14 神戸	南 留美
B-④	20	HIV診療の今とこれから～展望と課題 ～	輸血シンポジウム2004 in 九州 2024/8/31 福岡	南 留美

講演会

C	21	性感染症・HIV感染症の最近の話題	令和6年度福岡県エイズ・性感染症 対策推進協議会 2025/3/5 福岡	南 留美
C-①	22	九州地域における地域支援者と拠点病 院、行政との連携、相互理解の促進	令和6年度第1回中国・四国ブロッ クエイズ治療拠点病院等連絡協議会 2024/7/12 岡山	南 留美
C-①	23	「連携へのサポート体制」	みんなでHIV/AIDSをUPDATEする会 ～福岡県精神科病院協会と一緒に～ 2024/7/19 福岡	首藤美奈子
C-①	24	「HIV感染者の抱える心理社会的問題 と福祉職の役割」	令和6年度第1回HIV/AIDS専門カウ ンセラー研修会 広島県臨床心理士会 2024/9/15 広島	首藤美奈子
C-①	25	「医療福祉制度に関する話題」	ネットワーク医療と人権 医療福祉 相談会 2024/11/24 宮崎/福岡	首藤美奈子
C-①	26	People Living With HIV (PLWH) の 今とこれから	2024年度島根県HIV講演会 2025/2/7 島根県 WEB	南 留美
C-①	27	「HIV医療の中での心理士の役割」	第29回エイズ診療ネットワークIn Nagasaki 2025/2/8 長崎 WEB	曾我真千恵
C-①	28	血友病と生活習慣病	長崎血友病B webセミナー 2025/3/7 WEB	南 留美
C-③	29	長期療養支援について考える～新たな 社会の構築を目指して～	第38回日本エイズ学会学術集会・総 会 2024/11/28 東京	南 留美
C-③	30	透析導入ゼロを目指して-PLWHの腎 機能を考慮した個別化治療-	第38回日本エイズ学会学術集会・総 会 2024/11/29 東京	南 留美

その他

D	31	抗HIV治療ガイドライン「抗HIV薬の副作用」	エイズ対策政策研究事業「HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究班」抗HIV治療ガイドライン2023年3月：p118-141	南	留美
D	32	九州ブロックのHIV医療体制整備—九州ブロックのHIV医療体制整備に関する研究—	HIV感染症の医療体制の整備に関する研究 令和5年度総括・分担研究報告書：p64-71	南	留美
D	33	九州地域における地域支援者と拠点病院・行政の連携、相互理解の推進	非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究令和5年度総括・分担研究報告書：p30-37,	南	留美
D	34	福岡県CBO主導のセクシュアルヘルス向上のための普及啓発の開発と効果評価	コミュニティセンターを活用したMSMに対するHIV感染症の有効な普及啓発方法に関する研究令和5年度総括・分担研究報告書	南	留美
D	35	PrEPの現状と将来展望	HIV感染症とAIDSの治療15 (1)：p4-12	岡南	慎一、岩崎 恒太、塩尻 大輔、水島 大輔、留美
D	36	感染症の最近のトピック～ HIV診療の発展と新たな話題	福岡県医報 (1575)	南	留美
D	37	私の流儀～診療の中で分かったボカブリア+リカムビスの可能性～	HIV UP-TO-DATE seminar 2024/4/26 福岡	南	留美
D	38	HIV長期療養におけるマネジメント～腎機能の管理を中心に～	HIV Long Term Management 研究会 (HIV LTM) 2024/5/25 Web	南	留美
D	39	関節機能維持のためにできること～血友病治療の観点から～	なるほど！血友病ワークショップ～関節を動かしてアクティブライフを～市民公開講座 2024/6/8 福岡	南	留美
D	40	九州医療センターにおける経験を踏まえたボカブリア・リカムビスの現況	HIV UP-TO-DATE seminar in 九州 2024/7/26 福岡	南	留美
D	41	ART どうしよう？	VII V National Conference 2024 2024/8/24 東京	南	留美
D	42	心血管イベントからPLWHを守るために～心・腎を中心に～	Meet the HIV Specialist 2024 2024/8/31 東京 (ハイブリッド)	南	留美
D	43	中高年PWHの合併症管理	第17回道央圏HIV感染症セミナー 2024/9/11 北海道	南	留美
D	44	HIV 感染症の最新情報	第42回九州ブロックエイズ拠点病院研修会 2024/10/5 福岡	南	留美
D	45	九州ブロックHIV/AIDS応用研修	九州ブロックHIV/AIDS応用研修 2024/10/31 福岡	南	留美
D	46	持効性注射剤をどう紹介する?～仮想症例から考える～	HIV Interactive Forum 2024/11/2 東京	南	留美

D	47	血友病Aの周術期管理にエファネソクトコグアルファを用いた5症例	オルツピーオ1周年記念講演会 2024/11/16 東京	南 留美
D	48	周術期でのオルツピーオ使用経験	血液内科医のための血友病診療 update in 福岡 2024/12/3 福岡	南 留美
D	49	PWHと合併症について	HIV Web Seminar ～合併症マネジメントを考える～ 2024/12/6 Web	南 留美
D	50	今日の血友病診療連携～それぞれの役割と個別化治療	Hemophilia (Joint) Care Seminar ～成人患者編 2024/12/18 Web	南 留美
D	51	「福岡県におけるHIV陽性者地域支援ネットワーク体制の構築について」	令和6年度福井県中核拠点病院協力 病院ソーシャルワーカー連絡会議 2025/1/16 福井	首藤美奈子
D	52	ドゥペイト配合錠の現況～臨床試験と治療の実際～	E2 HIV Expert Forum in 九州 2025/1/31 福岡	南 留美
D	53	「薬害被害患者の支援と人権」	福岡県医療ソーシャルワーカー協会 基礎研修 2025/2/20 福岡	首藤美奈子
D	54	「エイズ動向委員会報告」	第6回福岡県性感染症研究会 2025/2/21 JR博多シティ 10階大会 議室	高濱宗一郎
D	55	福岡県のエイズ診療における現状と課題	令和4年度福岡県エイズ治療拠点病 院等連絡協議会・研修会 2025/2/21 福岡	南 留美

腎臓内科 論文

A-①	1	History of fragility fracture is associated with cardiovascular mortality in hemodialysis patients : the Q-Cohort study	Journal of Bone and Mineral Metabolism 42 (2) : 253-263, 2024	Haruyama N, Nakayama M, Yamada S, Tanaka S, Kitazono T, Nakano T, Hiyamuta H, Taniguchi M, Tokumoto M, Tsuruya K
A-①	2	Plasma B-type natriuretic peptide is independently associated with cardiovascular events and mortality in patients with chronic kidney disease	Nature Scientific Reports 14 (1) : 16542, 2024	Hiroyuki Hayashida, Naoki Haruyama, Akiko Fukui, Ryota Yoshitomi, Hironobu Fujisawa & Masaru Nakayama
A-④	3	急性骨髄性白血病の加療中に中毒性表皮壊死症を発症し集学的治療により救命し得た血液透析患者の一例	日本透析医学会雑誌 58 (1) : 24-30, 2025	有田 ゆい、福井 明子、河野健太郎、桃崎 征也、 名西 史夫、占部 和敬、中山 勝、中野 敏昭、 北園 孝成

学会発表

- | | | | |
|-------|--|--|---|
| B-② 4 | 保存期 CKD 患者における B-type natriuretic peptide (BNP) と心血管 (CV) イベントとの関連について | 第67回日本腎臓学会学術集会
2024/6/30 横浜市 パシフィコ横浜 | 林田 寛之 |
| B-③ 5 | カプラシズマブ投与により寛解が得られた後天性血栓性血小板減少性紫斑病の一例 | 第15回福岡県透析医学会学術集会・総会
2024/10/20 飯塚市 飯塚病院 | 大田 修、高嶋秀一郎、山田 佳奈、木下 真以、
福井 明子、春山 直樹、中山 勝 |

講演会

- | | | | |
|-------|---|--|-------|
| C-① 6 | 血液透析患者における脆弱性骨折の既往と心血管死との関連～Qコホート研究～ | 第34回腎不全治療研究会
2024/4/25 福岡市 オリエンタルホテル 福岡博多ステーション | 春山 直樹 |
| C-② 7 | CKD診療ガイドライン2023の改訂のポイント
—CKD診療における新しい治療戦略を中心に— | 第11回地域医師のための生涯研修セミナー
2024/2/10 九州医療センター | 中山 勝 |
| C-② 8 | 慢性腎臓病(CKD) の概念から合併症・治療
—そしてCKDと歯科領域との関連について— | 第39回 九州医療センター 歯科講演会
2024/6/20 九州医療センター | 中山 勝 |

高血圧内科

論文

- | | | | |
|-------|---|---|--|
| A-① 1 | Does casual urine Na/K ratio predict 24 h urine Na/K ratio in treated hypertensive patients? ~ Comparison between casual urine voided in the morning vs. 24 h urine collected on the previous day ~ | Hypertension Research
2024 | Kimika Arakawa, Mitsuhiro Tominaga, Satoko Sakata, Takuya Tsuchihashi |
| A-① 2 | Differences in the effects of exercise on blood pressure depending on the physical condition of the subject and the type of exercise : a systematic review and meta-analysis | Hypertension Research
48 (2) : 720-732, 2024 | Suematsu Y, Kato Y, Hirata T, Morita H, Abe M, Yoshimura C, Ishida S, Shinohara Y, Fujii T, Funakoshi S, Arima H, Uehara Y, Koyoshi R, Fujimi K, Ideishi A, Miura S, Takata K, Morito N, Yahiro E, Kitajima K, Yano Y, Satoh A, Okutsu S, Takahashi K, Sakaguchi T, Katsuki S, Tada K, Hu YP, Fujita T, Satoh T, Munakata M, Ohnishi H, Okamura K, Mizuno H, Arakawa K, Asayama K, Ohtsubo T, Ishigami T, Shibata S, Ohishi M, Ichihara A, Katsuya T, Mukoyama M, Rakugi H, Node K |
| A-① 3 | Does casual urine Na/K ratio predict 24 h urine Na/K ratio in treated hypertensive patients? Comparison between casual urine voided in the morning vs. 24 h urine collected on the previous day | Hypertension Research
48 (2) : 772-779, 2024 | Arakawa K, Tominaga M, Sakata S, Tsuchihashi T |

A-① 4	Resistance exercise has an antihypertensive effect comparable to that of aerobic exercise in hypertensive patients : a meta-analysis of randomized controlled trials	Hypertension Research 2024	Morita H, Abe M, Yoshimura C, Ishida S, Shinohara Y, Fujii T, Funakoshi S, Arima H, Suematsu Y, Uehara Y, Ideishi A, Kato Y, Hirata T, Koyoshi R, Fujimi K, Takata K, Morito N, Yahiro E, Kitajima K, Satoh A, Okutsu S, Takahashi K, Sakaguchi T, Katsuki S, Tada K, Fujii T, Hu Y, Fujita T, Satoh T, Munakata M, Ohnishi H, Okamura K, Mizuno H, Arakawa K, Asayama K, Ohtsubo T, Ishigami T, Shibata S, Ohishi M, Ichihara A, Katsuya T, Mukoyama M, Rakugi H, Node K, Miura S
-------	--	-------------------------------	--

学会発表

B-② 5	降圧薬内服下高血圧患者における実測尿中ナトリウム/カリウム比 (Na/K比) ～午前中の随時尿 対 前日24時間家庭蓄尿の比較～	第46回日本高血圧学会総会 2024/10/12 福岡	荒川 仁香、富永 光裕、坂田 智子、土橋 卓也
-------	--	--------------------------------	-------------------------

講演会

C-③ 6	JSH2025 第7章 生活習慣の修正 (個別アプローチ) アップデート	第46回日本高血圧学会総会 2024/10/13 福岡	荒川 仁香、土橋 卓也、三浦伸一郎、高瀬 浩之、久松 隆史、樺山 舞、甲谷 友幸、有馬 久富
-------	--------------------------------------	--------------------------------	--

腫瘍内科 論文

A-① 1	Efficacy of anti-PD-1 monotherapy for recurrent or metastatic olfactory neuroblastoma	Frontiers in oncology 14 : 1379013, 2024	Yuta Hoshi, Tomohiro Enokida, Shingo Tamura, Torahiko Nakashima, Susumu Okano, Takao Fujisawa, Masanobu Sato, Akihisa Wada, Hideki Tanaka, Naohiro Takeshita, Nobukazu Tanaka, Ryutaro Onaga, Takuma Kishida, Hideoki Uryu, Shingo Sakashita, Takahiro Asakage, Makoto Tahara
A-① 2	Spatial dynamics of CD39+CD8+ exhausted T cell reveal tertiary lymphoid structures-mediated response to PD-1 blockade in esophageal cancer	Nature Communications 15 (1) : 9033, 2024	Kenro Tanoue, Hirofumi Ohmura, Koki Uehara, Mamoru Ito, Kyoko Yamaguchi, Kenji Tsuchihashi, Yudai Shinohara, Peng Lu, Shingo Tamura, Hozumi Shimokawa, Taichi Isobe, Hiroshi Ariyama, Yoshihiro Shibata, Risa Tanaka, Hitoshi Kusaba, Taito Esaki, Kenji Mitsugi, Daisuke Kiyozawa, Takeshi Iwasaki, Hidetaka Yamamoto, Yoshinao Oda, Koichi Akashi, Eishi Baba
A-① 3	A Phase 2 Study of Encorafenib in Combination with Binimetinib in Patients with Metastatic BRAF-Mutated Thyroid Cancer in Japan	Thyroid : Official Journal of the American Thyroid Association 34 (4) : 467-476, 2024	Tahara M, Kiyota N, Imai H, Takahashi S, Nishiyama A, Tamura S, Shimizu Y, Kadowaki S, Ito KI, Toyoshima M, Hirashima Y, Ueno S, Sugitani I
A-① 4	Effectiveness and safety of primary prophylaxis of G-CSF during chemotherapy for prostate cancer, Japanese clinical guideline for appropriate use of G-CSF : clinical practice guidelines for the use of G-CSF 2022	International Journal of Clinical Oncology 29 (5) : 559-563, 2024	Kimura S, Shigeta K, Tamura S, Uchino K, Kimura T, Ozaki Y, Takano T, Nishio H, Tsuchihashi K, Ito M, Baba E, Ichihara E, Endo M, Yano S, Kamiyama Y, Maruyama D, Yoshinami T, Susumu N, Takekuma M, Motohashi T, Ochi N, Kubo T, Nakao S, Nishimoto H, Kato Y, Sato A, Miura Y

A-① 5	Effectiveness and safety of primary prophylaxis of granulocyte colony-stimulating factor during dose-dense chemotherapy for urothelial cancer : Clinical Practice Guidelines for the Use of G-CSF 2022	International Journal of Clinical Oncology 29 (5) : 545-550, 2024	Uchino K, Tamura S, Tamura S, Kimura S, Shigeta K, Kimura T, Ozaki Y, Takano T, Nishio H, Tsuchihashi K, Ito M, Baba E, Ichihara E, Endo M, Yano S, Kamiyama Y, Maruyama D, Yoshinami T, Susumu N, Takekuma M, Motohashi T, Ochi N, Kubo T, Nakao S, Nishimoto H, Kato Y, Sato A, Miura Y
-------	--	--	---

学会発表

B-① 6	Guardant360® がん遺伝子パネル検査でTMB-Highであった胆嚢神経内分泌癌に対して在宅でNivolumab療法を行い良好な腫瘍縮小効果を得た一例	第23回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025/3/6 神戸	鶴田 展大、近沢 信人、桑山 美幸、川口 城毅、八木 一満、清武菜保子、吉永 美来、久保崎 礼、美澄 剛生、白川 剛
B-① 7	BRAF V600遺伝子変異を有する甲状腺がんに対するエンコラフェニブとビンメチニブの第Ⅱ相試験における健康関連QoL	第22回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025/3/6 神戸	清田 尚臣、田原 信、今井 源、高橋 俊二、西山 明宏、田村 真吾、清水 康、門脇 重憲、伊藤 研一、豊島 優裕、平島 詳典、上野 真治、緒方 壮太、杉谷 巖
B-① 8	当初FoundationOne®CDxでTMB-LowであったMSS大腸癌への新たなGuardant360®がん遺伝子パネル検査でTMB-Highとなり、Regorafenib＋Nivolumab療法にて抗腫瘍効果を得た一例	第24回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025/3/8 神戸	鶴田 展大、近沢 信人、桑山 美幸、川口 城毅、八木 一満、清武菜保子、吉永 美来、久保崎 礼、美澄 剛生、白川 剛
B-① 9	JSMOがん薬物療法専門医による訪問化学療法の実態報告	第25回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025/3/8 神戸	鶴田 展大、近沢 信人、桑山 美幸、川口 城毅、八木 一満、清武菜保子、吉永 美来、久保崎 礼、美澄 剛生、蛭原 悠介、中島 佳彦、渡邊 梨那、白川 剛
B-① 10	抗PD-1抗体治療下食道癌におけるCD39陽性疲弊T細胞の3次リンパ組織媒介型空間動態を解明するDenoisingを施したイメージングマスサイトメトリ解析	第22回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025/3/8 神戸	田ノ上絢郎、大村 洋文、上原 康輝、伊東 守、山口 享子、土橋 賢司、篠原 雄大、田村 真吾、下川 穂積、磯部 大地、有山 寛、柴田 義宏、田中 吏佐、草場 仁志、江崎 泰斗、三ツ木健二、岩崎 健、小田 義直、赤司 浩一、馬場 英司
B-② 11	大規模総合病院におけるオピオイド回診の取り組み	緩和医療学会 2024/6/1 神戸	田村 真吾、甲斐 祭生、中原 萌子、八木祐一郎、大畑絵衣子、原田 卓哉、石丸都希子、小柳 有子、高見 裕子
B-② 12	高齢者切除不能膀胱癌に対するNAL-IRI/FU/LV療法の効果と安全性の最終解析	日本癌治療学会 2024/10/24 福岡	瀧川 彩、在田 修二、下川 元継、大塚 大河、中澤 潤一、下川 穂積、古賀 風太、小田 尚伸、竹下 茂之、河口 康典、有馬 志穂、西川 和男、白川 剛、水田 敏彦、三ツ木健二
B-② 13	免疫チェックポイント阻害薬治療に奏効を得た後、治療中止後も奏効を維持した転移性乳癌の一例	第22回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025/3/7 神戸	瀧川 彩、桑山 美幸、土居 靖宗、田村 真吾
B-② 14	総合病院での腫瘍内科の道	第25回日本臨床腫瘍学会学術集会 2025/3/8 神戸	瀧川 彩

講演会

C-③ 15	生成AI導入前夜に診療記録の在り方と退院時要約の課題を考える	日本診療情報管理学会 2024/8/23 福岡	田村 真吾
--------	--------------------------------	----------------------------	-------

その他

D	16	いま改めて考える 免疫チェックポイント阻害剤とその副作用	令和6年度がんチーム医療研修 (NHO九州グループ) 2024/10/4 WEB	田村 真吾
D	17	加速する個別化医療～これからの甲状腺がん薬物療法～	ピラフトビ・メクトビ甲状腺癌WEB ライブセミナー 2024/10/17 WEB	田村 真吾
D	18	実症例から考える胃癌一次治療	胃癌治療戦略を考える会 in 福岡 2024/11/25 WEB	桑山 美幸
D	19	長期フォローアップデータから考える腎がん治療選択	RCC & UC Update Web Seminar 2024/12/4 WEB	田村 真吾
D	20	遺伝性腫瘍の未発症者サーベイランス	腫瘍内科 33 (6) : 576-580,	田村 真吾
D	21	導入化学療法 どっちを選ぶ? TPF vs PCE TPF	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 96 (4) : 320-323	田村 真吾、中島 寅彦

脳血管・神経内科

論文

A-①	1	Blood pressure during long-term cilostazol-based dual antiplatelet therapy after stroke : a post hoc analysis of the CSPS.com trial	Hypertension research 47 (9) : 2238-2249, 2024	Toyoda K, Koga M, Tanaka K, Uchiyama S, Sunami H, Omae K, Kimura K, Hoshino H, Fukuda-Doi M, Miwa K, Koge J, Okada Y, Sakai N, Minematsu K, Yamaguchi T ; CSPS.com Trial Investigators
A-①	2	Safety and Effectiveness of Four-Factor Prothrombin Complex Concentrate in Special Populations with INR Below 2 : A Post-Marketing Surveillance Study	Cardiology and therapy 13 (3) : 603-614, 2024	Yasaka M, Shimizu F, Niwa Y, Kiyonaga A, Terasaka N
A-①	3	Effects of paroxetine, a P2X4 inhibitor, on cerebral aneurysm growth and recanalization after coil embolization : the NHO Drug for Aneurysm Study	Journal of Neurosurgery online : 1-8, 2024	Fukuda S, Niwa Y, Ren N, Yonemoto N, Kasahara M, Yasaka M, Ezura M, Asai T, Miyazono M, Korai M, Tsutsumi K, Shigeta K, Oi Y, Nishimura A, Fukuda H, Goto M, Yoshida T, Fukuda M, Yasoda A, Ihara K
A-①	4	Long-term changes in carotid intima-media thickness according to baseline blood pressure level : J-STARS Echo study	Journal of the neurological sciences online (468) : 123342, 2024	Wada S, Koga M, Kagimura T, Toyoda K, Nagai Y, Aoki S, Nezu T, Hosomi N, Origasa H, Ohtsuki T, Maruyama H, Yasaka M, Kitagawa K, Uchiyama S, Minematsu K, Matsumoto M ; Japan Statin Treatment Against Recurrent Stroke (J-STARS) Echo Study Collaborators
A-①	5	Cerebral Small Vessel Disease Burden for Bleeding Risk during Antithrombotic Therapy : Bleeding with Antithrombotic Therapy 2 Study	Annals of Neurology 95 (4) : 774-787, 2024	Tanaka K, Miwa K, Koga M, Yoshimura S, Shiozawa M, Toyoda K, Kamiyama K, Yagita Y, Nagakane Y, Hoshino H, Terasaki T, Okada Y, Yakushiji Y, Tanaka J, Ide T, Takahashi S, Ueda T, Hasegawa Y, Sasaki M, Kudo K, Nishihara M, Yamaguchi Y, Fujita K, Honda Y, Kawano H, Hirano T, Yoshimoto T, Ihara M

A-①	6	Real-World Safety and Effectiveness of a 4-Factor Prothrombin Complex Concentrate in Japanese Patients Experiencing Major Bleeding : A Post-marketing Surveillance Study	Cardiology and Therapy 13 (1) : 221-232, 2024	Yasaka M, Suzuki M, Kushimoto S, Kiyonaga A, Niwa Y, Terasaka N, Mangione A
A-①	7	Age-related variation in coagulation factors in non-valvular atrial fibrillation patients receiving direct oral anticoagulants	International Journal of Hematology 119 (4) : 407-415, 2024	Kumano O, Suzuki S, Yamazaki M, An YSMR, Yasaka M, Ieko M
A-①	8	Clinical outcomes and anticoagulation therapy in elderly non-valvular atrial fibrillation and heart failure patients	ESC Heart Failure 11 (2) : 902-913, 2024	Ikeda S, Hiasa KI, Tsutsui H, Inoue H, Yamashita T, Suzuki S, Akao M, Atarashi H, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Ikeda T, Toyoda K, Yamaguchi T, Hirayama A, Yasaka M, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A
A-③	9	ワルファリン療法中に発症したPT-INR 2.0未満の頭蓋内出血に対し、4因子含有プロトロンビン複合体製剤で中和した11連続例の解析	Neurosonology 37 (1) : 13-16, 2024	安部 大介、矢坂 正弘、桑城 貴弘、村谷 陽平、溝口 忠孝、田川 直樹、森 興太、杉森 宏、岡田 靖
A-④	10	不整脈の薬物療法・非薬物療法 抗凝固療法	臨牀と研究 101 (8) : 948-952, 2024	今村 裕佑、杉森 宏
A-④	11	脳卒中・循環器病対策基本法と患者支援	臨牀と研究 101 (11) : 1310-1315, 2024	岡田 靖
A-④	12	脳卒中に伴う感染症と深部静脈血栓症	SCUグリーンノート改訂第2版 217-224, 2025	木村 俊介
A-④	13	脳卒中の病態と治療 脳卒中の原因と病態	脳卒中 理学療法の理論と技術 第5版 102-120, 2025	溝口 忠孝、岡田 靖

学会発表

B-②	14	脳ドック学会と人間ドック学会の協働をめざして	第33回脳ドック学会 2024/6/14 広島	岡田 靖
B-②	15	脳微小出血が増加しやすい年齢に関する検討 NHO脳卒中ネットワーク研究—NOBLESS研究—	第33回脳ドック学会 2024/6/14 広島	溝口 忠孝、桑城 貴弘、岡田 靖、今村 裕佑、木村 俊介、田川 直樹、森 興太、杉森 宏
B-②	16	タスクシェアをベースにした組織的な働き方改革	第26回日本マネジメント学会 2024/6/22 福岡	岡田 靖
B-②	17	脳卒中診療におけるPoint of care Ultrasound	第43回日本脳神経超音波学会、第27回日本栓子検出と治療学会 2024/6/28 千葉	桑城 貴弘
B-②	18	抗血栓療法下の脳出血 当科における予後と処方変更について	第52回日本救急医学会総会・学術集会 2024/10/15 宮城	杉森 宏、桑城 貴弘、今村 裕佑、木村 俊介、溝口 忠孝、田川 直樹、森 興太、岡田 靖
B-②	19	頭頸部血管解離性脳梗塞における頭痛の有無についての検討	第52回日本頭痛学会 2024/12/6 神奈川	桑城 貴弘、林田 寛之、中村 瑤子、今村 裕佑、木村 俊介、田川 直樹、溝口 忠孝、森 興太、杉森 宏、岡田 靖

B-②	20	急性期虚血性脳血管障害における新規血小板活性化マーカーの測定 (CLECSTRO)	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	内山真一郎、井上 克枝、岡田 靖、平野 照之、 長尾 毅彦、木内 博之、板橋 亮、星野 晴彦、 大木 宏一、本間 温、伊藤 伸朗、杉森 宏、 吉岡 秀幸、川村 雅英
B-②	21	血栓回収療法後の 1-2-3-4-day rule による直接経口抗凝固薬早期投与の検討；the Fukuoka Stroke Registry	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	木村 俊介、溝口 忠孝、佐原 範之、今村 裕佑、 田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、杉森 宏、 松尾 龍、脇坂 義信、吾郷 哲朗、鴨打 正浩、 北園 孝成、岡田 靖
B-②	22	硬膜動静脈瘻を併存した静脈洞血栓症による脳出血再発例	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	島 千波、溝口 忠孝、今村 裕佑、奥田 智裕、 中村 瑤子、林田 寛之、田川 直樹、松下 航、 森 興太、金城 史彦、東 英司、桑城 貴弘、 徳永 聡、杉森 宏、岡田 靖
B-②	23	主幹動脈の再開通を認めた塞栓源不明脳塞栓症の再発予防に抗血小板薬を用いる【Con】	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	杉森 宏
B-②	24	Transcranial color flow imaging を用いたくも膜下出血後脳血管攣縮、遅発性脳虚血の評価	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	田川 直樹、中村 瑤子、林田 寛之、今村 裕佑、 木村 俊介、溝口 忠孝、森 興太、桑城 貴弘、 西村 中、溝口 昌弘、杉森 宏、岡田 靖
B-②	25	脳出血発症前の抗血小板薬服用が急性期脳出血の血腫拡大に与える影響	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	中村 瑤子、木村 俊介、溝口 忠孝、森 興太、 林田 寛之、今村 裕佑、田川 直樹、桑城 貴弘、 杉森 宏、岡田 靖
B-②	26	脳梗塞患者におけるアルコール代謝関連遺伝子の実態調査	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	林田 寛之、溝口 忠孝、中村 瑤子、今村 裕佑、 木村 俊介、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、 西田裕一郎、原 めぐみ、徳永 聡、杉森 宏、 松本 明子、岡田 靖
B-②	27	軽症虚血性脳卒中に対する低用量血栓溶解療法の安全性と有効性に関する研究：NHO ネットワーク	第50回日本脳卒中学会 2025/3/6 大阪	溝口 忠孝、今村 裕佑、木村 俊介、田川 直樹、 森 興太、林田 寛之、中村 瑤子、桑城 貴弘、 杉森 宏、岡田 靖
B-③	28	アンデキサネットアルファ投与後早期にDOAC再開し良好な転帰を得た脳出血の1例	第345回日本内科学会九州地方会 2024/5/25 宮崎	井上 光、金城 史彦、溝口 忠孝、今村 裕佑、 木村 俊介、田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、 杉森 宏、岡田 靖
B-③	29	瞳孔計記録を用いて瞳孔所見を追跡したWernicke脳症の1例	第244回日本神経学会九州地方会 2024/6/15 沖縄	木村 俊介、森 興太、今村 裕佑、溝口 忠孝、 田川 直樹、桑城 貴弘、杉森 宏、岡田 靖
B-③	30	アミロイドPET検査によりアルツハイマー型認知機能低下の併存を疑った1例	第346回日本内科学会九州地方会 2024/8/31 福岡	久原 洋平、溝口 忠孝、今村 裕佑、木村 俊介、 田川 直樹、森 興太、桑城 貴弘、杉森 宏、 岡田 靖
B-③	31	急性巣状細菌性腎炎 (AFBN) に可逆性脳梁膨大部病変を有する軽症脳炎・脳症 (MERS) を合併した成人女性の一例	第245回日本神経学会九州地方会 2024/9/28 熊本	中村 瑤子、森 興太、林田 寛之、今村 裕佑、 木村 俊介、溝口 忠孝、田川 直樹、桑城 貴弘、 杉森 宏、岡田 靖
B-③	32	Carotid webに付着した可動性血栓による急性期脳梗塞の1例	第246回日本神経学会九州地方会 2024/12/14 長崎	木村 俊介、田川 直樹、中村 瑤子、林田 寛之、 今村 裕佑、溝口 忠孝、森 興太、徳永 聡、 桑城 貴弘、杉森 宏、岡田 靖
B-③	33	心房細動と抗リン脂質抗体症候群 (APS) を合併した脳梗塞の1例	第246回日本神経学会九州地方会 2024/12/14 長崎	田川 直樹、中村 瑤子、林田 寛之、今村 裕佑、 木村 俊介、溝口 忠孝、桑城 貴弘、杉森 宏、 岡田 靖
B-③	34	自己免疫性溶血性貧血による血栓形成が疑われた再発性脳梗塞の一例	第247回日本神経学会九州地方会 2025/3/15 福岡	今村 裕佑、田川 直樹、吉田 周郎、中村 瑤子、 林田 寛之、木村 俊介、溝口 忠孝、森 興太、 桑城 貴弘、杉森 宏、岡田 靖

講演会

C-①	35	頭痛診療の最新の話題～“頭痛外来”半年の経過を踏まえて～	頭痛の最新知見と病診連携を考える 2024/7/10 福岡	桑城 貴弘
C-①	36	超高齢社会における脳疾患 精神疾患と鑑別が必要な脳卒中、てんかんの病態	第55回福岡県病院薬剤師会 精神科薬物療法研修会 2024/7/27 福岡（Web）	杉森 宏
C-①	37	脳卒中と認知症について	令和6年度電気管理安全技術講習会 2024/11/21 福岡	杉森 宏
C-②	38	当院の診療大生と脳梗塞初期診療について	第17回福岡県PSLS（病院前脳卒中救護）講習会 2024/11/15 福岡	森 興太
C-②	39	当院の認知機能障害に対する取り組み	2024年度地域医師のための生涯 2024/11/30 福岡	杉森 宏
C-②	40	九州医療センターにおけるケサンラの投与体制	ケサンラ学術講演会 ～臨床経験を学び合う～ 2025/3/19 福岡	桑城 貴弘

消化器内科（消化管）

論文

A-①	1	Multicenter study of invasive gastric cancer detected after 10 years of <i>Helicobacter pylori</i> eradication in Japan : Clinical, endoscopic, and histopathologic characteristics	Digestive Endoscopy Open 4 (1), 2024	Kobayashi M, Kobayashi M, Fujisaki J, Namikawa K, Hoteya S, Sasaki A, Shibagaki K, Yao KS, Abe S, Oda I, Ueyama H, Isomoto H, Ito M, Sugimoto M, Kawai T, Kodama M, Murakami K, Adachi K, Matsuhashi N, Ohata K, Ushijima T, Kato M, Miyamoto S, Yoshimura D, Yagi K, Iwaizumi M, Uemura N
A-①	2	A novel prediction tool for mortality in patients with acute lower gastrointestinal bleeding requiring emergency hospitalization : a large multicenter study	Scientific Reports 14 (1), 2024	Tominaga N, Sadashima E, Aoki T, Yamada A, Fujita M, Kobayashi K, Yamauchi A, Omori J, Kaise M, Ikeya T, Aoyama T, Sato Y, Kishino T, Ish II N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fuj II H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Matsuhashi T, Komaki Y, Miki K, Watanabe K, Nagata N
A-①	3	Association of blood group O with a recurrent risk for acute lower gastrointestinal bleeding from a multicenter cohort study	Scientific Reports 14 (1), 2024	Suzuki S, M II ke T, Kawakami H, Suzuki S, Tominaga N, Aoki T, Yamada A, Sadashima E, Kobayashi K, Yamauchi A, Omori J, Kaise M, Ikeya T, Aoyama T, Sato Y, Kishino T, Ish II N, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Narasaka T, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fuj II H, Fuyuno Y, Hikichi T, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Matsuhashi T, Komaki Y, Nagata N

A-① 4	Urgent Contrast-Enhanced Computed Tomography in the Management of Colonic Diverticular Bleeding : A Multicenter Randomized Controlled Trial	Digestion 2024	Hirai Y, Uraoka T, Wada M, Mori H, Fujimoto A, Harada N, Sakakibara Y, Toyokawa T, Kagaya T, Sasaki Y, Mannami T, Kuwai T, Watanabe N, Hamada H, Esaka N, Kimura T, Fujii H, Hosoda Y, Shimada M, Miyabayashi H, Somada S, Mabe K, Kato M, Inoue S, Saito H, Furuya K, Kawamura N, Kudo T, Hori K, Sakamoto N, Higuchi N
A-③ 5	Helicobacter pylori未感染胃癌の局在別特徴と噴門部・食道胃接合部腺癌の特異性	日本消化器病学会雑誌 臨時創刊号 121 (suppl-1) : A398, 2024	吉村 大輔、吉村 理江、原田 直彦、水谷 孝弘、落合 利彰、加藤 誠也、藤原美奈子、桃崎 征也
A-③ 6	Case11 臨床情報	胃と腸 4月増大号 58 (4) : 448-451, 2024	吉村 大輔、水谷 孝弘、落合 利彰
A-③ 7	第3章 良性腫瘍（大腸） 7 若年性ポリープ②	美しい画像で見る 内視鏡アトラス 下部消化管 90-91, 2024	吉村 大輔
A-③ 8	第3章 良性腫瘍（大腸） 11 大腸子宮内膜症	美しい画像で見る 内視鏡アトラス 下部消化管 98-99, 2024	吉村 大輔
A-③ 9	薬剤性・腐食性食道炎の画像診断	胃と腸 60 (3) : 293-302, 2025	吉村 大輔、水谷 孝弘、深浦 啓太、佐々木泰介、大久保彰人、今村 壮志、武内 翼、小笠原 愛
A-③ 10	長期経過を観察し得た、胃限局型若年性ポリポーシスの1例	日本消化器病学会雑誌 臨時創刊号 121 (suppl-1) : A398, 2024	福谷 洋樹、佐々木泰介、興津 亮太、大久保彰人、濱田 匠平、吉村 大輔、原田 直彦、蓮田 博文、藤田 綾、藤原美奈子

学会発表

B-① 11	CLINICAL CHARACTERISTICS AND SPECIFICITY OF ENDOSCOPIC FINDINGS OF P16-POSITIVE OROPHARYNGEAL CANCER (4032815)	DDW 2024 2024/5/18 Washington DC	Yoshimura Daisuke, Harada Naohiko, Hamada Shohei, Sasaki Taisuke, Momosaki Seiya, Okubo Akito, Fukuya Hiroki, Okitsu Ryota, Ihara Eikichi
B-① 12	CLINICAL FEATURES AND SPECIFIC ENDOSCOPIC FINDINGS OF P16-POSITIVE OR PHARYNGEAL CANCER	UEG Week 2024 2024/10/13 Vienna Austria 学会開催日 : 2024/10/13-15	Yoshimura D, Fukaura K, Sasaki T, Ohkubo A, Imamura S, Takeuchi T, Ogasawara A
B-① 13	THE FEASIBILITY AND SAFETY OF GASTRIC ENDOSCOPIC SUBMUCOSAL DISSECTION IN PATIENTS TAKING GLUCOCORTICOID OR IMMUNOMODULATORS	UEG Week 2024 2024/10/13 Vienna Austria 学会開催日 : 2024/10/13-15	Fukuya H, Iboshi Y, Ihara E, Okitsu R, Ohkubo A, Sasaki T, Hamada S, Yoshimura D, Harada N
B-② 14	p16陽性中咽頭癌の臨床的特徴と内視鏡所見の特異性について	第107回日本消化器内視鏡学会総会 2024/6/1 東京	吉村 大輔
B-② 15	Helicobacter pylori未感染胃癌の局在別特徴と噴門部・食道胃接合部腺癌の特異性	第110回日本消化器病学会総会 2024/5/10 徳島	吉村 大輔、吉村 理江、原田 直彦、水谷 孝弘、落合 利彰、加藤 誠也、藤原美奈子、桃崎 征也
B-② 16	長期経過を観察し得た、胃限局型若年性ポリポーシスの1例	第110回日本消化器病学会総会 2024/5/10 徳島	福谷 洋樹、佐々木泰介、興津 亮太、大久保彰人、濱田 匠平、吉村 大輔、原田 直彦、蓮田 博文、藤田 綾、藤原美奈子

B-②	17	キャリアサポート施設の役割と「トリセツ」	第107回日本消化器内視鏡学会総会 2024/5/30 東京	原田 直彦
B-③	18	当院における胃静脈瘤に対する治療選択と内視鏡治療に関する検討	第123回日本消化器病学会九州支部例会 2024/6/21 北九州	佐々木泰介、大久保彰人、濱田 匠平、吉村 大輔、 原田 直彦
B-③	19	Helicobacter pylori未感染胃のラズベリー型ポリープに対する外来underwater cold snare polypectomyの妥当性について	第117回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2024/6/21 北九州	吉村 大輔、吉村 理江、水谷 孝弘、藤原美奈子、 加藤 誠也
B-③	20	N-butyl-2-cyanoacrylate単回局注が奏功した十二指腸静脈瘤破裂の1例	第117回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2024/6/22 北九州	大久保彰人、福谷 洋樹、濱田 匠平、興津 亮太、 佐々木泰介、吉村 大輔、原田 直彦、中牟田 誠
B-③	21	セフェムアレルギー歴のある患者にヘリコバクター・ピロリ除菌治療を行い病変の消失を認めた胃DLBCLの一例	第124回日本消化器病学会九州支部例会 研修医奨励賞 2024/11/15 鹿児島	甲斐 愛美、吉村 大輔、小笠原 愛、武内 翼、 今村 壮志、大久保彰人、佐々木泰介、深浦 啓太、 桃崎 征也
B-④	22	特別講演：潰瘍性大腸炎の最近の話題と患者満足度の高い病診連携	福岡UC治療カンファレンス 2024/6/12 福岡	吉村 大輔

講演会等

C-①	23	ヘリコバクター・ピロリ陰性時代の胃がん検診とその未来	胃がん検診・大腸がん検診実施登録医療機関合同研修会 2024/10/4 福岡	吉村 大輔
C-①	24	Helicobacter pylori未感染時代の上消化管疾患とその未来	Wakayama Endo-Highlight Symposium 2025/1/25 和歌山	吉村 大輔
C-②	25	食道癌患者の腸内細菌叢について	第4回地域医師のための生涯研修セミナー 代謝内分泌内科・消化管内科 2024/8/31 九州医療センター	深浦 啓太
C-②	26	免疫チェックポイント阻害剤によるirAE腸炎について	第4回地域医師のための生涯研修セミナー 代謝内分泌内科・消化管内科 2024/8/31 九州医療センター	大久保彰人

その他

D	27	Helicobacter pylori未感染胃癌の現在地とその未来	第45回浜名湖胃と腸フォーラム 2024/9/7 静岡県	吉村 大輔
---	----	-----------------------------------	---------------------------------	-------

消化器内科（肝胆膵）

論文

A-①	1	Feasibility of Endoscopic Ultrasound-Guided Hepaticogastrostomy for Malignant Hilar Biliary Obstruction	Digestive Diseases and Sciences 70 (1) : 419-428, 2024	Ohno A, Fujimori N, Gerodias A, Kakehashi S, Matsumoto K, Murakami M, Ueda K, Ogawa Y, Ohno A, Kaku T, Shimokawa Y, Miyagahara T, Suehiro Y
-----	---	---	---	---

A-① 2	Puncture angle on an endoscopic ultrasound image is independently associated with unsuccessful guidewire manipulation of endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy : a retrospective study in Japan	Clinical Endoscopy 57 (5) : 656-665, 2024	Ohno A, Fujimori N, Matsumoto K, Murakami M, Teramatsu K, Ueda K, Aso A, Ogawa Y, Ohno A, Kaku T, Hijioka M
A-① 3	Puncture angle on an endoscopic ultrasound image is independently associated with unsuccessful guidewire manipulation of endoscopic ultrasound-guided hepaticogastrostomy : a retrospective study in Japanese two centers	Clinical Endoscopy 2024	Ohno A, Fujimori N, Matsumoto K, Murakami M, Teramatsu K, Ueda K, Aso A, Ogawa Y, Ohno A, Kaku T, Hijioka M
A-① 4	Clinical profile of IgG4-related disease in Japan based on the rare disease data registry	Immunological Medicine 2024	Yamamoto M, Kanda M, Mizushima I, Kasashima S, Takahira M, Kawano M, Kanno A, Umemura T, Okazaki K, Ikeura T, Kodama Y, Dobashi H, Tanaka Y, Masamune A, Moriyama M, Nakamura S, Saeki T, Matsui S, Origuchi T, Masaki Y, Yamada K, Asada M, Umehara H, Seno H, Yamaguchi I, Matsuda F, Naitoh I, Yamamoto S, Iwasaki E, Kubota K, Tanoue S, Nishino T, Tsuboi H, Matsumoto Y, Isayama H, Goto H, Notohara K, Uchida K, Kawabe K, Sato Y, Kawachi I, Ishikawa H
A-① 5	Prospective multicenter surveillance study of branch-duct intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas ; risk of dual carcinogenesis	Pancreatology 24 (7) : 1141-1151, 2024	Ohtsuka T, Tanaka M, Ohtsuka T, Maguchi H, Tokunaga S, Hijioka S, Takayama Y, Koshita S, Hanada K, Sudo K, Uehara H, Tanno S, Tada M, Kimura W, Kin T, Kamata K, Masamune A, Iwashita T, Akahoshi K, Ueki T, Okamura K, Kato H, Kumagi T, Kawabe K, Yoshida K, Mukai T, Sakagami J, Hirono S, Abue M
A-① 6	ALBI score predicts morphological changes in esophageal varices following direct-acting antiviral-induced sustained virological response in patients with liver cirrhosis.	Journal of Gastroenterology 59 (8) : 709-718, 2024	Atsukawa M, Tsubota A, Kondo C, Toyoda H, Takaguchi K, Nakamuta M, Watanabe T, Morishita A, Tani J, Okubo H, Hiraoka A, Nozaki A, Chuma M, Kawata K, Uojima H, Ogawa C, Asano T, Mikami S, Kato K, Matsuura K, Ikegami T, Ishikawa T, Tsuji K, Tada T, Tsutsui A, Senoh T, Kitamura M, Okubo T, Arai T, Kohjima M, Morita K, Akahane T, Nishikawa H, Iwasa M, Tanaka Y, Iwakiri K
A-① 7	Microcirculatory disturbance in acute liver injury is triggered by IFN γ -CD40 axis.	Journal of inflammation (London, England) 21 (1) : 23, 2024	Kurokawa M, Goya T, Kohjima M, Tanaka M, Iwabuchi S, Shichino S, Ueha S, Hioki T, Aoyagi T, Takahashi M, Imoto K, Tashiro S, Suzuki H, Kato M, Hashimoto S, Matsuda H, Matsushima K, Ogawa Y
A-① 8	Clinicopathologic Features of Adult-onset Still's Disease Complicated by Severe Liver Injury	Internal Medicine 63 (4) : 503-511, 2023	Kurokawa M, Hioki T, Aoyagi T, Takahashi M, Imoto K, Goya T, Tanaka M, Kohjima M, Ogawa Y
A-① 9	ALBI score predicts morphological changes in esophageal varices following direct-acting antiviral-induced sustained virological response in patients with liver cirrhosis	Journal of Gastroenterology 59 (8) : 709-718, 2024	Atsukawa M, Kondo C, Kitamura M, Arai T, Iwakiri K, Tsubota A, Toyoda H, Takaguchi K, Tsutsui A, Senoh T, Nakamuta M, Kohjima M, Watanabe T, Morishita A, Tani J, Okubo H, Hiraoka A, Nozaki A, Chuma M, Kawata K, Uojima H, Ogawa C, Asano T, Mikami S, Kato K, Matsuura K, Ikegami T, Ishikawa T, Tsuji K, Tada T, Okubo T, Morita K, Akahane T, Nishikawa H, Iwasa M, Tanaka Y

A-① 10	Comparison of six hepatocellular carcinoma prediction models in Japanese patients after sustained virologic response undergoing rigorous surveillance for hepatocellular carcinoma	Journal of Gastroenterology and Hepatology 39 (5) : 949-954, 2024	Toyoda H, Yasuda S, Toyoda H, Tada T, Uojima H, Nozaki A, Chuma M, Takaguchi K, Tsutsui A, Hiraoka A, Abe H, Itobayashi E, Matsuura K, Atsukawa M, Arai T, Watanabe T, Shimada N, Nakamuta M, Kojima M, Tsuji K, Mikami S, Ishikawa T, Kumada T, Tanaka Y, Tanaka J, Chayama K
A-① 11	Real-world Effectiveness and Tolerability of Interferon-free Direct-acting Antiviral for 15,849 Patients with Chronic Hepatitis C : A Multinational Cohort Study	Journal of Clinical and Translational Hepatology 12 (7) : 646-658, 2024	Ji FP, Zhao YY, Liu YS, Tran S, Maeda M, Cheung R, Nguyen MH, Ogawa E, Huang CF, Yeh ML, Tsai PC, Chuang WL, Huang JF, Dai CY, Yu ML, Suzuki T, Tanaka Y, Wong YJ, Tay WX, Devan P, Toyoda H, Jun DW, Yoon EL, Li L, Li JY, Uojima H, Nozaki A, Chuma M, Tseng CH, Hsu YC, Ishigami M, Honda T, Atsukawa M, Itokawa N, Haga H, Ueno Y, Enomoto M, Kozuka R, Trinh H, Preda CM, Alecu RI, Vutien P, Landis C, Liu JK, Lee DH, Jun MJ, Watanabe T, Takahashi H, Eguchi Y, Abe H, Asai A, Li J, Huang R, Wu C, Wang XZ, Liu JP, Shang J, Liang J, Ye Q, Lam CPM, Yuen MF, Pan HY, Zhang JJ, Cai DC, Ren H, Wang Q, Xie W, Huang DQ, Lim SG, Huang DQ, Wong G, Wong VWS, Do S, Do AT, Furusyo N, Nakamuta M, Nomura H, Kajiwarra E, Ahn SB, Azuma K, Dohmen K, An J, Song DS, Cho HC, Kawano A, Koyanagi T, Ooho A, Satoh T, Takahashi K, Okubo T, Ishikawa T, Takaguchi K, Senoh T, Zhang MY, Niu JQ, Zhao CQ, Vargas-Accarino E, Buti M
A-① 12	Microcirculatory disturbance in acute liver injury is triggered by IFN γ -CD40 axis	Journal of Inflammation (London) 21 (1) , 2024	Kurokawa M, Goya T, Kohjima M, Tanaka M, Hioki T, Aoyagi T, Takahashi M, Imoto K, Tashiro S, Suzuki H, Kato M, Ogawa Y, Iwabuchi S, Hashimoto S, Shichino S, Ueha S, Matsushima K, Matsuda H
A-③ 13	EUS下rendezvous法でのUneven Double Lumen Cannula (UDLC)を用いた胆管アプローチ法	胆道 (0914-0077) 38 (4) : 659-661, 2024	加来 豊馬、赤木 健哉、原 真児登、三木 正美

学会発表

B-② 14	膵管鏡を用いた内視鏡的膵石破碎術の当院における現状	第107回日本消化器内視鏡学会総会 2024/5/30 東京	三木 正美、加来 豊馬、原 真児登、興津 亮太、 福谷 洋樹、大久保彰人、佐々木泰介、中嶋 摩依、 濱田 匠平、吉村 大輔、福泉公仁隆、原田 直彦
B-② 15	Atezolizumab+bevacizumab併用療法後のLenvatinibの治療効果～多施設共同研究～	第61回日本肝臓学会総会 2024/6/13 熊本	田代 茂樹、上田 哲弘、田中 紘介、多田 靖哉、 佐藤 丈頭、大穂 有恒、吉本 剛志、田中 ゆき、 山下 晋作、樋口野日斗、荒武 良総、矢田 雅佳、 宮崎 将之、千住 猛士、本村 健太、杉本 理恵、 井本 効志、合谷 孟、田中 正剛、國府島庸之
B-② 16	進行肝細胞癌治療におけるLenvatinib-TACE併用治療の位置付け～多施設共同研究～	第60回日本肝臓学会総会 2024/6/13 熊本	合谷 孟、杉本 理恵、國府島庸之
B-② 17	B型慢性肝炎に対するテノホビル・アラフェナミド初回および逐次療法の長期成績～多施設共同研究～	第62回日本肝臓学会総会 2024/6/13 熊本	小川 栄一、小柳 年正、國府島庸之、大穂 有恒、 古庄 憲浩、梶原 英二、道免 和文、河野 聡、 佐藤 丈頭、高橋 和弘、東 晃一、杉本 理恵、 千住 猛士、一木 康則、森田 千絵、天ヶ瀬洋正、 田中 正剛、中牟田 誠、野村 秀幸、林 純
B-③ 18	一細胞遺伝子発現解析による閉経後NASHの発症増悪メカニズムの解明	第123回日本消化器病学会九州支部例会 2024/6/21 北九州	合谷 孟、鈴木 秀生、田代 茂樹、田中 正剛、 國府島庸之

B-③	19	術後半年で残存再発し急激な経過を辿った退形成性膵癌の一例	第124回日本消化器病学会九州支部例会 2024/11/15 鹿児島	伊豆 将貴、三木 正美、大宮絵美里、平畠 啓介、津田 桂、豊田 優貴、中嶋 摩依、上田 哲弘、荒武 良総、加来 豊馬、國府島庸之、吉村 大輔
B-③	20	当院で切除不能胆道癌に対してGCD療法を施行した初期経験の検討	第124回日本消化器病学会九州支部例会 2024/11/15 鹿児島	平畠 啓介、三木 正美、伊豆 将貴、津田 桂、加来 豊馬
B-③	21	治療困難胆管結石に対するHGS/HJSルートを介した切石治療の検討	第118回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2024/11/16 鹿児島	加来 豊馬、伊豆 将貴、平畠 啓介、三木 正美、吉村 大輔
B-③	22	IPMN悪性度診断における膵管造影、造影EUS、経口膵管鏡の実臨床での役割	第118回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 2024/11/16 鹿児島	
B-④	23	九州医療センター NST活動のこれまでとこれから	第28回福岡NST研究会 2024/6/15 福岡	福泉公仁隆
B-④	24	進行肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ療法におけるベバシズマブ減量による治療効果の検討	第60回日本肝癌研究会 2024/7/12 姫路	森田 祐輔、杉本 理恵、本村 健太、大穂 有恒、上田 哲弘、田中 正剛、國府島庸之
B-④	25	急性肝障害の発症・増悪メカニズムの解明	令和6年度第2回NHO・AMED研究合同班会議 2024/12/20 長崎/Web	國府島庸之

講演会

C-③	26	C型肝炎ウイルス治療の現状と今後の課題	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪	國府島庸之
C-③	27	進行肝細胞癌に対するAtz+Bev併用療法時のscheduled-TACEの有効性	Hepatocellular carcinoma expert meeting 2024/12/4 web	國府島庸之
C-③	28	ウイルス性肝炎治療の現状について	Kyushu Essential Liver Disease Seminar 2024/12/13 web	國府島庸之

呼吸器内科

論文

A-①	1	The effect of nintedanib on health-related quality of life in Japanese patients with progressive fibrosing interstitial lung diseases : A subset analysis of the INBUILD trial	Respiratory Investigation 62 (4) : 589-596, 2024	Inoue Y, Kitamura H, Okamoto M, Ogura T, Nishioka Y, Kuwana M, Taniguchi A, Ito T, Rohr KB, Suda T
A-①	2	A Prospective Observational Study Analyzing the Diversity and Specific Composition of the Oral and Gut Microbiota in Lung Cancer Patients	Anticancer research 44 (11) : 5067-5080, 2024	Shoji F, Minemura A, Kozuma Y, Nouno T, Takeoka H, Matsumoto A, Okamoto M, Yamaguchi M, Yamazaki K, Maehara Y

A-① 3	Comparison of platinum combination chemotherapy plus pembrolizumab versus platinum combination chemotherapy plus nivolumab-ipilimumab for treatment-naïve advanced non-small-cell lung cancer in Japan (JCOG2007) : an open-label, multicentre, randomised, phase 3 trial	The Lancet Respiratory medicine 12 (11) : 877-887, 2024	Shiraishi Y, Nomura S, Sugawara S, Horinouchi H, Yoneshima Y, Hayashi H, Azuma K, Hara S, Niho S, Morita R, Yamaguchi M, Yokoyama T, Yoh K, Kurata T, Okamoto H, Okamoto M, Kijima T, Kasahara K, Fujiwara Y, Murakami S, Kanda S, Akamatsu H, Takemoto S, Kaneda H, Kozuki T, Ando M, Sekino Y, Fukuda H, Ohe Y, Okamoto I
A-① 4	Acute exacerbation predicting poor outcomes in idiopathic interstitial pneumonia and advanced lung cancer patients undergoing cytotoxic chemotherapy	Scientific Reports 14 (1), 2024	Miyamoto A, Kishi K, Michimae H, Nakahara Y, Akagawa S, Nakagawa K, Minegishi Y, Ogura T, Hontsu S, Date H, Takahashi K, Homma S, Ohta K, Gemma A, Nishizaka Y, Kimura H, Nishi K, Nakamura M, Yokomura K, Taniguchi H, Tomii K, Shindo J, Sato K, Taguchi Y, Takahashi H, Takizawa H, Nakamura S, Yoshimura K, Usui K, Ichikado K, Bessyo A, Sugiyama H, Hasegawa Y, Nakamura H, Sagara H, Ube K, Nomura F, Kiura K, Yoshiike F, Kita T, Sakai H, Bando M, Matsumoto T, Inoue T, Kijima T, Mukae H, Masuda N, Matsumoto N, Sakamaki F, Kamimura M, Takise A, Kishaba T, Nishioka Y, Kashiwabara K, Yamamoto A, Fujiuchi S, Shingyoji M, Hanaoka M, Tominaga S, Kadota J, Kasahara T, Motegi M, Harada T, Ishikawa S, Suda T, Tomizawa Y, Hayashi R, Shinoda M, Terada M, Jin Y, Shikama Y, Kikuchi T, Kido K, Yokoyama A, Fuke S, Nagase H, Tanaka H, Hizawa N, Miyazaki K, Ikushima S, Sakai N, Hoshino T, Mishima M, Ohnishi H, Imai H, Nagashima S, Kojima E, Ohishi S, Ohe Y, Iwakami S, Mineshita M, Komase Y, Harada H, Imokawa S, Watanabe H, Ichiki M, Kuwano K, Takahashi N, Chonabayashi N, Hisada T, Yoshida M, Hirata K, Watanabe K, Sugino Y, Yoshioka S, Tomioka H, Aoshima M, Sugimoto Y, Ichinose M, Tamaki S, Tsuchiya M, Katayama H, Okochi Y, Ogata K, Tsuburai T, Honda I
A-① 5	Predictive factors of progression in mild fibrosing interstitial lung disease patients with gender-age-physiology score of 3 or less.	Respiratory investigation 63 (1) : 109-117, 2024	Okamoto M, Fujimoto K, Chikasue T, Yanagihara T, Tabata K, Zaizen Y, Tominaga M, Sumi A, Takeoka H, Matsuo N, Nouno T, Kawaguchi A, Hoshino T
A-① 6	Exercise-Induced Oxygen Desaturation and Outcomes After Nintedanib Therapy for Fibrosing Interstitial Lung Disease in Patients Without Dyspnea.	Journal of clinical medicine 13 (24) : 7865, 2024	Masaki Okamoto, Toyoshi Yanagihara, Kiminori Fujimoto, Tomonori Chikasue, Kazuhiro Tabata, Yoshiaki Zaizen, Masaki Tominaga, Akiko Sumi, Yuuya Nishii, Norikazu Matsuo, Takashi Nouno, Shuji Matsuura, Atsushi Kawaguchi, Tomoaki Hoshino
A-① 7	Immune complexome analysis reveals an autoimmune signature predictive of COVID-19 severity.	Clinical biochemistry 135 : 110865, 2024	Moriishi M, Takazono T, Hashizume J, Aibara N, Kutsuna YJ, Okamoto M, Sawai T, Hoshino T, Mori Y, Fukuda Y, Awaya Y, Yamanashi H, Furusato Y, Yanagihara T, Miyamoto H, Sato K, Kodama Y, Mizukami S, Sakamoto N, Yamamoto K, Sakamoto K, Yanagihara K, Izumikawa K, Maeda T, Nakashima M, Fukushima K, Mukae H, Ohyama K

A-① 8	Oral Colchicine and Low-Dose Aspirin Combination Therapy for Non-elderly, Non-severe, Early Time From Onset, Adult Outpatients with Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) during “The Fifth Pandemic Wave” in Japan.	The Kurume medical journal 70 (1.2) : 39-45, 2024	Inokuchi T, Homma T, Kitasato Y, Akiyama M, Chikasue A, Nishii Y, Ban S, Adachi T, Sonezaki A, Masuda H, Kamei H, Takenaka M, Tanaka M, Okamoto M, Hoshino T ; K-COCOA (KURUME-COVID-19 THERAPEUTIC PROGRAM BY COLCHICINE AND LOW-DOSE ASPIRIN) STUDY COLLABORATORS
A-① 9	Upper Respiratory Symptoms as Long COVID : Insight from a Multicenter Cohort Study	OTO open 8 (1) : e120, 2024	Okada M, Ishida N, Kanzaki S, Kawada I, Nagashima K, Terai H, Hiruma G, Namkoong H, Asakura T, Masaki K, Ohgino K, Miyata J, Chubachi S, Kodama N, Maeda S, Sakamoto S, Okamoto M, Nagasaki Y, Umeda A, Miyagawa K, Shimada H, Minami K, Hagiwara R, Ishii M, Sato Y, Fukunaga K
A-① 10	Update of prognosis and characteristics of chronic obstructive pulmonary disease in a real-world setting : a 5-year follow-up analysis of a multi-institutional registry.	BMC pulmonary medicine 24 (1) : 556, 2024	Takano T, Tsubouchi K, Hamada N, Ichiki K, Torii R, Takata S, Kawakami S, Nakagaki N, Yoshida M, Kitasato Y, Tobino K, Harada E, Ishii H, Wataya H, Maeyama T, Fujita M, Yatera K, Okamoto M, Yabuuchi H, Kiyomi F, Tokunaga S, Nakanishi Y, Okamoto I
A-① 11	Immune complexome analysis reveals an autoimmune signature predictive of COVID-19 severity	Clinical Biochemistry 135, 2024	Moriishi M, Aibara N, Nakashima M, Takazono T, Sakamoto N, Mukae H, Izumikawa K, Hashizume J, Sato K, Kodama Y, Ohyama K, Kutsuna YJ, Okamoto M, Sawai T, Hoshino T, Mori Y, Fukuda Y, Awaya Y, Yamanashi H, Maeda T, Furusato Y, Yanagihara T, Miyamoto H, Mizukami S, Yamamoto K, Sakamoto K, Yanagihara K, Fukushima K
A-① 12	Update of prognosis and characteristics of chronic obstructive pulmonary disease in a real-world setting : a 5-year follow-up analysis of a multi-institutional registry	BMC Pulmonary Medicine 24 (1), 2024	Takano T, Tsubouchi K, Okamoto I, Hamada N, Fujita M, Ichiki K, Torii R, Takata S, Kawakami S, Nakagaki N, Yoshida M, Kitasato Y, Tobino K, Harada E, Ishii H, Wataya H, Maeyama T, Yatera K, Okamoto M, Yabuuchi H, Kiyomi F, Tokunaga S, Nakanishi Y
A-① 13	Exercise-Induced Oxygen Desaturation and Outcomes After Nintedanib Therapy for Fibrosing Interstitial Lung Disease in Patients Without Dyspnea	Journal of Clinical Medicine 13 (24), 2024	Okamoto M, Nishii Y, Matsuo N, Nouno T, Okamoto M, Zaizen Y, Tominaga M, Nishii Y, Matsuo N, Nouno T, Hoshino T, Yanagihara T, Fujimoto K, Chikasue T, Sumi A, Tabata K, Matsuura S, Kawaguchi A
A-① 14	Predictive factors of progression in mild fibrosing interstitial lung disease patients with gender-age-physiology score of 3 or less	Respiratory Investigation 63 (1) : 109-117, 2024	Okamoto M, Takeoka H, Matsuo N, Nouno T, Zaizen Y, Tominaga M, Hoshino T, Fujimoto K, Chikasue T, Sumi A, Yanagihara T, Tabata K, Kawaguchi A
A-① 15	A phase II study of weekly carboplatin and concurrent radiotherapy in older adults with locally advanced non-small cell lung cancer (LOGIK1902)	Thoracic Cancer 15 (29) : 2128-2135, 2024	Harada T, Sasaki T, Ishii H, Takemoto S, Hisamatsu Y, Saito H, Yoneshima Y, Okamoto I, Komiya K, Kashiwabara K, Naoki K, Ogawa T, Takeoka H, Saruwatari K, Ito K, Tsuchiya-Kawano Y, Mizuno K, Shimose T, Shioyama Y
A-① 16	Long-term experience with tepotinib in Japanese patients with <i>MET</i> exon 14 skipping NSCLC from the Phase II VISION study	Cancer Science 115 (4) : 1296-1305, 2024	Morise M, Kato T, Matsumoto S, Inoue T, Sakamoto T, Tokito T, Atagi S, Kozuki T, Takeoka H, Chikamori K, Shinagawa N, Tanaka H, Horii E, Adrian S, Johne A, Bruns R, Paik PK, Sakai H

学会発表

B-①	17	Identification of Biomarkers by Multiplex Suspension Array to Predict Progression in Patients with Idiopathic Interstitial Pneumonias	European Respiratory Society Congress, 10th 2024/9/1 ウィーン	Okamoto M, Yanagihara T, Matama G, Fujimoto K, Chikasue T, Sumi A, Zaizen Y, Kawaguchi A, Tominaga M, Hoshino T.
B-①	18	A case with bilateral pneumonia after home recovery for COVID-19.	Congress of the Asian Pacific Society of Respirology 1st grand round 2025/2/27 web	Masaki Okamoto
B-②	19	マルチプレックスサスペンションアレイによる特発性間質性肺炎の進行性肺線維化予測バイオマーカー解析	第64回日本呼吸器学会学術講演会 2024/4/5 神奈川	真玉 豪士、岡元 昌樹、柳原 豊史、財前 圭晃、 角 明子、近末 智雅、富永 正樹、川口 淳、 藤本 公則、星野 友昭
B-②	20	線維化性間質性肺疾患の呼吸困難欠如例に対する抗線維化薬治療の有効性と忍容性の解析	第64回日本呼吸器学会学術講演会 2024/4/7 神奈川	西井 裕哉、岡元 昌樹、財前 圭晃、松尾 規和、 南野 高志、星野 友昭
B-②	21	関節リウマチ関連間質性肺疾患のバイオマーカーとしてのペリオスチンの解析	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 神戸	真玉 豪士、岡元 昌樹、藤本 公則、上甲 剛、 海江田信二郎、坂本 憲穂、小宮 幸作、小松 雅宙、 清水 泰生、高橋浩一郎、宮村 知也、迎 寛、 井田 弘明、出原 賢治、星野 友昭
B-②	22	Pembrolizumab 投与中に重篤な糖尿病性ケトアシドーシス（DKA）と髄膜脳炎を合併した肺腺癌の一例	第93回日本呼吸器学会九州支部秋季学術講演会 2024/10/11 福岡	河東 美菜、西井 裕哉、梅元 崇志、児島 隆、 南野 高志、西田 佳子、松尾 規和、武岡 宏明、 岡元 昌樹
B-②	23	小細胞肺癌の化学放射線療法後に原発性水痘肺炎を発症した1例	第93回日本呼吸器学会九州支部秋季学術講演会 2024/10/11 福岡	児嶋 隆、梅元 崇志、西井 裕哉、有水 遥子、 南野 高志、西田 佳子、松尾 規和、武岡 宏明、 長崎 洋司、岡元 昌樹
B-②	24	限局性胸膜中皮腫に対して手術切除を行った1例	第93回日本呼吸器学会九州支部秋季学術講演会 2024/10/11 福岡	石原 裕基、松尾 規和、西井 裕哉、児嶋 隆、 南野 高志、西田 佳子、武岡 宏明、田川 哲三、 山崎 宏司、岡元 昌樹
B-②	25	COVID-19罹患後に遷延する肺炎に対して外科的肺生検が実施された1例	第93回日本呼吸器学会九州支部秋季学術講演会 2024/10/11 福岡	南野 高志、西井 裕哉、児嶋 隆、西田 佳子、 松尾 規和、田川 哲三、山崎 宏司、岡元 昌樹
B-②	26	Pembrolizumab投与後にsalvage手術を行ったstageIVの2例	第65回日本肺癌学会 2024/10/31 横浜	西井 裕哉、武岡 宏明、梅元 崇志、児嶋 隆、 南野 高志、西田 佳子、松尾 規和、田川 哲三、 山崎 宏司、岡元 昌樹
B-③	27	免疫チェックポイント阻害薬（ICI）投与中にサイトカイン放出症候群（CRS）を発症した2例	第347回日本内科学会九州地方会 2024/11/17 熊本	安藤加菜子、西井 裕哉、梅元 崇志、児嶋 隆、 南野 高志、西田 佳子、松尾 規和、武岡 宏明、 岡元 昌樹
B-③	28	TS-1により眼毒性・視力低下をきたした肺腺癌の一例	第347回日本内科学会九州地方会 2024/11/17 熊本	井田結衣子、西井 裕哉、梅元 崇志、児嶋 隆、 南野 高志、西田 佳子、松尾 規和、武岡 宏明、 岡元 昌樹
B-③	29	軽症の間質性肺疾患のプライマリーケアにおける患者質問票の重要性	第17回福岡県医学会総会 2025/1/26 福岡	河東 美菜、岡元 昌樹、岩崎 浩己
B-③	30	TNFR superfamily 8（CD30）は特発性間質性肺炎の疾患進行に関連する．	第94回日本呼吸器学会九州支部春季学術講演会 2025/3/8 宮崎	岡元 昌樹、柳原 豊史、財前 圭晃、真玉 豪士、 星野 友昭

講演会

C-①	31	MDDの現状	LOGIKグループ会議 2024/4/20 福岡 (Web)	岡元 昌樹
C-①	32	呼吸器学会の注目演題①/びまん性肺疾患部門	LOGIKグループ会議 2024/4/20 福岡 (Web)	岡元 昌樹
C-①	33	治療に難渋したリウマチ肺の一例	福岡呼吸器懇話会 日医生涯教育講座 2024/10/4 福岡	西井 裕哉
C-①	34	間質性肺疾患の諸問題を考える-多面的評価、クリティカルパス、早期治療など	福岡西地区講演会 2024/11/26 福岡	岡元 昌樹

その他

D	35	ドライバー遺伝子変異を見逃さないためのマルチプレックス検査戦略	LUMAKRAS Web Seminar 2024/4/24	松尾 規和
D	36	実地臨床におけるALK肺癌のベストプラクティス	Chugai Lung Cancer Seminar in Himeji 2024/5/8	松尾 規和
D	37	実地診療におけるCOPDのマネジメント	The study of common disease meeting -Pulmonary disease- 2024/5/10	松尾 規和
D	38	免疫チェックポイント阻害薬レジメンの選択	進行・再発 非小細胞肺癌WEBセミナー 2024/5/16	松尾 規和
D	39	線維性間質性肺疾患の早期評価における6分間歩行試験の位置づけ	福岡呼吸器疾患セミナー 2024/5/24 福岡	岡元 昌樹
D	40	間質性肺疾患のUP TO DATE	九州医療センター地域医療連携セミナー 2024/5/25 福岡	岡元 昌樹
D	41	重症感染を疑うも診断がつかず多臓器不全にて死亡に至った一例	第228回CPC 2024/6/3 当院	松尾 規和、桃崎 征也、岡元 昌樹、南野 高志
D	42	間質性肺炎のバイオマーカー；ペリオスチンの研究	九州医療センター臨床研究発表会 2024/6/25 福岡	岡元 昌樹
D	43	肺癌診療におけるマルチ遺伝子検査の現状	第2回九州臨床検査技師病理カンファレンス 2024/7/25	松尾 規和
D	44	腎機能の視点から考える非小細胞肺癌免疫療法	第63回福岡病院薬剤師会オンコロジー研修会 2024/7/29	松尾 規和
D	45	線維化性間質性肺疾患に対する早期治療介入と運動負荷試験の重要性	Next Generation ILD Conference 2024/9/13 埼玉	岡元 昌樹
D	46	パネルディスカッション：non-Driver 76歳 PD-L1 60%の一例/ALK陽性初発脳転移ありの一例	Lung Cancer Educational Seminar. 2024/9/25 久留米	西井 裕哉

D	47	免疫療法時代のナブパクリタキセルの使い方.	第4回久留米間質性肺炎・肺がん研究会 (KIDLS) 2024/11/15 久留米	松尾 規和
D	48	肺癌マルチCDxの使い方～すべての患者さんに最適治療を届けるために～.	テプミトコ & 肺癌マルチCDx WEB セミナー 2024/11/19 福岡	松尾 規和
D	49	実地臨床における高齢者免疫療法.	Expertから学ぶ！肺癌免疫療法セミナー 2024/11/21 横浜	松尾 規和
D	50	実地臨床における肺癌マルチCDxの使い方 ～ドライバー遺伝子変異を見逃さないために～.	LUMAKRAS Lung Cancer Seminar. 2024/11/29 沖縄	松尾 規和
D	51	いろいろな視点で考える気管支喘息～見逃せない鑑別疾患～	Fukuoka TV Seminar Tezespire 2nd Anniversary Special Event 2024/11/29 福岡	南野 高志
D	52	腎機能の視点から考える肺癌免疫療法～高齢化時代を踏まえて～.	中外WEBセミナー 2024/12/18 福岡	松尾 規和
D	53	実地臨床における免疫療法Up Date.	NSCLC WEB Seminar. 2024/12/19 佐賀	松尾 規和
D	54	当院におけるEGFRmt肺癌 1 次治療、2 次治療の現状と課題	Lung Cancer Educational Seminar 2025/2/28 久留米	梅元 崇志
D	55	急性増悪が疑われる気腫合併肺繊維症 肺癌合併例	第231回CPC 2025/3/6 当院	西井 裕哉、江島 俊、松尾 規和

循環器内科 論文

A-①	1	Different Impact of Immunosuppressive Therapy on Disease Activity and Cardiac Outcome in Isolated Cardiac Sarcoidosis and Systemic Sarcoidosis	International Heart Journal 65 (5) : 856-865, 2024	Masunaga T, Hashimoto T, Fujino T, Matsushima S, Shinohara K, Ohtani K, Ide T, Ishikawa Y, Yamasaki Y, Baba S, Ishigami K, Tsutsui H, Kinugawa S
A-①	2	Global Results of Implantable Loop Recorder for Detection of Atrial Fibrillation After Stroke: Reveal LINQ Registry	Journal of the American Heart Association 13 (21) : e035956, 2024	Toyoda k, Kusano K, Iguchi Y, Ikeda T, Morishima I, Tomita H, Asano T, Yamane T, Nakahara I, Watanabe E, Koyama J, Kato R, Morita H, Hirano T, Soejima K, Owada S, Abe H, Yasaka M, Nakamura T, S Kasner, A Natale, S Beinart, A N Amin, E Pouliot, N Franco, Hidaka K, Okumura K.
A-①	3	Coronary Intervention in Chronic Total Occlusion in the Left Main Coronary Artery	Journal of Invasive Cardiology 36 (7), 2024	Murasato Y, Meno K, Mori T
A-①	4	Risk Assessment of Side Branch Compromise After Coronary Bifurcation Stenting –A Substudy of the 3D-OCT Bifurcation Registry–	Circulation Journal 88 (6), 2024	Akase H, Okamura T, Fujimura T, Miyazaki Y, Takenaka H, Matsuyama T, Yano M, Nagoshi R, Shite J, Murasato Y, Yamawaki M, Ono S, Serikawa T, Hikichi Y, Norita H, Nakao F, Sakamoto T, Shinke T

A-①	5	Impact of stent strut link location in proximal balloon edge dilation technique for bifurcation percutaneous coronary intervention	Cardiovascular Intervention and Therapeutics 39 (2) : 137-144, 2024	Kume T, Nishi T, Murasato Y, Koto S, Sasahira Y, Okamoto H, Yamada R, Koyama T, Tamada T, Imai K, Neishi Y, Uemura S
A-①	6	Experimental validation and clinical feasibility of 3D reconstruction of coronary artery bifurcation stents using intravascular ultrasound	PLoS One 2024 19 (4) : e0300098, 2024	Wu W, Banga A, Oguz UM, Zhao S, Thota AK, Gadamidi VK, Dasari VS, Samant S, Watanabe Y, Murasato Y, Chatzizisis YS
A-①	7	Risk Assessment of Side Branch Compromise After Coronary Bifurcation Stenting - A Substudy of the 3D-OCT Bifurcation Registry	Circulation Journal 88 (6) : 959-969, 2023	Akase H, Okamura T, Nagoshi R, Fujimura T, Miyazaki Y, Takenaka H, Matsuyama T, Murasato Y, Yamawaki M, Ono S, Serikawa T, Hikichi Y, Norita H, Nakao F, Sakamoto T, Shinke T, Yano M, Shite J
A-①	8	Asian Pacific Society of Cardiology Consensus Statements on the Use of Percutaneous Coronary Intervention on Stenosis of the Left Main Coronary Artery	Journal of Asian Pacific Society of Cardiology 3 : e35, 2024	Tan JWC, Tan HC, Lee MKY, Lo STH, Seth, A, Sin KYK, Park DW, Firman DF, Yap J, Sison EO, Yahya AF, Meng JCK, Chan HHY, Murasato Y, Nguen MC, Lee KS, Santoso T, Zhang B, Kim HS, Wongpraparut N, Nguen QN, Ako J, Bhindi R, Zhang JJ, Tam FCC, Sengottuvelu G, Abdullah Ramaiah ARB, Ali RM, Harding SA, Wong ASL, Loh RH, Hsieh IC, Kehasukcharoen W, Linh DH, Yeo KK, Henry TD, Stankovic G
A-①	9	Assessment of fractal ratio of vessel diameters in coronary bifurcation lesions by angiography and intravascular ultrasound	Cardiovascular Intervention and Therapeutics 40 (1) : 79-88, 2024	Murasato Y, Kinoshita Y, Yamawaki M, Okamura T, Nagoshi R, Fujimura T, Takeda Y, Fujii K, Yamada SI, Shinke T, Shite J
A-①	10	Different Impact of Immunosuppressive Therapy on Cardiac Outcomes in Systemic Versus Isolated Cardiac Sarcoidosis	International Heart Journal 65 (5) : 856-865, 2024	Masunaga T, Hashimoto T, Fujino T, Ishikawa Y, Yoshitake T, Shinohara K, Matsushima S, Ide T, Kinugawa S, Tsutsui H, Ohtani K, Isoda T, Baba S, Ishigami K
A-①	11	Paced QRS morphology mimicking complete left bundle branch block induced by right ventricular pacing is associated with pacing-induced cardiomyopathy	Journal of Cardiovascular Electrophysiology 35 (5) : 906-915, 2024	Ikeda S, Sakamoto K, Yakabe D, Mukai Y, Tsutsui H, Kinugawa S, Sugawara M, Kowase S, Nagaoka K, Inoue S, Morishige K
A-①	12	Long-term outcomes after catheter ablation for idiopathic atypical atrial flutter	HeartRhythm 21 (10) : 1888-1897, 2024	Yakabe D, Ohtani K, Araki M, Inoue S, Nakamura T
A-②	13	Editorial to "An extremely wide QRS complex tachycardia induced by anamorelin"	Journal of arrhythmia 40 (4) : 786-787, 2024	Inoue S
A-②	14	Multimodality imaging evaluation of tumor peeking its head into the right atrium	Heart, Lung and Circulation 33 (12) : e67-e68, 2024	Nakamura K, Miyazaki A, Suzuki M, Imasaka K, Ohtani K
A-②	15	Single-loop biatrial tachycardia mimicking typical atrial flutter in a patient without a history of cardiac surgery or ablation	HeartRhythm Case Reports 2024	Yakabe D, Araki M, Okabe K, Inoue S, Nakamura T
A-②	16	Unexpected Etiology of Atrial Pacing Failure	Journal of Cardiovascular Electrophysiology 36 (1) : 286-289, 2024	Yakabe D, Ohtani K, Fukuyama Y, Araki M, Nakamura T

A-③	17	分岐部病変治療の問題点とステントレス治療の可能性について	Coronary Intervention 2025	村里 嘉信
A-④	18	あなたも名医！ジェネラリストの不整脈診療	あなたも名医！ジェネラリストの不整脈診療 jmed book 93 佐藤宏之編 2024	矢加部大輔
A-④	19	心電図完全攻略マニュアル	マイスターが教える1.2級合格への最強メソッド 心電図完全攻略マニュアル 2024	萬納寺洋士、矢加部大輔

学会発表

B-①	20	Reappraisal of Medina Classification on Bifurcation PCI in 2024	29th Transcatheter Cardiovascular Interventional Therapeutics Asia & Pacific 2024/4/25 Incheon	Murasato Y
B-①	21	Routine Imaging-guided Left Main PCI : What We Learned?	29th Transcatheter Cardiovascular Interventional Therapeutics Asia & Pacific 2024/4/25 Incheon	Murasato Y
B-①	22	IVUS-Guided Treatment of Spiral Dissection for Preserving Side Branches	29th Transcatheter Cardiovascular Interventional Therapeutics Asia & Pacific 2024/4/25 Incheon	Murasato Y
B-①	23	Routine intracoronary imaging-guided left main coronary intervention	Euro PCR 2024 2024/5/14 Paris	Murasato Y, Nakashima H, Sugino H, Arikawa M, Mori F, Ueda Y, Matsumura K, Abe M, Koizumi T, Shimomura M
B-①	24	A Case of Stiff Left Atrial Syndrome following Cryoballoon Ablation for Atrial Fibrillation	第70回 日本不整脈心電学会学術集会 2024/7/19 石川	Yakabe D, Araki M, Okabe K, Ohtani K, Inoue S, Nakamura T
B-①	25	One-vs. Two-stent implantation in Left Main Coronary Intervention in Multi-center Registry of Japanese National Hospital Organization	32nd Annual meeting of Japanese Cardiovascular Interventional Therapeutics 2024/7/25 Sapporo	Murasato Y, Nakashima H, Sugino H, Arikawa M, Mori F, Ueda Y, Matsumura K, Abe M, Koizumi T, Shimomura M, Fujimoto K, Saeki T, Imagawa S, Takenaka T, Morita Y, Kashima K, Takami A, Ono Y, Fukae A
B-①	26	Risk of Failure of Reverse Wire Technique in Complex Coronary Bifurcation Lesion	32nd Annual meeting of Japanese Cardiovascular Interventional Therapeutics 2024/7/25 Sapporo	Murasato Y, Meno K, Omura S, Ura Y, Mori T
B-①	27	Drug-coated Balloon for Side Branch : Limited Use in Necessary Case	32nd Annual meeting of Japanese Cardiovascular Interventional Therapeutics 2024/7/25 Sapporo	Murasato Y
B-①	28	Optimal Stenting Strategy for Left Main Trunk Disease	32nd Annual meeting of Japanese Cardiovascular Interventional Therapeutics 2024/7/25 Sapporo	Murasato Y
B-①	29	Optimal Coronary Bifurcation Stenting	APAC Great Minds Complex Lesions Symposium 2024/8/24 Singapore	Murasato Y

B-①	30	Impact of Medina classification on imaging-guided bifurcation PCI	20th European Bifurcation Club meeting 2024/10/4 Frankfurt	Murasato Y
B-①	31	Stent-less coronary intervention for left main and multi-vessel disease	20th European Bifurcation Club meeting 2024/10/4 Frankfurt	Murasato Y
B-①	32	Metal stent-less PCI	Myocardial Ischemia Symposium in Korea (MIS-Korea) 2025 2025/3/13 Korea	Murasato Y
B-①	33	Long-term Outcome of Routine Intracoronary Imaging-guided Left Main Coronary Intervention	89th Annual meeting of Japanese Circulation Society 2025/3/28 Yokohama	Murasato Y, Higashi K, Sugino H, Arikawa M, Mori F, Ueda Y, Matsumura K, Abe M, Koizumi T, Shimomura M, Tayama S, Saeki T, Imagawa S, Takenaka T, Morita Y, Kashima K, Takami A, Ono Y, Fukae A, Takahashi K.
B-①	34	Impact of Chronic Kidney Disease Stage on Clinical Outcome of Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization Registry (LM-JANHO)	89th Annual meeting of Japanese Circulation Society 2025/3/28 Yokohama	Murasato Y, Higashi K, Sugino H, Arikawa M, Mori F, Ueda Y, Matsumura K, Abe M, Koizumi T, Shimomura M, Tayama S, Saeki T, Imagawa S, Takenaka T, Morita Y, Kashima K, Takami A, Ono Y, Fukae A, Takahashi K.
B-①	35	Lipid Control Status in Left Main Coronary Intervention in Japanese National Hospital Organization Registry (LM-JANHO)	89th Annual meeting of Japanese Circulation Society 2025/3/28 Yokohama	Murasato Y, Higashi K, Sugino H, Arikawa M, Mori F, Ueda Y, Matsumura K, Abe M, Koizumi T, Shimomura M, Tayama S, Saeki T, Imagawa S, Takenaka T, Morita Y, Kashima K, Takami A, Ono Y, Fukae A, Takahashi K.
B-①	36	A Case of Medial-Disrupted Coronary Dissection after Intravascular Lithotripsy Treated with Small Balloon Blocking Technique (SBBT)	89th Annual meeting of Japanese Circulation Society 2025/3/28 Yokohama	Tomozoe K, Murasato Y
B-①	37	Successful and effective Left Bundle Branch Area Pacing despite Marked Septal Hypertrophy in a Cardiac Amyloidosis Patient	89th Annual meeting of Japanese Circulation Society 2025/3/28 Yokohama	Masaki K, Murasato Y
B-②	38	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌左右心臓に同時に起こった自己弁感染性心内膜炎	第121回日本内科学会総会 2024/4/13 東京	林田 寛之、大谷 規彰、富士本悠吾、森 信太郎、鈴木 理大、石田 素子、長崎 洋司、今坂 堅一、中村 俊博、井上修二郎
B-②	39	シンポジウム 5 左房を極める：2024 アップデート “特発性非通常型心房粗動の左心房機能及び長期的臨床転帰”	日本心エコー図学会第35回学術集会 2024/4/19 姫路	大谷 規彰、矢加部大輔
B-②	40	Libman-Sacks心内膜炎の臨床検討	日本心エコー図学会第35回学術集会 2024/4/19 姫路	大谷 規彰、宮崎 明信
B-②	41	成人先天性僧帽弁狭窄症の2症例	日本心エコー図学会第35回学術集会 2024/4/19 姫路	宮崎 明信、谷口江理奈、別府 佳菜、伊藤 葉子、松田 寛子、中村 洸太、松下 義照、大谷 規彰
B-②	42	パネルディスカッション 6 “心房細動アブレーション後の左心房石灰化と左房スティフ症候群”	第28回日本心不全学会学術集会 2024/10/4 大宮	大谷 規彰
B-②	43	僧帽弁輪起源心室期外収縮に対し、弁下および弁上アプローチで治療に成功した一例	カテーテルアブレーション関連秋季大会2024 2024/10/11 大阪	矢加部大輔、荒木 将裕、岡部 浩祐、井上修二郎、中村 俊博

B-②	44	僧帽弁一大動脈弁間線維性組織に仮性瘤を認めた感染性心内膜炎の一症例	第78回 国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	松田 寛子、宮崎 明信、中村 洸太、本田 千尋、大谷 洋平、別府 佳菜、伊藤 葉子、染谷 賢俊、大谷 規彰
B-②	45	左室内血栓、膜性中隔瘤合併の心不全に対してBAV、PCI、TAVIを施行した一例	ストラクチャークラブジャパン2024 ライブデモンストレーション（総会） 2024/11/22 大阪	浦 祐次郎
B-③	46	ペースメーカーのセーフティモード移行により失神を来し、緊急デバイス交換を要した1例	第4回日本不整脈心電学会九州・沖縄支部地方会 2024/6/1 福岡	荒木 将裕
B-③	47	心房細動アブレーションのsecond session後に肺静脈狭窄・閉塞を来した1例	第4回日本不整脈心電学会九州・沖縄支部地方会 2024/6/1 福岡	荒木 将裕
B-③	48	LOT-CRTが有効だった左脚ブロックを伴うHFrEFの一例	不整脈心電学会九州地方会 2024/6/1 福岡	井上修二郎
B-③	49	心房細動アブレーション後左房石灰化と治療デバイスの関連性	第4回日本不整脈心電学会九州・沖縄支部地方会 2024/6/1 福岡	矢加部大輔、荒木 将裕、大谷 規彰、井上修二郎、中村 俊博
B-③	50	抗リン脂質抗体症候群によるLibman-Sacks心内膜炎の一例	第136回日本循環器学会九州地方会 2024/6/29 鹿児島	安藤加菜子、大谷 規彰、角 裕一郎、鈴木 理大、田中 考典、鈴木 理大、石田 素子、森 隆宏、竹中 克彦、宮村 知也、中村 俊博、今坂 堅一、井上修二郎
B-③	51	肥大型心筋症に合併した感染性心内膜炎の一例	第136回日本循環器学会九州地方会 2024/6/29 鹿児島	梶原 彩、大谷 規彰、角 裕一郎、鈴木 理大、小村聡一郎、森 隆宏、竹中 克彦、中村 俊博、今坂 堅一、井上修二郎
B-③	52	冠動脈に有意狭窄を認めなかった心室中隔穿孔の1例	第136回日本循環器学会九州地方会 2024/6/29 鹿児島	日野 雅喜、大谷 規彰、富士本悠吾、目野 恭平、福田 翔子、角 裕一郎、森 隆宏、中村 俊博、今坂 堅一、井上修二郎
B-③	53	高度石灰化病変に対する血管内石灰化破碎術後に解離腔にガイドワイヤーが迷入し工夫を要した症例	第37回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 2024/8/23 佐賀	友添 漢介、森 隆宏、目野 恭平、高橋 甚彌、村里 嘉信、井上修二郎
B-③	54	2種類のlong RP' 頻拍を合併した発作性上室頻拍の1例	第137回日本循環器学会九州・沖縄地方会 2024/12/14 別府	荒木 将裕
B-③	55	トランスサイレチン型心アミロイドーシス患者における心房細動アブレーション後の予後	第137回日本循環器学会九州地方会 2024/12/14 別府	矢加部大輔、井上修二郎、坂本 和生、高瀬 進、野副 純世、萬納寺洋士、田中 敬士、長岡 和宏、盛重 邦雄、河合 俊輔、中村 俊博、樗木 晶子、向井 靖、阿部弘太郎
B-③	56	冠動脈バイパス術後のcoronary subclavian steal syndromeに対して経皮的インターベンションを行った症例	第38回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 2025/1/11 熊本	小村聡一郎、村里 嘉信、古賀 瑛一、友添 漢介、西田 翔子、眞崎 耕平、浦 祐次郎、目野 恭平、荒木 将裕、岡部 浩祐、矢加部大輔、高橋 甚彌、森 隆宏、大谷 規彰、井上修二郎、中村 俊博
B-③	57	Medina 0-0-1を呈す左冠動脈回旋枝入口部高度石灰化病変に対する治療	第38回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 2025/1/11 熊本	村里 嘉信、小村聡一郎、森 隆宏、目野 恭平、友添 漢介、井上修二郎
B-③	58	心停止後に経皮的僧帽弁修復術後を行った重症心不全例	第38回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会 2025/1/11 熊本	梶山 渉太、柚木 宏斗、天野 寛世、河原 正明、伊元 裕樹、仲村 圭太、野口 博生、芹川 威、有田 武史、矢加部大輔、大谷 規彰

B-④	59	冠動脈分岐部におけるステント拡張の黄金律	ADATARA Live demonstration 2024/6/6 郡山	村里 嘉信
B-④	60	Real-world of Stent Deployment in the Calcified Bifurcation Lesion : 石灰化分岐部病変でのステント留置のリアル	Japanese Bifurcation Club Conference 2024/7/6 豊橋	村里 嘉信
B-④	61	Megatron : New dedicated stent for large vessel	Japanese Bifurcation Club Conference 2024/7/6 豊橋	村里 嘉信
B-④	62	Complex true bifurcation lesion : Two stentingが必要	Japanese Bifurcation Club Conference 2024/7/6 豊橋	村里 嘉信
B-④	63	2-step Treatment (POT & Zinrai 4mm) -Japanese Perspective about Bifurcation-	Complex Cardiovascular Therapeutics (CCT) 2024/10/24 神戸	村里 嘉信
B-④	64	金網DESマッチリターン ～ LM-Bifurcationに特化したステント選び～ Onyx Frontier	Alliance for Revolution and Interventional Cardiology Advancement (ARIA) 2024/11/21 福岡	村里 嘉信
B-④	65	肥大の原因は？最終診断がついた一例	第50回福岡心血管エコーイメージング勉強会 2025/1/27 福岡	吉光 知里、宮崎 明信、松田 寛子、中村 洸太、 染矢 賢俊、大谷 規彰

講演会

C-①	66	福岡県脳卒中・心臓病等総合支援センターの取組み	福岡県循環器病対策セミナー 2024/9/18 福岡	井上修二郎
C-①	67	疲れやすいのは年齢のせい？隠れ弁膜症を探せ！	三区合同（城南区早良区西区）内科 医学会学術講演 2024/9/25 福岡	浦 祐次郎
C-②	68	高齢者の心不全の特徴と対策	レインボーカンファレンス 2024/4/16 福岡	井上修二郎
C-②	69	これどうする？大動脈弁形成術後の逆流と溶	第10回九州心臓弁膜症カンファレンス 2024/5/18 長崎	大谷 規彰
C-②	70	冠動脈分岐部インターベンション：新しい治療デバイスとコンセプト	ARIA塾 ～明日からカテ室で使える experienceを学ぶ～ 2024/5/23 WEB	村里 嘉信
C-②	71	冠動脈疾患の脂質管理	レクビオWEBシンポジウム 2024/5/27 福岡	村里 嘉信
C-②	72	TAVI術後の外来診療のポイント	ハートナビゲートミーティング 2024/5/28 福岡	浦 祐次郎
C-②	73	当院における貧血進行に伴う心不全に対する治療	第43回シーサイドハートカンファレンス 2024/5/29 福岡	村里 嘉信
C-②	74	酸素療法がもたらした劇的な心電図所見改善の一例	第7回 Cure Heart Seminar 2024/6/14 福岡	大谷 規彰

C-②	75	Conduction System PacingにおけるTips&Tricks	2024年度NHA施設向け限定セミナー 2024/8/4 宮崎	中村 俊博
C-②	76	「明日はカル・・・いや、クライオにしよう!」と思うかもしれない話	CRYO web conference 2024/8/6 福岡	矢加部大輔
C-②	77	アミロイドーシス診療の現場から：当院のアプローチと成果	福岡県循環器病対策セミナー 2024/9/18 福岡	大谷 規彰
C-②	78	がん治療における心機能障害	第4回佐賀臨床薬剤師循環器スキルアップ勉強会 2024/9/26 佐賀	大谷 規彰
C-②	79	ペースメーカーレポートを読み解く-ペースメーカー心内心電図の解釈に必要な基礎知識-	第36回九州小児不整脈研究会 2024/11/9 嬉野	中村 俊博
C-②	80	進化するTAVI -TAVIの変遷と最新の動向-	福岡西心臓弁膜症講演会 2024/11/15 福岡	浦 祐次郎
C-②	81	歯科治療における循環器疾患リスク管理	歯科治療講演会 2024/12/19 福岡	井上修二郎
C-②	82	冠動脈分岐部病変の治療戦略	PCI研究会 2025/2/21 柏	村里 嘉信
C-②	83	循環器病講座	市民公開講座 循環器病セミナー 2025/3/23 福岡	井上修二郎
C-③	84	心電図検定対策講座不整脈心電図を読み解く	第4回日本不整脈心電学会九州・沖縄支部地方会 2024/6/1 福岡	矢加部大輔

その他

D	85	我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究	令和5年九州医療センター臨床研究発表会 2024/6/25 福岡	村里 嘉信、中島 均、杉野 浩、有川 雅也、森 文章、上田 恭敬、松村 圭祐、阿部 充、小泉 智三、下村 光洋、藤本 和輝、佐伯 隆広、今川 正吾、竹中 孝、森田有紀子、鹿島 克郎、高見 徹、小野裕二郎、深江 貴芸、吉田 寿子
D	86	地域で心不全再入院を防ぐ取り組み～心不全手帳（ハートノート）の導入後～「心不全再入院を防ぐ取り組み」	第9回よかよかネットワークの会 2024/8/7 福岡	小村聡一郎
D	87	NHOネットワーク研究『我が国における左冠動脈主幹部インターベンションに対するコホート研究』での実際	九州医療センター臨床研究センターサポート勉強会 2024/9/27 福岡	村里 嘉信
D	88	Win-Win-Winの心不全地域連携	第6回心不全連携の会 2024/11/13 福岡	高橋 甚彌
D	89	心不全治療におけるエンレストの増量タイミング	第6回心不全連携の会 2024/11/13 福岡	目野 恭平
D	90	高血圧治療におけるエンレストを選択するタイミング	第6回心不全連携の会 2024/11/13 福岡	小村聡一郎

D	91	トランスサイレチン型心アミロイドーシスに合併した心房細動に対するカテーテルアブレーション後の長期予後	Advanced Arrhythmia Academy 2024/11/30 福岡	矢加部大輔、井上修二郎、坂本 和生、高瀬 進、野副 純世、萬納寺洋士、田中 敬士、長岡 和宏、盛重 邦雄、河合 俊輔、中村 俊博、樗木 晶子、向井 靖、阿部弘太郎
D	92	Navitor留置の術前治療方針ディスカッション、症例提示、レビューを通じ、Navitorの安全留置への理解を深める	慶応義塾大学病院における、Navitor留置講演会 2025/3/11 東京	浦 祐次郎
D	93	Edwardsiella菌血症により感染性大動脈瘤を発症したと考えられた一例	第232回CPC 2025/3/26 当院	加瀬 蒼、矢加部大輔、藤原美奈子、江島 俊、大谷 規彰、長崎 洋司

感染症内科 論文

A-①	1	Quantification of escape from X chromosome inactivation with single-cell omics data reveals heterogeneity across cell types and tissues	Cell genomics 4 (8) : 100625, 2024	Tomofuji Y, Edahiro R, Sonehara K, Shirai Y, Kock KH, Wang QS, Namba S, Moody J, Ando Y, Suzuki A, Yata T, Ogawa K, Naito T, Namkoong H, Xuan Lin QX, Buyamin EV, Tan LM, Sonthalia R, Han KY, Tanaka H, Lee H ; Asian Immune Diversity Atlas (AIDA) Network ; Japan COVID-19 Task Force ; (...Masanori Nishikawa, Yusuke Chihara, Mayumi Takeuchi, Keisuke Onoi, Jun Shinozuka, Atsushi Sueyoshi, Yoji Nagasaki, Masaki Okamoto, Sayoko Ishihara, Masatoshi Shimo, et all) Biobank Japan Project ; Okuno T, Liu B, Matsuda K, Fukunaga K, Mochizuki H, Park WY, Yamamoto K, Hon CC, Shin JW, Prabhakar S, Kumanogoh A, Okada Y.
A-①	2	Effects of meropenem supply restriction : A multicenter retrospective study	Journal of Infection and Chemotherapy Home 31 (1) : 102475, 2024	Koutake Y, Nagasaki Y, Hirata R, Soejima K, Nishi H, Tsukada H, Hamasaki S, Hashimoto M.
A-①	3	Induction of IGHV3-53 public antibodies with broadly neutralising activity against SARS-CoV-2 including Omicron subvariants in a Delta breakthrough infection case	EBioMedicine 110 : 105439, 2024	Kuwata T, Kaku Y, Biswas S, Matsumoto K, Shimizu M, Kawanami Y, Uraki R, Okazaki K, Minami R, Nagasaki Y, Nagashima M, Yoshida I, Sadamasu K, Yoshimura K, Ito M, Kiso M, Yamayoshi S, Imai M, Ikeda T, Sato K, Toyoda M, Ueno T, Inoue T, Tanaka Y, Kimura KT, Hashiguchi T, Sugita Y, Noda T, Morioka H, Kawaoka Y, Matsushita S ; Genotype to Phenotype Japan (G2P-Japan) Consortium.
A-③	4	Listeria monocytogenesによる人工血管感染を契機に発見した大腸癌の1例	感染症学会誌 98 (5) : 430-435, 2024	有水 遥子 (corresponding author)、深町由香子、野村 竜也、今坂 堅一、長崎 洋司

学会発表

B-②	5	Klebsiella oxytocaの検討（興味深い経過を辿ったIE症例を経験して）	第98回日本感染症学会各術講演会 2024/6/27 神戸市	長崎 洋司
-----	---	--	-----------------------------------	-------

講演会

C-②	6	①増加する梅毒について ②COVID-19 治療する？しない？	2024年度地域医師のための生涯研修セミナー 2024/11/9 福岡市	長崎 洋司
-----	---	------------------------------------	---	-------

その他

D	7	COVID-19Web seminar in 福岡 ～現制度を踏まえたコロナ治療の考え方と難治例に対する新たな知見～ 誰でもコロナ治療ができるようにするには	COVID-19 Web seminar in 福岡 2024/9/24 福岡市	長崎 洋司
D	8	医療関連にまつわる感染性心内膜炎について	第30回 感染症を考える会in福岡 2025/2/28 福岡市	長崎 洋司

小児科 論文

A-①	1	Data-driven prediction of prolonged air leak after video-assisted thoracoscopic surgery for lung cancer: Development and validation of machine-learning-based models using real-world data through the ePath system	Learning Health Systems 2024	Tou S, Matsumoto K, Kamouchi M, Hashinokuchi A, Kinoshita F, Takenaka T, Yoshizumi T, Nakaguma H, Kozuma Y, Sugeta R, Soejima H, Nohara Y, Yamashita T, Nakashima N, Wakata Y, Iwatani K
A-③	2	MN式血液型不適合による重症胎児新生児溶血性疾患の一例	日本周産期・新生児医学会雑誌 60 (1) : 105-110, 2024	慶田 裕美、中嶋 美咲、米本 大貴、赤石 睦美、飯田 浩一
A-③	3	母乳感染により、遅発型B群溶血性連鎖球菌敗血症を同時期に発症した品胎例	日本周産期・新生児医学会雑誌 60 (1) : 132-136, 2024	出羽 航大、松下 悠紀、神野 俊介、藤吉 順子、高野由紀子、曳野 俊治、佐藤 和夫

学会発表

B-①	4	Pattern of growth and pubertal development in a patient with MIRAGE syndrome.	The 62nd Annual ESPE Meeting. 2024/11/16 Liverpool	Miyako K, Furuzono M, Ishii K, Nakashima Y.
B-②	5	新規IGSF1バリエントによる重症成長ホルモン分泌不全症を呈した甲状腺機能低下症の一例	第57回日本小児内分泌学会学術集会 2024/10/10 横浜	古園 美和、牧村 美佳、石井加奈子、柴田 奈央、長崎 啓祐、都 研一
B-②	6	福岡市における思春期早発症患者数の経年変化2015-2022	第57回日本小児内分泌学会学術集会 2024/10/10 横浜	牧村 美佳、ハツ賀秀一、虫本 雄一、江島 伸興、古園 美和、古賀 信彦、阿部 希、トカン・ヴラッド、石井加奈子、都 研一
B-②	7	遅発型B群連鎖球菌感染症を発症した多胎例3組ー発症リスク低減への提案	第68回日本新生児成育医学会学術集会 2024/11/8 松本	花木 由香、松下 悠紀、慶田 裕美、藤吉 順子
B-②	8	非チフス型サルモネラ腸炎から菌血症に至った3か月女児の1例	第56回日本小児感染症学会総会・学術集会 2024/11/16 長崎	尾崎 慎、西村 真直、花木 由香、慶田 裕美、藤吉 順子、松下 悠紀、神野 俊介

B-④ 9	新生児腸閉塞の双胎例	第80回九州新生児研究会 2024/5/25 別府	花木 由香、松下 悠紀、慶田 裕美、藤吉 順子、 甲斐 裕樹、近藤 琢也、福田 篤久、永田 公二、 田尻 達郎
B-④ 10	色素失調症をもつ方への遺伝カウンセ リングー世代の異なる3症例	第30回出生前から小児期にわたるゲノ ム医療フォーラム 2024/10/20 佐賀	松下 悠紀、藤原ありさ、藤吉 順子、蓮尾 泰之、 田浦裕三子、沼田 早苗、石川亜希子、槇野 晋也
B-④ 11	COL1A1遺伝子新規バリエーションによる 骨形成不全症の一例	第34回臨床内分泌代謝Update 2024/11/29 名古屋	古園 美和、鳥尾 倫子、中島 佑、牧村 美佳、 石井加奈子、都 研一

講演会

C-① 12	血便・発熱4日目に入院となった3か 月女児 ～乳児の非チフス型サルモネ ラ腸炎・菌血症～	第440回福岡地区小児科勤務医会カン ファレンス 2024/4/11 福岡	尾崎 慎、西村 真直、神野 俊介
C-① 13	感染巣不明の発熱をきたした幼児例 ～ IPDの2例～	第441回福岡地区小児科勤務医会カン ファレンス 2024/6/13 福岡	白壁 勝央、池澤 佳子、衣笠 哲矢、尾崎 慎、 西村 真直、花木 由香、慶田 裕美、藤吉 順子、 松下 悠紀、神野 俊介
C-① 14	遅発型B群連鎖球菌感染症を発症した 多胎例3組－発症リスク低減への提案	第81回福岡周産期懇話会 2024/7/26 福岡	花木 由香、松下 悠紀、尾崎 慎、西村 真直、 慶田 裕美、藤吉 順子、神野 俊介
C-① 15	ステロイドに反応が乏しかった晩期循 環不全の1例	第291回福岡市新生児ジョイントカン ファレンス 2025/3/21 福岡	Okuzono S, Yamada T, Motomura Y, Kanemasa H, Ishimura M, Koga Y, Torisu H, Kanno S, Ieiri I, Ohga S.
C-② 16	レクチャー SNS時代の母乳育児	第18回福岡母乳育児ワークショップ 2024/12/15 福岡	佐藤 和夫

その他

D 17	電子メディアの子どもへの影響 ～親 子でスマホリテラシー～	令和6年度西区暮らしの中の人権講座 2024/6/7 福岡	佐藤 和夫
D 18	すばらしい赤ちゃんの五感 ～その発 達と母子関係～	乳幼児メディアアドバイザー学習会 2024/7/27 福岡	佐藤 和夫
D 19	スマホ社会の子育て ～子どもの発達 と電子メディアの影響～	第61回道徳教育研究会 2024/8/3 福岡	佐藤 和夫
D 20	基調講演 SNS時代の母乳育児	第32回母乳育児シンポジウム 2024/8/25 金沢	佐藤 和夫
D 21	子どもの発達とメディアの影響 ～乳 幼児期を中心に～	第1回乳幼児メディアアドバイザー 講座 2024/10/26 筑後	佐藤 和夫
D 22	乳幼児と電子映像メディア	第3回地域総合小児医療ブラッシュ アップセミナー 2024/11/24 web	佐藤 和夫
D 23	子どもの育ちと電子メディア ～小児 科医の立場から～	筑紫女学園大学臨床心理センター 公開講座 2024/11/30 大宰府	佐藤 和夫

D	24	子どもの発達とメディアの影響～乳幼児期を中心に～	第2回乳幼児メディアアドバイザー講座 2024/12/22 大宰府	佐藤 和夫
D	25	母乳の栄養・免疫について知る大切さー重要性が忘れられていませんかー	第27回母乳育児支援研修会 2025/1/12 福岡市	松下 悠紀
D	26	HPVワクチンの最新情報と国内における研究の紹介	ウェブセミナー 特別講演 2025/1/22 web	佐藤 和夫
D	27	母乳育児について知る大切さ	九州大学病院周産期母子センター母性胎児部門 カンファランス 2025/3/19 福岡市	松下 悠紀
D	28	触覚の発達	小児科診療 87 (4) : 385-389. 2024/3/19	佐藤 和夫

精神科

学会発表

B-②	1	処方・服薬の精神療法的意義	第120回日本精神神経学会学術総会 2024/6/22 札幌市	田中 裕記
B-②	2	精神科医が厚生労働省で働くということ: いわゆる医系技官という何か	第120回日本精神神経学会学術総会 2024/6/22 札幌市	田中 裕記
B-②	3	小児・周産期・精神科充実体制加算は「総合病院精神科を評価」しているのか	第37回日本総合病院精神医学会総会 2024/11/29 熊本市	田中 裕記
B-②	4	外国人患者受入れ先としての総合病院精神科の役割	第37回日本総合病院精神医学会総会 2024/11/30 熊本市	田中 裕記、石川 謙介
B-②	5	GHP 知恵袋ーエキスパートと考える明日のリエゾン診療ー	第37回日本総合病院精神医学会総会 2024/11/30 熊本市	田中 裕記
B-④	6	当院における身体因性精神障害の診療について	第45回精神身体合併症研究会 2024/9/6 福岡市	西岡 慧、田中 裕記、石川 謙介

講演会

C-①	7	睡眠診療：開始/切替の要点	不眠症Web Seminar in 九州 2024/9/10 福岡市	石川 謙介
C-②	8	認知症と身体合併症診療～合併精神センターの取り組みを踏まえて	第18回レインボーカンファレンスin 天神 2024/10/15 福岡市	石川 謙介

その他

D	9	「アルツハイマー型」以外の変性性認知症	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/9/14 福岡市	石川 謙介
D	10	「総合病院精神科」の意義と役割	総合病院精神科情報共有の会in九州 2025/2/19 福岡市	田中 裕記

D	11		精神科初診面接の教科書	日本精神神経学会 精神療法研修委員会
D	12		静脈血栓塞栓症予防指針〔改訂第2版〕（日本総合病院精神医学会治療指針 2）	日本総合病院精神医学会 治療戦略検討委員会
D	13	てんかんとともに”働く人”のメンタルヘルス	日本てんかん協会 情報誌・月刊「波」2024（12）：3-12	田中 裕記
D	14	Difficult Patient:「難しい患者」の要因と対応	2024年度地域医師のための研修セミナー 2024/9/14 福岡市	田中 裕記

放射線科 論文

A-①	1	Prevalence and associated factors of low vigor in patients living with HIV and hemophilia in Japan : A cross-sectional observational study	Global Health & Medicine 6（3）：174-182, 2024	Komatsu K, Kimura S, Kiryu Y, Oka S, Ogata M, Watanabe A, Kinai E, Fujitani J, Minamimoto R, Hotta M, Yokoyama K, Noguchi T, Imai K
A-③	2	放射線科医から死後画像診断（Ai：Autopsy imaging）の現状	医療 78（6）：374-8, 2024	前原 純樹
A-③	3	血管塞栓術に用いるゼラチンスポンジのガイドライン2022	日本IVR学会 website (https://www.jsir.or.jp/about/zsponji/) 1-56, 2025	野口 智幸（作成委員長）、杉山 宗弘、ウッドハムス 玲子、大内 泰文、我那覇文清、桑鶴 良平、小金丸雅道、駒田 智大、作原 祐介、塩山 靖和、清水勸一朗、菅原 俊祐、土谷 飛鳥、藤榮 博史、西村 潤一、橋爪 卓也、橋本 政幸、東浦 渉、東出 高至、保本 卓、松井 洋、松本 知博、三浦 剛史、山添 真治、稲村 健介、魚谷 健祐、江頭 秀哲、粕谷 秀輔、米虫 敦、中井 資貴、村上 優、矢田 晋作、穴井 洋、中村 功一、西尾福英之、南 哲弥、宮山 士朗、森本 賢吾、山西 伴明、浅山 良樹、牛島 泰宏、井上 茂亮、杉浦 寿彦
A-④	4	特集 治療に役立つ腹部画像診断レポートのポイント 3 上部消化管	画像診断 44（7）：652-65, 2024	松浦 秀司、鶴丸 大介、野口 智幸

学会発表

B-①	5	Thoracic Amyloidosis : Spectrum of Imaging Findings	European Congress of Radiology, 2024 2024/2/28 Vienna, Austria 期間対象外学会開催期間： 2024/2/28-2024/3/3	Furuya K, Kamei R, Yamazaki K, Okamoto M, Momosaki S, Harada S, Maehara J, Matsuura S, Noguchi T.
B-①	6	Venipuncture by Radiologic Technologist : Initiatives and Challenges	第83回日本医学放射線学会総会 2024/4/17 神奈川県横浜市	野口 智幸、松浦 秀司、亀井僚太郎、前原 純樹、原田 詩乃、白石 貴大、高木 美緒
B-①	7	Shifting from Physician-controlled medical care to Patient-centered care : what diagnostic radiology is heading	第83回日本医学放射線学会総会 2024/4/17 神奈川県横浜市	野口 智幸、松浦 秀司、亀井僚太郎、前原 純樹、原田 詩乃、白石 貴大、高木 美緒

B-①	8	Simulation Analysis of Vertebral Puncture by VETERAN Method Across Different Races	第53回日本IVR学会総会 2024/5/23 和歌山県和歌山市	野口 智幸、松浦 秀司、亀井僚太郎、前原 純樹、 原田 詩乃、白石 貴大、高木 美緒
B-②	9	診療放射線技師による静脈路確保の取り組み	放射線部Drレクチャー 2024/1/17 福岡県福岡市	野口 智幸
B-②	10	脊椎圧迫骨折の新しい治療法経皮的椎体形成術（PVP）について	第375回北九州画像診断部会 2024/1/19 福岡県北九州市市	野口 智幸
B-②	11	大腸内視鏡とCT-colonography仮想注腸像の両者で病変の部位・数の把握に難渋したS状結腸進行癌および下行結腸粗大腺腫の重複病変の1例	第6回日本消化管Virtual Reality学会 総会・学術集会 2024/1/20 福岡県福岡市	松浦 秀司、亀井僚太郎、前原 純樹、古谷 清美、 原田 詩乃、白石 貴大、高木 美緒、野口 智幸、 原田 直彦
B-②	12	術前診断が困難であったsolid type serous cystic neoplasm（SCN）の一例	第198回日本医学放射線学会九州地方会 2024/2/16 熊本県熊本市	多田 彰太、前原 純樹、松浦 秀司、古谷 清美、 原田 詩乃、亀井僚太郎、白石 貴大、高木 美緒、 高見 裕子、桃崎 征也
B-②	13	当院における十二指腸3D-CT（CT-duodenography）	第198回日本医学放射線学会九州地方会 2024/2/16 熊本県熊本市	白石 貴大、松浦 秀司、古谷 清美、原田 詩乃、 亀井僚太郎、前原 純樹、高木 美緒、野口 智幸
B-②	14	骨粗しょう症性椎体骨折PVP治療をマスターする	第14回SIRCHS 研究会/第12回脊椎IVR フォーラム合同開催 2024/4/12 神奈川県横浜市	野口 智幸
B-②	15	VETERAN法による脊椎穿刺のシミュレーション解析 2：人間間での検討	第14回SIRCHS 研究会/第12回脊椎IVRフォーラム合同開催 2024/4/12 神奈川県横浜市	野口 智幸
B-②	16	術後リンパ漏れに対し経皮的リンパ管塞栓術を行った2例	第53回日本IVR学会総会 2024/5/25 和歌山県	白石 貴大、前原 純樹、松浦 秀司、亀井僚太郎、 古谷 清美、原田 詩乃、高木 美緒、野口 智幸、 吉田倫太郎、貴島 惇博、 九州大学大学院医学研究院 岡本 大佑、 佐賀大学医学部 江頭 秀哲
B-②	17	C型慢性肝炎患者の肝腫瘍に術前肝生検を施行し手術を回避できたadrenal rest tumorの一例	第199回日本医学放射線学会九州地方会 2024/6/22 長崎県長崎市	江見晃一郎、前原 純樹、松浦 秀司、原田 詩乃、 菊野 亮栄、小倉 琢嗣、白石 貴大、野口 智幸、 中嶋 摩依、桃崎 征也
B-②	18	直腸癌術後再発との鑑別が困難であったが、画像診断にてその可能性を指摘しえた縫合糸膿瘍の一例	第199回日本医学放射線学会九州地方会 2024/6/22 長崎県長崎市	久原 洋平、前原 純樹、松浦 秀司、原田 詩乃、 菊野 亮栄、小倉 琢嗣、白石 貴大、江見晃一郎、 野口 智幸、楠元 英次
B-②	19	臍頭十二指腸切除術後の臍液瘍によるSMV中枢側の仮性瘤に対し経門脈的ステント留置により治療した一例	第60回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2024/10/8 福岡	前原 純樹
B-②	20	認知症の画像診断：アルツハイマー型と他疾患の画像的鑑別	第18回レインボーカンファレンスin天神2024年 2024/10/15 福岡県福岡市	野口 智幸
B-②	21	十二指腸腫瘍治療前精査における十二指腸3D-CT（CT-duodenography）の有用性の検討	第60回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2024/10/18 福岡県	白石 貴大、松浦 秀司、前原 純樹、原田 詩乃、 小倉 琢嗣、菊野 亮栄、江見晃一郎、野口 智幸
B-②	22	大腸癌術前CT-colonographyにおける無症候性メッケル憩室5例の3DCT所見の検討	第60回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2024/10/18 福岡市（福岡国際会議場）	松浦 秀司、白石 貴大、前原 純樹、原田 詩乃、 小倉 琢嗣、菊野 亮栄、江見晃一郎、野口 智幸

B-②	23	重大な画像所見（SUF）の見落とし防止システム（SUFERR防止システム）：SUF基準の確立	第60回日本医学放射線学会秋季大会 2024/10/18 福岡県福岡市	野口 智幸、松浦 秀司、亀井僚太郎、前原 純樹、 古谷 清美、原田 詩乃、白石 貴大、高木 美緒
B-②	24	認知症の画像診断	放射線部Drレクチャー 2024/10/30 福岡県福岡市	野口 智幸
B-②	25	大腸精査目的のCT-colonographyにおける無症候性メッケル憩室の3DCT所見	第7回日本消化管Virtual Reality学会総会・学術集会 2025/1/18 京都市（ハートンホテル京都）	松浦 秀司、白石 貴大、前原 純樹、原田 詩乃、 小倉 琢嗣、菊野 亮栄、江見晃一郎、野口 智幸
B-③	26	HalcyonによるVMAT-TBIの初期経験	第200回日本医学放射線学会九州地方会 2025/2/1 鹿児島市（鹿児島大学医学部（鹿児島大学病院）・鶴陵会館）	吉川真由美、大賀 才路、白石 貴大、江見晃一郎
B-③	27	画像診断が病理診断に大きく寄与した甲状腺癌肝転移の一例	第200回日本医学放射線学会九州地方会 2025/2/1 鹿児島市（鹿児島大学医学部（鹿児島大学病院）・鶴陵会館）	江見晃一郎、前原 純樹、松浦 秀司、原田 詩乃、 小倉 琢嗣、菊野 亮栄、白石 貴大、野口 智幸、 荒武 良総、藤田 綾
B-③	28	心肺停止後、超急性期に撮影されたCTの画像所見の検討	第200回日本医学放射線学会九州地方会 2025/2/1 鹿児島市（鹿児島大学医学部（鹿児島大学病院）・鶴陵会館）	前原 純樹、松浦 秀司、原田 詩乃、菊野 亮栄、 小倉 琢嗣、白石 貴大、江見晃一郎、野口 智幸、 野田英一郎
B-④	29	陰嚢内病変の一例	第68回北部九州画像診断フォーラム 2024/10/26 福岡県	白石 貴大、松浦 秀司、前原 純樹、原田 詩乃、 菊野 亮栄、小倉 琢嗣、江見晃一郎、野口 智幸
B-④	30	手技に難渋したCTガイド下穿刺の3例	第46回九州IVR研究会 2024/12/10 福岡県	白石 貴大、前原 純樹、松浦 秀司、原田 詩乃、 小倉 琢嗣、菊野 亮栄、江見晃一郎、野口 智幸

講演会

C-②	31	ここまでできた放射線治療—強度変調放射線治療—	病診連携のタベ 2024/7/25 院内	大賀 才路
C-②	32	Revisit子宮筋腫：放射線科の立場から—基本から肉腫の鑑別まで	第38回JCRミッドウインターセミナー 2025/1/25 熊本市（熊本城ホール）	原田 詩乃
C-②	33	画像診断におけるレギュラトリーサイエンス	第611回NR懇話会教育講演 2025/2/8 東京都中央区	野口 智幸

その他

D	34	放射線医がMRIで診る「深部子宮内膜症」	第6回女性骨盤外科鏡視下手術セミナー 2024/6/14 福岡県福岡市	原田 詩乃
D	35	CTガイド下穿刺の紹介～何を刺せるか、どう刺すか～	KMC初期セミナー 2024/9/6 当院	前原 純樹
D	36	Q36：ASLとはなんですか？	MRI一問一答：104-5	亀井僚太郎、野口 智幸
D	37	Q37：DSCとはなんですか？	MRI一問一答：106-7	亀井僚太郎、野口 智幸
D	38	Q37：DCEとはなんですか？	MRI一問一答：108-10	亀井僚太郎、野口 智幸

消化管外科

論文

A-① 1	Importance of duodenal stump reinforcement to prevent stump leakage after gastrectomy : a large-scale multicenter retrospective study (KSCC DELICATE study)	Gastric Cancer 27 (3) 1320-1330, 2024	Sano A, Imai Y, Yamaguchi T, Bamba T, Shinno N, Kawashima Y, Tokunaga M, Enokida Y, Tsukada T, Hatakeyama S, Koga T, Kuwabara S, Urakawa N, Arai J, Yamamoto M, Yasufuku I, Iwasaki H, Sakon M, Honboh T, Kawaguchi Y, Kusumoto T, Shibao K, Hiki N, Nakazawa N, Sakai M, Sohda M, Shirabe K, Oki E, Baba H, Saeki H
A-① 2	Importance of duodenal stump reinforcement to prevent stump leakage after gastrectomy : a large-scale multicenter retrospective study (KSCC DELICATE study)	Gastric Cancer 27 (6) 1320-1330, 2024	Sano A, Nakazawa N, Sakai M, Sohda M, Shirabe K, Saeki H, Imai Y, Yamaguchi T, Bamba T, Shinno N, Kawashima Y, Tokunaga M, Enokida Y, Tsukada T, Hatakeyama S, Koga T, Kuwabara S, Urakawa N, Arai J, Yamamoto M, Yasufuku I, Iwasaki H, Sakon M, Honboh T, Kawaguchi Y, Kusumoto T, Shibao K, Hiki N, Oki E, Baba H
A-② 3	Fatal pulmonary embolism after surgery for small intestinal necrosis caused by idiopathic portal vein thrombosis: a case report	Surgical Case Reports 10 (1) 90, 2024	Iwasaki H, Uehara H, Fujimoto Y, Hasuda H, Kusumoto E, Hisamatsu Y, Yoshida R, Sakaguchi Y, Kusumoto T
A-④ 4	SOX+nivolumab療法により病理学的完全奏功が得られた胃癌の1例	日本臨床外科学会雑誌 85 (7) 892-897, 2025	上原 英雄、坂口 善久、楠本 哲也

学会発表

B-② 5	MSI-High大腸癌の臨床病理学的特徴と術後補助化学療法の適応に関する検討	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/18 名古屋	蓮田 博文、藤岡 雄介、楠元 英次、久松 雄一、上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 6	当院での大腸癌穿孔症例の現状	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/19 名古屋	吉田倫太郎、藤岡 雄介、蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、上原 英雄、坂口 善久、池尻 公二、楠本 哲也
B-② 7	75歳以上の高齢者直腸癌に対する腹腔鏡下手術の安全性の検討	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/19 名古屋	久松 雄一、藤岡 雄介、蓮田 博文、中西 良太、楠元 英次、上原 英雄、杉山 雅彦、吉田倫太郎、沖 英次、山本 学、坂口 善久、楠本 哲也
B-② 8	腹腔鏡補助下に経皮内視鏡的胃瘻造設術を行った14例の検討	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/19 名古屋	楠元 英次、藤岡 雄介、蓮田 博文、久松 雄一、上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也、原田 直彦
B-② 9	腹膜播種陽性胃癌に対する全身・腹腔内投与併用化学療法奏効後の胃切除の有用性について	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/20 名古屋	上原 英雄、石神 浩徳、大森 健、藪崎 裕、小寺 泰弘、深川 剛生、有上 貴明、篠原 尚、今野 元博、伊藤 誠二、廣野 靖夫、畑尾 史彦、辻 靖、文 正浩、益澤 徹、川崎 普司、畑 啓昭、森田 勝、楠本 哲也、北山 丈二
B-② 10	StageIV B進行胃癌に対するコンバージョン手術の成績と治療戦略	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/20 名古屋	太田 光彦、田尻 裕匡、大竹 晶彦、進 勇輝、龍神圭一郎、江端 由穂、播磨 朋哉、吉山 貴之、夏越 啓多、田中 康、川副 徹郎、財津 瑛子、中西 良太、中島雄一郎、坂口 善久、楠本 哲也、沖 英次、吉住 朋晴

B-②	11	横隔膜ヘルニア嵌頓による横行結腸穿孔、左臍胸に対して腹腔鏡、胸腔鏡下に合同手術を行った一例	第22回日本ヘルニア学会学術集会 2024/5/25 新潟	楠元 英次、松岡 史生、坂口 善久、岩崎 恒、 蓮田 博文、久松 雄一、上原 英雄、吉田倫太郎、 上妻 由佳、豊川 剛二、田川 哲二、山崎 宏司、 楠本 哲也
B-②	12	食道切除後の乳び胸に対して経皮的リンパ管治療術が有用であった1例	第78回日本食道学会学術集会 2024/7/4 東京	吉田倫太郎、蓮田 博文、楠元 英次、久松 雄一、 上原 英雄、坂口 善久、松浦 秀司、岡本 大佑、 野口 智幸、楠本 哲也
B-②	13	当院における精神疾患併存大腸癌患者に対する外科治療の治療成績について	第79回日本消化器外科学会総会 2024/7/17 下関	上原 英雄、岩崎 恒、蓮田 博文、久松 雄一、 楠元 英次、吉田倫太郎、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	14	当科におけるMSI-H切除不能進行・再発大腸癌に対するPembrolizumab療法の治療経験について	第79回日本消化器外科学会総会 2024/7/17 下関	蓮田 博文、岩崎 恒、松岡 史生、楠元 英次、 久松 雄一、上原 英雄、吉田倫太郎、坂口 善久、 楠本 哲也
B-②	15	腹腔鏡下噴門側胃切除後の吻合法別にみた治療成績と栄養評価	第79回日本消化器外科学会総会 2024/7/18 下関	太田 光彦、田尻 裕匡、川副 徹郎、財津 瑛子、 中西 良太、中島雄一郎、山本 学、楠本 哲也、 沖 英次、吉住 朋晴
B-②	16	1次治療としてのニボルマブ併用化学療法の治療成績	第62回日本癌治療学会学術集会 2024/10/25 福岡	田尻 裕匡、蓮田 博文、楠元 英次、吉田倫太郎、 太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	17	大腸癌患者におけるPembrolizumab療法の検討	第62回日本癌治療学会学術集会 2024/10/25 福岡	蓮田 博文、田尻 裕匡、楠元 英次、吉田倫太郎、 太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	18	左側大腸癌穿孔症例の当院での現状	第86回日本臨床外科学会学術集会 2024/11/21 宇都宮	中村 萌乃、吉田倫太郎、蓮田 博文、田尻 裕匡、 楠元 英次、太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也、 池尻 公二
B-②	19	大腸癌におけるPembrolizumab療法の検討	第86回日本臨床外科学会学術集会 2024/11/21 宇都宮	蓮田 博文、田尻 裕匡、楠元 英次、吉田倫太郎、 太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	20	MSI-H大腸癌におけるPembrolizumab療法の検討	第35回日本消化器癌発生学会総会 2024/11/29 東京	蓮田 博文、田尻 裕匡、楠元 英次、吉田倫太郎、 太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	21	噴門側胃切除後の再建方法の工夫と短期及び長期成績	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/7 福岡	太田 光彦、蓮田 博文、田尻 裕匡、楠元 英次、 吉田倫太郎、沖 英次、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	22	左側閉塞性大腸癌に対して大腸ステント留置後に施行した腹腔鏡下手術の治療成績	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/7 福岡	田尻 裕匡、蓮田 博文、楠元 英次、吉田倫太郎、 太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	23	ONSTEP 法術後早期再発を来したTAPP 法で診断に至った膀胱上窩ヘルニアの一例	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/7 福岡	蓮田 博文、田尻 裕匡、楠元 英次、吉田倫太郎、 太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	24	上下部直腸癌に対するロボット支援手術と腹腔鏡手術の治療成績の検討	第17回日本ロボット外科学会集会 2025/3/7 宇都宮	蓮田 博文、田尻 裕匡、楠元 英次、吉田倫太郎、 太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也
B-②	25	胃癌を伴った胃コレステロール塞栓症の一例	第97回日本胃癌学会総会 2025/3/14 名古屋	蓮田 博文、大久保彰人、藤原美奈子、田尻 裕匡、 楠元 英次、吉田倫太郎、太田 光彦、坂口 善久、 楠本 哲也
B-③	26	噴門側胃切除術後3年目の挙上空腸癌に対して手術を行った一例	第261回福岡外科集談会 2024/7/20 福岡	中村 萌乃、田尻 裕匡、楠元 英次、楠本 哲也、 吉田倫太郎、太田 光彦、蓮田 博文、坂口 善久
B-③	27	実臨床におけるロボット支援胃切除術の安全性と有効性の検討	第124回日本消化器病学会九州支部例会 2024/11/15 鹿児島	太田 光彦、田尻 裕匡、楠元 英次、坂口 善久、 楠本 哲也
B-③	28	妊婦の急性虫垂炎に対する手術成績の検討	第61回九州外科学会 2025/2/7 那覇	高見 圭、田尻 裕匡、蓮田 博文、楠元 英次、 吉田倫太郎、太田 光彦、坂口 善久、楠本 哲也

講演会

C-②	29	人生100年時代の胃癌治療～最新外科治療と高齢者へのアプローチ～	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/6/29 福岡	太田 光彦
C-②	30	食道癌患者の腸内細菌叢について	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/6/29 福岡	蓮田 博文
C-②	31	患者にやさしい消化管外科手術	病院連携のタベ 2024/7/25 福岡	太田 光彦

肝胆膵外科

論文

A-①	1	Risk Factors for Early Recurrence after Upfront Surgery for Resectable Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	ClinMed International Journal of Cancer and Clinical Research 11 (1) , 2024	Yoriko Nomura, Tomoki Ryu*, Kazuki Takeishi, Gen Yamamoto, Yoshiyuki Wada and Yuko Takami
A-①	2	Efficacy of Reinforced Stapler for Preventing Postoperative Pancreatic Fistula After Minimally Invasive Distal Pancreatectomy	ANTICANCER RESEARCH International Journal of Cancer Research and Treatment 44 (8) : 3655-3661, 2024	TOMOKI RYU, YORIKO NOMURA, KAZUKI TAKEISHI, GEN YAMAMOTO, YOSHIYUKI WADA and YUKO TAKAMI
A-①	3	Combined effect of frailty and sarcopenia on postoperative complications in older adults undergoing curative surgery for hepato-biliary-pancreatic cancer	Annals of Gastroenterological Surgery 2024	Harimoto N, Sugimachi K, Takahiro T, Shimagaki T, Mano Y, Onishi E, Nishijima TF, Sugiyama M, Kimura Y, Morita M
A-①	4	Efficacy of Reinforced Stapler for Preventing Postoperative Pancreatic Fistula After Minimally Invasive Distal Pancreatectomy	Anticancer Research 44 (8) : 3655-3661, 2024	Ryu T, Nomura Y, Takeishi K, Yamamoto G, Wada Y, Takami Y
A-①	5	Real-world efficacy of radiomics versus clinical predictors for microvascular invasion in patients with hepatocellular carcinoma: Large cohort study	Hepatology Research 55 (4) : 567-576, 2024	Kinoshita S, Baba H, Nakaura T, Yoshizumi T, Itoh S, Ide T, Noshiro H, Hamada T, Kuroki T, Takami Y, Nagano H, Nanashima A, Endo Y, Utsunomiya T, Kajiwarra M, Miyoshi A, Sakoda M, Okamoto K, Beppu T, Takatsuki M, Noritomi T, Eguchi S

学会発表

B-①	6	NGP03-4 : Forging New Paths : Empowering young female surgeons in the HBP surgical Field	第36回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2024/6/28 広島	Hiroko Okinaga, Maho Takayama, Chikara Shirata, Nobuhiro Harada, Yasuji Seyama, Mai Nakamura, Yukiko Kosai, Meguri Tanimoto, Yoriko Nomura, Keiko Kamei
B-①	7	MO15-1:Results of multidisciplinary treatment for resectable pancreatic-head ductal adenocarcinoma at our institution	第36回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2024/6/28 広島	Yoriko Nomura, Tomoki Ryu, Kazuki Takeishi, Gen Yamamoto, Yoshiyuki Wada, Yuko Takami
B-①	8	MO10-3:Surgical outcomes of laparoscopic surgery for gallbladder carcinoma	第36回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2024/6/28 広島	Gen Yamamoto, Tomoki Ryu, Yoriko Nomura, Kazuki Takeishi, Yoshiyuki Wada, Yuko Takami

B-①	9	O7-3 : Clamp crushing method for robotic liver resection in our institute	第36回日本肝胆膵外科学会・学術集会 2024/6/28 広島	Tomoki Ryu, Yoriko Nomura, Kazuki Takeishi, Gen Yamamoto, Yoshiyuki Wada, Yuko Takami
B-②	10	ロボット支援下肝切除導入期における腹腔鏡下肝切除との手術成績の比較	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/18 名古屋	龍 知記、武石 一樹、野村 頼子、和田 幸之、高見 裕子
B-②	11	腹腔鏡下肝切除における肝細胞癌に対する系統的切除と非系統的切除の比較	第124回日本外科学会定期学術集会 2024/4/19 名古屋	武石 一樹、龍 知記、野村 頼子、和田 幸之、高見 裕子
B-②	12	完全ヒトiPS由来人工肝臓の臨床応用への課題と今後の展開	第110回日本消化器病学会総会 2024/5/10 徳島	武石 一樹、伊藤 心二、利田 賢哉、富山 貴央、伊勢田憲史、別城 悠樹、吉屋 匠平、戸島 剛男、高見 裕子、吉住 朋晴
B-②	13	iPS細胞を利用したPNPLA3 SNPが肝線維化を発症するメカニズムの解明	第80回日本肝臓学会総会 2024/6/13 熊本	武石 一樹、利田 賢哉、栗原 健、中山 湧貴、石川 琢磨、本村 貴志、富山 貴央、伊勢田憲史、吉屋 匠平、戸島 剛男、伊藤 心二、吉住 朋晴
B-②	14	当科における肝細胞癌に対する腹腔鏡下系統切除と非系統切除の比較	第79回日本消化器外科学会 2024/7/17 山口	武石 一樹、龍 知記、野村 頼子、山本 玄、和田 幸之、高見 裕子
B-②	15	完全ヒトiPS細胞を用いた人工肝臓の臨床への現状と課題	第22回日本消化器外科学会大会 2024/10/31 神戸	武石 一樹、伊藤 心二、吉住 朋晴
B-②	16	完全ヒトiPS細胞を用いた人口肝臓の臨床への現状と課題克服への取り組み	第32回日本消化器関連学会週間 2024/10/31 神戸	武石 一樹
B-②	17	肝細胞癌におけるCreatinine/Cystatin C比の意義	第32回日本消化器関連学会週間 2024/11/2 神戸	播本 憲史
B-②	18	腹腔鏡下肝S8亜区域切除グリソン処理における至適アプローチ（肝門アプローチと肝内アプローチ）	第18回肝臓内視鏡外科学会・第16回膵臓内視鏡外科学会 2024/11/20 宇都宮	武石 一樹、播本 憲史、山本 玄、野村 頼子、龍 知記、森田 和豊、二宮 瑞樹、高見 裕子
B-②	19	S7領域の肝腫瘍に対するロボット支援下肝切除の経験	第18回肝臓内視鏡外科学会・第16回膵臓内視鏡外科学会 2024/11/20 宇都宮	播本 憲史
B-②	20	肝胆膵外科からみた安全なロボット手術のポイント	第38回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会 2024/11/29 幕張	播本 憲史、山本 玄、野村 頼子、武石 一樹、龍 知記、高見 裕子
B-②	21	当院における胆嚢癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/6 福岡	山本 玄、野村 頼子、武石 一樹、龍 知記、高見 裕子
B-②	22	S7領域の肝腫瘍に対するロボット支援下肝切除の経験	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/7 福岡	播本 憲史
B-②	23	当院における胆嚢癌に対する腹腔鏡下手術の治療成績	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/8 福岡	山本 玄、野村 頼子、武石 一樹、龍 知記、高見 裕子
B-②	24	肝線維化モデル再現によるPNPLA3 SNP肝線維化発症メカニズムの解明と革新的治療法の開発	第24回日本再生医療学会総会 2025/3/20 横浜	武石 一樹、伊藤 心二、和田 賢哉、中山 湧貴、栗原 健、本村 貴志、戸島 剛男、播本 憲史、Soto-Gutierrez Alejandro、吉住 朋晴
B-③	25	高跳びからの落下を契機に発症した胆嚢捻転症の1例	第261回福岡外科集談会 2024/7/20 福岡	加瀬 蒼、野村 頼子、武石 一樹、山本 玄、龍 知記、播本 憲史、高見 裕子
B-③	26	完全内臓逆位を伴った急性胆嚢炎の1例	第261回福岡外科集談会 2024/7/20 福岡	中田 紘嘉、武石 一樹、野村 頼子、山本 玄、龍 知記、播本 憲史、高見 裕子

- | | | | | |
|-----|----|---|----------------------------------|---|
| B-④ | 27 | 司会 パネルディスカッション1 大腸癌肝転移に対する最適ストラテジー | 第60回日本肝癌研究会
2024/7/12 兵庫 | 高見 裕子 |
| B-④ | 28 | 腹腔鏡下肝S8亜区域切除グリソン処理の至適アプローチ方法（肝門アプローチと肝内アプローチ） | 第18回肝臓内視鏡外科研究会
2024/11/20 宇都宮 | 武石 一樹、播本 憲史、山本 玄、野村 頼子、龍 知記、森田 和豊、二宮 瑞樹、高見 裕子 |

乳腺外科・センター

論文

- | | | | | |
|-----|---|--|---|---|
| A-① | 1 | A randomized phase III study evaluating dexamethasone-based mouthwash to prevent chemotherapy-induced stomatitis in patients with breast cancer | Japanese Journal of Clinical Oncology
55 (2) : 172-175, 2024 | Kuba S, Soutome S, Hagiwara Y, Kikawa Y, Iwamoto T, Sangai T, Harao M, Yamaguchi T, Taji T, Igarashi A, Kajimoto Y, Sakurai N, Yamanouchi K, Watanabe K, Maeda N, Suzuki M, Maeda S, Toh U, Ebata A, Iwakuma N, Matsunuma R, Yamaguchi M, Mukai H |
| A-① | 2 | Identifying prognostic biomarkers for palbociclib add-on therapy in fulvestrant-resistant breast cancer using cell-free DNA sequencing | ESMO Open: Cancer Horizons
9 (4), 2024 | Takeshita T, Iwamoto T, Niikura N, Okamura T, Watanabe K, Kikawa Y, Kobayashi K, Iwakuma N, Tada H, Ozaki S, Okuno T, Toh U, Yamamoto Y, Tsuneizumi M, Ishiguro H, Masuda N, Saji S |
| A-① | 3 | Prognostic value of the 21-Gene Breast Recurrence Score® assay for hormone receptor-positive/human epidermal growth factor 2-negative advanced breast cancer: subanalysis from Japan Breast Cancer Research Group-M07 (FUTURE trial) | Breast Cancer Research and Treatment
208 (2) : 253-262, 2024 | Iwamoto T, Niikura N, Okamura T, Watanabe K, Tomioka N, Takeshita T, Kikawa Y, Kobayashi K, Iwakuma N, Kobayashi T, Katagiri Y, Kitada M, Miyoshi Y, Shigematsu H, Miyashita M, Ishiguro H, Masuda N, Saji S |
| A-① | 4 | The effective duration of systemic therapy and the neutrophil-to-lymphocyte ratio predict the surgical advantage of primary tumor resection in patients with de novo stage IV breast cancer: a retrospective study | World Journal of Surgical Oncology
22 (1), 2024 | Sugihara R, Watanabe H, Katagiri Y, Saku S, Takao Y, Fujita F, Toh U, Matsushima S, Okabe M, Iwakuma N, Ogo E |
| A-③ | 5 | MRI | 乳房 画像診断の勘ドコロNEO メジカビュー社
2024 | 松林（名本）路花 |
| A-③ | 6 | 乳管内乳頭腫（intraductal papilloma ; IP | 乳房 画像診断の勘ドコロNEO メジカビュー社
2024 | 松林（名本）路花、岩熊 伸高 |
| A-③ | 7 | 乳管腺腫（ductal adenoma） | 乳房 画像診断の勘ドコロNEO メジカビュー社
2024 | 松林（名本）路花、岩熊 伸高、藤原美奈子 |

学会発表

- | | | | | |
|-----|---|--|---|----------------------------|
| B-① | 8 | [Cardiac Function and Early Enhancement on DCE Breast MRI] | 第83回日本医学放射線学会総会
2024/4/11 パシフィコ横浜 | 松林（名本）路花、岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎 |
| B-② | 9 | 遺伝性乳癌卵巣癌（HBOC）診療効率化への当院での取り組み | 第124回日本外科学会定期学術集会
2024/4/19 AICHI SKY EXPO | 岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、唐 宇飛 |

B-②	10	当科においてOncotypeDXによる周術期治療選択を行った症例の検討	第32回日本乳癌学会学術総会 2024/7/11 仙台国際センター	岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、名本 路花、 唐 宇飛、藤田 文彦
B-②	11	乳腺診療における地域診療所の役割	第32回日本乳癌学会学術総会 2024/7/11 仙台国際センター	中川 志乃、藤木 その、藤木 健弘、古賀 稔啓、 岩熊 伸高、唐 宇飛
B-②	12	Neutrophil-to-lymphocyte ratio (NLR) に基づく Denovo stageIV乳癌に対する手術治療の意義に関する検討	第32回日本乳癌学会学術総会 2024/7/11 仙台国際センター	杉原 利枝、唐 宇飛、渡邊 秀隆、松嶋俊太郎、 片桐侑里子、高尾 優子 岩熊 伸高、藤田 文彦
B-②	13	進行再発乳がんにおけるオンコタイプDX乳がん再発スコアの臨床的意義の検討：JBCRG-M07より	第32回日本乳癌学会学術総会 2024/7/11 仙台国際センター	岩本 高行、新倉 直樹、渡邊 健一、竹下 卓志、 木川雄一郎、小林 心、岩熊 伸高、岡村 卓穂、 小林 隆之、片桐侑里子、北田 正博、富岡 伸元、 三好 康雄、重松 英朗、宮下 穰、石黒 洋、 増田 慎三、佐治 重衡
B-②	14	乳癌治療後の画像診断：多様な病態とその適切な理解	第32回日本乳癌学会学術総会 2024/7/11 仙台国際センター	松林（名本）路花、岩熊 伸高、岡部 実奈、 松嶋俊太郎
B-②	15	胸壁浸潤を伴う局所進行乳癌に対してチーム医療で臨む胸壁再建手術と集学的治療	第12回日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会総会 2024/10/3 金沢	岩熊 伸高
B-②	16	乳房画像診断のトピックス「乳房と薬剤～乳癌薬物治療における病態と画像解釈を主体に～」	第60回日本医学放射線学会秋季臨床大会 2024/10/18 福岡国際会議場	松林（名本）路花
B-②	17	BRCA遺伝子変異患者・家族のサーベイランスにおける当院での取り組み	第34回日本乳癌検診学会学術総会 2024/11/29 Gメッセ群馬	岩熊 伸高、岡部 実奈、渡邊 秀隆、名本 路花、 唐 宇飛、藤田 文彦
B-②	18	遺伝的ハイリスク群の乳癌検診	第34回日本乳癌検診学会学術総会 2024/11/29 Gメッセ群馬	パネルディスカッション 岩熊 伸高
B-②	19	精査機関におけるデジタルプレストモシンセシス運用方法の再検討	第34回日本乳癌検診学会学術総会 2024/11/30 Gメッセ群馬	浅井 美子、長郷 知未、山口 薫、甲斐 香織、 大浦 弘樹、松林（名本）路花、岩熊 伸高
B-②	20	「女性放射線治療医を増やすには一女性・育児医師としての経験から」	日本放射線線腫瘍学会第37回学術大会 2024/11/21 パシフィコ横浜ノース	松林（名本）路花
B-③	21	葉状腫瘍術後再発との鑑別が困難であった乳腺adenomyoepitheliomaの1例	第22回日本乳癌学会九州地方会 2024/9/28 九州大学医学部百年講堂	池澤 桂子、岩熊 伸高、岡部 実奈、松嶋俊太郎、 松林（名本）路花、渋谷 健二、唐 宇飛、 藤田 文彦
B-③	22	当院における神経障害性疼痛に対する薬物療法、治療効果についての検討	第22回日本乳癌学会九州地方会 2024/9/29 九州大学医学部百年講堂	岡部 実奈、岩熊 伸高、松嶋俊太郎、 松林（名本）路花、唐 宇飛
B-③	23	ペムプロリズマブによる副腎不全2例の報告と当院におけるICIのirAEに対する他科連携について	第22回日本乳癌学会九州地方会 2024/9/29 九州大学医学部百年講堂	松嶋俊太郎、岩熊 伸高、岡部 実奈、 松林（名本）路花、坂本 昌平、堀内由布子、 唐 宇飛、藤田 文彦
B-③	24	術前化学療法中にPegfilgrastim投与後大動脈炎を発症した浸潤性乳管癌の1例	第61回九州外科学会 2025/2/7 沖縄県市町村自治会館	衣笠 哲矢、岩熊 伸高、岡部 実奈、渡邊 秀隆、 名本 路花、唐 宇飛、藤田 文彦
B-③	25	教育セミナー診断部門「乳房部分切除時の適切な切除範囲の決定に必要な画像診断」	第22回日本乳癌学会九州地方会 2024/9/29 九州大学医学部百年講堂	松林（名本）路花
B-③	26	「乳房部分切除時の適切な切除範囲の決定に必要な画像診断」	第22回日本乳癌学会九州地方会 2024/9/28 九州大学医学部百年講堂	松林（名本）路花

B-④	27	抗HER2薬病診連携における、連携マ ニュアル活用の試み	第62回九州乳癌治療研究会 2025/2/4 ハイブリッド	岩熊 伸高
B-④	28	乳癌治療Up To Date ～進行再発乳癌 を理解するために	第222回福岡県筑後地区薬剤師研修会 第50回筑後地区がん薬物療法研修会 2025/3/21 久留米	岩熊 伸高

講演会

C-①	29	HER2陽性乳癌診療の“これから”－ 病診連携の取り組み－	第61回九州乳癌治療研究会 2024/8/6 オリエンタルホテル福岡	岩熊 伸高
C-①	30	再発リスクに応じた乳癌術後薬物療法 を考える	第53回筑後地区乳腺カンファランス 2024/8/23 久留米市医師会館	岩熊 伸高

その他

D	31	【日本医療における専門医制度と自由 標榜制の未来を考える】シンポジウム 座長 Future Prospects for the Medical Specialists Certifying System and Free Profession System in Japanese Medicine	第83回日本医学放射線学会総会 2024/4/11 パシフィコ横浜	松林（名本）路花
D	32	ゲノム医療・遺伝性乳癌 座長	第22回日本乳癌学会九州地方会 2024/9/28 九州大学医学部百年講堂	岩熊 伸高
D	33	地域連携なくしてやってられない乳がん 診療	乳がん地域連携セミナー 2025/1/21 ZOOM	岩熊 伸高
D	34	乳がん地域連携の現状と今後の展望	乳がん地域連携セミナー 2025/1/21 ZOOM	岩熊 伸高
D	35	HR+/HER2-進行再発乳癌の1st lineで Abemaciclibを上乗せする重要性	2025 HR+HER2-再発乳癌の最適な治 療選択とチーム医療を考える 2025/3/28 ハイブリッド	岩熊 伸高
D	36	「医療安全・放射線防護 1 防護・造 影剤」座長	第60回日本医学放射線学会秋季臨床 大会 2024/10/18 福岡国際会議場	松林（名本）路花
D	37	新しい乳癌取り扱い規約と画像診断 コメンテーター	第34回日本乳癌画像研究会 学術総 会 2025/2/9 一橋大学一橋講堂	松林（名本）路花

呼吸器外科

論文

A-①	1	Is sublobar resection feasible for high-risk pathological stage I non- small cell lung cancer?	Annals of Surgical Oncology 2024	Takaki Akamine
-----	---	--	-------------------------------------	----------------

A-① 2	Impact of timing and initial recurrence site on post-recurrence survival in resected non-small cell lung cancer	European Journal of Surgical Oncology 50 (9) : 108374, 2024	Akamine T, Takenaka T, Yano T, Okamoto T, Yamazaki K, Hamatake M, Kinoshita F, Kohno M, Shimokawa M, Yoshizumi T
A-① 3	A Prospective Observational Study Analyzing the Diversity and Specific Composition of the Oral and Gut Microbiota in Lung Cancer Patients	Anticancer research 44 (11) : 5067-5080, 2024	Shoji F, Minemura A, Kozuma Y, Nouno T, Takeoka H, Matsumoto A, Okamoto M, Yamaguchi M, Yamazaki K, Maehara Y
A-① 4	Baseline genetic abnormalities and effectiveness of osimertinib treatment in patients with chemotherapy-naïve EGFR-mutated NSCLC based on performance status	BMC Pulmonary Medicine 24 (1), 2024	Taniguchi Y, Tamiya A, Osuga M, Harada D, Koh Y, Isa SI, Nakamura K, Mizumori Y, Shinohara T, Yanai H, Nakatomi K, Oki M, Mori M, Kuwako T, Yamazaki K, Tamura A, Ando M
A-① 5	Mechanisms of resistance and correlation between pre-treatment co-alterations and p-prognosis to osimertinib in chemo-naïve advanced non-small cell lung cancer	Lung Cancer 195, 2024	Tamiya A, Taniguchi Y, Osuga M, Koh Y, Harada D, Isa SI, Nakamura K, Mizumori Y, Shinohara T, Yanai H, Nakatomi K, Oki M, Mori M, Kuwako T, Yamazaki K, Tamura A, Ando M
A-① 6	Is Sublobar Resection Feasible for High-Risk Pathologic Stage I Non-small Cell Lung Cancer?	Annals of Surgical Oncology 2024	Akamine T, Kinoshita F, Kohno M, Takenaka T, Yoshizumi T, Wakasu S, Yamazaki K, Matsubara T, Hamatake M, Yamaguchi M, Kometani T, Shimokawa M
A-① 7	Assessment of the Therapeutic Potential of Enhancer of Zeste Homolog 2 Inhibition in a Murine Model of Bronchiolitis Obliterans Syndrome	Transplant International 37, 2024	Matsudo K, Takamori S, Takenaka T, Hashinokuchi A, Nagano T, Kinoshita F, Akamine T, Kohno M, Yoshizumi T, Shimokawa M, Toyokawa G
A-① 8	Impact of the distance of spread through air spaces in non-small cell lung cancer	Interdisciplinary Cardiovascular and Thoracic Surgery 40 (1), 2024	Hashinokuchi A, Akamine T, Matsudo K, Nagano T, Kinoshita F, Kohno M, Takenaka T, Yoshizumi T, Toyokawa G, Tomonaga T, Oda Y, Kohashi K, Shimokawa M
A-③ 9	前方視野法によるロボット支援下肺葉切除術のtips and pitfalls	日本外科学会雑誌 125 (3) : 283-289, 2024	山崎 宏司

学会発表

B-② 10	Long-term outcomes in robot-assisted lung resection for primary lung cancer	第41回日本呼吸器外科学会学術集会 2024/5/31 軽井沢市	上妻 由佳、豊川 剛二、田川 哲三、山崎 宏司
B-② 11	前方視野法によるロボット支援下肺区域切除術の初期成績	第65回日本肺癌学会総会 2024/10/31 横浜市	田川 哲三、三浦奈央子、徳永 貴之、山崎 宏司
B-② 12	医師の働き方改革と外科医のプロフェッショナリズム	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/5 福岡市	三浦奈央子、田川 哲三、山崎 宏司、竹中 朋祐
B-③ 13	小細胞癌治療中に合併した有癭性膿胸に胸壁開窓術を施行し治療継続が可能となった一例	第261回福岡外科集談会 2024/7/20 福岡市	町田 幹朗、徳永 貴之、三浦奈央子、田川 哲三、松尾 規和、岡元 昌樹、山崎 宏司

B-③ 14	ロボット支援下肺葉切除手術「前方アプローチ法」の短期・長期成績	第34回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2024/10/5 長崎市	山崎 宏司、徳永 貴之、三浦奈央子、田川 哲三
B-③ 15	前方視野法によるロボット支援下肺区域切除術	第34回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 2024/10/5 長崎市	田川 哲三、三浦奈央子、徳永 貴之、山崎 宏司
B-③ 16	急激な両側血気胸の進行を呈した頭皮血管肉腫肺転移の1例	第64回日本肺癌学会九州支部学術集会 2025/2/8 福岡市	長野 太智、三浦奈央子、田川 哲三、山崎 宏司

講演会

C-③ 17	Innovative Anterior Approach in Robot-Assisted Lobectomy : Enhancing Safety and Precision in Pulmonary Resection	NCKUH Surgical Week 2024/8/23 Tainan	Koji Yamazaki
--------	--	---	---------------

小児外科

講演会

C-① 1	漢方の臨床運用 ～小児外科的見地から～	令和6年度日本東洋医学会専門医制度九州地区教育講演会 2025/1/19 福岡市	甲斐 裕樹
-------	------------------------	---	-------

その他

D 2	栄養と漢方	Kampo Lecture －漢方専門医による漢方入門&研修 医漢方勉強会－ 2024/9/19 当院+web	甲斐 裕樹
-----	-------	--	-------

脳血管内治療科

論文

A-② 1	Study protocol of the ASTOP trial : A multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled trial of presurgical aspirin administration for the prevention of thromboembolic complications of coil embolization for ruptured aneurysms	PLoS ONE 19 (9), 2024	Hirai S, Fujita K, Fujii S, Takahashi S, Sumita K, Shigeta K, Karakama J, Enomoto Y, Sato Y, Yoshimura M, Hirota S, Yoshimura M, Kohyama S, Mizoue T, Yoshino Y, Kawano Y, Yamamura T, Hara S, Hirohata M, Yoshimura S, Ishii Y, Nemoto S, Yamauchi T, Taira N, Obata Y, Sakamoto M, Inoue M, Yamashina M, Tokunaga S, Higashi T, Sawada K, Mochida H, Ido K, Takeuchi M, Takigawa T, Takagi Y, Morimoto M, Nanto M, Miki K, Misaki K, Arimura K, Hanaoka Y, Hara M, Yokoyama K, Ooyama J, Hanazawa R, Sato H, Hirakawa A, Ishiguro M
A-③ 2	1pass TICI3を目指す血栓回収術 ACSTで血栓を、カシメる。	脳神経外科速報 34 (6) : 716-720, 2024	徳永 聡

A-④	3	出血を繰り返す中咽頭動静脈奇形に対して塞栓術を施行した1例	脳神経外科ジャーナル 33 (4) : 275-281, 2024	奥田 智裕、東 英司、宮城 慎平、瓜生 英興、 徳永 聡
-----	---	-------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------

学会発表

B-②	4	急性期ATBIに対する再開通療法における残存狭窄率に基づく治療戦略	日本脳神経外科学会第83回学術総会 2024/10/16 横浜	徳永 聡、東 英司、奥田 智裕、金城 史彦、 松下 航
B-②	5	中大脳動脈閉塞における閉塞部の造影パターンでの検討	日本脳神経外科学会第83回学術総会 2024/10/16 横浜	奥田 智裕、東 英司、金城 史彦、松下 航、 徳永 聡
B-②	6	中大脳動脈閉塞における閉塞部の造影パターンで分類した血栓回収の治療成績	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2024/11/21 熊本	奥田 智裕、東 英司、金城 史彦、松下 航、 徳永 聡
B-②	7	母血管閉塞が必要となった解離性後大脳動脈瘤の2例	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2024/11/21 熊本	松下 航、金城 史彦、東 英司、奥田 智裕、 徳永 聡
B-②	8	脳底動脈狭窄病変に対する緊急経皮的血管形成術の治療成績	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2024/11/21 熊本	東 英司、徳永 聡、奥田 智裕、金城 史彦、 松下 航
B-②	9	CAS後に脳血管攣縮を認めた一例	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2024/11/22 熊本	金城 史彦、松下 航、奥田 智裕、東 英司、 徳永 聡
B-②	10	急性期ATBIに対する再開通療法における残存狭窄率に基づく治療戦略	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2024/11/22 熊本	徳永 聡、東 英司、奥田 智裕、金城 史彦、 松下 航
B-②	11	脳邸動脈閉塞に対する単純CT再構成画像を用いた新たなEVT治療戦略	第50回日本脳卒中学会学術総会 2025/3/6 大阪	徳永 聡、東 英司、奥田 智裕、金城 史彦、 松下 航
B-②	12	来院時NIHSS10点未満の脳底動脈閉塞症の治療成績	第50回日本脳卒中学会学術総会 2025/3/6 大阪	東 英司、奥田 智裕、徳永 聡、金城 史彦、 松下 航
B-②	13	中大脳動脈閉塞における閉塞部の造影パターンで分類した血栓回収の治療成績	第50回日本脳卒中学会学術総会 2025/3/6 大阪	奥田 智裕、徳永 聡、東 英司、金城 史彦、 松下 航
B-②	14	当院における軽症脳梗塞に対する脳血管内治療成績	第50回日本脳卒中学会学術総会 2025/3/8 大阪	金城 史彦、東 英司、奥田 智裕、徳永 聡、 松下 航
B-②	15	疼痛を訴えないStanfordA型急性大動脈解離症例の特徴	第50回日本脳卒中学会学術総会 2025/3/8 大阪	松下 航
B-③	16	開頭術後に生じたAVFの一例	第148回日本脳神経外科学会九州支部会 2024/9/28 長崎	松下 航、金城 史彦、東 英司、奥田 智裕、 福田 峻一、西村 中、山上敬太郎、雨宮 健生、 溝口 昌弘、徳永 聡
B-④	17	難治性動脈瘤に対するハイブリッド治療	第9回五島列島脳血管障害カンファレンス 2024/4/26 長崎	徳永 聡

講演会

C-②	18	脳動脈瘤治療の最前線	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/10/12 福岡	奥田 智裕
-----	----	------------	-----------------------------------	-------

C-②	19	超急性期脳梗塞治療の最前線	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/10/12 福岡	東	英司
C-②	20	血栓回収療法の適応となる脳主幹動脈閉塞患者のみかたと脳血管内治療最近の話題	第17回福岡県PSLS講習会 2024/11/15 福岡	徳永	聡
C-③	21	備えあれば憂いなし～エキスパートから学ぶ血栓回収療法の極意～1.AIS治療の成績はここから～アクセスを制す～	第44回日本脳神経外科コンgres総会 2024/5/11 名古屋	徳永	聡
C-③	22	AIS VIDEO LIVE2024ー多様な血栓回収手技とテクニックを再考するー内頸動脈閉塞の治療戦略	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2024/11/22 熊本	徳永	聡
C-③	23	不安定プラークに対するprotection device別治療成績と当院の工夫	Tokyo Endovascular Symposium of Live recorded Advanced techniques TESLA2025 2025/3/22 東京	徳永	聡

その他

D	24	血栓回収術の基本のキ	AIS治療に関する社内講演会 2024/4/16 福岡	徳永	聡
D	25	Advanced Contact & Swaging Technique	ACST hands-on Webinar 佐賀県医療センター好生館 2024/4/19 佐賀	徳永	聡
D	26	Optimal WireでProtection出来なかった1例	第16回九州脳血管内治療勉強会 2024/5/18 福岡	東 松下	英司、徳永 航
D	27	Branchor XBの有用性	ASAHI Neuro Academy 2024/6/7 Web	徳永	聡
D	28	一過性に聴力低下をきたした進行性脳底動脈狭窄に対してPTA・ステント留置を行った一例	第8回BASE 2024/6/8 福岡	松下 徳永	航 東 英司 金城 史彦 奥田 智裕、 聡
D	29	高難度動脈瘤に対する血管内治療とハイブリッド治療	大分SAH治療検討会 2024/6/19 大分	徳永	聡
D	30	ACSTが活かす道～Trevoが合わせる血栓とACの軸～	JUST Webinar SR Picks 2024/6/26 Web	徳永	聡
D	31	Advanced Contact & Swaging Technique	ACST hands-on Webinar 北日本 2024/6/27 Web	徳永	聡
D	32	Tigertriever初期使用経験	17Smmitt 2024/6/28 岡山	徳永	聡
D	33	eNVi-SRの特性について	福岡AIS研究会 2024/7/13 福岡	徳永	聡
D	34	アクセスに難渋したCS dAVFの1例	第2回九州大学脳血管内治療研究会 2024/7/17 福岡	徳永	聡
D	35	最近経験した治療難渋症例	AIS症例検討会 2024/7/20 大阪	徳永	聡

D	36	Advanced Contact & Swaging Technique	ACST hands-on Webinar 青洲会病院 2024/7/26 福岡	徳永	聡
D	37	AIS-NewS	AIS Neuro-Endovascular Workshop and share Safer and Smart techniques 2024/7/31 Web	徳永	聡
D	38	Advanced Contact & Swaging Technique	ACST hands-on Webinar 飯塚病院 2024/8/2 福岡	徳永	聡
D	39	Advanced Contact & Swaging Technique	第8回阪大の夜会 2024/8/9 大阪	徳永	聡
D	40	九州医療センターにおける超急性期脳梗塞診療	第3回大分脳神経外科フォーラム 2024/10/11 大分	松下	航
D	41	Branchor XBの有用性	ASAHI Neuro Academy ～The value of “X”～ 2024/10/22 Web	徳永	聡
D	42	症候性脳血管攣縮を来したくも膜下出血について	福岡SAHネットワーク 2024/10/25 福岡	奥田	智裕
D	43	ACSTの限界と注意点	ACST Webinar Debriefing session 2024/12/2 Web	徳永	聡
D	44	ACST Update and Beyond	JUST Webinar SR Picks Trust in Trevo 2024/12/12 Web	徳永	聡
D	45	後方循環系のtandem閉塞	Kyushu Next-Generation AIS Conference 2025/1/17 熊本	東	英司
D	46	eNVi-SRの特性について	第2回九州大学鹿児島大学脳血管内治療研究会 2025/1/24 福岡	徳永	聡
D	47	高難度動脈瘤で生きるi-ED COIL	i-ED COIL症例検討会 in FUKUOKA 2025/2/7 福岡	徳永	聡
D	48	後方循環tandem閉塞の2例	第2回AIS症例検討会 2025/2/15 福岡	金城	史彦
D	49	Advanced Contact & Swaging Technique	ACST hands-on in 福岡東医療センター 2025/2/21 福岡	徳永	聡
D	50	大型の破裂脳底動脈瘤に対してY stentを併用しコイル塞栓を行った1例	第17回九州脳血管内治療勉強会 Young Lion Meeting 2025/3/1 福岡	松下	航
D	51	Advanced Contact & Swaging Technique	第17回九州脳血管内治療勉強会 Young Lion Meeting 2025/3/1 福岡	徳永	聡
D	52	ACSTの限界と注意点	阪大夜会Review Focus AIS 2025/3/31 福岡	徳永	聡

脳神経外科

論文

A-① 1	Drug-resistant BRA F V600E-mutant recurrent pleomorphic xanthoastrocytoma, CNS WHO Grade3 successfully resolved with incidental discontinuation of combined BRAF and MEK inhibitor therapy	Surgical neurology international 15 (417) , 2024	Inoue H, Kuroda JI, Fujioka Y, Hata N, Mizoguchi M, Yoshii D, Sueyoshi H, Takeshima Y, Fujimoto K, Shinojima N, Sunami K, Mikami Y, Nakamura H, Mukasa A.
A-① 2	Hemizygous deletion of cyclin-dependent kinase inhibitor 2A/ B with p16 immuno-negative and methylthioadenosine phosphorylase retention predicts poor prognosis in IDH-mutant adult glioma	Neuro-oncology advances 6 (1) : vdae069, 2024	Otsuji R, Hata N, Yamamoto H, Kuga D, Hatae R, Sangatsuda Y, Fujioka Y, Noguchi N, Sako A, Togao O, Yoshitake T, Nakamizo A, Mizoguchi M, Yoshimoto K.
A-① 3	In-house molecular diagnosis of diffuse glioma updating the revised WHO classification by a platform of the advanced medical case system, Senshin-Iryo	Neuropathology 44 (5) : 344-350, 2024	Hata N, Fujioka Y, Otsuji R, Kuga D, Hatae R, Sangatsuda Y, Amemiya T, Noguchi N, Sako A, Fujiki M, Mizoguchi M, Yoshimoto K.
A-② 4	Liquid Biopsy for Glioma Using Cell-Free DNA in Cerebrospinal Fluid	Cancers 16 (5) , 2024	Otsuji R, Fujioka Y, Kuga D, Hatae R, Sangatsuda Y, Nakamizo A, Yoshimoto K, Hata N, Mizoguchi M
A-③ 5	当院の診療看護師の活動と医師の働き方改革への寄与	日本臨床麻酔学会誌 44 (7) : 695-701, 2024	坪根 瞳、甲斐 哲也

学会発表

B-① 6	Surgical technique of direct surgery for cerebral aneurysm in the neuroendovascular therapy era	第17回Japan-Korea Joint Conference on Surgery for Cerebral Stroke 2024 2024/9/6 韓国	西村 中
B-① 7	Microsurgical clipping with endovascular flow diversion for unruptured VA-PICA aneurysm	Korea-Japan Young Doctors Friendship Case Conference 2024/11/20 熊本	山上敬太郎
B-① 8	Progranulin Enhances the Engraftment of Transplanted Human induced Pluripotent Stem Cell-derived Cerebral Neurons in Cell Replacement Therapy	ISC2025 (International Stroke Conference) 国際脳卒中会議 2025/2/5 アメリカ・ロサンゼルス	山上敬太郎
B-② 9	Astrocytoma, IDH-mutantにおける CDKN2A/B hemizygous deletionの意義とp16/MTAP免疫染色の有用性	第42回日本脳腫瘍病理学会学術集会 2024/5/24 広島県呉市	尾辻 亮介、秦 暢宏、山元 英崇、藤岡 寛、三月田祐平、波多江龍亮、空閑 太亮、溝口 昌弘、吉本 幸司
B-② 10	当院で加療した組織学的にlower grade gliomaであるIDH野生型 diffuse gliomaの検討	第42回日本脳腫瘍病理学会学術集会 2024/5/24 広島県呉市	藤岡 寛、尾辻 亮介、三月田祐平、空閑 太亮、秦 暢宏、溝口 昌弘、成富 文哉、吉本 幸司

B-②	11	耐性を獲得したBRAF V600E変異PXA (WHO grade 3) にBRAF/MEK阻害薬の休薬とsalvage手術が有効だった1例	第42回日本脳腫瘍病理学会学術集会 2024/5/24 広島県呉市	井上 博貴、黒田順一郎、藤岡 寛、秦 暢宏、 溝口 昌弘、吉井 大貴、篠島 直樹、三上 芳喜、 中村 英夫、武笠 晃丈
B-②	12	WHO2021に対応した施設分子診断の最適化	第42回日本脳腫瘍病理学会学術集会 2024/5/24 広島県呉市	秦 暢宏、藤岡 寛、尾辻 亮介、札幌 博貴、 舩井 泰朋、阿南 光洋、溝口 昌弘、吉本 幸司、 藤木 稔
B-②	13	当院における正常圧水頭症診療について	第8回日本脳神経外科認知症学会学術総会 2024/6/29 名古屋市	雨宮 健生
B-②	14	脳血管障害に対する外科治療における止血法—安全確実な手術を行うために—	第33回脳神経外科手術と機器学会 (CNTT2024) 2024/7/4 東京都	西村 中
B-②	15	頸動脈不安定プラークに対する外科的治療戦略 —CEA vs CAS治療成績比較	日本脳神経外科学会 第83回 学術総会 2024/10/16 横浜	山上敬太郎
B-②	16	高齢者くも膜下出血症例に対するクラゾセンタン投与についての後方視的検討	日本脳神経外科学会 第83回 学術総会 2024/10/16 横浜	福田 峻一
B-②	17	髄膜腫に対する術前塞栓術に関する検討	日本脳神経外科学会 第83回 学術総会 2024/10/17 横浜	雨宮 健生
B-②	18	初発時からのベバシズマブ併用が有効な膠芽腫の分子背景	日本脳神経外科学会 第83回 学術総会 2024/10/17 横浜	尾辻 亮介、藤岡 寛、三月田祐平、波多江龍亮、 空閑 太亮、秦 暢宏、中溝 玲、溝口 昌弘、 吉本 幸司
B-②	19	神経膠腫に対する分子診断技術に基づくトランスレーショナルリサーチの現状と展望	日本脳神経外科学会 第83回 学術総会 2024/10/17 横浜	秦 暢宏、札幌 博貴、舩井 泰朋、阿南 光洋、 尾辻 亮介、藤岡 寛、溝口 昌弘、吉本 幸司、 藤木 稔
B-②	20	脳血管内治療科が独立した施設における脳動脈瘤直達手術の治療選択と求められる手術手技	日本脳神経外科学会 第83回 学術総会 2024/10/18 横浜	西村 中
B-②	21	当院診療看護師が行う相対的医行為の承認システム構築と脳神経外科での実践	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	坪根 瞳、甲斐 哲也
B-②	22	頸動脈不安定プラークに対するCASの治療成績：CAS vs CEA治療成績比較	第40回日本脳神経血管内治療学会学術集会 2024/11/21 熊本	山上敬太郎
B-②	23	Oligodendrogliomaに対するACNUの有効性：分子診断による治療層別化の長期成績	第42回日本脳腫瘍学会学術集会 2024/12/2 三重県志摩市	尾辻 亮介、藤岡 寛、三月田祐平、波多江龍亮、 空閑 太亮、秦 暢宏、中溝 玲、溝口 昌弘、 吉本 幸司
B-②	24	髄膜種の術前塞栓術における技術的訓練の有用性について	STROKE 2025 2025/3/6 大阪	雨宮 健生
B-②	25	頸動脈不安定プラークに対する外科的治療戦略—合併症ゼロを目指してCEAvsCAS治療成績比較—	STROKE 2025 2025/3/6 大阪	山上敬太郎
B-②	26	ProgranulinはヒトiPS細胞由来大脳皮質オルガノイドの移植効率を向上させる	STROKE 2025 2025/3/6 大阪	山上敬太郎

B-②	27	脳血管内治療時代における脳動脈瘤直達術者教育	STROKE 2025 2025/3/6 大阪	西村 中
B-②	28	内頸動脈後交通動脈分岐部動脈瘤に対する治療戦略ー直達手術の立場から	STROKE 2025 2025/3/6 大阪	西村 中
B-②	29	高齢者のくも膜下出血に対するクラゾセンタンの効果と副作用についての後方視的研究	STROKE 2025 2025/3/6 大阪	福田 峻一
B-③	30	機械的血栓回収療法後に出血を来した医原性仮性脳動脈瘤に対してバイパス併用トラッピング術を施行した1例	第147回日本脳神経外科学会九州支部会 2024/6/1 鹿児島	福田 峻一、西村 中、山上敬太郎、雨宮 健生、溝口 昌弘
B-③	31	開頭術後に生じたAVFの一例	第148回日本脳神経外科学会九州支部会 2024/9/28 長崎市	松下 航、金城 史彦、東 英司、奥田 智裕、福田 峻一、西村 中、山上敬太郎、雨宮 健生、溝口 昌弘、徳永 聡
B-③	32	脳転移で発見されたMET exon 14 skipping変異陽性の肺腺癌に対してTepotinibが奏効した一例	第148回日本脳神経外科学会九州支部会 2024/9/28 長崎市	福田 峻一、宮崎 貴大、南野 貴志、山上敬太郎、雨宮 健生、西村 中、溝口 昌弘
B-③	33	経時的に増大し動脈瘤化した後交通動脈漏斗状拡張に対してクリッピング術を行った一例	第149回日本脳神経外科学会九州支部会 2025/3/15 福岡	福田 峻一
B-④	34	当院の水頭症診療の紹介	第11回医療連携カンファレンス 2024/6/11 福岡市	雨宮 健生

講演会

C-②	35	脳血管障害に対する脳神経外科手術について	第17回福岡県PSLS講習会 2024/11/15 福岡	西村 中
C-③	36	がんゲノム医療の現状と展望	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/10/12 福岡市	溝口 昌弘

その他

D	37	バイパスの手術手技ー基本から応用を目指してー	第2回Y&A Fukuoka Neurosurgery Meeting 2024/4/19 福岡市	西村 中
D	38	当施設でのシャント手術と工夫点	第2回Y&A Fukuoka Neurosurgery Meeting 2024/4/19 福岡市	福田 峻一
D	39	当院における正常圧水頭症診療のとりくみ	福岡iNPH研究会2024 2024/8/23 福岡市	雨宮 健生
D	40	内頸動脈瘤に対するクリッピング術ー頭蓋底手技から硬膜閉鎖までー	脳外科手術 わたしの秘訣：脳腫瘍と脳血管障害ここだけの話 2024/8/28 福岡市	西村 中
D	41	正常圧水頭症の診断、治療の取り組みを踏まえてー	認知症と正常圧水頭症（NPH）を考える会 2024/10/25 福岡市	雨宮 健生

D	42	当科のてんかん診療の現状	てんかん診療に必要なこと～新規ASMの使い分け含めて～ 2024/11/12 福岡市	雨宮 健生
D	43	当院でのSAH周術期管理について	九州脳神経外科SAHネットワーク 2024/11/29 福岡市	山上敬太郎
D	44	当施設における後方循環脳動脈瘤に対する外科治療	脳神経外科手術セミナー 2024/12/4 福岡市	西村 中
D	45	破裂脳動脈瘤に対する直達術における術中トラブルへの対応	脳神経外科【特集】くも膜下出血のニューフロンティア Vol.52 (No.5) : 985-993	西村 中

心臓血管外科 学会発表

B-③	1	化膿性脊椎炎による両心系感染性心内膜炎の1例	胸部外科学会九州地方会 2024/8/1 福岡市	岡本 光司、元松 祐馬、今坂 堅一、塩瀬 明
B-③	2	冠動脈狭窄病変を伴わない心室中隔穿孔の1例	胸部外科学会九州地方会 2024/8/1 福岡市	元松 祐馬、岡本 光司、今坂 堅一、塩瀬 明
B-④	3	対的医行為実施のいやための承認制度の導入	国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	石原 夕子
B-④	4	心臓外科における診療看護師（NP）導入の効果	日本NP学会学術集会 2024/11/23 東京	石原 夕子

講演会

C-①	5	大動脈弁狭窄症の治療	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/12/14 福岡市	神尾 明君
C-②	6	胸部大動脈疾患に対する外科治療	第71回病診連携の夕べ 2025/2/20 当院	神尾 明君

血管外科 論文

A-①	1	Long- Term Outcomes of Endovascular Aneurysm Repair in Patients Aged ≤ 70 Years	Annals of Vascular Diseases 17 (1) : 25-33, 2024	Onohara T, Handa N, Kawasaki M, Kasashima F, Saito T, Nakamura T, Une D, Nakai M, Shiraya S, Maeda K, Imai K, Yamamoto T, Shimoe Y, Okamoto M, Kawazu Y
A-①	2	Sciatic nerve atrophy as a risk factor for impaired wound healing in patients with chronic limb-threatening ischemia	Journal of vascular surgery 2025	Yutaka Matsubara, Tadashi Furuyama, Toshihiro Onohara
A-④	3	浮腫性疾患を極めるー鑑別診断から治療・指導までー 下肢静脈瘤・慢性静脈不全	臨床と研究 101 (10) : 39-43, 2024	古山 正

A-④	4	左腸骨静脈の圧迫症状によって発見された右総腸骨動脈瘤の1手術例	血管外科 43 (1) : 86-90, 2024	森 早希、古山 正、松原 裕、小野原俊博
A-④	5	特集/脂質異常症診療に必要な最新知見 高リスク病態の管理：末梢動脈疾患	臨床と研究 102 (1) : 55-58, 2025	小野原俊博、松原 裕、古山 正

学会発表

B-①	6	Sciatic nerve atrophy is associated with limb amputation free survival in patients with CLTI	38th ESVS Annual Meeting 2024 2024/9/24 Kraków, Poland	松原 裕、古山 正、小野原俊博
B-②	7	関連2施設におけるEVAR後Open conversionの成績	第52回日本血管外科学会学術総会 2024/5/29 別府	古山 正、松原 裕、小野原俊博
B-②	8	Para-malleolarバイパスにおける末梢吻合部の選択基準の改善点について.	第52回日本血管外科学会学術総会 2024/5/29 別府	古山 正、松原 裕、小野原俊博
B-②	9	CLTI患者の下肢大切断適応判断における坐骨神経萎縮の意義	第52回日本血管外科学会学術総会 2024/5/29 別府	松原 裕、古山 正、小野原俊博
B-②	10	Distalバイパス技術の習熟に向けて	第55回日本心臓血管外科学会学術総会 2025/2/21 下関市・北九州市	古山 正、松原 裕、小野原俊博
B-③	11	腹部大動脈瘤人工血管置換後に瘤縫縮術を施行した1例	第121回日本血管外科学会九州地方会 2024/8/30 福岡	納富 茅壽、松原 裕、古山 正、小野原俊博
B-③	12	止血デバイス使用後に感染性動脈瘤形成した1例	第121回日本血管外科学会九州地方会 2024/8/31 福岡	衣笠 哲矢、松原 裕、古山 正、小野原俊博
B-④	13	解離性大動脈瘤に対して人工血管置換術を施行した2例	第261回福岡外科集談会 2024/7/20 福岡	橋本龍之介、松原 裕、古山 正、小野原俊博

講演会

C-②	14	腹部大動脈瘤の治療と研究について	令和6年度九州医療センター生涯研修セミナー（第2回） 2024/6/29 福岡	古山 正
-----	----	------------------	--	------

その他

D	15	レオカーナで治療した2例	九州大学 EVT Conferene 2025/2/7 福岡市	松原 裕
D	16	内腸骨動脈瘤破裂に対する上下腎動脈塞栓+EVAR	EmboldTM遠隔技術指導プログラム 2025/3/12 Web	松原 裕

整形外科・リウマチ科

論文

A-① 1	Macrophage activation and inflammatory priming by anti-MAA antibodies in rheumatoid arthritis.	Clinical Immunology 265 : 110303, 2024	Afonso M, Sun J, Sakuraba K, Cîrciumaru A, Lagutkin D, Filipović M, Catrina AI, Grönwall C, Hensvold A, Réthi B.
A-① 2	Decreased foot-related quality of life is a risk factor for falls in patients with rheumatoid arthritis.	Modern Rheumatology roae108, 2024	Haraguchi A (corresponding author), Kamo K.
A-① 3	Decreased foot-related quality of life is a risk factor for falls in patients with rheumatoid arthritis	Modern Rheumatology 2024	Haraguchi A, Kamo K
A-① 4	Complications after orthopaedic surgeries in patients with rheumatoid arthritis treated with Janus kinase inhibitors: A retrospective observational study	Modern Rheumatology 34 (5) : 954-959, 2024	Bekki H, Sakuraba K, Hara M, Ohta M, Miyahara H, Fukushi J, Hashiguchi T, Kawamura S, Kondo M, Nakashima Y
A-① 5	Macrophage activation and inflammatory priming by anti-MAA antibodies in rheumatoid arthritis	Clinical Immunology 265, 2024	Afonso M, Sun JT, Sakuraba K, Cîrciumaru A, Lagutkin D, Filipovic M, Catrina AI, Gronwall C, Hensvold A, Rethi B
A-④ 6	17. 関節液	臨床検査ガイド2025年改訂版 これだけは必要な検査のすすめかた・データのよみかた 1037-1038, 2024	福士 純一

学会発表

B-① 7	Complications After Orthopedic Surgeries in Patients with Rheumatoid Arthritis Treated with Janus Kinase Inhibitors: a Retrospective Observational Study	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会-International concurrent workshop 2024/4/20 神戸	Bekki H, Tsushima H, Hashiguchi T, Kawamura S, Hara M, Sakuraba K, Nakashima Y, Kondo M, Jun-ichi F
B-② 8	治療抵抗性関節リウマチの臨床的特徴の検討	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 神戸	原 正光、田丸 哲弥、木村 敦、戸次 大史、櫻庭 康司、福士 純一
B-② 9	疾患コントロール不十分だが、b/tsDMARDs非使用のRA患者の特徴：FRANKレジストリーの解析から	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2024/4/18 神戸	山田 久方、鶴居 亮輔、近藤 正一、福士 純一、宮村 知也、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、井上 靖、大石 正信、前山 彰、加茂 健太、新納 宏昭、中島 康晴
B-② 10	FRANKレジストリーを用いた65歳以下関節リウマチ患者の就労状況に影響する因子・罹患関節の検討	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 神戸	安元慧大朗、藤原 稔史、近藤 正一、福士 純一、宮村 知也、井上 靖、都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、新納 宏昭、大石 正信、加茂 健太、前山 彰、中島 康晴
B-② 11	関節リウマチ患者に対する胸腰椎後方再固定術の原因とリスク因子	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/18 神戸	戸次 大史、小田 琢也、田丸 哲弥、木村 敦、原 正光、櫻庭 康司、中島 康晴、福士 純一
B-② 12	関節リウマチ患者の骨粗鬆症治療の現状	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/19 神戸	太田 昌成、櫻庭 康司、戸次 大史、原 正光、田丸 哲弥、木村 敦、福士 純一

B-②	13	関節リウマチの整形外科手術において、周術期の休業は非休業に比べて術後合併症を増やすか	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2024/4/20 神戸	伊藤 宣、石川 肇、辻 成佳、中山 政憲、 西田圭一郎、望月 猛、蛭名 耕介、小嶋 俊久、 松本 卓巳、窪田 綾子、中島 新、金子 敦史、 松下 功、原 良太、櫻庭 康司、赤崎 幸穂、 松原 司、持田 勇一、神戸 克明、桃原 茂樹
B-②	14	リウマチ性高度屈曲拘縮膝に対する人工膝関節置換術後の仮性動脈瘤を生じた1例	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会 2024/4/20 神戸	田丸 哲弥、太田 昌成、甲斐 一広、木村 敦、 原 正光、戸次 大史、櫻庭 康司、福士 純一
B-②	15	リウマチ股に対する人工股関節置換術において、周術期インプラント周囲骨折の危険因子は何か？	第68回日本リウマチ学会総会・学術集会-Workshop 2024/4/20 神戸	宮房 玲奈、原 大介、櫻庭 康司、津嶋 秀俊、 池村 聡、赤崎 幸穂、藤原 稔史、宮原 寿明、 福士 純一、中島 康晴
B-②	16	リウマチ股に対する人工股関節置換術において周術期インプラント周囲骨折の危険因子は何か	第97回日本整形外科学会学術集会 2024/5/23 福岡	宮房 玲奈、原 大介、櫻庭 康司、津嶋 秀俊、 本村 悟朗、濱井 敏、赤崎 幸穂、藤原 稔史、 宮原 寿明、福士 純一、中島 康晴
B-②	17	外反母趾の外科治療 2024 update	第37回日本臨床整形外科学会学術集会-シンポジウム 2024/7/14 熊本	福士 純一
B-②	18	関節リウマチの足部変形矯正における、創外固定の応用	第53回日本リウマチの外科学会 2024/9/14 金沢	福士 純一、櫻庭 康司、戸次 大史、田丸 哲弥
B-②	19	重症骨粗鬆症の診断率は骨密度検査に脆弱性骨折の既往歴の確認と脊椎画像検査を追加することで31%上昇する。	第26回日本骨粗鬆症学会 2024/10/11 金沢	原口 明久、加茂 健太、吉本 将和、佐々木 良、 田中 修道、城戸 秀彦
B-②	20	Taylor Spatial Frameを用いた二次的手術により矯正し得た、高度外反偏平足の1例	第49回日本足の外科学会学術集会 2024/11/8 東京	木村 敦、福士 純一、櫻庭 康司
B-②	21	外反母趾治療の現在地	第49回日本足の外科学会学術集会-教育研修講演 プレシンポジウム 2024/11/8 東京	福士 純一
B-③	22	手指末節骨に転移性骨腫瘍を来した1例	第147回西日本整形・災害外科学会学術集会 2024/6/2 北九州	木村 敦、福士 純一、戸次 大史、田丸 哲弥、 原 正光、櫻庭 康司、緒方 亜紀、甲斐 一広、 縄田 知也、高村 優希、野口 真妃、小原 伸夫、 寺田 和正
B-③	23	RAの足部変形におけるTM ankleの短期成績に関する検討	第68回九州リウマチ学会-主題 2024/9/7 佐賀	木村 敦、福士 純一、田丸 哲弥、原 正光、 戸次 大史、櫻庭 康司、遠矢 政和、藤 良倫、 池邊 結、宮崎真太郎、小原 伸夫
B-③	24	RA患者において足部QOLの低下は足部の自覚症状の有無に関係なく転倒のリスク因子である	第68回九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀	原口 明久、加茂 健太
B-③	25	当科における治療抵抗性関節リウマチに関する検討	第68回九州リウマチ学会 2024/9/7 佐賀	原 正光、緒方 亜紀、田丸 哲弥、木村 敦、 戸次 大史、櫻庭 康司、福士 純一
B-③	26	関節リウマチ患者における併存疾患とD2TRAとの関連の検討：FRANK registry	第68回九州リウマチ学会-主題 2024/9/7 佐賀	龍溪 智史、綾野 雅宏、安元慧大朗、赤崎 幸穂、 近藤 正一、福士 純一、宮村 知也、井上 靖、 都留 智巳、首藤 敏秀、吉澤 誠司、大石 正信、 加茂 健太、前山 彰、中島 康晴、新納 宏昭
B-③	27	RA変形による膝関節屈曲拘縮に伴い両膝TKAを施行した症例～理学療法士の視点から～	第68回九州リウマチ学会-主題 2024/9/7 佐賀	野副 良介、福士 純一、田代 泰隆

B-③	28	関節リウマチ患者におけるJAK阻害薬の周術期休薬期間の検討	第68回九州リウマチ学会-主題 2024/9/7 佐賀	戸次 大史、櫻庭 康司、近藤 正一、中島 康晴、 福士 純一
B-③	29	骨巨細胞腫の骨芽細胞分化におけるβ-カテニン核内移行の重要性	第148回西日本整形・災害外科学会学術集会 2024/12/22 鹿児島	木村 敦、戸田 雄、松本 嘉寛、遠藤 誠、 福士 純一、戸次 大史、田丸 哲弥、原 正光、 櫻庭 康司、小原 伸夫、小田 義直、中島 康晴

講演会

C-①	30	関節リウマチupdate-薬物療法・手術療法の現状-	第245回北九州臨床整形外科医会 2024/5/21 北九州	福士 純一
C-①	31	“前足部痛”それって病名ですか？	第16回足のにはほみをかぐ会 2024/6/26 福岡	福士 純一
C-①	32	関節リウマチに対するリハビリテーションと装具療法	第41回リウマチ研修会Web講演 2024/7/21 web	福士 純一
C-①	33	リウマチ診療に役立つ足の診かた	第16回リウマチ手足の外科研究会 2024/7/27 大阪	福士 純一
C-①	34	関節リウマチの手術療法ー適応とタイミングー	福岡県リウマチ医の会 2024/8/17 web	福士 純一
C-①	35	リウマチ足の外科治療ー現状と課題ー	第5回山口足の外科研究会 2024/9/21 山口	福士 純一
C-①	36	骨の痛みの診断推論～ALP値、正常ですか？～	2024年度第6回Kobe Medical Club 2024/10/17 web	福士 純一
C-①	37	関節リウマチにおける手術とリハビリテーション	令和6年度九州・沖縄地区リウマチの治療とケア教育研修会 2024/11/10 熊本	福士 純一
C-①	38	胸椎椎間板ヘルニアの症例	第52回福岡脊椎外科フォーラム 2024/12/7 福岡	藤 良倫
C-③	39	「痛み」で気づくー成人型低ホスファターゼ症ー	第57回日整会骨・軟部腫瘍学術集会 2024/7/11 福井	福士 純一

その他

D	40	“高齢” 関節リウマチ患者の臨床的特徴	New Generation Club Kyushu 2024/6/15 福岡	櫻庭 康司
D	41	オペと放射線 どちらが先が良いのでしょうか？	若手脊椎外科医Webセミナー 2024/8/29 web	戸次 大史
D	42	RA初回治療について	明日から始めるRA治療セミナー～MTX導入編～ 2024/9/17 web	田丸 哲弥、遠矢 政和
D	43	乾癬性関節炎《診断/治療編》	3A Seminar ～AS・nr-axSpA・PsA～ 2024/9/25 福岡	福士 純一
D	44	整形外科医から見たRAに対する治療戦略（パネリスト）	Olumiant Q-WAVE ～WEVE-1～ 2024/10/2 web	戸次 大史

D	45	phase2におけるJAK阻害薬の位置づけ (パネリスト)	NextGen RA Conference 2024/11/11 web	戸次 大史
D	46	整形外科医にとって実は使いやすい JAK阻害薬	RA Seminar for Orthopedists in 福岡 2025/1/23 福岡	戸次 大史
D	47	Gullwingプレート設置のための工夫	Medtronic Laminoplasty Webinar 2025/1/24 web	戸次 大史
D	48	診断に悩んだ時の腰痛の鑑別と治療	脊椎疾患フォーラム 2025/2/10 web	戸次 大史

泌尿器科 学会発表

B-②	1	転移性副腎腫瘍に対する外科的切除の 臨床的検討	西日本泌尿器科学会総会 2024/11/1 佐賀市	森原 楓、末次 俊一、重安 哲志、平井 良樹、 波止 亮、三好 邦和、吉川 正博
B-③	2	前立腺癌の薬物治療中に発症した薬剤 性間質性肺炎の症例	福岡地方会 2024/7/20 福岡市	重安 哲志、末次 俊一、森原 楓、平井 良樹、 波止 亮、三好 邦和、吉川 正博
B-③	3	腎混合性上皮性間質腫瘍の一例	佐賀地方会 2024/12/14 佐賀市	末次 俊一、久松 彪馬、森原 楓、平井 良樹、 波止 亮、三好 邦和、吉川 正博
B-③	4	肺転移を伴う表在性膀胱癌の1例	第137回日本泌尿器科学会沖縄地方会 2025/2/1 沖縄県浦添市	森原 楓、末次 駿一、久松 彪馬、平井 良樹、 波止 亮、三好 邦和、吉川 正博
B-③	5	管状嚢胞細胞癌の一例	日本泌尿器科学会福岡地方会第315回 例会 2025/2/22 北九州市	久松 彪馬、末次 駿一、森原 楓、平井 良樹、 波止 亮、三好 邦和、吉川 正博

講演会

C-①	6	前立腺がんの基礎知識と診断	福岡市泌尿器科医会令和6年度市民 公開講座 2024/9/21 福岡市	吉川 正博
-----	---	---------------	---	-------

眼科 論文

A-①	1	Genetic Risk Stratification of Primary Open-Angle Glaucoma in Japanese Individuals	Ophthalmology 131 (11) : 1271-1280, 2024	Akiyama M, Yawata N, Fujiwara K, Hashimoto S, Ueda E, Murakami Y, Shimokawa S, Nakamura S, Sonoda KH, Tamiya G, Narita A, Shiga Y, Yokoyama Y, Hashimoto K, Sato M, Sato K, Nakazawa T, Furuta Y, Hata J, Miyake M, Ikeda HO, Suda K, Numa S, Mori Y, Morino K, Fujisawa K, Yamana S, Mori K, Ikeda Y, Miyata K, Ogino K, Koyanagi Y, Kamatani Y
A-①	2	Heterotypic macrophages/ microglia differentially contribute to retinal ischaemia and neovascularisation	Diabetologia 67 (10) : 2329-2345, 2024	Yamaguchi M, Nakao S, Arima M, Wada I, Kaizu Y, Ishibashi T, Sonoda KH, Little K, Singh A, Stitt AW, Zandi S, Garweg JG, Matoba T, Shiraishi W, Yamasaki R, Shibata K, Go Y, Uemura A

A-① 3	Safety and efficacy of ripasudil eye drops in preterm infants with retinopathy of prematurity: phase 1/2, open label, single-arm trial	Japanese Journal of Ophthalmology 68 (5) : 490-499, 2024	Arima M, Tsukamoto S, Sonoda KH, Misumi A, Tagawa K, Hirose M, Kishimoto J, Todaka K, Inoue H, Ochiai M, Ohga S, Matsushita I, Kondo H, Araki S, Kusuhara K, Ohta M, Kimura K, Takahashi K, Hasegawa S, Imazato M, Ikeda Y, Goto T, Kodama Y, Aoki Y, Moritake H, Fujita Y, Ieiri I, Yoshida N, Nakao S
-------	--	---	---

学会発表

B-① 4	A Case of Guillain-Barre Syndrome Complicated by Posterior Reversible Encephalopathy Syndrome (PRES) and Resulting in Visual Impairment After Immunoglobulin Therapy	The 17th Joint Meeting of Japan-Korea-China Ophthalmologists 2024/11/9 東京	弓削 昂大、清原 鴻平、糸山 花梨、山名 智志、長谷川英一
B-② 5	空間的遺伝子発現解析を用いた自己免疫性ぶどう膜炎におけるMAIT細胞の機能解明	第57回日本眼炎症学会 2024/7/5 札幌	福井 千尋、柴田 健輔、山名 智志、長谷川英一、八幡 信代、園田 康平
B-② 6	HTLV-1関連ぶどう膜炎疑い3症例の硝子体液病理所見	第57回日本眼炎症学会 2024/7/5 札幌	浅原 裕樹、八幡 信代、浅原健一郎、長谷川英一、武田 篤信、吉川 洋、園田 康平
B-② 7	マサイトメトリーによる3大ぶどう膜炎末梢血中単核細胞プロファイル解析	第57回日本眼炎症学会 2024/7/6 札幌	筒井 紘樹、八幡 信代、浅原健一郎、下川 桜子、長谷川英一、武田 篤信、滝澤 仁、園田 康平
B-③ 8	Guillain-Barre症候群に対するIVIg施行後に可逆性白質脳症(PRES)を合併し視力障害を呈した1例	第94回九州眼科学会 2024/5/24 熊本	弓削 昂大、清原 鴻平、糸山 花梨、山名 智志、長谷川英一
B-③ 9	遠視化を契機に脈絡膜皺襞を認めた1例	第182回九州大学眼科研究会 2025/2/15 福岡	神川 文音、糸山 花梨、鬼木 顕秀、和田 伊織、長谷川英一

皮膚科・アレルギー科

論文

A-① 1	An exploratory study of the efficacy and safety of amenamevir for the treatment of herpes zoster in patients receiving immunosuppressive drug	The Journal of dermatology 51 (10) : 1279-1289, 2024	Imafuku S, Takeuchi S, Urabe K, Arakawa M, Sasaki R, Oka D, Yamamoto T, Ono F, Shirahama S, Yasumoto S, Fukuda H.
A-① 2	An exploratory study of the efficacy and safety of amenamevir for the treatment of herpes zoster in patients receiving immunosuppressive drugs	The Journal of Dermatology 51 (10) : 1279-1289, 2024	Imafuku S, Takeuchi S, Urabe K, Arakawa M, Sasaki R, Oka D, Yamamoto T, Ono F, Shirahama S, Yasumoto S, Fukuda H
A-③ 3	血管内リンパ腫の症例報告と当院での過去13症例の検討	西日本皮膚科 86 (5) : 483-487, 2024	黒木 千晶、永井 貴子、西尾紀一郎、占部 和敬

学会発表

B-② 4	色素性乳房外Paget病の2症例	第123回日本皮膚科学会総会 2024/6/6 京都	石倉 侑、酒井 雛子、西尾紀一郎、占部 和敬
-------	------------------	-------------------------------	------------------------

B-② 5	急性汎発性膿疱性細菌疹様皮疹を呈したサラゾフルファピリジンによる薬疹	第123回日本皮膚科学会総会 2024/6/7 京都	酒井 雛子、石倉 侑、西尾紀一郎、占部 和敬
B-② 6	IgG4関連皮膚疾患の1症例	第76回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2024/9/7 徳島市	石倉 侑、酒井 雛子、西尾紀一郎、占部 和敬
B-③ 7	オシメルチニブメシル酸塩投与後に生じた好酸球性環状紅斑の1例	日本皮膚科学会第409回福岡地方会 2024/7/21 久留米市	杉 悠太、村田 真帆、酒井 雛子、占部 和敬
B-③ 8	オーグメンチン配合剤による薬疹の2例	日本皮膚科学会第410回福岡地方会 2024/9/29 北九州市	酒井 雛子、杉 悠太、村田 真帆、占部 和敬
B-③ 9	悪性リンパ腫治療後に出現した多発性エクリン汗孔腫の1例	日本皮膚科学会第411回福岡地方会 2024/11/23 福岡市	酒井 雛子、杉 悠太、村田 真帆、占部 和敬

産科・婦人科

論文

A-③ 1	前置血管4例における周産期臨床像の検討	福岡産科婦人科学会雑誌 48 (2), 2025	中溝めぐみ、藤原ありさ、嶋之浦佳奈、早瀬 千尋、 瓦林 靖広、小川 伸二
A-④ 2	深部子宮内膜症を安全・確実に行うためのポイント	日本エンドメトリオーシス学会誌 45 : 13-15, 2024	瓦林 靖広
A-④ 3	エネルギーデバイスで効果的に止血するためには	臨床婦人科産科 78 (12) : 1131-1136, 2024	瓦林 靖広

学会発表

B-② 4	深部子宮内膜症をマスターしよう！～画像から痛みを感じていますか？～「痛みの正体は？産婦人科医の視点から」	JCRミッドサマーセミナー2024セッション6 2024/7/13 浜松	瓦林 靖広
B-② 5	先天性アンチトロンビンIII欠損症合併妊娠の一例	周産期新生児学会 2024/7/13 大阪	田中 大智、藤原ありさ、中並 弥生、荒木研士郎
B-② 6	絶縁不良による合併症を予防するための絶縁不良検知器の有用性	第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2024/9/12 東京	荒木研士郎、瓦林 靖広、新藤 滉大、江崎 高明、 中溝めぐみ、森下 優史、中並 弥生、田中 大智、 嶋之浦佳奈、庄 とも子、早瀬 千尋、藤原ありさ、 小川 伸二、梅田規予香
B-② 7	安全で確実なRSCを目指して	第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会ワークショップ1 2024/9/12 東京	瓦林 靖広、新藤 滉大、江崎 高明、中溝めぐみ、 森下 優史、中並 弥生、荒木研士郎、田中 大智、 嶋之浦佳奈、庄 とも子、早瀬 千尋、藤原ありさ、 蓮尾 泰之、小川 伸二
B-② 8	LSC/RSCをしてみました、どうする摘出・どうする固定	第63回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会スポンサードシンポジウム4 2024/9/13 東京	瓦林 靖広
B-② 9	深部子宮内膜症による高度癒着を伴うTLHを安全に行うために	第47回日本産婦人科手術学会 特別企画3 2024/11/24 岡山	瓦林 靖広

B-②	10	腹腔鏡で治療し得た大網成熟奇形腫の一例	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/5 福岡	荒木研士郎、瓦林 靖広
B-②	11	NIPTで2度の判定保留を来たし、分娩後に多発転移を伴う肝内胆管癌が判明した一例	日本産科婦人科遺伝診療学会 2024/12/13 東京	中並 弥生、藤原ありさ、中嶋 摩依、桑山 美幸
B-②	12	X染色体長腕の部分欠失により早発卵巣不全を認め、Turner症候群が疑われた一例	日本産科婦人科遺伝診療学会 2024/12/13 東京	藤原ありさ、沼田 早苗、槇野 晋也、藤吉 順子、松下 悠紀
B-②	13	重度の骨盤痛を認め、根治手術を選択した若年深部子宮内膜症（DE）患者の一例	第46回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 2025/1/25 滋賀県	早瀬 千尋、瓦林 靖広、荒木研士郎、中並 弥生
B-②	14	深部子宮内膜症切除後に消失した疼痛が妊娠中に再燃し、硬膜外麻酔で妊娠管理した一例	第46回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会 2025/1/25 滋賀県	中並 弥生、瓦林 靖広、早瀬 千尋、荒木研士郎
B-③	15	当科におけるフルディスポーザブル硬性子宮鏡（オペラスコープ）の使用経験	第19回九州産婦人科内視鏡手術研究会 2024/4/6 福岡	荒木研士郎、庄 とも子、古賀さくら、竹内 優、森下 優史、大塚裕一郎、中並 弥生、田中 大智、槇之浦佳奈、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ、蓮尾 泰之、小川 伸二
B-③	16	他領域から得た学びをいかにして婦人科手術に活かすのか	第10回熊本産科婦人科内視鏡研究会特別講演 2024/6/13 熊本	瓦林 靖広
B-③	17	深部子宮内膜症切除手術	第五十七回 一匠一塾 2024/6/27 中国（WEB）	瓦林 靖広
B-③	18	子宮頸癌IB1期と子宮内膜異型増殖症に対して広汎子宮頸部摘出術とMPA療法を行い分娩後に子宮摘出術を施行して子宮体癌を認めた一例	福岡産科婦人科学会 2024/9/22 福岡	江崎 高明、田中 大智、新藤 滉大、中溝めぐみ、森下 優史、中並 弥生、荒木研士郎、槇之浦佳奈、庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ、小川 伸二
B-③	19	三胎妊娠、重症妊娠高血圧腎症で帝王切開分娩し、産褥期に周産期心筋症を発症した1例	福岡産科婦人科学会 2024/9/22 福岡	新藤 滉大、中並 弥生、江崎 高明、中溝めぐみ、森下 優史、荒木研士郎、田中 大智、槇之浦佳奈、庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ、小川 伸二
B-③	20	大網成熟嚢胞性奇形腫の一例	第170回福岡産科婦人科学会 2025/1/26 福岡県	森下 優史、新藤 滉大、江崎 高明、中溝めぐみ、中並 弥生、田中 大智、槇之浦佳奈、黒川 裕介、庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ、小川 伸二
B-③	21	当院で周産期管理を行った50歳代の卵子提供妊娠の3例	第170回福岡産科婦人科学会 2025/1/26 福岡県	中溝めぐみ、新藤 滉大、江崎 高明、森下 優史、中並 弥生、田中 大智、槇之浦佳奈、黒川 裕介、庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ、小川 伸二

講演会

C-③	22	微細解剖から見えてくる最適な剥離層	第64回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 ブースセミナー 2024/9/13 東京	瓦林 靖広
C-③	23	TMEの自律神経温存術式に基づいた深部子宮内膜症の手術戦略	第37回日本内視鏡外科学会総会 Educational Lecture9 2024/12/5 福岡	瓦林 靖広

C-③	24	明日から実践！電気メスの基礎と安全使用のためのハンズオン	第37回日本内視鏡外科学会総会 ハンズオンセミナー 2024/12/6 福岡	渡邊 祐介、渥実 潤、瓦林 靖広、三宅 亨、 矢野 琢也
C-③	25	SoTMから考える「低侵襲」手術	第46回日本エンドメトリオーシス学会学術講演会ランチョンセミナー2 2025/1/25 滋賀	瓦林 靖広

その他

D	26	婦人科医が鏡視下手術で見る「深部子宮内膜症」	第6回女性骨盤外科鏡視下手術セミナー 領域横断企画 2024/6/14 福岡	瓦林 靖広
D	27	深部子宮内膜症による高度癒着を安全に攻略するためのポイント	シリーズ TLH困難症例～すべての先生に伝えたい～ 2024/7/11 大阪	瓦林 靖広
D	28	TC+Bev療法でCRとなった進行子宮頸癌の1例	第62回福岡婦人科がん懇話会 2024/10/11 福岡	中溝めぐみ、小川 伸二、新藤 滉大、江崎 高明、 森下 優史、中並 弥生、槁之浦佳奈、黒川 裕介、 庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、藤原ありさ
D	29	良性疾患だからこそこだわりたい 深部子宮内膜症における癒着剥離の流儀	第4回京都産婦人科手術手技セミナー 2024/10/24 京都	瓦林 靖広
D	30	「低侵襲」について再考する～知れば変わる腹腔鏡手術の特性とその応用～	沖縄県グループミーティング 2024/10/25 沖縄	瓦林 靖広
D	31	子宮内膜症治療UPDATE ～深部子宮内膜症を中心に～	福岡エリア産婦人科WEBセミナー 2024/11/5 福岡	瓦林 靖広
D	32	～第4回よくわかるTLH～ダグラス窩	Upstreamウェビナー 2024/11/14 WEB	瓦林 靖広
D	33	ラパロの特性を知り、安全な手術を目指そう！	TLHハンズオンセミナー（九州地区）基調講演 2024/11/23 福岡	瓦林 靖広
D	34	知れば変わる！エネルギーデバイスの原理とリスク	第11回新潟婦人科内視鏡手術セミナー 2025/1/12 福島	瓦林 靖広
D	35	演題名「未定」	埼玉鏡視下手術セミナー（仮） 2025/1/23 東京	瓦林 靖広
D	36	SoTMに基づいた超音波デバイスの使いこなし方	埼玉鏡視下手術セミナー（仮） 2025/1/23 東京	瓦林 靖広
D	37	エネルギーデバイスの特性を知り、安全な手術を目指そう！	FUSE有資格者によるエネルギーデバイスセミナー in Fukuoka 2025/3/8 福岡	瓦林 靖広
D	38	バラ疹を見逃され、先天梅毒の児を分娩した一例		江崎 高明、藤原ありさ、新藤 滉大、中溝めぐみ、 森下 優史、中並 弥生、槁之浦佳奈、黒川 裕介、 庄 とも子、早瀬 千尋、瓦林 靖広、小川 伸二

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

論文

A-① 1	Clinical decision pathway and management of locally advanced head and neck squamous cell carcinoma: A multidisciplinary consensus in Asia-Pacific.	Oral oncology 148 : 106657, 2023	Guo Y, Nakashima T, Cho BC, Lim DW, Yang MH, Lou PJ, Corry J, Lin JC, Zhu GP, Kim KH, Zhang B, Li Z, Hong RL, Ng JYS, Tan EM, Liu YP, Stylianou C, Spiteri C, Porceddu S.
A-① 2	Efficacy of anti-PD-1 monotherapy for recurrent or metastatic olfactory neuroblastoma.	Frontiers in Oncology 14 : 1379013, 2024	Hoshi Y, Enokida T, Tamura S, Nakashima T, Okano S, Fujisawa T, Sato M, Wada A, Tanaka H, Takeshita N, Tanaka N, Onaga R, Kishida T, Uryu H, Sakashita S, Asakage T, Tahara M.
A-① 3	Removal of a Metallic Stent after 9 Years of Placement That Caused Tracheal Stenosis: A Rare Case Report	Case reports in oncology 17 (1) : 186-190, 2024	Nakashima T, Yamazaki K, Uchi R, Uryu H
A-③ 4	【必携！唾液腺診療 虎の巻】唾液腺腫瘍の手術 術後合併症対策	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 96 (8) : 668-670, 2024	瓜生 英興、京野 真理、中島 寅彦
A-③ 5	甲状腺手術における術後合併症の検討	耳鼻と臨床 70 (5) : 261-266, 2024	宇野 結菜、瓜生 英興、北川 理奈、小出 彩佳、原 香織、内 龍太郎、中島 寅彦、堀 龍介
A-③ 6	頭頸部癌の化学放射線療法による嚥下障害に対する言語聴覚士の関わり	言語聴覚研究 21 (4) : 472-479, 2024	川越 直美、内 龍太郎、瓜生 英興、中島 寅彦
A-③ 7	歯性上顎洞炎における画像診断と治療に関する検討	耳鼻と臨床 70 (5) : 319-323, 2024	澄川あゆみ、瓜生 英興、青柳 圭、安井 徹郎、中島 寅彦、吉川 博政
A-③ 8	当科での甲状腺未分化癌症例の検討	耳鼻と臨床 70 (5) : 335-342, 2024	宮城 慎平、瓜生 英興、青谷亜由美、澄川あゆみ、藤原 義宜、内 龍太郎、田村 真吾、大賀 才路、中島 寅彦
A-④ 9	頸部超音波検査と細胞診	《プラクティス耳鼻咽喉科の臨床1》 耳鼻咽喉科 耳鼻咽喉科 日常検査リファレンスブック 1 : 369-377, 2024	瓜生 英興、中島 寅彦
A-④ 10	頭頸部がん診療のControversy 導入化学療法 どっちを選ぶ？ TPF vs PCE TPF	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 96 (4) : 320-323, 2024	田村 真吾、中島 寅彦

学会発表

B-② 11	当院における中咽頭癌の治療の変遷	第125回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会総会・学術講演会 2024/5/16 大阪市	瓜生 英興、内 龍太郎、宮城 慎平、澄川あゆみ、紀井 大志、中島 寅彦
B-② 12	初診時緊急気管切開を必要とした喉頭癌・下咽頭癌症例の検討	第48回日本頭頸部癌学会 2024/6/20 浜松市	瓜生 英興
B-② 13	CA19-9 高値およびサイログロブリン異常高値の甲状腺乳頭癌の1例	第86回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会 2024/6/29 福井市	瓜生 英興、中島 寅彦
B-② 14	外科医の働き方改革とタスクシフト・シェア ―当院頭頸部外科の取り組み―	第62回日本癌治療学会学術集会 2024/10/1 福岡市	中島 寅彦

B-②	15	語音聴力検査90%～95%群の誤答に関する検討	第34回日本耳科学会総会・学術講演会 2024/10/3 名古屋市	紀井 大志、松本 希、野田、哲平、小宗 徳孝、 中川 尚志
B-②	16	入院加療を要した深頸部感染症の検討	第75回日本気管食道科学会総会 2024/10/15 仙台市	篠村 夏織、瓜生 英興、中島 寅彦
B-②	17	当科における自己免疫性内耳障害症例の治療成績	第83回日本めまい平衡医学会総会・学術講演会 2024/11/14 名古屋市	紀井 大志、松本 希、野田 哲平、小宗 徳孝、 中川 尚志
B-②	18	頭頸部領域におけるロボット支援手術の症例検討と技術向上への取り組み	第37回日本内視鏡外科学会総会 2024/12/5 福岡市	瓜生 英興
B-②	19	当科における下咽頭癌87例の肉眼分類に基づいた検討	第34回日本頭頸部外科学会総会 2025/1/30 東京都	久我 亮介、瓜生 英興、藤村 晶子、篠村 夏織、 澄川あゆみ、紀井 大志、中島 寅彦
B-③	20	p16発現の有無で、中咽頭癌初発症状に差はあるか	福岡地方部会 第195回耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会 2024/4/15 福岡市	紀井 大志、瓜生 英興、宮城 慎平、澄川あゆみ、 藤原 義宜、内 龍太郎、中島 寅彦
B-③	21	中咽頭血管動静脈奇形の一例	第39回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会九州連合地方部会学術講演会 2024/7/14 長崎市	毛利 陽介、紀井 大志、瓜生 英興、澄川あゆみ、 篠村 夏織、久我 亮介、藤村 晶子、徳永 聡、 宮城 慎平、中島 寅彦
B-③	22	中咽頭癌再発の検討	福岡県地方部会 第197回耳鼻咽喉科・頭頸部外科学術講演会 2024/12/7 福岡市	藤村 晶子、瓜生 英興、紀井 大志、澄川あゆみ、 篠村 夏織、久我 亮介、中島 寅彦
B-④	23	再発・転移頭頸部癌に対する治療の新展開	第38回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会 2024/12/1 京都市	中島 寅彦

講演会

C-①	24	耳鼻咽喉科の良性腫瘍・悪性腫瘍	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/11/9 福岡	瓜生 英興
C-①	25	頭頸部癌におけるHPVの関与と新規概念	地域医師のための生涯研修セミナー 2024/11/9 福岡	久我 亮介
C-②	26	今日から使えるカニューレ管理	KMCセミナー 2024/8/2 福岡	久我 亮介
C-③	27	再発・転移頭頸部癌治療の新展開	第38回日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会秋季大会 2024/12/1 京都市	中島 寅彦

その他

D	28	再発・転移頭頸部癌治療の新展開	Head and Neck Cancer Seminar in Hiroshima 2024/5/31 広島	中島 寅彦
D	29	〔医療ルネサンス〕頭頸部がん〈3〉レーザー当て細胞破壊	読売新聞 2025/1/30	瓜生 英興

形成外科

論文

- | | | | | |
|-----|---|---|--|---|
| A-① | 1 | Scientific validation of clinical visual scales and Antera 3D™ consistency with derived measurements in the assessment of infantile haemangioma after laser therapy | Journal of Plastic, Reconstructive & Aesthetic Surgery
91 : 47-55, 2024 | Morihisa Y, Rikimaru-Nishi Y, Ohmaru Y, Ino K, Rikimaru H, Kiyokawa K |
|-----|---|---|--|---|

学会発表

- | | | | | |
|-----|---|---|--------------------------------------|------------------------------------|
| B-② | 2 | 上顎洞癌術後の頬部瘢痕拘縮を大胸筋茎内胸動脈第2, 3穿通枝前胸部皮弁を用いて修正した1例 | 第48回頭頸部癌学会
2024/6/21 浜松市 | 古賀 文貴、森久陽一郎、守永 圭吾、力丸 英明、清川 兼輔 |
| B-② | 3 | 乳児血管腫のレーザー治療効果に対する客観的評価方法の確立と従来の視覚評価法との比較検討 | 第33回日本形成外科学会基礎学術集会
2024/10/17 東京都 | 森久陽一郎、力丸由起子、王丸 陽光、井野 康、力丸 英明、清川 兼輔 |

講演会

- | | | | | |
|-----|---|---------|--------------------------------------|-------|
| C-② | 4 | 創傷治癒と外傷 | 地域医師のための生涯研修セミナー
2024/9/14 当院+Web | 市川 宗近 |
|-----|---|---------|--------------------------------------|-------|

歯科・歯科口腔外科

論文

- | | | | | |
|-----|---|---|--|---|
| A-① | 1 | A case of plasma cell leukemia with initial symptoms in the oral cavity | Journal of Oral Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology
2024 | Kohei Okinaga, Hiromasa Yoshikawa, Kiyoshi Nagai, Ryo Akase, Kanae Yamate |
| A-③ | 2 | 頬腺に発生した分泌癌の2例 | 日本口腔外科学会雑誌
70 (10) : 444-450, 2024 | 永井 清志、吉川 博政、山本 千佳、沖永 耕平、西田 健人、山元 英崇 |

学会発表

- | | | | | |
|-----|---|---|---------------------------------------|---|
| B-① | 3 | Clinical study on the development of Medication-Related Osteonecrosis of the Jaw after tooth extraction in patients on antiresorptive agent medication (当科で抜歯を行ったARA投薬患者の抜歯後MRONJ発症に関する臨床的検討) | 第69回日本口腔外科学会総会・学術大会
2024/11/22 横浜市 | 中崎 由唯、吉川 博政、山本 千佳、永井 清志、沖永 耕平、赤瀬 稜、山手 佳苗、米澤 暁、長野 朋美 |
| B-② | 4 | 救急外来へ受診し入院することになった誤嚥性肺炎患者の口腔内環境について | 第78回国立病院総合医学会
2024/10/18 大阪府 | 中川 綾華、吉川 博政、赤瀬 稜、福泉公仁彦、春田 典子、園田 悠斗、松尾 恵、安達 美香、古賀 翔 |
| B-② | 5 | 上顎洞炎を併発した上顎MRONJに対する外科的治療の効果についての臨床的検討 | 第69回日本口腔外科学会総会・学術大会
2024/11/22 横浜市 | 沖永 耕平、吉川 博政、永井 清志、赤瀬 稜、山手 佳苗、米澤 暁、中崎 由唯、長野 朋美 |

B-②	6	当科における3D模型を用いた下顎骨プレート再建症例に関する検討	第43回日本口腔腫瘍学会・学術大会 2025/2/27 東京都	永井 清志、吉川 博政、山本 千佳、沖永 耕平、 山手 佳苗
B-②	7	当科における口腔癌肺転移症例に対する臨床的検証	第43回日本口腔腫瘍学会・学術大会 2025/2/27 東京都	山手 佳苗、吉川 博政、永井 清志、沖永 耕平、 山本 千佳
B-②	8	先天性第V因子欠乏患者に対し拔牙を行った1例	第34回日本有病者歯科医療学会総会 学術大会 2025/3/14 東京都	江上 茉那、吉川 博政、永井 清志、沖永 耕平、 赤瀬 稜、山手 佳苗、米澤 曉、中崎 由唯、 長野 朋美、谷口 晃大、沼田 純
B-②	9	造血幹細胞移植後に生じた口腔癌3症例	第34回日本有病者歯科医療学会総会 学術大会 2025/3/14 東京都	林 清華、吉川 博政、永井 清志、沖永 耕平、 赤瀬 稜、山手 佳苗、米澤 曉、中崎 由唯、 長野 朋美、谷口 晃大、沼田 純
B-③	10	上顎歯肉に転移した腎細胞癌の1例	第92回（公社）日本口腔外科学会九州支部学術集会 2024/7/6 佐賀県	赤瀬 稜、吉川 博政、山本 千佳、永井 清志、 沖永 耕平、山手 佳苗、米澤 曉、中崎 由唯

その他

D	11	抗血栓薬服用患者の術前・術後管理再診情報	一般臨床家，口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル’ 24 130-139, 2024	吉川 博政
---	----	----------------------	--	-------

麻酔科 論文

A-③	1	当院の診療看護師の活動と医師の働き方改革への寄与	日本臨床麻酔学会誌 44（7）：695-701, 2024	坪根 瞳、甲斐 哲也
-----	---	--------------------------	----------------------------------	------------

学会発表

B-②	2	右心房まで進展した右腎腫瘍に対し人工心肺を用いて腫瘍摘出を行った一例	日本臨床麻酔学会第44回大会 2024/11/21 東京	坂田いつか、野尻 悠平、松下 克之、中垣 俊明、 辛島 裕士
B-②	3	予定帝王切開中に大量出血をきたし、子宮型羊水塞栓症が疑われた一例	日本臨床麻酔学会第44回大会 2024/11/22 東京	川久保紹子、松下 克之、濱地 朋香、坂田いつか、 虫本 新恵、姉川 美保、中垣 俊明、辛島 裕士

救急科 学会発表

B-②	1	新興感染症流行期の医療連携 (1)「コロナ禍に学ぶ、これからの医療連携」	第26回日本医療マネジメント学会学術総会 2024/6/21 福岡	野田英一郎
B-②	2	K病院診療看護師（NP）による末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）挿入の現状	第10回日本NP学会学術集会 2024/11/23 東京	前川 雄三、高祖 直美、川鍋 育郎、成田 純任、 野田英一郎

講演会

C-②	3	プレホスピタルケアの現状と課題	第71回病診連携の夕べ 2025/2/20 福岡	成田 純任
D	4	重症敗血症のような経過をたどったものの診断できなかった一例	第229回CPC 2024/12/4 当院	高野 桜子、山田 佳奈、桃崎 征也、藤吉 凌万、野田英一郎、吉田真一郎
D	5	原三信病院 ラダーIII 臨床推論講義	2024/12/18 福岡	川鍋 育郎

その他

臨床検査科・病理診断科

論文

A-③	1	帝王切開術後に発症したMycoplasma hominis腹腔内感染の1症例	国臨協九州 24 (3) : 9 ~ 15, 2024	黒田みづき、若松 朋大
A-④	2	【臨床と病理のマリアージュ】臨床医の考える臨床画像と病理所見の対比 胃・十二指腸	胃と腸 59 (8) : 1123, 2024	吉村 大輔、深浦 啓太、佐々木泰介、大久保彰人、今村 壮志、武内 翼、小笠原 愛、藤原美奈子、桃崎 征也、加藤 誠也
A-④	3	大腸ポリープのすべて 大腸非上皮性ポリープの鑑別診断 非腫瘍性ポリープ 病理診断の立場から	胃と腸 59 (2) : 211, 2024	藤原美奈子、吉村 大輔、佐々木泰介、原田 直彦、尾石 樹泰、尾石 弥生
A-④	4	【病理形態学キーワード 2024】(第7章) 腸管 desmoplastic reaction (DR)	病理と臨床 42 (臨増) : 146, 2024	藤原美奈子
A-④	5	【病理形態学キーワード 2024】(第7章) 腸管 類上皮細胞肉芽腫	病理と臨床 42 (臨増) : 154, 2024	藤原美奈子
A-④	6	【病理形態学キーワード 2024】(第7章) 腸管 陰窩上皮アポトーシス	病理と臨床 42 (臨増) : 156, 2024	藤原美奈子
A-④	7	【病理形態学キーワード 2024】(第7章) 腸管 lymphoepithelial lesion (LEL) / intraepithelial lymphocyte (IEL)	病理と臨床 42 (臨増) : 160, 2024	藤原美奈子
A-④	8	【病理形態学キーワード 2024】(第7章) 腸管 腸間膜静脈炎/静脈硬化	病理と臨床 42 (臨増) : 162, 2024	藤原美奈子
A-④	9	【消化管疾患の分類2024】胃 胃癌組織型分類(胃癌取扱い規約, WHO分類)	胃と腸 59 (4) : 498, 2024	藤原美奈子
A-④	10	【消化管疾患の分類2024】小腸・大腸 大腸腫瘍 上皮性腫瘍の組織型分類(大腸癌取扱い規約, WHO分類)	胃と腸 59 (4) : 544, 2024	藤原美奈子
A-④	11	【消化管疾患の分類2024】小腸・大腸 大腸腫瘍 大腸生検組織診断分類(Group分類)	胃と腸 59 (4) : 547, 2024	藤原美奈子
A-④	12	【臨床と病理のマリアージュ】消化管 外科切除標本の切り出し法	胃と腸 59 (8) : 1056, 2024	藤原美奈子

A-④	13	遺伝子異常を背景とした胃神経内分泌腫瘍（NET）の1例	胃と腸 59（5）：747, 2024	井原勇太郎、梅野 淳嗣、保利 喜史、谷口 義章、川床慎一郎、藤原美奈子、川崎 啓祐、鳥巢 剛弘、江崎 幹宏、北園 孝成
A-④	14	【炎症性腸疾患2024】炎症性腸疾患の診断 炎症性腸疾患の病理診断	胃と腸 59（10）：1379, 2024	藤原美奈子、谷口 義章、立石 悠基
A-④	15	【消化器Ⅰー上部消化管Ⅰ】好酸球形食道炎	病理と臨床 43（1）：18, 2024	藤原美奈子

学会発表

B-②	16	成人先天性僧帽弁狭窄症の2症例	日本心エコー図学会第35回学術集会 2024/4/19 兵庫県	宮崎 明信、谷口江理奈、別府 佳菜、伊藤 葉子、松田 寛子、中村 洸太、松下 義照、大谷 規彰
B-②	17	経胸壁心エコー図検査にて適切に評価することができた大動脈弁置換術後の1症例	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪府	宮崎 明信、伊藤 葉子、谷口江理奈、本多 千尋、大谷 洋平、別府 佳菜、安達 武、吉光 知里、松田 寛子、中村 洸太、染矢 賢俊
B-②	18	僧帽弁-大動脈弁間線維性組織(Mitral-Aortic Intervalvular fibrosa;MAIVF)に仮性瘤を認めた感染性心内膜炎の一症例	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪府	松田 寛子、宮崎 明信、中村 洸太、伊藤 葉子、本多 千尋、大谷 洋平、別府 佳菜、谷口絵理奈、染矢 賢俊、大谷 規彰
B-②	19	夜間サブカルチャーの検討	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	利光 彩加、黒田みずき、永田 陽子、安達 知子、松尾 龍志、染矢 賢俊
B-②	20	胸水細胞診でTリンパ芽球性リンパ腫と推定でき、早急に治療開始できた一例	第63回日本臨床細胞学会秋期大会 2024/11/16 千葉県	松本 明、石山 楓、武藤 礼二
B-②	21	日本高血圧学会の新禁煙宣言（JSH 2024禁煙宣言）について	日本循環器学会 2025/3/28 横浜	荒川 仁香
B-③	22	急性肺血栓塞栓症に特徴的な心電図を呈した慢性肺疾患2症例	日本不整脈心電学会 第4回九州・沖縄支部地方会 2024/6/1 福岡県	宮崎 明信、大谷 洋平、山本 慎悟、吉光 知里、松田 寛子、中村 洸太、松下 義照
B-③	23	心室細動の原因がBrugada症候群と診断された一症例	第29回国臨協九州支部学会 2024/7/6 宮崎	安達 武、宮崎 明信、松田 寛子、中村 洸太、染矢 賢俊、山本 慎吾
B-③	24	標準12誘導心電図における陰性U波が虚血性心疾患の診断に有用であった2症例	第29回国臨協九州支部学会 2024/7/6 宮崎	吉光 知里、大谷 洋平、宮崎 明信、松田 寛子、中村 洸太、染矢 賢俊
B-③	25	閉塞性肥大型心筋症に合併した感染症心内膜炎の一症例	日本超音波医学会第34回九州地方会学術集会 2024/9/16 福岡県	大谷 洋平、伊藤 葉子、宮崎 明信、松田 寛子、中村 洸太、染矢 賢俊
B-③	26	僧帽弁と右室流出路に疣贅を認めた先天性心疾患を有しない感染性心内膜炎の1症例	日本超音波医学会第34回九州地方会学術集会 2024/9/16 福岡県	谷口江理奈、伊藤 葉子、宮崎 明信、別府 佳菜、本多 千尋、松田 寛子、中村 洸太、大谷 規彰、染矢 賢俊
B-③	27	Neisseria meningitidisが喀痰から多数検出された症例	2024年度日臨技九州支部医学検査学会 2024/11/9 鹿児島	利光 彩加、黒田みずき、永田 陽子、安達 知子、松尾 龍志、染矢 賢俊

講演会

C-③	28	JSH会員に向けた喫煙に関するアンケート結果	第46回日本高血圧学会総会 2024/10/12 福岡	荒川 仁香
-----	----	------------------------	--------------------------------	-------

その他

D	29	〇〇しないで！！と言わない市民公開講座	第46回日本高血圧学会総会 2024/10/14 福岡	荒川 仁香
D	30	高血圧と高尿酸血症	尿酸NEXT Stage (4月)：2～5,	荒川 仁香、土橋 卓也

薬剤部 論文

A-①	1	Effects of meropenem supply suspension: A multicenter retrospective study	Journal of Infection and Chemotherapy 31 (1) , 2024	Yoshimichi Koutake, Yoji Nagasaki, Ryosuke Hirata, Keiji Soejima, Hiromi Nishi, Hiroko Tsukada, Shohei Hamasaki, Masashi Hashimoto
A-①	2	Comparison of preventive effects of combined furosemide and mannitol versus single diuretics, furosemide or mannitol, on cisplatin-induced nephrotoxicity	Scientific Reports 14 (1) : 10511, 2024	Ayaka Takagi , Takanori Miyoshi , Toshinobu Hayashi, Hinako Koizumi, Kyouichi Tsumagari, Chiaki Yokota, Takafumi Nakano, Koichi Matsuo, Takashi Egawa
A-③	3	アベマシクリブ投与後の血清クレアチニン値と治療効果および副作用に関する 後方視的検討	日本臨床腫瘍薬学会雑誌 37 : 6-15, 2024	大橋 邦央、樋口 文子、筒井 佑紀、藤田 隼輔、安 武夫
A-③	4	ビペリデン錠の供給停止に伴う対応と患者への影響調査	日本病院薬剤師会雑誌 61 (3) : 232-238, 2025	中山 洋輔、福石 和久、渡辺 健二、石井 秀明、古賀 亮次、岡 辰也、藤瀬 陽子、糸永 侑華

学会発表

B-②	5	がん性疼痛に対するジクロフェナクナトリウム貼付剤の使用状況調査	第17回日本緩和医療薬学会年会 2024/5/26 東京	間 美和、小泉陽奈子、中原 萌子、高武 嘉道、大橋 邦央、藤瀬 陽子、橋本 雅司
B-②	6	メロペネム供給停止の影響－多施設共同後ろ向き観察研究－	第72回日本化学療法学会総会 2024/6/28 神戸	高武 嘉道、平田 亮介、副島 啓司、西 裕美、塚田 寛子、濱崎 翔平、長崎 洋司、橋本 雅司
B-②	7	骨・カルシウム代謝注射薬の適正使用に関する調査	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	鶴山 萌子、高武 嘉道、橋本 雅司
B-②	8	がん悪液質に対するアナモレリン塩酸塩錠の使用実態調査	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪	前田 七海、住吉 恵、高武 嘉道、大橋 邦央、藤瀬 陽子、橋本 雅司
B-②	9	がん性疼痛に対する ジクロフェナクナトリウム貼付剤の使用状況調査	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/2 千葉	小泉陽奈子、間 美和、中原 萌子、高武 嘉道、大橋 邦央、藤瀬 陽子、橋本 雅司
B-②	10	切除不能進行・再発大腸癌に対する Trifluridine/tipiracil＋Bevacizumab 療法の有効性・安全性の検討	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/2 千葉	三好 孝法、深澤 真実、和佐野英子、高武 嘉道、筒井 結子、藤瀬 陽子、大橋 邦央、田村 真吾、橋本 雅司

B-②	11	アンケート調査を用いたがん薬連携の現状調査と今後の課題の検討	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/2 千葉	和佐野英子、三好 孝法、深澤 真実、高武 嘉道、 菊地 憂衣、大橋 邦央、藤瀬 陽子、橋本 雅司
B-②	12	アペマシクリブ投与後の血清クレアチニン値と治療効果および副作用に関する後方視的検討	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/2 千葉	大橋 邦央、樋口 文子、筒井 佑紀、橋本 雅司
B-②	13	P-mSHELLを使ったインシデント分析が薬剤部の医療安全文化の醸成に与える影響	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/3 千葉	田場 愛子、高武 嘉道、藤瀬 陽子、大橋 邦央、 橋本 雅司
B-②	14	オピオイド回診運用変更後の実態調査(続報)	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/3 千葉	中原 萌子、高武 嘉道、大橋 邦央、藤瀬 陽子、 橋本 雅司
B-②	15	ウイルス学的抑制が得られている患者を対象としたドラビリンへ切り替えた後の長期有効性および安全性の調査	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/3 千葉	山口 泰弘、平田 亮介、高武 嘉道、菊地 憂衣、 大石 博史、大橋 邦央、橋本 雅司
B-②	16	がん悪液質に対するアナモレリンの使用実態調査	第34回日本医療薬学会年会 2024/11/4 千葉	住吉 恵、前田 七海、高武 嘉道、藤瀬 陽子、 大橋 邦央、橋本 雅司
B-②	17	当院における腸球菌の検出状況調査	第94回日本感染症学会西日本地方会 学術集会 第72回日本化学療法学会西日本支部 総会 合同学会 2024/11/15 兵庫	平峯 侑恵、永野 真久、高武 嘉道、橋本 雅司
B-②	18	ウイルス学的抑制が得られている患者を対象としたドラビリンへ切り替えた後の長期有効性および安全性の調査	第37回日本エイズ学会学術集会 2024/11/28 東京	山口 泰弘、平田 亮介、高武 嘉道、菊地 憂衣、 大石 博史、大橋 邦央、橋本 雅司、中嶋恵理子、 高濱宗一郎、南 留美
B-②	19	HIV感染症患者におけるお薬手帳利用状況の解析	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/29 東京	平田 亮介、山口 泰弘、高武 嘉道、菊地 憂衣、 大橋 邦央、橋本 雅司
B-②	20	血友病専用トレーシングレポート運用開始後の現状調査	第38回日本エイズ学会学術集会・総会 2024/11/29 東京	菊地 憂衣、山口 泰弘、高武 嘉道、平田 亮介、 大石 博史、藤瀬 陽子、大橋 邦央、橋本 雅司
B-②	21	シスプラチン誘発性腎障害に対するフロセミドの投与タイミングと腎障害予防効果の比較	第14回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025 2025/3/15 横浜	脇岡 葵、林 稔展、三好 孝法、川満 啓司、 牛尾聡一郎、江川 孝
B-②	22	化学療法誘発による悪心・嘔吐対策のステロイドが免疫関連有害事象に与える影響	第14回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025 2025/3/15 横浜	筒井 佑紀、藤本 愛理、高武 嘉道、中原 萌子、 藪内由里香、上田 和明、松尾 圭祐、最勝寺雅広、 上原 智博、川俣 洋生
B-②	23	トリフルリジン・チピラシル＋ペバンズマブ併用療法における悪心・嘔吐の発現状況とリスク因子の解析	第14回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025 2025/3/16 横浜	三好 孝法、深澤 真実、和佐野英子、高武 嘉道、 筒井 佑紀、筒井 結子、藤瀬 陽子、大橋 邦央、 橋本 雅司

講演会

C-①	24	がん性疼痛に対する ジクロフェナクナトリウム貼付剤の使用状況調査	第48回九州地区国立病院薬剤師会薬学研究会 2024/6/2 福岡	小泉陽奈子、間 美和、中原 萌子、高武 嘉道、 大橋 邦央、藤瀬 陽子、橋本 雅司
C-①	25	九州医療センターにおける薬剤師の取り組み～腎機能の観点から～	第63回福岡県病院薬剤師会オンコロジー研修会 2024/7/29 福岡	高武 嘉道

C-①	26	緩和ケアチームと地域のつながり	福岡エリアの緩和ケアを考える 2024/9/10 福岡	中原 萌子
C-①	27	血液培養からの腸球菌検出状況と使用 抗菌薬調査	令和6年度 福岡地区国立病院薬剤師 会薬学研究会 2024/11/16 福岡	江端 成美、平峯 侑恵、永野 真久、鶴山 萌子、 大石 博史、藤瀬 陽子、大橋 邦央、橋本 雅司
C-①	28	医療現場での臨床研究を「やりたい」 から「できた」に変えるには	令和6年度学会・論文発表の質的向 上を目指す為の研修会 2025/3/7 Web	高武 嘉道
C-②	29	病院側から見たトレーシングレポート について	連携充実加算に係る研修会 2024/12/12 福岡	深澤 真実
C-②	30	薬薬連携について	HIPs in 九州～ HIV Pharmacist seminar ～ 2025/3/1	山口 泰弘、上原 仁、稲村 由香、山本 順也
C-②	31	HIPs in 九州～ HIV Pharmacist seminar ～ (8/21)		山口 泰弘、仲村 秀太

その他

D	32	HIV/AIDS基礎研修ライブ講義	HIV/AIDS基礎研修 2024/6/21 Web	平田 亮介
D	33	HIV/AIDS基礎研修ライブ講義	HIV/AIDS基礎研修 2024/10/18 Web	平田 亮介
D	34	がん化学療法による悪心・嘔吐に薬剤 師はどう関わるか	薬剤師のための抗がん薬投与におけ る有害事象対策セミナー 2025/3/19 都城市	三好 孝法
D	35	NSTにおける薬剤師の役割と栄養に関 与する内服薬		柏木映理子
D	36	輸液の特徴と種類		兵藤 沙耶

放射線部 論文

A-③	1	Halcyon立ち上げと臨床経験	放射線治療研究会雑誌 (37)：46-53, 2024	小野 敏輝
A-③	2	血管造影装置における放射線防護用固 定式バリアを用いた患者被ばく低減の 検討	全国国立病院療養所放射線技師会誌 (264)：56－60, 2025	是枝 大地、山下 一也、北口 貴教、今西 美嘉、 大浦 弘樹
A-③	3	改正放射性同位元素等の規制に関する 法律で要求される信頼性の確保につい て	福岡県診療放射線技師会誌 (356)：37-41, 2024	大浦 弘樹
A-③	4	心筋血流・機能解析プログラムにおけ る心外集積が再構成画像に及ぼす影響	全国国立病院療養所放射線技師会誌 (262)：11～16, 2024	鶴丸 貴大、渡辺 武美、鳴海 翔悟、北口 貴教、 今西 美嘉、大浦 弘樹
A-③	5	子宮頸がん治療における密封小線源停 留位置が線量分布に与える影響につい て	日本放射線技術学会雑誌 80 (10)：1037-1045, 2024	島本 惟、小野 敏輝、大浦 弘樹

学会発表

B-②	6	X線骨密度測定装置における被写体厚変化が及ぼす自動関心領域抽出への影響	第10回福岡県診療放射線技師学術大会 2024/6/23 福岡	今宮 愛夏、長郷 知未、尾崎 槇哉、大浦 弘樹
B-②	7	TBS解析における関心領域の有用性	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	長郷 知未、今宮 愛夏、尾崎 槇哉、大浦 弘樹
B-②	8	リング型放射線治療装置「Halcyon」の導入と臨床使用について	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪	島本 惟、小野 敏輝、下新 和仁、浅井 美子、上原和夏子、大浦 弘樹、田川 尚美
B-②	9	骨領域自動抽出機能による骨密度（Bone Mineral Density：BMD）への影響	第1回日本放射線医療技術学術大会 2024/10/31 沖縄	大浦 弘樹
B-②	10	精査機関におけるデジタルプレストモシンセシス運用方法の再検討	第34回日本乳癌検診学会学術総会 2024/11/30 群馬	浅井 美子、長郷 知未、山口 薫、甲斐 香織、大浦 弘樹、名本（松林）路花、岩熊 伸高
B-③	11	PET-CT装置更新および自動投与装置変更による診療放射線技師の被ばく低減	令和6年度九州国立病院機構診療放射線技師会学術大会 2024/10/26 熊本	井上 丈聡、渡辺 武美、岩永 竜弥、鶴丸 貴大、座木みゆき、北口 貴教、大浦 弘樹
B-③	12	SESSION4 放射線治療	令和6年度九州国立病院機構診療放射線技師会学術大会 2024/10/26 熊本	小野 敏輝
B-③	13	リング型リニアックにおける照射中断が絶対線量及び線量分布に与える影響	第19回九州放射線医療技術学会 2024/12/21 宮崎	小野 敏輝、島本 惟、坂田 潤一、座木みゆき、北口 貴教、大浦 弘樹
B-③	14	PET/CT装置更新および自動投与装置変更による診療放射線技師の被ばく低減	第19回九州放射線医療技術学会 2024/12/22 宮崎	井上 丈聡、渡辺 武美、岩永 竜弥、鶴丸 貴大、座木みゆき、北口 貴教、大浦 弘樹
B-③	15	熊本再春医療センターにおける緊急性の高い画像所見報告体制整備について	第19回九州放射線医療技術学会 2024/12/22 宮崎	大平 智博、川俣 圭輔、肥後 雅子、大井 邦治、野根 浩司、北口 貴教、大浦 弘樹
B-④	16	TAVI術前CT計測における計測ソフトの違いがPerpendicular view決定に与える影響	第10回福岡県診療放射線技師会学術大会 2024/6/22 福岡	池田 啓介、是枝 大地、山下 一也

講演会

C-③	17	LINE予約システム導入による医療機器共同利用の推進	全国国立病院診療放射線技師長協議会勉強会 2025/1/21 web	北口 貴教
-----	----	----------------------------	---------------------------------------	-------

その他

D	18	放射線部における医療安全	令和年6度新採用者研修（メディカル・福祉職）分科会 2024/4/18 福岡	座木みゆき
D	19	KJ法について	令和年6度新採用者研修（メディカル・福祉職）分科会 2024/4/18 福岡	島本 惟

D	20	放射線治療概論	第26回放射線治療セミナー（基礎コース） 2024/6/29 福岡	大浦 弘樹
D	21	出力測定（実習）	第26回放射線治療セミナー（基礎コース） 2024/6/29 福岡	小野 敏輝
D	22	当院MRI室における金属確認の取り組みについて	第24回 月刊熊本ジャイロウェブ 2024/7/3 Web	大平 智博
D	23	機械的パラメータの品質保証	2024年九州I地区講習会（実機講習） 2024/8/3 福岡	大浦 弘樹
D	24	心肝ファントムの作成（ファントム実習）	第6回核医学セミナー 2024/8/3 福岡	鶴丸 貴大
D	25	定量と定性について	第6回核医学セミナー 2024/8/3 福岡	上田 智弘
D	26	放射線画像の見方	令和6年度NST専門療法士臨床実地修練プログラム 2024/9/3 福岡	大浦 弘樹
D	27	ポジショニング・接遇	診療放射線技師特定技能派遣研修（マンモグラフィ） 2024/10/7 福岡	長郷 知未
D	28	マンモグラフィ画像処理	診療放射線技師特定技能派遣研修（マンモグラフィ） 2024/10/8 福岡	浅井 美子
D	29	マンモグラフィ読影	診療放射線技師特定技能派遣研修（マンモグラフィ） 2024/10/9 福岡	甲斐 香織
D	30	法令四方山話～法令について想うこと～	令和6年度第1回九州国立病院機構診療放射線技師長協議会研修 2024/10/28 Web	大浦 弘樹
D	31	第11回超音波セミナー	各部位の基本走査、観察方法を実際に学ぶ 2024/11/16 福岡	浅井 美子
D	32	電子線治療におけるリスク管理に関する討論	令和6年度放射線治療品質管理機構都道府県・地区相談者連絡講習会 2024/11/16 Web	大浦 弘樹
D	33	当院における脳SPECT/PET検査の運用方法や注意点	第5回大分核医学技術セミナー 2024/12/7 大分	渡辺 武美

臨床検査部門 論文

A-②	1	Multimodality Imaging Evaluation of Tumour Peeking Its Head Into the Right Atrium	Heart, Lung and Circulation 33 (12) : e67-e68, 2024	Nakamura K, Miyazaki A, Suzuki M, Imasaka KI, Ohtani K
-----	---	---	--	--

A-③	2	当院の肝臓専門医と臨床検査技師による未診断C型肝炎患者拾い上げの新たな取り組み	医学検査 73 (2) : 308-315, 2024	伊藤 葉子、田代 茂樹、荒武 良総、吉本 剛志、福泉公仁隆、中牟田 誠
A-④	3	【虚血性腸病変を整理する】特発性虚血性腸炎の臨床像	胃と腸 59 (7) : 943, 2024	松野 雄一、梅野 淳嗣、川床慎一郎、藤原美奈子、森山 智彦、川崎 啓祐、藤岡 審、長末 智寛、今津 愛介、北園 孝成、鳥巢 剛弘

学会発表

B-②	4	バルトリン腺由来の腺様嚢胞癌の一例	第63回日本臨床細胞学会秋期大会 2024/11/16 千葉県	沖田 静流、松本 明、小嶋 健太、西村唯輝子、藤田 綾、藤原美奈子、桃崎 征也
B-③	5	龍の如く拡張した先天性冠動脈拡張症の一例	第49回日本超音波検査学会学術集会 (画像コンテスト) 2024/7/20 宮城県	中村 洸太
B-③	6	バルサルバ負荷にて左室内腔狭小化が一目瞭然であった一例	第49回日本超音波検査学会学術集会 (画像コンテスト) 2024/7/20 宮城県	本多 千尋
B-③	7	僧帽弁と右室流出路に疣贅を認めた先天性心疾患を有しない感染性心内膜炎の一症例	日本超音波医学会 第34回九州地方学術集会 2024/9/16 福岡	谷口江理菜、伊藤 葉子、宮崎 明信、別府 佳菜、本田 千尋、松田 寛子、中村 洸太、大谷 規彰、染谷 賢俊
B-③	8	COVID-19感染症における抗原定量検査と核酸増幅検査（PCR）の乖離についての検討	2024年度日臨技九州支部医学検査学会 2024/11/9 鹿児島県	角田 京也、服部 雄城、佐伯 綾子、蒲牟田靖司、松尾 龍志、染矢 賢俊、荒川 仁香
B-③	9	当院における臨床へのアドバイスサービスの有効性～糸球体型赤血球について～	2024年度日臨技九州支部医学検査学会 2024/11/9 鹿児島県	岩本 翔希、山口 彩花、寺脇 健太、服部 雄城、加藤 裕一、染矢 賢俊、荒川 仁香
B-③	10	末梢血から考える血液疾患	2024年度日臨技九州支部医学検査学会 2024/11/9 鹿児島県	大野 剛史
B-③	11	検査値に影響を与える異常反応を反応タイムコースから検知する～サブ項目分析条件による分散設定～	2024年度日臨技九州支部医学検査学会 2024/11/9 鹿児島県	服部 雄城
B-③	12	当院におけるリスクマネジメントの取り組みについて	第70回日本臨床検査医学会九州地方会、第36回日本臨床化学会九州支部総会 第5回日本医療検査科学会九州地方会 合同学会 2025/2/22 福岡	安達 知子
B-③	13	非チフス性サルモネラ菌血症の小児2症例	第70回日本臨床検査医学会九州地方会、第36回日本臨床化学会九州支部総会、第5回日本医療検査科学会九州地方会 2025/2/22 福岡	永田 陽子、黒田みづき、利光 彩加、安達 知子、松尾 龍志、染矢 賢俊、荒川 仁香
B-③	14	当院におけるCAR-T療法運用開始までの取り組み	第70回日本臨床検査医学会九州地方会、第36回日本臨床化学会九州支部総会、第5回日本医療検査科学会九州地方会 2025/2/22 福岡	室内 舞子、越名 優希、染矢 賢俊、高瀬 謙、荒川 仁香

講演会

C-①	15	細胞診症例検討（脳腫瘍）	福岡地区病理細胞部門勉強会 2025/2/27 Web	西村唯輝子
-----	----	--------------	--------------------------------	-------

その他

D	16	緊急輸血に備えましょう	令和6年度九州グループ主催チーム 医療推進のための研修（輸血） 2025/2/25 福岡	室内 舞子
---	----	-------------	--	-------

栄養管理室

学会発表

B-②	1	病院食満足度向上を目指して～食事改善プロジェクト～	国立病院総合医学会 2024/10/18 グランキューブ大阪/大阪市	平山 愛実、西口 里穂、春田 典子、西本 祐子、 中島 寅彦、富士産業株式会社
B-③	2	MCセンターと連携した当院での周術期栄養管理の取り組み	第15回日本栄養治療学会九州支部学術集会 2024/9/7 カクイックス交流センター /鹿児島市	秋山 優太、和田かおり、春田 典子、楠本 哲也
B-④	3	医療現場におけるタスクシフト/シェアについて～管理栄養士の立場から～ 病院管理栄養士がタスクシェアするには	第13回国立病院九州医療技術学会 2024/12/7 九州医療センター /福岡市、Web	和田かおり、秋山 優太、松川麻梨子、春田 典子、 金子 友美
B-④	4	医療現場におけるタスクシフト/シェアについて～管理栄養士の立場から～	第13回国立病院九州医療技術学会 2024/12/7 九州医療センター /福岡市	和田かおり

講演会

C-②	5	HIV/AIDS患者の栄養管理	九州ブロックHIV/AIDS基礎研修プログラム 2024/6/28 九州医療センター /福岡市（web）	西口 里穂
C-②	6	今日からはじめよう減塩のコツ！	2024年度 九州医療センター健康講座 2024/11/13 九州医療センター /福岡市	園田 悠斗
C-②	7	がんと食事について	第31回がんを語り合う会 2025/2/24 九州医療センター /福岡市	春田 典子

その他

D	8	NSTにおける管理栄養士の役割	NST専門療法士臨床実地修練 2024/6/3 九州医療センター /福岡市	松川麻梨子
---	---	-----------------	--	-------

D	9	身体計測・体組成測定	NST専門療法士臨床実地修練 2024/6/3 九州医療センター /福岡市	和田かおり
D	10	当院のNSTについて/NST専任の役割	NST専門療法士臨床実地修練 2024/6/4 九州医療センター /福岡市	園田 悠斗
D	11	NSTの運営について	NST専門療法士臨床実地修練 2024/6/4 九州医療センター /福岡市	春田 典子
D	12	経腸栄養の種類と特徴	NST専門療法士臨床実地修練 2024/6/6 九州医療センター /福岡市	秋山 優太
D	13	チーム医療～管理栄養士の関わり～	純真学園大学大学院 多職種連携医療論Ⅰ 2024/7/1 九州医療センター /福岡市	春田 典子
D	14	緩和ケアチーム～管理栄養士の役割～	純真学園大学大学院 多職種連携医療論Ⅱ 2024/7/3 九州医療センター /福岡市	春田 典子
D	15	緩和ケアチーム～管理栄養士の役割～	純真学園大学大学院 多職種連携医療論Ⅱ 2024/7/10 九州医療センター /福岡市	春田 典子
D	16	チーム医療～当院のNST～	純真学園大学大学院 多職種連携医療論Ⅱ 2024/7/24 九州医療センター /福岡市	春田 典子
D	17	当院のNSTについて/NST専任の役割	NST専門療法士臨床実地修練 2024/9/2 九州医療センター /福岡市	園田 悠斗
D	18	NSTの運営について	NST専門療法士臨床実地修練 2024/9/2 九州医療センター /福岡市	春田 典子
D	19	身体計測・体組成測定	NST専門療法士臨床実地修練 2024/9/2 九州医療センター /福岡市	和田かおり
D	20	NSTにおける管理栄養士の役割	NST専門療法士臨床実地修練 2024/9/3 九州医療センター /福岡市	松川麻梨子
D	21	経腸栄養の種類と特徴	NST専門療法士臨床実地修練 2024/9/5 九州医療センター /福岡市	秋山 優太
D	22	経腸栄養剤の種類と特徴	KMCセミナー 2024/10/11 九州医療センター /福岡市	園田 悠斗
D	23	噴門側胃切除術後に吻合部の縫合不全、消化管穿孔による急性汎発性腹膜炎を呈した患者における栄養管理	令和6年度栄養管理技能研修（生活習慣病等） 2025/1/22 web	秋山 優太
D	24	周術期栄養管理～食道がん～	令和6年度栄養管理技能研修（生活習慣病等） 2025/1/22 web	和田かおり

リハビリテーション部

学会発表

B-② 1	当院における急性期脳損傷患者自動車 運転評価の現状と課題	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	山重 佳、北原 雅代、岡本 浩義、松尾 恵、 安達 美香、古賀 翔、岡村 武、杉森 宏
-------	---------------------------------	--------------------------------	--

講演会

C-① 2	リハビリテーションからみた「食べる」 評価	日本災害医学会主催 研修会講演 2024/9/1 web	古賀 翔
C-① 3	R6 能登半島地震 災害支援活動報告	福岡PT・OT・ST 3士会合同研修会 講演 2024/9/14 福岡	古賀 翔
C-③ 4	当院ICU・救命救急センターにおける 超高齢者へのリハビリテーションの現 状と早期離床への取り組みについて	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	海老原将太、吉田真一郎、石山 亞耶、磯部 雄一、 藤田 克徳、秋山 優太、野田英一郎
C-③ 5	急性期脳卒中患者の自宅退院支援に向 けたFIM評価の活用	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	古賀 翔、溝口 忠孝、牧園 征也、横道 信之、 星野 瑠璃、田口 裕子、田川 直樹、森 興太、 桑城 貴弘、杉森 宏、矢坂 正弘、梶原 秀明、 岡田 靖

その他

D 6	リハ栄養とPTの役割（他施設）	NST専門療法士実地修練（他施設） 2024/5/28 福岡	海老原将太
D 7	NSTにおけるSTの役割と嚥下障害の実 際（他施設）	NST専門療法士実地修練（他施設） 2024/6/5 福岡	安達 美香
D 8	がんのリハビリテーションについて	純真学園大学院生対象 2024/7/10 福岡	山本祐紀恵
D 9	NSTにおけるSTの役割と嚥下障害の実 際（NHO）	NST専門療法士実地修練（NHO） 2024/9/4 福岡	安達 美香
D 10	リハ栄養とPTの役割（NHO）	NST専門療法士実地修練（NHO） 2024/9/4 福岡	中尾 悠人

臨床検査部

学会発表

B-② 1	薬剤切替えに伴うフサンの塩析出によ る抗凝固ライン閉塞に対する新たな対 策	第34回日本臨床工学会 2024/5/18 福井県福井市	久田由希子、田代 博崇、原田 隆志、原 慎一郎
B-② 2	JaSECT推奨回路色アンケート結果報 告および人工心肺標準化回路の今後	第49回日本体外循環技術医学会大会 2024/10/12 北海道旭川市	岩城 秀平、富貞 公貴、光家 努、赤地 吏、 加納 寛也、千葉二三夫、藺田 誠、富永 圭一
B-② 3	異常箇所発見に難渋したdaVinci Xiシ ステムエラーの経験	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪府大阪市	富永 圭一、高橋 茂樹、原 慎一郎、原田 隆志

B-③ 4	Epicardial Connectionの 同 定 に Local Conduction Vectorが 有 効 であった1 例	第 4 回日本不整脈心電学会九州・沖縄支部地方会 2024/6/1 福岡県福岡市	澤岡 祐太
B-③ 5	VTエピソードに対して、2h40minの間治療が保留されていたICDの一例	第 4 回日本不整脈心電学会九州・沖縄支部地方会 2024/6/1 福岡県福岡市	重田 佳樹
B-③ 6	ペースメーカー診療におけるポイント	2024年度 全国国立病院機構臨床工学技士協議会九州支部学術大会 2024/9/14 熊本県熊本市	重田 佳樹

看護部 学会発表

B-② 1	多職種で協働した採血待ち時間短縮に向けたとりくみ	第26回日本医療マネジメント学会学術総会 2024/6/22 福岡	石丸都希子
B-② 2	誤認の撲滅～言葉で高める心理的安全性の環境をつくる～	第26回日本医療マネジメント学会学術総会 2024/6/22 福岡	与古田幸代、古池佳代子、岡田 靖
B-② 3	合成オキシトシン投与と産後早期の内因性オキシトシンおよび母親の心理状態との関連	第65回日本母性衛生学会総会・学術集会 2024/10/18 宮崎	石田 百乃、永橋 美幸（長崎大学）
B-② 4	NHO県内における看護管理者の施設間人事交流研修を実施して	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	筒井三記子、甲斐 通子、重常 一代、陶山美津子、西山ゆかり、後藤 祥子、赤星 誠美、野尻 正美
B-② 5	患者誤認を防止する ～指差し声出しフルネーム確認の徹底～	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	石松 鈴香、山口 淑乃、与古田幸代、西 紗津樹、古池佳代子
B-② 6	目指せ！転倒・転落ゼロ！	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	藤井美沙子、緒方 綾乃、野口 佳奈、矢葺 弓貴、与古田幸代、西 紗津樹、古池佳代子
B-② 7	SARS-CoV-2ウイルス排泄遅延患者への介入を振り返る	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪	深町 素子、小田原美樹、長崎 洋司
B-② 8	カテーテルアブレーション治療後の床上安静時間が患者に与えるストレスについて	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪	興梠 菜穂、深町 彩、溝口夕理香、島居 基久
B-② 9	消化管術後患者の早期離床を阻害する因子の分析～早期離床を促進するための関わり～	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪	西山 麻美、古田 未来、堀口 絢美、溝田恵里佳、松本和佳子
B-② 10	当院RRSの現状と推進に向けた戦略的取り組み	第78回国立病院総合医学会 2024/10/19 大阪	田口 裕子、磯部 雄一、前川 雄三、筒井三記子、小村聡一郎、野田英一郎
B-② 11	当院におけるHIV感染症患者の健康診断受診の現状	日本エイズ学会学術集会 2024/11/28 東京	長與由紀子、城崎 真弓、犬丸 真司、中嶋恵理子、高濱宗一郎、南 留美
B-② 12	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術における術前プレウォーミングの術後低温予防効果の検討	第46回日本手術医学会総会 2024/12/21 大阪	野口 真未、金子 弘美、岡野 祐也、甲斐 哲也
B-② 13	急性期脳卒中患者の脈圧と瞳孔反応の関連性の研究	第50回日本脳卒中学会学術集会 2025/3/6 大阪	江崎 智也、溝口 忠孝、藤田 克徳、今村 裕祐、岸川真裕子、岡田 靖

B-②	14	脳血管障害のある患者のせん妄と療養環境の関連性	第50回日本脳卒中学会学術集会 2025/3/6 大阪	藤田 克徳、江崎 智也、今村 裕祐、溝口 忠孝
B-②	15	急性期軽症脳卒中患者の身体活動量における実態調査	第50回日本脳卒中学会学術集会 2025/3/7 大阪	木下 優華、溝口 忠孝、松田 早代、藤永 詩織、 田口 裕子、古賀 翔、岡本 浩義、田中 正則、 今村 裕祐、桑城 貴弘、岡田 靖、杉森 宏
B-③	16	関節リウマチ患者の創傷治癒に向けた関り	第41回福岡県リウマチのケア研究会 2024/8/31 福岡	尾造 明佳、糸井 麻耶、近藤三亀代、高山有美子、 海老原将太、田丸 哲弥、福丸 純一
B-③	17	「関係の質」向上のための取り組み～看護管理者の意識・行動変容に着目して～	第78回国立病院総合医学会 2024/10/18 大阪	高山有美子、中村千夏子、金子 弘美、安部 将陽、 小形 和輝、原 海夏、今村亜由美、久田 翔太、 石浦めぐみ、筒井三記子、西山ゆかり
B-③	18	内視鏡保管庫内の清掃時期についての検討ーATP測定法を用いてー	九州消化器内視鏡技師学会 2024/11/16 鹿児島	佐伯有美子、若狭 京子
B-③	19	患者の声から生まれた「ご飯の量、選べますプロジェクト」第一報	日本医療マネジメント学会 2024/12/6 佐賀	宇都 麻耶、田口 裕子、西本 祐子、中島 寅彦
B-③	20	特定行為研修修了者の現状と課題	九州沖縄地区クリティカルケア看護研究会 特定行為看護師 MINI学会 2024/12/21 福岡	福重 友梨

講演会

C-③	21	1人ひとりが輝く職場づくり～組織の成功循環モデルを活用して～	令和6年度地区支部研修会（福岡県看護協会） 2024/11/21 福岡	岡野 祐也、中村千夏子、金子 弘美、金子 大祐、 古池佳代子、高山有美子
-----	----	--------------------------------	--	---

その他

D	22	ダブルチェックからの転換 確認行動定着に向けたスタッフ教育と評価	病院安全教育	安武 陽子
D	23	他施設への人事交流研修から学ぶ副看護師長としての課題解決の糸口	主任看護師Style	筒井三記子
D	24	自分を守って「したたか」に乗り切る！ナースが知っておきたい制度・法律知識のゼンブ「今いる職場の魅力を 知ること～無いものねだりをする前に、有るものに目を向けてみる～」	「できる看護師を“続ける”ために上手な働き方とキャリア選びのコツ100（仮）」	藤田 克典

地域医療連携室

学会発表

B-②	1	急性期総合病院におけるSNSでの予約システム導入後の現状と課題	日本医療マネジメント学会 2024/6/21 福岡	脇山 梨江、大石 博之、田口 裕子、中島 寅彦
B-③	2	急性期総合病院における、MSWの外来ラウンドの取り組み	日本医療マネジメント学会 九州山口連合大会 2024/12/6 佐賀	大石 博之、田口 裕子、中島 寅彦

医療安全管理部

学会発表

- | | | | |
|-------|-----------------------------|----------------------------------|------------------|
| B-② 1 | 誤認の撲滅 ～言葉で高める心理的安全性の環境をつくる～ | 第26回日本医療マネジメント学会
2024/6/22 福岡 | 与古田幸代、古池佳代子、岡田 靖 |
|-------|-----------------------------|----------------------------------|------------------|

医療情報管理センター

論文

- | | | | |
|-------|---|--|--|
| A-① 1 | A Novel Kidney Failure Prediction Model in Individuals With CKD: Impact of Serum Bilirubin Levels | The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism
2024 | Toyoshi Inoguchi, Tasuku Okui, Chinatsu Nojiri, Takanori Yamashita, Masaru Nakayama, Naoki Haruyama, Kunitaka Fukuizumi, Yoshifumi Wakata, and Naoki Nakashima |
|-------|---|--|--|

学会発表

- | | | | |
|-------|---|---------------------------------------|---|
| B-② 2 | がんゲノム医療連携病院における診療情報管理士の役割 | 第50回日本診療情報管理学会学術大会
2024/8/22 福岡市 | 岩橋 克記、福泉公仁隆、皆元麻里加、白石康二郎、
福島 祥子、橘木 巧平、山本 美沙 |
| B-② 3 | 医師のインフォームドコンセント記録の記載監査～IC専用テンプレート利用の有用性について～ | 第50回日本診療情報管理学会学術大会
2024/8/22 福岡市 | 白石康二郎、皆元麻里加、福泉公仁隆 |
| B-② 4 | 病棟配置診療情報管理士による入院診療計画書の点検について | 第50回日本診療情報管理学会学術大会
2024/8/22 福岡市 | 山本 美沙、橘木 巧平、福島 祥子、皆元麻里加、
福泉公仁隆 |
| B-② 5 | 当院における肺血栓塞栓症予防対策実施率の検証 | 第50回日本診療情報管理学会学術大会
2024/8/23 福岡市 | 福島 祥子、皆元麻里加、橘木 巧平、福泉公仁隆 |
| B-② 6 | 病棟配置診療情報管理士のDPC監査が与える影響について | 第50回日本診療情報管理学会学術大会
2024/8/23 福岡市 | 皆元麻里加、山本 美沙、橘木 巧平、福泉公仁隆 |
| B-③ 7 | 進みつつあるクリティカルパスの標準化とその可能性～AMED「ePath事業」の展開～ 標準化クリティカルパス「ePath」を知ろう！仕組みから解析まで | 第26回日本医療マネジメント学会学術総会
2024/6/22 福岡市 | 若田 好史 |

MCセンター

学会発表

- | | | | |
|-------|--|--------------------------------------|-------|
| B-② 1 | 医療の質を測る新たな指標「Patient eXperience (PX)」を導入して | 第26回日本医療マネジメント学会学術集会
2024/6/21 福岡 | 西本 祐子 |
|-------|--|--------------------------------------|-------|

緩和ケアセンター

学会発表

- | | | | |
|-------|---------------------------|----------------------------------|---|
| B-④ 1 | 大規模病院におけるオピオイド回診の
取り組み | 第29回日本緩和医療学会学術大会
2024/6/14 神戸 | 田村 真吾、甲斐 祭生、中原 萌子、八木祐一郎、
大畑絵衣子、原田 卓哉、石丸都希子、小柳 有子、
高見 裕子 |
|-------|---------------------------|----------------------------------|---|

超音波・生理検査センター

講演会

- | | | | |
|-------|-------------------------------------|---|----------|
| C-② 1 | (マンモグラフィと) 各乳腺検査(超
音波・MRI) との関わり | 令和6年度診療放射線技師特定技能
派遣研修(マンモグラフィ)
2024/10/7 当院(ハイブリッド) | 松林(名本)路花 |
|-------|-------------------------------------|---|----------|

その他

- | | | | |
|-----|----------------|-------------------------------------|----------|
| D 2 | 特別セッション「画像と病理」 | 第33回日本乳癌画像研究会 総会
2024/3/16 オンライン | 松林(名本)路花 |
|-----|----------------|-------------------------------------|----------|

臨床試験支援センター

学会発表

- | | | | |
|-------|---------------------------------|--|---|
| B-④ 1 | 院内版Delegation Logの運用統一化に
向けて | 第24回CRCと臨床研究のあり方を考
える会議2024
2024/9/15 札幌 | 出口 綾香、永翁 尚美、杉 枝里香、白澤 宏美、
大丸 資子、西村 友美、麻生嶋和子、橋本 雅司、
高見 裕子 |
| B-④ 2 | 指定難病医療費助成受給中の被験者に
対する取組み | 第24回CRCと臨床研究のあり方を考
える会議2024
2024/9/15 札幌 | 白澤 宏美、岩川ひとみ、大丸 資子、永翁 尚美、
出口 綾香、麻生嶋和子、橋本 雅司、高見 裕子 |

その他

- | | | | |
|-----|--------------------------------|--|-------|
| D 3 | 治験・臨床研究に関わる人々の役割と
コミュニケーション | 令和6年度初級者臨床研究コーディ
ネーター養成研修
2024/9/2 Web | 大丸 資子 |
|-----|--------------------------------|--|-------|

臨床研究センター

事務局

学会発表

- | | | | |
|-------|---|---|---|
| B-② 1 | 働きやすい未来を目指して～コンプ
リートガイド整備プロジェクト(企画
課編)～ | 第26回日本医療マネジメント学会学
術総会
2024/6/21 福岡市 | 伊藤 悠、舩田 圭祐、高橋 凌之、池田 理乃、
福治穂奈実、福嶋 駿、新川 雛乃、折尾 帆波、
松元 陽子 |
| B-② 2 | 進化する病院と共に創る未来～進化を
遂げたコンプリートガイド～ | 第78回国立病院総合医学会
2024/10/18 大阪市 | 折尾 帆波、仲島 萌、鳥越 光流、小野 瑞歩 |

編集後記

九州医療センター臨床研究年報Clinical Research Vol. 31, 2024をお届け致します。

昨年の本誌で、本院の研究活動実績が低下し、NHO内での順位が下がったことが報告されていましたが、残念ながら昨年度の実績でもその傾向は回復せず、最も重要な論文・学会発表の数は、僅かですが減少という結果でした。しかし、獲得研究費は、僅かですが前年を上回っており、治験を含む受託研究の収入も直近の3年は増加傾向となっていますので、将来的には研究実績が増大することに期待が持てると感じています。私、2025年3月に臨床研究センター長を拝命し、倫理審査委員会の委員長を務めるようになって、数多くの研究計画書に目を通してきました。医師はもちろん、看護師や薬剤師、放射線技師など多くの職種から研究計画が提出されており、当院職員の研究に対する意識の高さに感銘を受けています。これもひとえに歴代の病院幹部を中心とした先達が醸成してきた当院の臨床研究に対する姿勢の賜物であると感じます。私も微力ながら今後の当院の臨床研究の増進に貢献できればと思っています。

なお、本年報の発行に当たっては、原稿のとりまとめと図表の作成を臨床研究センター事務局の中島美子さんに担って頂きました。その多大な貢献の労をねぎらうとともに感謝を申し上げ、編集後記と致します。

2025年 初冬

臨床研究センター長 甲斐 哲也

Clinical Research

国立病院機構九州医療センター臨床研究年報

Vol.31 2024

発行日 2025年12月

編集・発行 九州医療センター

福岡市中央区地行浜1丁目8-1
電話 (092) 852-0700 〒810-8563

印刷・製本 株式会社 陽文社

福岡市博多区那珂5丁目7-37
電話 (092) 412-7331 〒812-0893
